

TEPRA

PRO



SR970

取扱説明書

はじめに

このたびは、ラベルライター「テブラ」PRO SR970をお買い上げいただき、ありがとうございます。本書は「テブラ」PRO SR970の使いかたを、「準備編」「使いかた編1・2」「機能編」に分けて説明しています。ご使用前に、必ずお読みください。

取扱説明書には操作方法以外にも、使用上の注意や、上手に使うためのちょっとしたヒントなど、役立つ情報がいっぱいです。いつもお手元においてご利用ください。

「テブラ」PRO SR970を本書とともに末永くご愛用いただきますよう、心からお願い申し上げます。なお、本製品には保証書が同梱されています。保証書は、必ず「販売店名」「購入日」などの記入を確認し、販売店からお受け取りください。

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- この製品は、日本国内専用です。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の作成には万全を期しておりますが、万一、ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

!! 注意 !!

- 本機で保存する文章や外字などのデータは、基本的に一過性のもので、長時間・永久的な記憶・保存はできません。故障、修理、検査、電池消耗などに起因するデータの消失の損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 「テブラ」で得られるラベルについて
塩化ビニールのように可塑性入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。
なお、これによって、生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、©2014 The FreeType Project (<http://www.freetype.org/>)に帰属します。

「キングジム」、「KING JIM」、「テブラ」、「TEPRA」、「テブラ」PRO、P テープマークは株式会社キングジムの商標または登録商標です。

「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「Windows」は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

「Mac OS」は Apple Inc. の商標です。

「QR コード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

「docomo」は株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

「au」は KDDI 株式会社の商標です。

「SOFTBANK」は日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標です。

その他記載の会社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。

●安全上のご注意…必ずお守りください!

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

本機をご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、取扱説明書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

●表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合を、次のように説明しています。

 危険	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。
 警告	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
 注意	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

●次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

	⚠ 表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	⊘ 表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	❗ 表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

⚠ 危険

電池の取り扱いについて



電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。



⚠ 警告

AC アダプタについて



同梱の専用 AC アダプタ (AS1527J) 以外のアダプタは、使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



AC アダプタは、指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



AC アダプタのコードを引っ張ったり、コードの上に重いものをのせないでください。火災・感電の原因となります。



警告

電池の取り扱いについて



電池の⊕と⊖を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。



電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに水道水などの多量のきれいな水で洗い流してください。



新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



使い切った電池はすぐに本機から取り出してください。使い切った電池を本機に接続したまま長期間放置しますと、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させたり、本機を破損させるおそれがあります。



長期間本機を使用しない場合には、本機から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液させたり、本機を破損させるおそれがあります。



電池の使いかたを誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。



充電式ニッケル水素電池を使用する場合には、お使いの充電器および電池の取扱説明書に従って正しく使用してください。



その他



本機を踏んだり、落したり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり火災・感電の原因となります。破損した場合には、電源を切り AC アダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



ぬれた手で本機や AC アダプタ、プラグを操作しないでください。故障や火災・感電の原因となります。



本機や取扱説明書が入っていた袋は、お子様がかぶらないように、手の届かないところに保管または破棄してください。窒息のおそれがあります。



⚠ 警告



本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災・感電の原因となります。水などをこぼした場合には、電源を切り AC アダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



本機を分解、または改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。

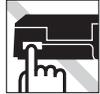


⚠ 注意

オートトリマーのお手入れについて



「トリマーカバー」をはずすときは、必ず電源を切ってください。「トリマーカバー」をはずしたまま作動させると、刃で指を切ったりするなど大変危険です。また、オートトリマーを掃除するときにはオートトリマー内部に絶対、指を入れないでください。指を切るおそれがあります。



オートカッターについて



印刷中もしくはカッター作動中にテープ取出し口付近を指で触れないでください。指を切るおそれがあります。



その他



本機の上に物をのせたり、ぐらついた台や傾いたところなど、不安定な場所に本機を置かないでください。落下したり、倒れたりしてけがをすることがあります。



電源が入っている状態で AC アダプタを抜かないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。



「テプラ」で得られるラベルについて



塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



テープカートリッジ取り扱いについてのご注意

■ テープカートリッジを落としたり、分解したりしないでください。故障の原因となります。



■ テープ取出し口から出ているテープを引っ張ったり、押し込んだりしないでください。故障の原因となります。



■ テープカートリッジは直射日光・高温・多湿・ホコリを避け、冷暗所に保管してください。テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。



MEMO

使用済みのカートリッジには、印刷済みのインクリボンが入っています。
印刷済みのインクリボンが必要に応じてお手元で廃棄してから回収に出してください。

テープカートリッジの回収およびリユース（再利用）について

当社では使用済み「テプラ」テープカートリッジの回収をおこなっています。使用済みの「テプラ」テープカートリッジは、当社にてリユース（再利用）をおこないますので、テープカートリッジを分解せず、お近くの「回収 BOX」設置店までお持ちください。



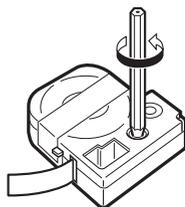
テープカートリッジをセットするときのご注意

テープカートリッジをセットするときは、以下の注意をお守りください。

■セット前に、必ずインクリボンのたるみをとる

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いてたるみを取ってください。

インクリボンにたるみがあると、本機にセットする際、インクリボンが印刷ヘッドに接触し、インクリボンが折れ曲がったり、破けたりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



■正しく本機にセットする

テープカートリッジをラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。

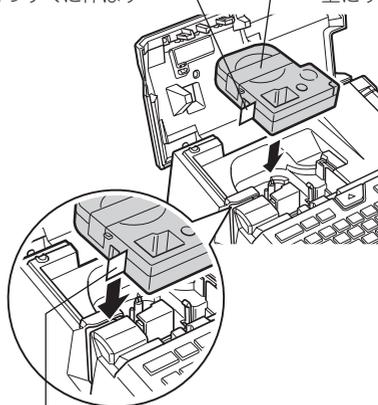
正しくセットすると、本機のフックにテープカートリッジが固定されます。

新品のテープカートリッジやテープの先端が長めに出ているテープカートリッジを本機にセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミソに通します。

テープカートリッジを本機に正しくセットせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。

テープの先端をまっすぐ伸ばす

ラベル面を上にする



テープの先端を「テープ通路」に通す

■セットした直後は必ず「テープ送り」をする (シフト + 印刷)

テープカートリッジを本機にセットした直後は、テープやインクリボンにたるみが発生します。そのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。

「テープ送り」または「送りカット」をせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。

参照 P.32 「5. テープ送りをする」

その他のご注意

- 本機の使用にあたっては「安全上のご注意」をよくお読みになり、その指示に従ってください。
- AC アダプタは、使い終わったらコンセントから抜き、本機からも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故を防げます。
- 直射日光の当たる場所、車内など熱がこもる場所、暖房器具や熱器具の近くなど温度が異常に高い場所や低い場所、湿気やホコリの多い場所等のご使用、保管はおやめください。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。
- AC アダプタ差込み口、USB コネクタ、テープ取出し口などに物をつめたり、ふさいだりしないでください。
- 印刷ヘッドには、絶対に手を触れないでください。
- 本機では「テブラ」PRO テープカートリッジ以外はお使いになれません。必ず「テブラ」PRO テープカートリッジ（4・6・9・12・18・24・36mm 幅、カットラベル）をお使いください。
- 本機では点字テープカートリッジはお使いになれません。
- 使い終わったテープカートリッジのご使用や、テープカートリッジをセットせずに **印刷** を押ししたりすることはおやめください。印刷ヘッドが過熱し故障の原因となります。
- テープ送りは、必ず **シフト** + **印刷** (=テープ送り) でおこなってください。無理に手で引っ張ったりすることは、絶対におやめください。テープ取出し口から出ているテープを引っ張ると、正常に印刷がおこなえず、そのテープカートリッジが使用不能になることがあります。
- テープカートリッジはていねいに扱い、衝撃を与えないでください。
- キーボードの操作はていねいにおこなってください。乱暴な操作は故障の原因となります。また、ペン先などの鋭利なものでのキー操作は絶対におやめください。
- ハーフカットをするときやテープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。
- 幅の狭いテープや短いラベルを排出するときに、カットされたラベルが飛び出す場合があります。
- テープをハサミで切るときに指をはさまないように注意してください。
- オートトリマーには「テブラ」PRO テープカートリッジ以外のラベルを差し込まないでください。
- ハーフカットのスリットが入っているラベルは、スリット部分を折り曲げてオートトリマーに差し込んでください。
- オート・パワーオフ機能に頼らず、ご使用後は必ず電源を切ってください。
- 電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、AC アダプタを抜かないでください。
- 長期間使わないときは、電池、AC アダプタ、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。本機、電池、AC アダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。
- 長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。
- 寿命となった電池を捨てるときは、定められた条例に従って廃棄してください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因となることがあります。
- 取扱説明書に記載された内容・仕様・デザインなどは予告なく変更されることがあります。

●本書の使いかた

本書の構成

本書は次のような構成になっています。

準備編

本機を使用する前の準備作業について説明しています。

使いかた編

使いかた編には1・2があります。「使いかた編1」では、文字の入力からラベルの貼り付けまでの基本操作を説明しています。

「使いかた編2」では、段落の追加などテキスト画面での操作と、オートトリマーなどについて説明しています。初めて「テブラ」PRO シリーズをお使いになる方は、「使いかた編1」から順を追って読まれることをお勧めします。

機能編

ラベルの見栄えをよくする編集機能や、ファイル、あて名といった各種登録機能など、「テブラ」をさらに使いこなしていただくための情報を操作ボタンごとにまとめて説明しています。「使いかた編」の内容を十分に理解されたうえでお読みくださるようお願いいたします。

本書の見かた

本書は次の表記で記述しています。

【 表 記 】	【 説 明 】
①、②	操作の手順を示しています。
M、O ⁵	文字ボタンを示しています。
ファイル、編集	機能ボタンを示しています。
←、↑、↓、→	カーソルを移動したり、メニューを選ぶボタンを示しています。
参照 	関連する事項の参照ページを案内します。
MEMO	知っておくと便利な補足情報を説明しています。
!! 注意 !!	その機能の制限や条件など注意していただきたいことを説明しています。

ラベル見本について：本書で使用しているラベル見本はすべてイメージです。本機で印刷したラベルを、説明用に縮小や余白の調整をして使用しています。

目次

はじめに

- 安全上のご注意…必ずお守りください！ 1
 - テーブルカートリッジ取り扱いについての
ご注意 4
 - テーブルカートリッジをセットするときの
ご注意 5
 - その他のご注意 6
- 本書の使いかた 7
 - 本書の構成 7
 - 本書の見かた 7
- 目次 8
- 同梱品の確認 11
- 別売品のご案内 12
- 「テブラ」PRO SR970 の特長 13
- まず、使ってみよう…
すぐ使いたい人のために 14
 - 1. 準備 14
 - 2. 電源を入れる 14
 - 3. 文字を入力する（例：伊藤）..... 14
 - 4. 文字の大きさ（文字サイズ）を
変えてみよう 15
 - 5. たて書きにしてみよう 16
 - 6. 印刷する 16
 - 7. ラベルを貼る 17
 - 8. 電源を切る 17

準備編

- 各部の名前とはたらき 20
 - 本機各部の名前（表） 20
 - 本機各部の名前（内部） 20
 - 本機各部の名前（裏） 21
 - 本機各部の名前（背面） 21
 - 操作パネルの名前とはたらき 22
- ディスプレイの見かたとはたらき 24
 - ディスプレイ（画面）の見かた 24
- 使う前の準備 26
 - 1. AC アダプタを接続する 26
 - 2. 電池（別売）を入れて使用するときは... 26
 - 3. テーブルカートリッジをセットする 29
 - 4. 電源を入れる 31
 - 5. テーブル送りをする 32

使いかた編 1

- 文字を入力する 34
 - 文字入力をはじめる前に 34
 - 入力状態の切り換え 37
 - 文字を入力する 38
 - 長い文章を変換する 41
 - 変換する「読み」の長さを変える 41
 - 英字を入力する 42
 - スペースを入力する 43
 - 記号（絵文字）を入力する 44
 - 印刷イメージを確認する（プレビュー）... 47
 - 印刷する 48
 - ラベルを貼る 50
- 使い終わったら〈電源を切る〉 51

使いかた編 2

- 文章を作る 54
 - カーソルボタンの使いかた 54
 - 文章を入力する 54
 - 文字を削除 / 挿入する 55
 - 削除した文字をもとに戻す（復活） 55
 - 文字をコピーする 56
 - 文字を貼り付ける 56
 - すべての文章を消去する 56
- 行を増やす（改行） 57
 - 新しい行を作る 57
 - 文字を次行に移動する 58
 - 改行を取り消す 58
- 段落を増やす（改段落） 59
 - 新しい段落を作る 60
 - 段落を分割する 60
- カドを丸く仕上げる 61
 - オートトリマーのお手入れ 62

機能編

- ダイレクトキーで書体を変更する 64
 - 書体を使う 64
- ダイレクトキーで文字サイズを変更する 65
 - 文字サイズを使う 65
- ダイレクトキーで文章全体の向きを変更する
（縦・横） 66
 - 縦・横を使う 66
- ダイレクトキーで外枠を指定する 68
 - 外枠を使う 68
- ラベルの見栄えをよくする（編集） 69
 - 編集を指定する 70

● 編集メニュー一覧	72	よく作るビジネスフォームを ファイル登録する	145
機能の説明 (文字モード).....	78	登録したビジネスフォームを 呼び出す	146
機能の説明 (段落スタイル).....	82	登録したビジネスフォームを 消去する	147
機能の説明 (文章書式).....	89	● 定型外国語を入力する.....	148
● 文章を呼び出す・登録する.....	95	定型外国語メニュー一覧	148
^{ファイル} を使う	95	定型外国語を使う	149
ファイルとは	96	定型外国語を編集する.....	150
ファイルを登録する	97	● カットラベルに印刷する.....	151
ファイルを呼び出す	99	カットラベルフォームメニュー一覧	152
ファイルを消去する	100	丸型・楕円のラベルを印刷する	155
ファイルを複写する	101	角丸のラベルを印刷する	156
グループの名前を変える	102	カットラベルを編集する	157
ファイルをまとめて印刷する	103	カットラベル編集メニュー一覧.....	157
● 名前や語句を登録する		機能の説明 (スタイル).....	161
(あて名 / 名前 / 辞書).....	104	よく作るカットラベルフォームを ファイル登録する	165
あて名ラベルを作る	104	登録したカットラベルフォームを 呼び出す	166
あて名を登録する	105	登録したカットラベルフォームを 消去する	167
あて名を修正する	106	● 転写テープを印刷する.....	168
あて名を複写する	106	転写印刷を指定する	168
あて名を消去する	107	転写テープの文字を転写する	168
あて名ラベルを印刷する	108	● 最近印刷した文章を呼び出す	169
あて名のグループ名修正	109	印刷履歴メニュー一覧.....	169
カスタマバーコードについて	110	印刷履歴を呼び出す	169
名前を登録する	112	印刷履歴を消去する	170
名前を修正する	113	● 連番やバーコードを印刷する	171
名前を消去する	113	連番・バーコードメニュー一覧.....	171
名前のグループ名修正	113	連番を印刷する	172
名前ラベルを印刷する	113	バーコードを印刷する.....	175
変換できない語句を登録する		QRコードを印刷する	177
(辞書の登録)	115	● 特殊な印刷	179
登録した語句を呼び出す	116	特殊印刷メニュー一覧.....	179
登録した辞書を修正する	116	同じラベルを連続して印刷する (連続印刷)	180
登録した辞書を消去する	117	テープ幅より大きなラベルを作る (拡大印刷)	182
● 外字を使う	118	鏡文字を印刷する	184
外字を作成し、登録する	120	指定したラベルの長さに、同じ文章を 繰り返し印刷する (りぼん連続印刷)...	185
外字を修正する	121	● 読みのわからない漢字を入力する.....	187
外字を呼び出す	122	漢字検索メニュー一覧.....	187
外字を複写する	122	コードで入力する	188
外字を消去する	123	部首による漢字検索	189
外字を参照作成し、登録する	124	● 印刷設定 / 編集設定 / 環境設定	190
● デザインされたラベルを呼び出す		設定メニュー一覧	190
(デザインフォーム)	125		
デザインフォームメニュー一覧.....	125		
デザインフォーム見本	127		
ラベルの作りかた (デザインフォーム)...	135		
● 特殊なデザインのラベルを作成する			
(ビジネスフォーム)	136		
ビジネスフォームメニュー一覧.....	136		
ビジネスフォーム見本	139		
ラベルの作りかた (ビジネスフォーム)...	143		

● 印刷設定を変更する	193
印刷時の自動カット / ハーフカットを 設定する	193
印刷濃度を調整する	195
印刷速度を設定する	195
カットラベル位置を調整する	196
印刷設定をリセットする	196
● 編集設定を変更する	197
編集機能の保存値を設定する	197
保存値を変更する	198
保存値を初期設定値に戻す	198
● 環境設定を変更する	199
表示切換	199
ディスプレイの濃度を調整する	199
バックライトの切換	200
学習内容を初期化する	200
電池種類を設定する	201
● 本機を初期化する	202
初期化する	203
● デモ印刷をする	204

付録

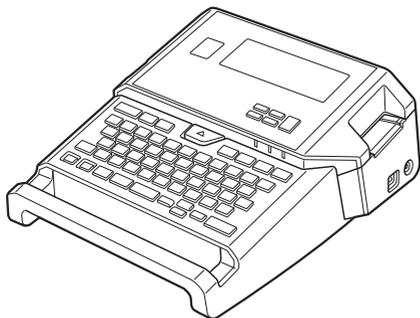
● メニュー一覧	206
記号メニュー一覧	207
フォームメニュー一覧	208
テープ送りメニュー一覧	208
印刷再開メニュー一覧	208
● テープカートリッジを使いわせる	209
● パソコンに接続して使う	210
アプリケーション、プリンタドライバを インストールする	210
パソコンと「テブラ」本体を接続する	216
アプリケーション、プリンタドライバを アンインストールする	217
● こんな表示が出たときは	220
エラーメッセージが表示されたときは	220
● 故障かな？と思ったら	224
● お手入れについて	228
ヘッド・クリーニングテープを使う	228
● 入力文字一覧表	230
文字ボタン配列	230
入力文字表	230
入力文字表（かなめぐり入力）	231
● 漢字変換表	232
JIS 第 1 水準	232
JIS 第 2 水準	236
その他	239
● 記号・外枠一覧表	240
記号一覧表	240
外枠・表組み一覧表	244

カットラベルフォーム

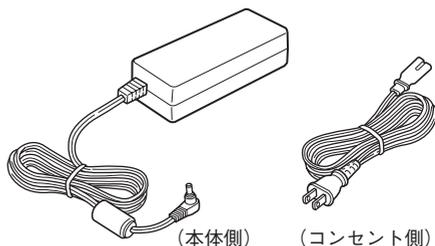
外枠・表組み一覧表	245
● 定型外国語一覧表	246
● ローマ字変換表	254
● おもな仕様	255
● 索引	259
● アフターサービスについて	巻末

●同梱品の確認

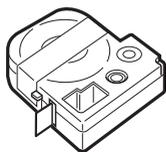
同梱品がすべてそろっているか、確認してください。



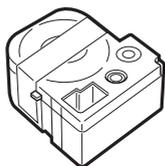
「テプラ」PRO SR970 本体



ACアダプタ (AS1527J)



試用 PRO テープ
カートリッジ



ヘッド・クリーニング
テープ (SR36C)



転写スティック
(SR9L)



保証書
(箱の側面に添付)



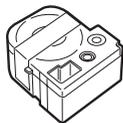
SR970 取扱説明書 (本書)

MEMO

- 本機には、電池は同梱しておりません。電池でお使いになる場合は、アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池 (単3形×6本) をお買い求めください。
- CD-ROM、PC ラベルソフト取扱説明書は同梱されていません。当社ホームページ (<http://www.kingjim.co.jp/>) からダウンロードしてください。なお、ダウンロードの際はインターネット環境が必要となります。
- 本機にはパソコン接続用の USB ケーブルは同梱されていません。パソコン接続には市販の USB ケーブルをご使用ください (USB2.0/1.1 ケーブル A-B タイプ)。
参照 P.210 「パソコンに接続して使う」

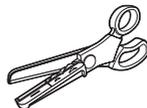
●別売品のご案内

本機には、以下の製品がオプションとして用意されています。本機と合わせてご利用ください。



ヘッド・クリーニングテープ (SR36C)

テプラ本体のヘッドクリーニング用のテープです。



トリマー (RT36W)

ラベルのカドを丸くカットし、ラベルをはがれにくく、見た目にも美しく仕上げるハサミ型トリマーです。4～36mm幅のラベルの「カド丸」加工が可能です。ラベルの前後余白調整にも便利です。



りぼんキット (SRR10)

ミニサイズで使いやすい手芸用はさみと、印刷前に使いたい長さを確認できる綿製のメジャー、おまけシールのついた「テプラ」PRO テープカートリッジりぼん専用のオプション品です。



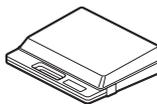
お名前タグメーカー (SRT10)

「テプラ」PRO テープカートリッジりぼんに「スナップボタン」を取り付けて、オリジナルのお名前タグが作れます。



スナップボタン (SRTB1)

プラスチック製のボタンが20組入った「お名前タグメーカー」専用のオプション品です。



システムトランク (SR9BTA)

耐衝撃性に優れたトランクです。「テプラ」PRO 本体をはじめ、テープカートリッジ、同梱品、別売品などを一括して持ち運び、また保管することができます。



システムバッグ (SR8B)

「テプラ」PRO 本体とテープカートリッジ、取扱説明書などが収納可能です。ウレタン・ボンディング・ナイロンを使用しており、クッション性に優れています。



システムケース (SR9H)

A4 ボックスファイルサイズに「テプラ」PRO 本体と AC アダプタ、テープカートリッジ (12mm 幅 10 個分) などが収納可能です。印刷済みラベルの整理用ラベルファイル付きです。



テープカートリッジケース (SR4TH)

A4 ボックスファイルサイズにテープカートリッジ (12mm 幅 40 個分) が収納可能です。4 つのボックスでテープ色・幅・種類ごとに整理できます。

MEMO

詳細については、当社ホームページ (<http://www.kingjim.co.jp/>) をご覧いただくか、またはお買い上げ販売店、「テプラ」取扱店、当社お客様相談室にお問い合わせください。

参照 ㊦ 巻末「アフターサービスについて」

● 「テプラ」 PRO SR970 の特長

■ 高速印刷 & 静音設計

印刷速度が速く、動作音が静かな新機構。従来機種との約2倍の速さ^{*1}でラベル作成ができ、大量のラベルを印刷する際も軽快な作業で効率化に貢献します。

*1: 18mm幅 × 50mmのラベルを50枚連続印刷した場合の印刷終了までの時間（当社従来機種SR950との比較）

■ 高精細 360dpi のアウトラインフォントで印字がきれい

360dpi・384dot（最大印刷可能幅：27.1mm）という高精細大型ヘッドにより、大きな文字も美しく印刷できます。また最大13行の多行印刷も可能です。

■ 好評の PRO テープ 4 ～ 36mm 幅に対応！

白ラベル、カラーラベルから各用途に特化した機能性テープまで、「テプラ」PROの豊富なテープラインナップから選んで使用できます。

また、あらかじめ定形に型抜きされた「カットラベル」に印刷が可能なフォームを搭載。丸型、楕円、角丸長方形の3形状の本格的なラベルを作成することができます。

■ バックライト付！ 4階調で見やすいディスプレイ

バックライト付きの液晶ディスプレイを搭載しています。見やすいディスプレイで、記号や装飾の細部が確認できます。

■ 打ちやすく快適！ 幅広プラキートップ

13mmの幅広キーピッチ & プラスチックキーを採用することで、キーの打ちやすさが格段に向上しました。パソコン配列の「ローマ字入力」と、「かなめくり入力」の2種類の入力方式が選べます。

■ ハーフカット機能付きオートカッター搭載

ラベルを自動でカットする「オートカッター」は便利なハーフカット機能付きで、ラベルの印刷面だけをカットして裏紙を簡単にはがせます。さらに、ラベルを「オートトリマー」に差し込めば、カド丸仕上げも簡単です。

※一部対応できないテープがあります。

■ テープエンド検出 & 印刷再開機能

テープの終了を自動で検出し、テープを交換したあと印刷できなかったラベルから印刷を再開することができます。連続印刷など複数枚のラベル作成に便利な機能です。

■ 豊富に選べる書体

内蔵書体は漢字11書体、かな15書体、英数19書体をラインアップ。案内表記にはっきり目立つ「大型」書体、親しみやすい表示に最適な新搭載の「てがき」書体など、用途に合わせて表現の幅が広がります。

■ ファイル機能を拡充

テキストだけでなく、ビジネスフォームやカットラベルフォームから作成したラベルもファイル登録可能。よく印刷するラベルを作業時にすぐ呼び出せるので、都度入力しなおすがありません。

■ 漢字検索機能追加

文字コードや漢字の画数・部首から、漢字を検索して入力することができます。読みのわからない漢字を入力するときに便利です。

■ パソコン接続機能にダイレクトに切り換え

USBケーブルをつなぐと、キー操作なしでパソコン接続機能に切り換わり、パソコンからラベルのレイアウト編集が可能です。専用のラベルソフトは充実の機能を搭載したWindows向け「SPC10」とシンプル機能のMac OS向け「SMA3」に対応しています。

※ ラベルソフトは本製品に同梱しておりません。当社ホームページからダウンロードいただけます。

<http://www.kingjim.co.jp/>

●まず、使ってみよう…すぐ使いたい人のために

1. 準備

- 1 ACアダプタを本機に接続する
参照 P.26 「1. ACアダプタを接続する」
- 2 テープカートリッジをセットする
参照 P.29 「3. テープカートリッジをセットする」

2. 電源を入れる

- 1 **ON/OFF** を押す
タイトルが表示され、設定されている入力状態が表示されたあと、行頭マーク①とカーソルが表示されます。



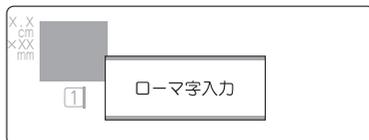
MEMO

- より詳しい説明については、P.31 「4. 電源を入れる」を参照してください。
- カットラベルをセットしている場合は、表示および操作手順が異なります。詳しい説明は、P.151 「カットラベルに印刷する」を参照してください。
- USB ケーブルでパソコンと接続している場合は、表示および操作手順が異なります。詳しい説明は P.210 「パソコンに接続して使う」を参照してください。

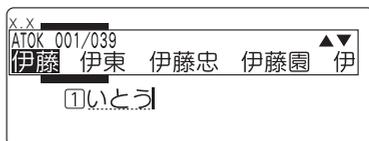


3. 文字を入力する（例：伊藤）

- 1 **入力切替** を押して、「ローマ字入力」または「かなめくり入力」を選ぶ

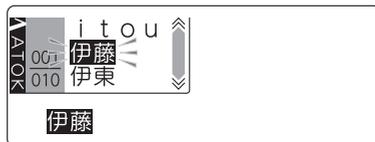


- 2 文字ボタンを次のように押す
「ローマ字入力」の場合： **I**¹、**T**²、**O**³、**U**⁴
「かなめくり入力」の場合：
Q^あ × 2 回、
W^た × 5 回、
Z^あ × 3 回
→（または **選択改行**）
× 1 回 (=カーソル移動)



「いとう」と表示されます。入力後のひらがなには下線が表示されています。

- 3 「伊藤」が表示されるまで **変換スペース** を押す



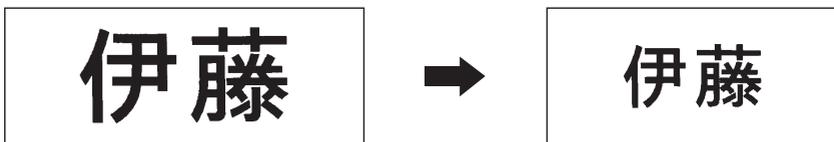
- 4 **選択改行** を押す
「伊藤」が確定し、行頭マークが **1** に変わります。
同時に、ラベルの長さど印刷イメージが表示されます。



MEMO

より詳しい説明については、P.34 「文字を入力する」を参照してください。

4. 文字の大きさ（文字サイズ）を変えてみよう



- 1 **文字サイズ** を押す
現在の文字サイズが表示されます。



- 2 目的の設定になるまで **文字サイズ** を押す
文字サイズ を押すたびに選択肢が切り換わります。
例では「1行」「中」を選択します。
カーソルがある行の文字サイズは、ディスプレイのインジケーターで確認できます。



文字の大きさが変更されます。



MEMO

より詳しい説明については、P.65 「ダイレクトキーで文字サイズを変更する」を参照してください。

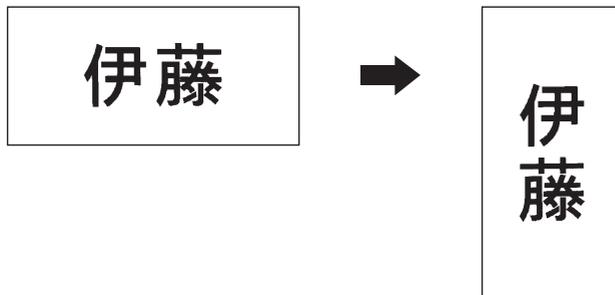
次へ進みます



はじめに

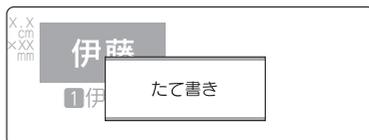
15

5. たて書きにしてみよう



1 **縦・横** を押す

「たて書き」と表示され、文字がたて書きのラベルになります。



MEMO

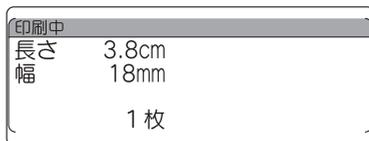
より詳しい説明については、P.66「ダイレクトキーで文章全体の向きを変更する（縦・横）」を参照してください。

6. 印刷する

- 1 **シフト** を押しながら **特製印刷** (=プレビュー) を押す
印刷のイメージが流れるように表示されます（プレビュー）。
プレビューが終わるとテキスト画面に戻ります。



- 2 **印刷** を押す
画面に、印刷されるラベルの長さ、印刷枚数が表示され、印刷がはじまります。印刷が終了すると、テープが自動カットされて出てきます。
テープは絶対に手で引っ張らないでください。

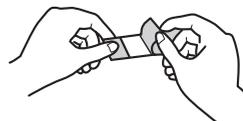


MEMO

より詳しい説明については、P.48「印刷する」を参照してください。

7. ラベルを貼る

- 1 裏紙をはがす



- 2 しっかりとこすって貼り付ける



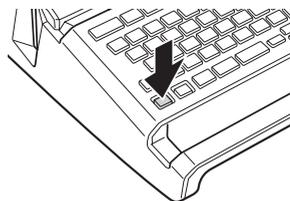
MEMO

より詳しい説明については、P.50「ラベルを貼る」を参照してください。

8. 電源を切る

- 1  を押す

- 2 AC アダプタ (AS1527J) をはずす



!! 注意 !!

電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、AC アダプタを抜かないでください。

MEMO

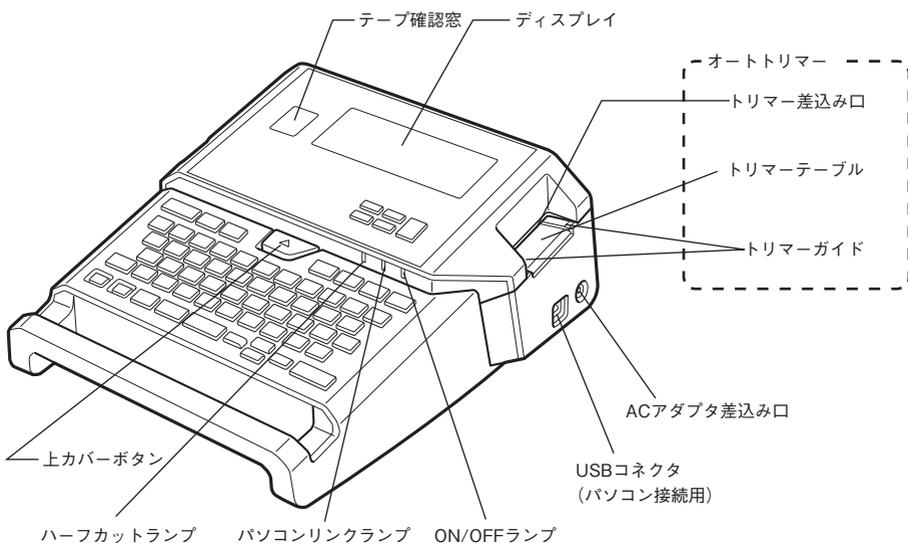
より詳しい説明については、P.51「使い終わったら〈電源を切る〉」を参照してください。

準備編

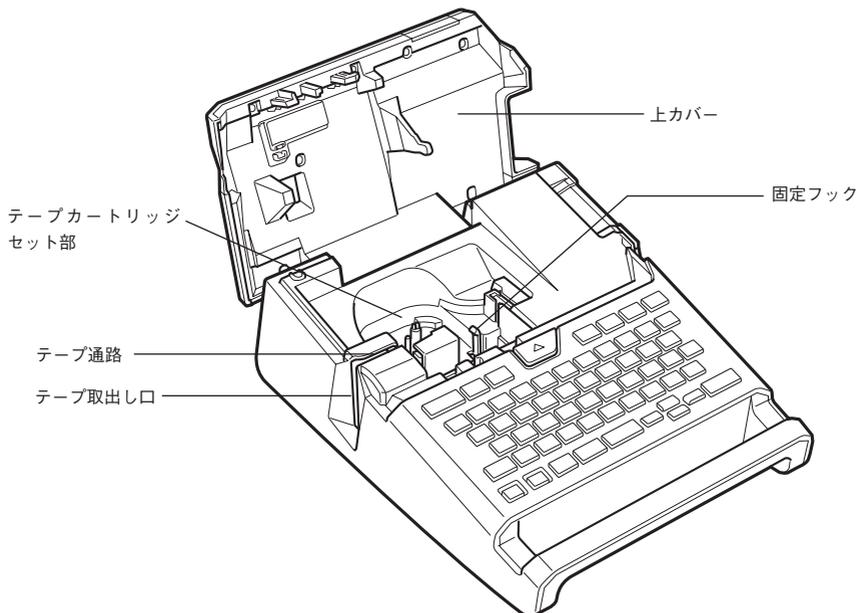
本機に AC アダプタを接続し、電源を入れます。
本機をはじめてお使いの方は、ここからお読みください。

●各部の名前とはたらき

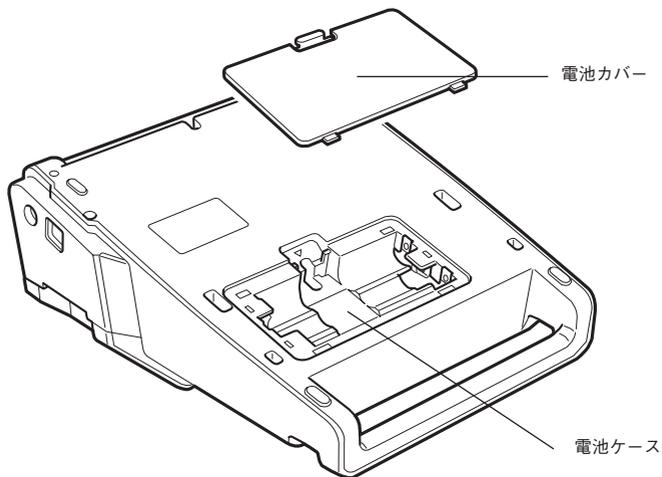
本機各部の名前（表）



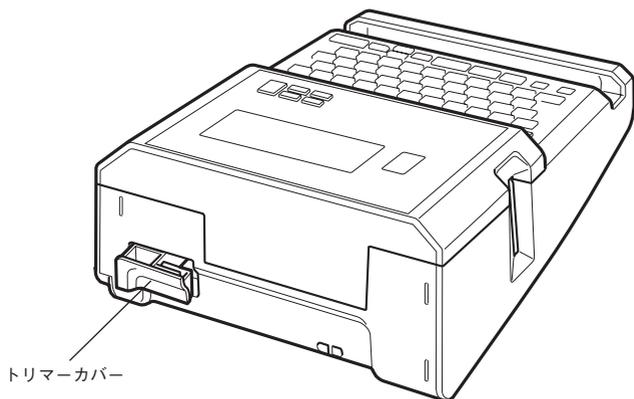
本機各部の名前（内部）



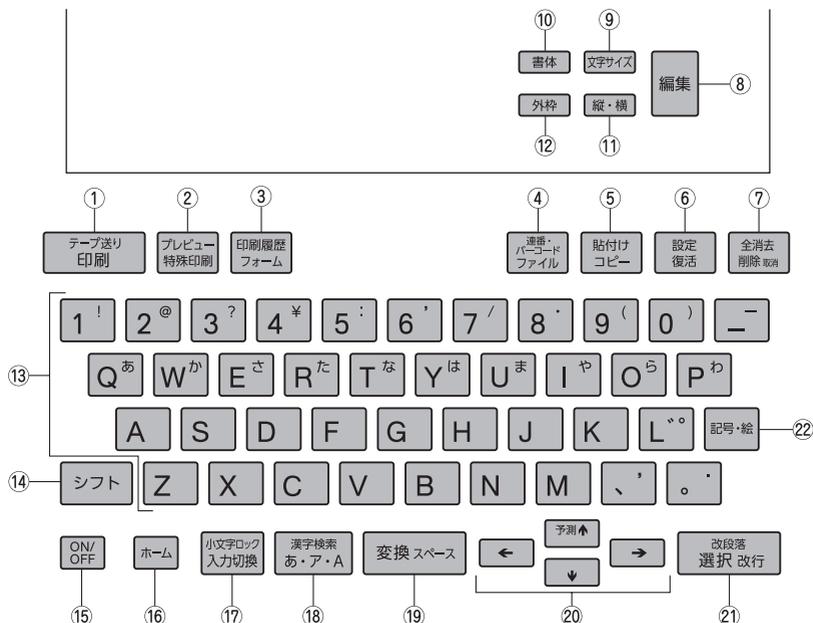
本機各部の名前（裏）



本機各部の名前（背面）



操作パネルの名前とはたらき



各ボタンの機能を説明します。[シフト] + [] となっている表記は、[シフト] を押しながらそのボタンを押したときの機能です。

① [印刷] (印刷)

入力内容をテープに印刷します。

参照 [P.48](#)

[シフト] + [印刷] (=テープ送り)

テープを約 19mm 空送り、またはカットします。送り長さを指定して空送りすることもできます。カットラベルの場合は 1 枚空送りします。

参照 [P.32](#)

② [特殊印刷] (特殊印刷)

連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷、リボン連続印刷をします。

参照 [P.179](#)

[シフト] + [特殊印刷] (=プレビュー)

印刷イメージ全体を流れるように表示して確認することができます。

参照 [P.47](#)

③ [フォーム] (フォーム)

デザインフォーム、ビジネスフォーム、定型外国語、カットラベルフォームの呼び出しをおこないます。

[シフト] + [フォーム] (=印刷履歴)

印刷履歴の呼び出しをおこないます。

④ [ファイル] (ファイル)

作成した文章を保存したり、あて名、名前、辞書、外字を登録します。また、ビジネスフォームやカットラベルフォームの入力画面からファイルの保存や呼び出しをおこないます。参照 [P.95](#)

[シフト] + [ファイル] (=連番・バーコード)

連続番号やQRコード・バーコードの入力をおこないます。参照 [P.171](#)

⑤ [コピー] (コピー)

入力済みの文字をコピーします。参照 [P.56](#)

[シフト] + [コピー] (=貼付け)

コピーした文字を貼り付けます。参照 [P.56](#)

⑥ [復活] (復活)

削除した文字や文章をもとに戻します。

参照 [P.55](#)

[シフト] + [復活] (=設定)

自動カットや画面の表示濃度、編集機能の保存値など、各種設定を変更します。

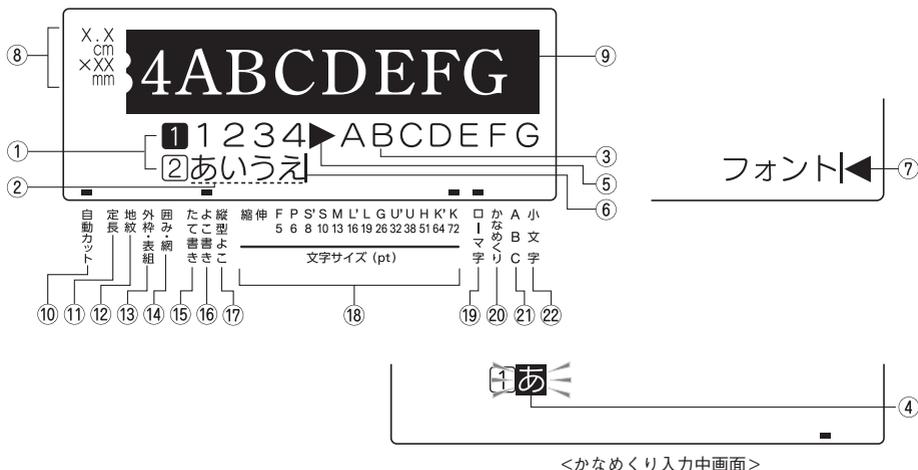
参照 [P.190](#)

- ⑦ **削除** (削除、取消)
カーソル位置(カーソルの左側)の文字を削除します。各種機能の操作中は操作が取り消されます。参照 P.55
シフト + **削除** (=全消去)
文章を消去します。参照 P.56
- ⑧ **編集** (編集)
文字の装飾や文字サイズ、ラベルのレイアウト、ラベルの長さなどを指定します。参照 P.69
- ⑨ **文字サイズ** (文字サイズ)
文字サイズを指定します。参照 P.65
- ⑩ **書体** (書体)
書体を指定します。参照 P.64
- ⑪ **縦・横** (縦・横)
たて書き / よこ書きを切り換えます。参照 P.66
- ⑫ **外枠** (外枠)
外枠を指定します。
- ⑬ **文字ボタン** (**T**TM **E**^{ES} **D**^{DS} **R**^{RS} **A** など)
文字を入力します。参照 P.34
- ⑭ **シフト** (シフト)
機能ボタンと一緒に押すと、機能ボタンの上部に書かれた機能が働きます。文字ボタンと一緒に押すと、小文字や英記号などを入力できます。
- ⑮ **ON/OFF** (ON/OFF)
電源を ON/OFF します。参照 P.31
- ⑯ **ホーム** (ホーム)
メニュー画面やフォームの入力画面からテキスト画面に戻ります。
カットラベルのテープカートリッジをセットしているときは、カットラベルフォームメニューに戻ります。
USB ケーブルでパソコンと接続している場合は、パソコンリンク画面に戻ります。
- ⑰ **入力切換** (入力切換)
入力状態を「ローマ字→かなめくり→ABC」の順で切り換えます。参照 P.37
QR コードの用途「一般」では「ローマ字→かなめくり→ABC(半角)→ABC」の順で切り換えます。
参照 P.177
「ABC 入力、ABC(半角)入力」時のみ
シフト + **入力切換** (=小文字ロック)
小文字入力状態に切り換えます。参照 P.42
- ⑱ **無変換** (無変換)
仮確定のひらがな文字を、「ローマ字入力」時は、押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。「かなめくり入力」時は、押すたびに「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。参照 P.38
シフト + **あ/ア** (=文字変換 / 漢字検索)
「ローマ字入力」時は、仮確定のひらがな文字を、押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変換します。「かなめくり入力」時は、仮確定および点滅表示のひらがな文字を、押すたびに「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。参照 P.38
仮確定文字、点滅文字がない場合は、読みのわからない漢字を検索します。参照 P.187
- ⑲ **変換スペース** (漢字変換、スペース入力)
仮確定のひらがな文字を漢字に変換します。仮確定文字、点滅文字がないときは、スペースを入力します。ATOK 変換画面では、次の変換候補を表示します。参照 P.41
- ⑳ **カーソルボタン、文節変更** (カーソルボタン、文節変更)
カーソルや選択候補を上下左右に移動します。参照 P.54
ATOK 予測入力画面では **↑** **↓** で予測候補を選択します。
ATOK 変換画面では **←** **→** で変換対象の文節長さを変更し、**↓** で確定します。参照 P.34、35
シフト + **←** **↑** **↓** **→** (=カーソルジャンプ、文節切り換え)
カーソルを段落先頭、段落末尾、行頭、行末に移動します。機能選択時は、先頭候補、最終候補を表示します。参照 P.54
ATOK 変換画面では **シフト** + **←** **→** で変換対象の文節を切り換えます。参照 P.35
- ㉑ **選択、改行** (選択、改行)
機能選択時の選択肢や、文字の入力、変換を確定します。仮確定文字、点滅文字がないときは、新しい行を作ります(改行)。参照 P.57
シフト + **選択改行** (=改段落)
新しい段落を作ります。参照 P.59
- ㉒ **記号・絵** (記号・絵)
記号の入力や外字の呼び出しなどをおこないます。参照 P.44

●ディスプレイの見かたとはたらき

ディスプレイ（画面）の見かた

〈テキスト画面〉



① 行頭マーク (1 2...☒, 1 2...☒)

行頭に表示され、その行が何行目かを表示します。**1**、**2**はその行に印刷できる文字が入力されていることを表し、**1**、**2**はその行に文字がまだ入力されていない（確定していない）ことを表しています。**☒**、**☒**は印刷できない行を表しています。**☒**が表示されているときは、印刷することはできません。参照 P.57

② 仮確定文字（例：あいうえ）

仮確定の文字で、文字の下に点線が表示されます。**変換**で漢字、カタカナ、英数字などに変換できます。仮確定文字は印刷されません。

③ 確定文字（例：1234ABCDEFGH）

入力が確定した文字で、印刷することができます。

④ 点滅文字

「かなめくり入力」途中の未確定の文字で、同じボタンを連続して押すと文字候補が順に表示されます。点滅表示の文字は、印刷されません。

⑤ 文字モード指定マーク (▶)

文字、行、段落単位で、書体、飾り字などの文字モードを変更すると表示されます。参照 P.71

⑥ カーソル (|)

操作を実行する場所を示します。カーソル位置を基準に、文字や記号を挿入したり削除することができます。参照 P.54

⑦ フルメモリーマーク (◀)

入力可能文字数（約 500 文字）をオーバーして、これ以上入力できないときに表示されます。

⑧ 印刷情報

セットされているテープ幅と、印刷したときの目安の長さを表示します。「表示切換」の設定によっては表示されないこともあります。参照 P.199

⑨ 印刷イメージ

印刷するイメージを表示します。「表示切換」で表示状態を変更できます。参照 P.199

⑩ 自動カット

自動カットが「する」に設定されているときに点灯します。参照 P.193

⑪ 定長インジケータ

定長印刷が指定されているときに点灯します。

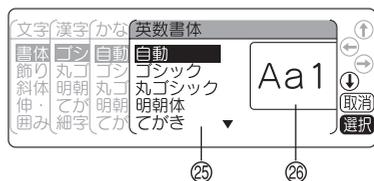
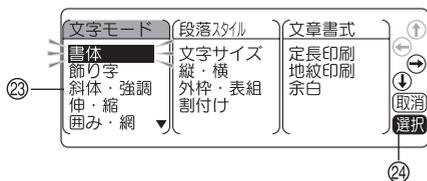
⑫ 地紋インジケータ

地紋印刷が指定されているときに点灯します。

- ⑬ **外枠・表組インジケーター**
外枠や表組みが指定されているときに点灯します。
- ⑭ **囲み・網インジケーター**
囲みや網が指定されているときに点灯します。
- ⑮ **たて書きインジケーター**
「たて書き」が指定されているときに点灯します。
- ⑯ **よこ書きインジケーター**
「よこ書き」が指定されているときに点灯します。
- ⑰ **縦型よこインジケーター**
「縦型よこ書」が指定されているときに点灯します。
- ⑱ **文字サイズインジケーター**
カーソル位置の文字のサイズに対応したインジケーターが点灯します。
数字はポイント数を表しています。
※ pt は約 1/72 インチ (約 0.35mm) です。
- ⑲ **ローマ字入力インジケーター**
「ローマ字入力」状態のときに点灯します。
- ⑳ **かなめくり入力インジケーター**
「かなめくり入力」状態のときに点灯します。
- ㉑ **ABC 入力インジケーター**
「ABC 入力」状態のときに点灯します。
参照 ☞ P.42
「ABC (半角) 入力」状態のときに点滅します。
参照 ☞ P.177
- ㉒ **小文字入力インジケーター**
小文字入力状態のときに点灯します。
参照 ☞ P.42

〈メニュー画面〉

機能を指定する画面は、テキスト画面と表示が異なります。このような機能や設定値を選択する画面をメニュー画面と呼びます。ここでは、編集メニューの画面を例に説明しています。



㉓ メニュー (1 階層目)

編集キーを押したときに最初に表示されるメニュー一覧です。

← ↑ ↓ → で機能を選びます。

㉔ ボタンナビ

使用できるボタンを案内します。グレー(薄い色)になっているボタンは操作できません。

㉕ メニュー階層

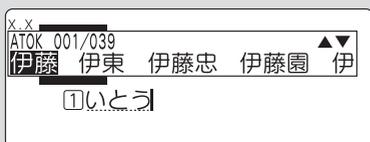
メニューの階層状態を表示します。例の画面では、4 階層目の選択候補一覧を表示しています。選択候補は ↑ ↓ で選びます。

㉖ イメージ表示、ガイド表示

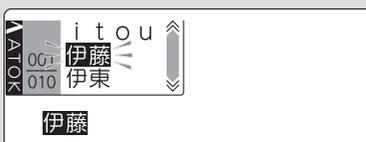
選択候補の指定結果をイメージで表示したり、操作ガイドを表示します。

MEMO

文字の変換中は以下の画面 (ATOK 予測入力画面、ATOK 変換画面) になります。詳しい説明については P.34 「文字入力をはじめる前に」を参照してください。



(ATOK 予測入力時)



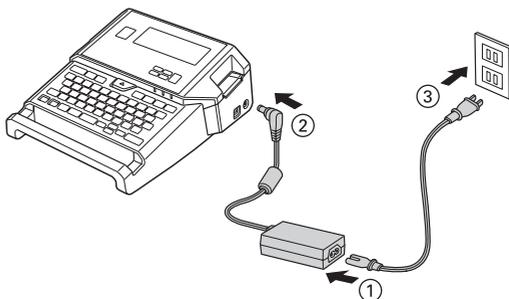
(ATOK 変換時)

●使う前の準備

1. AC アダプタを接続する

同梱の AC アダプタ (AS1527J) で、家庭用コンセント (AC100V) から電源を取ります。

- 1 AC アダプタのケーブルを接続する
- 2 AC アダプタのプラグを本機右側面の AC アダプタ差込み口にしっかりと差し込む
- 3 AC アダプタの電源プラグを家庭用コンセントに差し込む



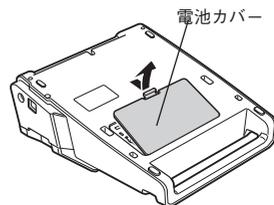
!! 注意 !!

- 使い終わったらすぐに AC アダプタをコンセントから抜き、本機からも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故も防げます。
- AC アダプタのコードは強く引っ張ったり、繰り返し折り曲げたりすると、断線することがあります。
- プラグのショートなどにより、安全機能がはたらき AC アダプタの回路が遮断されることがあります。
- AC アダプタは保証対象外です。

2. 電池 (別売) を入れて使用するときは

本機にアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池 (単 3 形×6 本: 別売) をセットします。外出先などで AC アダプタを使えないとき、この電池を電源にして印刷することもできます。

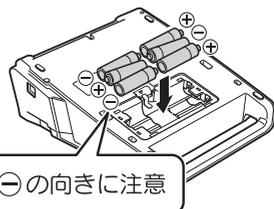
- 1 電池カバーをはずす
レバーを手前に引きながら電池カバーを持ち上げてはずします。



!! 注意 !!

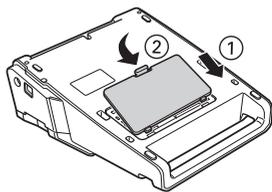
必ず、電源を切ってからおこなってください。

- 2 電池を入れる
電池の向きに注意して、アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池 (単 3 形×6 本) を入れます。



3 電池カバーをはめる

電池カバーの上の爪を本機のミソに合わせ、しっかりカバーをはめます。



!! 注意 !!

- 本機には単3形アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池をお使いください。その他の乾電池は使用できません。
- 電池でも印刷できるだけの電源容量がありますが、電池での印刷は大変不経済です。できるだけACアダプタをお使いください。
- ACアダプタは、必ず専用のACアダプタ（AS1527J）をお使いください。
- ニッケル水素電池を使用するときは、環境設定で電池種類を「ニッケル水素電池」に変更してください。設定変更をしないと、電池の寿命が短くなったり、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないことがあります。ただし設定を変更しても、電池の状態や使用条件によっては、消耗を知らせるメッセージが表示されないことがありますのでご了承ください。
参照 P.201「電池種類を設定する」
- 本機に充電機能はありません。ニッケル水素電池を使用する際には、必ず専用の充電器を使って、充電してください。

充電式ニッケル水素電池について

ニッケル水素電池は専用の充電器を使って充電すると、使用できるようになります。ニッケル水素電池をお使いの際には、以下のことをお守りください。

- (+) (-) 極に汚れがあると、正常に充電できない場合があります。(+) (-) 極と充電器の端子を乾いた柔らかい布でていねいにふいてください。
- お買い上げ時や、長期間使用していなかったニッケル水素電池は、十分に充電されない場合があります。これは電池の特性によるもので異常ではありません。充電を数回繰り返すことで正常に戻ります。
- 電池容量を使い切ってから充電することをおすすめします。電池容量を使い切らずに充電を繰り返すと、電池容量が持続しにくくなる場合があります（メモリー効果といいます）。
- メモリー効果が発生したときは、印刷できない状態まで使い切ってから満充電を数回繰り返してください。電池容量が回復します。
- ニッケル水素電池は使用しないときでも自然放電により電池容量が低下することがあります。
- お使いの充電器および電池の取扱説明書に従って正しく使用してください。
- ニッケル水素電池には寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれて電池の容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は寿命と思われしますので新しい電池をお買い求めください。
- 寿命は保管方法や使用状況、環境によって異なります。
- 不要になったニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで最寄の充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

<http://www.jbrc.net/hp>

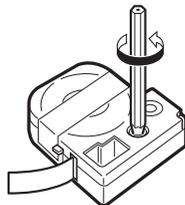
MEMO

- 電池での印刷の場合、AC アダプタ使用時より印刷速度が遅くなります。
- 電池を使用する場合、AC アダプタ使用時よりも、印刷を押してから印刷が始まるまでの時間が長くなることがあります。
- 広い幅のテープに大きな文字を印刷する場合、一時的に大量の電力が消費されるため、新品の電池でも「電圧が低下しています。新しい電池を正しくセットしてください!」と表示されることがありますが、故障ではありません。
- 電池が消耗すると、印刷スピードが遅くなります。さらに使い続けるとディスプレイに「電圧が低下しています。新しい電池を正しくセットしてください!」と表示されます。直ちにすべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）に交換するか、ACアダプタ（AS1527J）をお使いください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。
- 新品のアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）では、常温で18mm幅のテープカートリッジ（8m）を1本は印刷できます。ただし、温度の低いところで使用したり、広い幅のテープに大きな文字を印刷したりすると、電池が早く消耗します。印刷時は、ACアダプタ（AS1527J）を利用することをおすすめします。
- ご使用後は必ず電源を切ってください。
- ディスプレイのバックライトをOFFにすると電池を節約できます。
参照  P.200 「バックライトの切替」
- 長期間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため電池を取り出して保存してください。
- 寿命となったアルカリ乾電池を捨てるときは、定められた条例に従ってください。

3. テープカートリッジをセットする

1 インクリボンのたるみを取る

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いて、たるみをとってください。

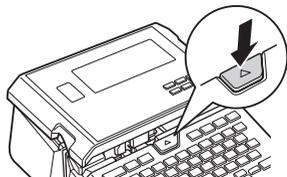


2 上カバーボタンを押す

上カバーボタンを押すと、上カバーが少し開きます。

!! 注意 !!

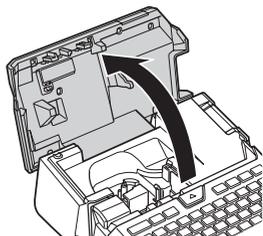
必ず、電源を切ってからおこなってください。



3 上カバーを開ける

!! 注意 !!

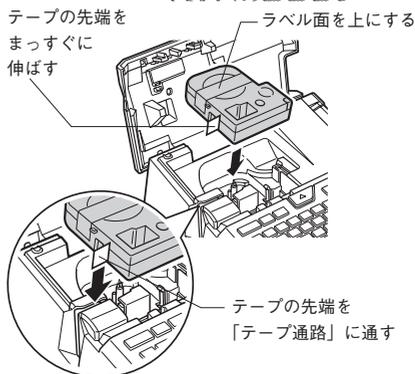
- 上カバーはストッパーで止まります。無理に開けないでください。
- 上カバーを持って、本機を持ち上げないでください。



4 テープカートリッジをセットする

セットするテープカートリッジを、ラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。正しくセットすると、本機のフックにテープカートリッジが固定されます。

テープの先端が長めに出ているときや新品のテープカートリッジをセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミソに通します。



5 上カバーを閉じる

上カバーを指で軽く押しつけて閉じます。

!! 注意 !!

テープカートリッジをしっかりと押し込まずに上カバーを閉じると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。



MEMO

テープカートリッジの取り出しかた

美しい印刷を安定しておこなうために、テープカートリッジは本機にしっかりと保持されていますが、上カバーを開けると同時にテープカートリッジの保持が解除され、取り出しやすい状態になります。取り出すときは、カートリッジ側面の「指かけ」部に指をかけ、まっすぐ上に持ち上げて取り出します。



!! 注意 !!

- 本機では、4mm、6mm、9mm、12mm、18mm、24mm、36mm の 7 種類の幅のテープカートリッジ、カットラベルのテープカートリッジを使用することができます。ただし、テープ幅によって印刷できる行数は異なります。

参照  P.57 「テープ幅と印刷できる行数」

- テープカートリッジは、直射日光・高温・多湿・ホコリを避け、冷暗所に保管してください。
- テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。
- テープカートリッジは奥までしっかりセットしてください。

4. 電源を入れる

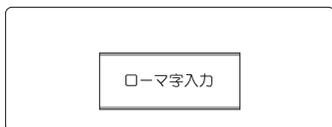
電源を入れる前にもう一度確認してください。

- ACアダプタは、本機とコンセントに正しく接続されていますか？
- 電池は正しくセットされていますか？（電池で使用する場合）

①  を押す



電源が入るとタイトル画面が表示されます。



※設定されている入力状態が約0.5秒間表示されます。



※行頭マーク (1) とカーソル (I) が表示されます。

すでに文章が入力されているときは、タイトル画面のあとに文章が表示され、指定されている機能のインジケータが点灯します。

参照 P.24 「ディスプレイ (画面) の見かた」



カットラベルのテープカートリッジがセットされている場合は、「カットラベルフォーム」メニューが表示されます。
参照 P.151 「カットラベルに印刷する」



USBケーブルでパソコンと接続している場合は、表示および操作手順が異なります。

参照 P.210 「パソコンに接続して使う」

MEMO

オート・パワーオフ

電源が入ったまま約5分間何も操作しないと、電池の消耗を防ぐため、オート・パワーオフ機能により自動的に電源が切れます（電源が切れても入力した文章はなくなりません）。**[ON/OFF]**をもう一度押すと、オート・パワーオフ直前の状態に戻ります。

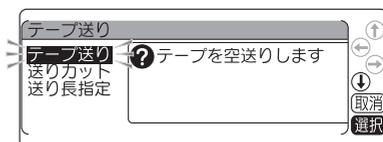
外字データや創作地紋データの作成・修正をしているとき、テープが終了して印刷再開が可能な状態、またはACアダプタを使ったパソコンリンクの状態では、オート・パワーオフ機能は動きません。

電源を切ると、オート・パワーオフよりさらに電池を節約できます。使わないときはこまめに電源を切るようにしましょう。

5. テープ送りをする

テープカートリッジをセットした直後は、テープのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をしてください。

- ① **[シフト]**を押しながら**[印刷]**（＝テープ送り）を押す
「テープ送り」メニューが表示されます。



- ② **[↑]** **[↓]**で「テープ送り」または「送りカット」を選ぶ

- ③ **[選択実行]**を押す
「テープ送り」の場合はテープが約19mm空送りされます。
「送りカット」の場合は、空送りされたあと、テープが自動的にカットされます。

!! 注意 !!

「テープ送り」または「送りカット」をおこなうと、テープやインクリボンのたるみが取れます。テープカートリッジをセットしたあとは、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。

MEMO

- 「送り長指定」を使うと、指定した長さ分だけテープ送りすることができます。
参照 [P.186](#) 「指定した長さでテープ送りをする（送り長指定）」
- カットラベルがセットされている場合は、フォーム入力画面で「テープ送り」または「送りカット」をおこないます。
- パソコンリンク状態でも、本体を操作してテープ送りを実施することができます。

つづいて

ラベルを作る準備が整いました。それでは、実際にラベルを作ってみましょう。
参照 [P.34](#) 「文字を入力する」

使いかた編 1

～簡単なラベルを作ろう～

最初に簡単なラベルを作ってみましょう。
文字入力、印刷など「テプラ」の基本操作を確認してください。

●文字を入力する

文字入力をはじめる前に

本機は、日本語入力システム「ATOK」を採用しており、文字変換のときに予測入力力がはたらきます。予測入力は、予測候補を次々に表示して、スムーズな入力を支援します。また、連文節変換により、高度な変換精度を実現しています。

■ATOK 予測入力画面の見かた

本機は、何文字かを入力した時点で、入力しようとする単語を予測し画面上に候補として表示します。予測候補が表示されている状態で   を押すと、候補を選択する予測入力画面になります。予測入力画面の見かたと使用できるボタンは以下の通りです。



①入力文字

入力した仮確定文字には点線が表示されます。

 を押すと、選択している入力候補で確定します。

②予測入力候補一覧

予測される入力候補を表示します。ネガ表示の候補は、現在選択されている候補です。

③予測候補番号/予測候補数

選択されている予測候補の順番と予測候補の総数です。

ATOK 予測入力画面で使用するボタン

ボタン名	機能
 	予測入力候補の選択、および次の予測入力候補の選択
 	次の予測入力候補の選択
 +   + 	最初の入力候補の選択
 +   + 	最後の入力候補の選択
	入力候補の確定
	変換画面への移行 参照  P.35 「ATOK 変換画面の見かた」
	ひらがな、カタカナ、英字（「ローマ字入力」の場合のみ）への変換
	予測入力画面を終了し、テキスト画面に戻る テキスト画面では文字を削除する
文字ボタン	予測入力画面を終了し、テキスト画面で文字を入力する

  は、予測入力画面になる前のテキスト画面では、カーソルの移動動作になります。

 +  となっている表記は、 を押しながらそのボタンを押す操作です。

■ ATOK 変換画面の見かた

本機は、文字を入力した状態で[変換スペース]を押すと、変換候補を選択する変換画面になります。変換画面の見かたと使用できるボタンは以下の通りです。



①仮確定文字

確定前の全文字です。[変換スペース]を押す前は点線が表示されています。

②変換対象

仮確定文字中、ネガ表示されている部分が現在の変換対象です。[↓]を押すと確定します。

③変換候補一覧

変換対象の変換候補を表示します。ネガ表示の候補は、現在選択されている候補です。

④変換候補番号/変換候補数

選択されている変換候補の順番と仮確定文字の変換候補数です。

文字の変換中に使用するボタン

ボタン名	機能
[変換スペース]	変換候補の表示、および次の変換候補の選択
[↑]	前の変換候補の選択
[シフト] + [↑]	変換候補番号 001 の候補の選択
[↓]	変換対象を確定し、次の文節を変換対象とする
[←]	変換対象の文節長さを短くする
[→]	変換対象の文節長さを長くする
[シフト] + [←]	左の文節を変換対象とする（確定されていない場合のみ）
[シフト] + [→]	右の文節を変換対象とする
[あ・ア]、 [シフト] + [あ・ア]	ひらがな、カタカナ、英字（「ローマ字入力」の場合のみ）への変換
[選択改行]	仮確定文字を表示されている状態で確定し、テキスト画面へ戻る
[削除改行]	確定されていない文節を「読み」にし、テキスト画面へ戻る
[復活]	直前に確定した文節を「読み」に戻す
文字ボタン	仮確定文字を表示されている状態で確定し、テキスト画面に文字を入力する

[シフト] + [] となっている表記は、[シフト]を押しながらそのボタンを押す操作です。

MEMO

- 変換候補には、漢字など通常の日本語の他に、カタカナ語を正しいスペルに変換する「カタカナ語英語」や「記号」「絵文字」も含まれます。
- 本機には、変換で簡単に呼び出せるように、業務向け用途で活用できる補助辞書の語彙があらかじめ登録されています。登録されている補助辞書は以下の通りです。

< 搭載辞書一覧 >

首都圏ランドマーク辞書、京阪神ランドマーク辞書、小学校用語辞書、出産育児用語辞書、健康・ダイエット辞書、家庭の看護・介護辞書、貿易用語辞書、営業・マーケティング用語辞書、経理・財務用語辞書、企業法務用語辞書、株式取引用語辞書、不動産取引用語辞書、品質管理用語辞書、電子部品用語辞書、プリント配線板用語辞書、液晶・ディスプレイ用語辞書、半導体用語辞書、自動車用語辞書、和英辞書（初級編）、和英辞書（中級編）

入力状態の切り換え

文字入力をする前に、入力状態を確認してください。

■ 入力状態の切り換え

入力状態 を押すたびに「ローマ字入力」→「かなめぐり入力」→「ABC 入力」の順で文字入力状態が切り換わります。

入力状態はインジケータで確認できます。

参照 [P.24](#) 「ディスプレイの見かたとはたらき」

■ 文字入力のしかた

ローマ字入力

文字ボタンの **A**、**B**、**C** でローマ字読みを入力します。

参照 [P.254](#) 「ローマ字変換表」

かなめぐり入力

文字ボタンの **Q**、**W**、**E** でかなを入力します。

1 つの文字ボタンには、複数の文字が割り当てられています。文字ボタンを繰り返し押して、目的の文字を表示させます。

例：

押す回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	……
文字ボタン								
た	た	ち	つ	て	と	っ	た	……

- 目的の文字を通り過ぎたときは **シフト** を押しながら文字ボタンを押すことで前の文字に戻すことができます（リバース機能）。
- 「た」と「て」など、同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力する場合は、1文字目を入力したあとに、**→** または **選択** を押してカーソルを移動します。

ABC 入力

文字ボタンを押す、または **シフト** を押しながら文字ボタンを押すことで直接入力します。

参照 [P.42](#) 「英字を入力する」

MEMO

各文字ボタンに割り当てられている文字は、入力文字一覧表を参照してください。

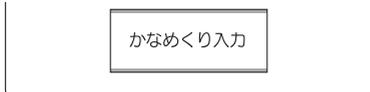
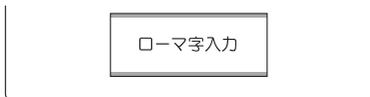
参照 [P.230](#) 「入力文字一覧表」

文字を入力する

ひらがなは文字ボタンで入力し、漢字やカタカナは、「読み」をひらがなで入力してから変換します。

■入力例：セット

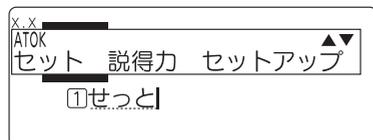
- 1 を数回押して「ローマ字入力」または「かなめくり入力」を選ぶ



- 2 「せっと」を入力する

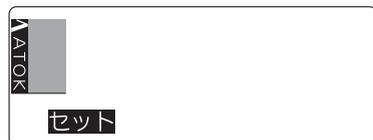
ローマ字入力：、、、、

かなめくり入力： × 4 回、 × 6 回、
 (または) × 1 回
(=カーソル移動)、
 × 5 回、
 (または) × 1 回
(=カーソル移動)



仮確定文字で入力されます。

- 3 を押す



変換対象の1番目の候補が表示されます。さらに を押すと、変換候補一覧が表示され、次の候補が選択されます。

- 4 「セット」になっている状態で を押す



「セット」が確定します。
行頭マークが から に変わります。

MEMO

- で確定した直後なら、 で変換前の状態に戻すことができます。
- 文字を間違えたときは、 で文字を消して、正しい文字を入力しなおしてください。
- 一度選択した語句は、次回から優先して表示されます（学習機能）。
- 「読み」を入力した直後に を押すと、ひらがなのまま確定します。
- 「かなめくり入力」のとき、「っ」「と」のように、同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは または を押してから、次の文字を入力してください。
- 入力した直後に を押すと、「ローマ字入力」時は押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に、「かなめくり入力」時は「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。また、 を押しながら を押すと、「ローマ字入力」時は「英字→ひらがな→カタカナ」の順に、「かなめくり入力」時は「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。変換後は、 を押して確定します。
- 2 文節目以降の語句を変換しなおす操作や変換対象の文節の長さを変える操作については、下記ページを参照してください。
参照 「長い文章を変換する」
参照 「変換する「読み」の長さを変える」
- ローマ字入力のスベルは、ローマ字変換表を参考にしてください。
参照 「ローマ字変換表」
- 一度に入力できる「読み」は 30 文字までです。ただし、ディスプレイに表示されるのは、末尾 14 文字だけとなります。また、長い「読み」を入力するとうまく変換できないことがあります。
- 数字ボタンに表記された記号「!」「¥」などは、 を押しながら該当する文字ボタンを押して入力します。
- 2 行目を作成するときは、 を押して改行します。
参照 「行を増やす（改行）」

濁音や拗音の入力について

濁音や拗音は、入力方法によって異なります。

	濁音 (「ざ」「ば」) 半濁音 (「ば」「べ」)	拗音 (「ゃ」「ゅ」「ょ」) 促音 (「っ」)
ローマ字入力	濁音、半濁音用のスペルで入力します。 参照 P.254 「ローマ字変換表」	次のいずれかの方法で入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 「きゃ」(、、) などのように前の文字と組み合わせたスペルで入力する。 参照 P.254 「ローマ字変換表」 促音「っ」は、直後の文字の子音を2つ重ねる。 例： 、、、、 …「さっか」 または を押してから通常の文字ボタンを押す。 例： 、、 …「っ」 、 …「っ」
かなめぐり入力	清音のあとに、「」や「」を入力します。 () 直前の文字が、濁音・半濁音の両がつく文字の場合 (は行) には、濁音・半濁音が入力できます。 直前の文字が、濁音のみがつく文字の場合 (か行、さ行、た行) には、濁音のみ入力できます。	該当する文字ボタンを数回押します。 例： た × 6回 …「っ」 や × 4回 …「ゃ」

■ 予測入力を使う（入力例：大きな）

1 **入力切替** を数回押して「ローマ字入力」または「かなめくり入力」を選ぶ

2 「おお」を入力する

ローマ字入力: **o**、**o**

かなめくり入力: **o** あ × 5 回、

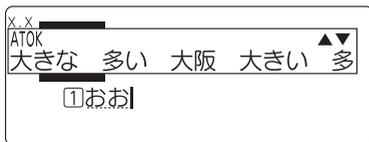
→ (または **選択実行**) × 1 回

(=カーソル移動)、

o あ × 5 回、

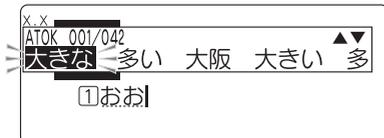
→ (または **選択実行**) ×

1 回 (=カーソル移動)



仮確定文字で入力され、予測入力の候補が上半分に表示されます。

3 **↑** **↓** を押す



予測入力画面になり、1 番目の候補が選択されます。

さらに **↑** **↓** を押すと次の候補を選択します。

4 「大きな」が選択されている状態で **選択実行** を押す



「大きな」が確定します。

MEMO

- 一度選択した予測入力候補は、次回から優先して表示されます（学習機能）。予測入力の学習内容は「学習初期化」で初期化できます。
参照 [P.200](#) 「学習内容を初期化する」
- 予測候補のないテキストの場合は候補が表示されません。

長い文章を変換する

入力した文章が長く、ATOK 変換画面で表示されている仮確定文字の状態では正しくない場合は、を押して文節ごとに変換します。

例：「あすははれますか」を「明日は晴れますか」に変換する

1 「あすははれますか」を入力して  を押す

ATOK 変換画面になります。

2 1 文節目が正しく変換されている状態で  を押す



1 文節目が確定し、次に 2 文節目が変換対象になります。

3  を押す



2 文節目の変換候補が表示されます。

4 正しく変換されている状態で  を押す

2 文節目が確定します。
さらに長い文章の場合も、同様の操作を繰り返すことにより、文節ごとに変換することができます。

変換する「読み」の長さを変える

変換する「読み」の長さが違い、目的の漢字に変換できない場合は   を押して変換対象となる「読み」の長さを変えます。

例：「きのうえをかった」を「昨日絵を買った」に変換する

1 「きのうえをかった」を入力して  を押す

ATOK 変換画面になります。

2 変換する変換対象の長さが適当でないときは   を押す



変換対象（ネガ表示部分）は  で短く  で長くなります。

  を押して「きのう」を文節にする



3  を押す



長さを変えた 1 文節目の変換候補が表示されます。

正しく変換されたら  で確定し、2 文節目以降を変換します。

MEMO

- ATOK 変換画面で文字ボタンを押すと、仮確定文字は表示されている状態で確定し、続けて次の文字が入力されます。
- 一度に入力できる「読み」は 30 文字までです。ただし、ディスプレイに表示されるのは、末尾 14 文字だけとなります。また、長い「読み」を入力するとうまく変換できないことがあります。
-  で確定した直後なら、 で変換前の状態に戻すことができます。

英字を入力する

英字は、「ローマ字入力」または「ABC入力」で、文字ボタンを押して入力します。小文字の入力には **シフト** を使います。

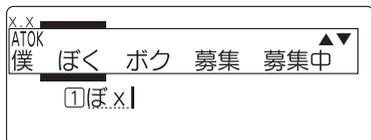
例：Box

■ ローマ字入力の場合

綴りを入力してから変換します。

1 「Box」を入力する

入力： **B**、**シフト** + **O**、**シフト** + **X**



「ぼく」と表示されます。

2 **変換スペース** を押す



ATOK 変換画面になります。

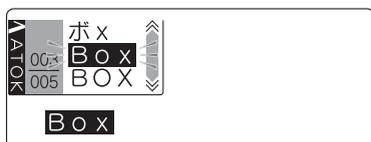
3 変換する文節の長さが適当でないときは **→** を押す



「ぼく」が変換対象（ネガ表示）になります。

4 **変換スペース** を押して「Box」を選択する

5 **↓** を押す



「Box」が確定します。

■ ABC入力の場合

英字を入力するときに「ABC入力」にすると、文字ボタンを押して、直接英字を入力できます。

1 **入力** を数回押して「ABC入力」を選ぶ

2 「Box」を入力する

入力： **B**、**シフト** + **O**、**シフト** + **X**

(小文字ロックをしている場合)

入力： **シフト** + **B**、**O**、**X**)



「Box」が表示されます。

MEMO

小文字ロック

「ABC入力」時に、**シフト** を押しながら **入力** を押すと、小文字入力状態に切り換わり、**シフト** を押ししていないときに小文字入力カインジケータが点灯します。もとに戻す場合には、もう一度 **シフト** を押しながら **入力** を押します。

!! 注意 !!

半角英数字はQRコード作成時のみ入力できます。

参照 P.177 「QRコードを印刷する」

MEMO

- 文字ボタンに表記された英字を直接入力する場合は「ローマ字入力」または「ABC入力」にしてください。「かなめくり入力」では入力できません。
- 「ローマ字入力」で文字を入力した直後に「あアA」を押すと、押すたびに、「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。また、「シフト」を押しながら「あアA」を押すと「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変換します。
- 文字を間違えたときは、「削除」で文字を消して、正しい文字を入力しなおしてください。
- 英語の「カタカナ読み」を入力して「変換スペース」を押しても英字にできません（カタカナ語英語変換）。例えば、「ローマ字入力」または「かなめくり入力」で「ぼっくす」と入力して「変換スペース」を押すと、正しいスペルの「box」が変換候補に表示されます。
- 変換対象の文節の長さを変える操作については、下記ページを参照してください。
参照 P.41 「変換する「読み」の長さを変える」

スペースを入力する

スペースを入力すると、テキスト画面上に「□」（半角スペース）が表示され、印刷すると約半文字分の空白になります。

1 仮確定文字、点滅文字がないことを確認する

2 「変換スペース」を押す



半角スペースが入力されます。

MEMO

- 仮確定文字、点滅文字があるときに「変換スペース」を押すと、ATOK変換画面になります。
- スペースには、半角スペース（□）のほかに、1文字分の全角スペース（□）があり、記号メニューで入力します。
参照 P.44 「記号（絵文字）を入力する」
- 「ローマ字入力」「かなめくり入力」「ABC入力」のいずれでも半角スペースが入力できます。

イラストを入力する

「記号」メニューから「イラスト」を選ぶと、3文字分の大きな絵文字を入力することができます。改段落で他の文章を組み合わせたり、つなげて使用することで、表現できるラベルの幅が広がります。



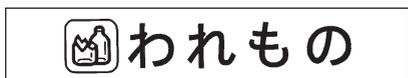
MEMO

- イラストは、絵文字3文字分の大きな絵文字です。イラスト内に文字カーソルを移動すると点線表示の状態で移動できますが、イラストは1つのブロックになっており、削除する場合、イラスト全体が削除されます。
コピーする場合も、イラスト全体をコピーします。
- 合成はできません。
- イラストをつなげて使用する場合は、該当箇所の文字間を「密着」に指定してください。
参照 P.80 「文字間」

丸つき文字などを入力する（合成）

文字や記号を、○や□などの「合成記号」と合成してオリジナルの文字を作ることができます。「合成記号」には○×□□があります。文字や記号のほか、2桁数字、外字なども合成することができます。

例：



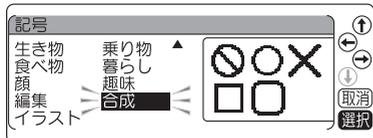
- 1 合成文字を入力する位置にカーソルを合わせる



- 2 記号を押す

「記号」メニューが表示されます。

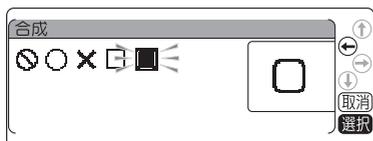
- 3 「合成」を選び、選択改行を押す



「合成記号」が表示されます。

- 4 記号を選び、選択改行を押す

例の場合は、「□」を選び、選択改行を押します。

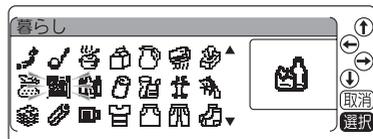


合成マークと入力エリアが表示されます。



- 5 カーソルが合成マークの右にあることを確認し、合成する文字や記号を入力する

例の場合は、記号を押して「暮らし」メニューから「われもの」を選び、選択改行を押します。



入力エリアに合成する文字や記号が表示されます。



MEMO

- 操作を途中でやめるときはホームを押してテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字、点滅文字があるときは、記号で合成文字を入力することはできません。
- 文字によっては、「合成記号」から文字や記号などがはみ出すことがあります。
- 文字サイズによっては、「合成記号」○×□□の一部が欠けることがあります。
- 合成文字を2文字以上続けて入力することはできません。続けて「合成記号」を入力すると、最初の合成文字の内容が置き換わってしまいます。続けて入力せずに、間にスペースなどを入れて入力し、そのあとにスペースを削除してください。
- イラストおよび連番、バーコードは合成できません。
- 記号メニューの「数字」内には、1～20の丸つき数字があります。

印刷イメージを確認する（プレビュー）

文字の入力が終わったら印刷します。印刷前に、印刷するイメージをディスプレイに表示して、できあがりを確認できます。印刷の失敗を防いで、テープを無駄なく使えます。

1 テープカートリッジを正しくセットしているか確認する

実際に印刷するテープカートリッジを正しくセットしてください。テープ幅が異なっていると、印刷イメージを正しく表示できません。

2 **シフト**を押しながら**特殊印刷**（=プレビュー）を押す

印刷イメージが流れるように表示されます。

イメージの表示中に **あ・ア・A** **変換スペース**

← **↑** **↓** **→** のいずれかのボタンを押すと、押している間だけ表示が止まり、内容をゆっくり確認できます。ボタンを離すとふたたび動き出します。プレビューが終わるとテキスト画面に戻ります。

お得なセット！
初回限定版Box

MEMO

プレビューを途中でやめるときは **削除取消** または **選択改行** を押してください。

!! 注意 !!

- プレビューが表示されるのは、テキスト画面・フォーム入力時です。
- テープカートリッジをセットしていない、または正しい位置にセットしていないと、「テープがありません！」と表示されプレビューは表示されません。
- 本機では、16m以上のラベルは印刷できません。印刷結果が16mを超える文章を入力した場合、プレビューは表示されず、ディスプレイに「入力した文章が長すぎます」のメッセージが表示されます。この場合は、いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻ってから、文字数を減らすか文字サイズの調整などをおこなってください。
- 行数が多く、セットしたテープに印刷できないときは「行数オーバー！」が表示され、プレビューは表示されません。
- QRコードが大きい場合、「QRコードが大きすぎます！」が表示され、プレビューは表示されません。参照  P.177 「QRコードを印刷する」
- プレビューは印刷の目安です。実際の印刷結果と完全には一致しないことがあります。

印刷する

印刷する前に、テープカートリッジを正しくセットしているか、ACアダプタ（AS1527J）を正しく接続しているかを確認してください。

- 1 **印刷** を押す
「準備中」と表示されたあと、できあがるラベルの長さ、印刷枚数が表示され、印刷が始まります。



印刷が終わるとテープは自動的にカットされます。印刷を途中でやめるときは **印刷停止** を押してください。

MEMO

- テープが終了するなど印刷が中断されたときは、印刷再開メニューが表示されます。
参照 P.181 「印刷中にテープが終了したら（印刷再開機能）」
- 転写テープがセットされているときは、転写印刷を選択する画面が表示されます。
参照 P.168 「転写テープを印刷する」
- 印刷中に **印刷停止** を押すと印刷を中止し、テープをカットしたあとに電源が切れます。
- 同じラベルの印刷を繰り返すと、ディスプレイに印刷枚数が表示されます。
- 印刷枚数表示は、印刷内容（文字や書式など）を変えたり電源を切ると、自動的に「1枚」に戻ります。また、印刷枚数99枚の次は「100枚」その次は「1枚」と表示されます。
- 地紋印刷時、または余白が以下の条件のときにハーフカットが無効になっていると、印刷前にテープが約19mmカットされます。
 - 余白が「極少」、「少なめ」の場合（全テープ幅）
 - 余白が「自動少なめ」の場合（36mm幅テープ以外）
 - 余白が「自動多め」の場合（4mm、6mm幅テープ）
- ハーフカットをするときやテープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。
- 幅の狭いテープや短いラベルを排出するときに、カットされたラベルが飛び出す場合があります。
- 特殊印刷（連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷、りぼん連続印刷）をおこなう場合は、**特殊印刷** で印刷します。
参照 P.179 「特殊な印刷」

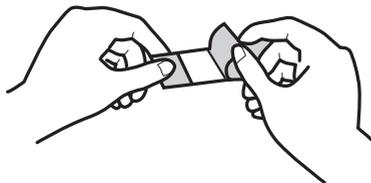
!! 注意 !!

- 耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・蓄光ラベル・りぼんは「自動カット」を無効で印刷し、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm（りぼんの場合は10mm）程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
参照 ☞ P.193 「印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する」
参照 ☞ P.209 「テープカートリッジを使いわせる」
- 耐熱ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・熱収縮チューブ・ロングテープ・上質紙ラベル・蓄光ラベル・りぼんを使う場合は、ハーフカットを無効にしてください。
参照 ☞ P.193 「印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する」
参照 ☞ P.209 「テープカートリッジを使いわせる」
- 転写テープ、カットラベルは自動でハーフカットが無効になります。
- ラベルの内容が複雑な場合、印刷を開始するまでの処理時間が長いことがあります。
- テープ取出し口には指を入れないでください。
- 印刷が終わるまで絶対にテープを引っ張らないでください。
- 仮確定文字、点滅文字は印刷されません。
- テープが終了したままでは印刷できません。新しいテープに交換したあとで、印刷再開メニューから印刷を再開してください。
参照 ☞ P.181 「印刷中にテープが終了したら（印刷再開機能）」
- 印刷中には上カバーを開けないでください。印刷中に上カバーを開けると印刷が中断し、カバーを閉じたあとに印刷再開メニューが表示されます。
参照 ☞ P.181 「印刷中にテープが終了したら（印刷再開機能）」
- テープ取出し口付近に印刷したラベルがたまらないように注意してください。
- テープカートリッジをセットしていないとき、または正しい位置にセットしていないときには、「テープがありません！」が表示されます。
- 行数が多く、セットされたテープに印刷できないときは「行数オーバー！」と表示され、印刷できません。行数を減らすか、より広い幅のテープをセットしてください。
- QRコードが大きい場合、「QRコードが大きすぎます！」が表示され、印刷できません。
参照 ☞ P.177 「QRコードを印刷する」
- 印刷時に表示されるラベルの長さは目安です。誤差が生じることがあります。
- 16mを超える印刷はできません。

ラベルを貼る

印刷されたラベルの裏紙をはがして貼ります。

① 裏紙をはがす



ハーフカットを有効にしておけば、ラベル部分のみをカットするので、裏紙をはがしやすくなります。

参照 P.193 「印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する」

② しっかりとこすって貼り付ける



MEMO

印刷したラベルのカドを丸くすることができます。参照 P.61 「カドを丸く仕上げる」

!! 注意 !!

- ラベルの種類によっては、裏紙がはがれにくいものがあります。
- ラベルにシンナーなどの溶剤をかけたり、とがったもので激しくこすると、ラベルが破れたり、はがれたり、文字がカスレたりすることがあります。
- 白インクラベルの文字の部分を金属でこすると文字が黒くなりますが、消しゴムなどで軽くこするとともに戻ります。
- 凹凸のあるところに貼ると、はがれやすくなります。
- ぬれていたたり、油やホコリで汚れているところには、貼れなかったりはがれやすくなったりすることがあります。
- ペンなどで書き込まれた上にラベルを貼ると、ペンのインクがラベルに浸透し、表示がそこなわれることがあります。
- 雨、日光が直接あたる場所など、使用環境によってはラベルの劣化を早めるおそれがあります。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ちものなどにむやみにラベルを貼るのはやめましょう。
- 「テブラ」で得られるラベルについて

塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

●使い終わったら 〈電源を切る〉

1 を押す

電源が入っている状態で  を押すと、終了のメッセージが表示されたあと、電源が切れます。電源を切っても、入力した文章やファイル、外字などのデータは保存されています。再度電源を入れると、入力した文章が表示されます。



2 AC アダプタ (AS1527J) をはずす

AC アダプタをコンセントから抜き、本機からプラグを抜いてください。コードは巻いておいてください。

!! 注意 !!

- 電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、AC アダプタを抜かないでください。
- 長期間使わないときは、電池、AC アダプタ、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。本機、電池、AC アダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。電池を取りはずしても、入力した文章やファイル、外字などのデータは保存されています。長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れしたりすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。
- 電源は必ず  を押して切ってください。入力されているデータが正しく保持されない可能性があります。

つづいて

以上で基本的な操作は終了です。続いて「使いかた編2」で複数行、複数段落のラベルを作りましょう。また、「機能編」では、さらにいろいろな機能が利用できるようになるので、楽しいラベルが作れます。

使いかた編 2

～目的にあったラベルを作ろう～

複数行のラベルにしたり、文章を段落に分けるなど、文章を仕上げる機能を確認しましょう。

また、「カド丸仕上げ」にするなど用途に合わせたラベルを作りましょう。

●文章を作る

入力した文章に文字を挿入したり、入力した文章を消去するなどの変更ができます。

カーソルボタンの使いかた

画面に表示される縦線「|」をカーソルと呼びます。カーソルは文字を挿入・削除する位置を表します。



カーソルの移動にはカーソルボタン を使います。

本機のディスプレイには最大 15 文字×5 行（「印刷イメージ無」の場合）まで表示できます。これ以上の文字を入力すると、はじめに入力した行や文字は隠れて見えなくなりますが、カーソルを移動すれば確認できます。

カーソルボタン	カーソルの移動方向
	右方向に 1 文字移動します。押し続けると高速で移動します。
	左方向に 1 文字移動します。押し続けると高速で移動します。
	前（上）の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
	次（下）の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
+	行頭へ移動します。 繰り返すと、前の行の行頭、さらに前の行頭……と移動します。
+	行末へ移動します。 繰り返すと、次の行の行末、さらに次の行末……と移動します。
+	段落の先頭へ移動します。 繰り返すと、前の段落の先頭、さらに前の段落の先頭……と移動します。
+	段落の終わりへ移動します。 繰り返すと、次の段落の終わり、さらに次の段落の終わり……と移動します。

+ となっている表記は、 を押しながらそのボタンを押す操作です。

文章を入力する



文字はキーボードの文字ボタンで入力し、 を押して漢字などに変換します。

参照 P.34 「文字を入力する」

文字を削除 / 挿入する

文字の後ろ（右側）にカーソルを合わせ  を押すと文字が削除されます。

文字を挿入するときは、挿入したいところにカーソルを合わせます。

例：「定期点検実施中」の「定期」を削除し、「特別」を入れて「特別点検実施中」にする

1   で「期」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

1 定期点検実施中

2  を押して「定期」を削除する

1 定期点検実施中



1 点検実施中

カーソル位置は行頭になります。

3 「特別」を入力する

1 特別点検実施中

!! 注意 !!

挿入によって文字数が入力可能文字数（約500文字）をオーバーしたときは、文末にフルメモリーマーク（◀）が表示され、文末の文字からオーバーした分だけ自動的に削除されます。

MEMO

間違っ文字を削除した場合は、削除した直後なら  で復活できます。

削除した文字をもとに戻す（復活）

削除した文字や文章は、削除した直後なら  で復活できます。

例：「定期点検実施中」の「定期」を削除してから復活する

1 「定期点検実施中」を入力する

1 定期点検実施中

2   で「期」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

3  を2回押して「定期」を消す

1 定期点検実施中



1 点検実施中

4  を押す

削除した文字が復活します。

1 定期点検実施中

MEMO

- ・仮確定の状態では削除した文字は、復活できません。
- ・削除直後に     シフト  以外のボタンを押した場合は、次に  を押ししても復活できません。
- ・ で削除した文字を30文字まで記憶できます。
- ・全文消去も復活できます。
- ・文字の貼り付けをやめることもできます。

文字をコピーする

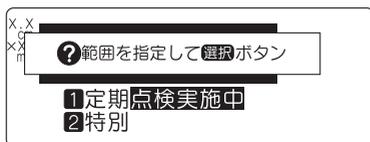
すでに入力した文字をコピーすることができます。

例：「定期点検実施中、特別点検実施中」で
2回目の「点検実施中」をコピーで挿入する

- 1 行目に「定期点検実施中」、
2 行目に「特別」を入力する
- 2 ← ↑ ↓ → で「点」の前（左側）にカーソルを合わせる

①定期点検実施中
②特別

- 3 コピーを押す
コピー範囲を指定する画面になります。
- 4 ← → で範囲を指定し、**選択移行**を押す



指定した範囲がネガ表示になり、**選択移行**を押すと一時的に記憶されます。このあとの貼り付け操作で文字を貼り付けます。

MEMO

- 一度にコピーできる文字は 30 文字までです。
- バーコードの数値入力時や、あて名の郵便番号、カスタムバーコード入力時には、コピーや貼り付けはできません。

文字を貼り付ける

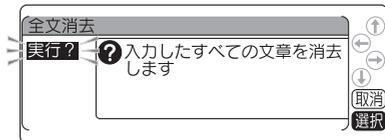
コピーした文字は、あらたにコピーするまで何度でも貼り付けることができます。

- 1 ← ↑ ↓ → で貼り付け先にカーソルを合わせる
②特別
- 2 シフトを押しながら コピー（＝貼付け）を押す
コピーされた文字が挿入されます。
②特別点検実施中

すべての文章を消去する

入力した文章は電源を切っても消去されません。
入力した文章をすべて消去したいときは「全文消去」をおこないます。

- 1 シフトを押しながら **削除選択**（＝全文消去）を押す
「全文消去」メニューが表示されます。



- 2 **選択移行**を押す
ディスプレイが一瞬消灯し、全文消去されます。消去後は、テキスト画面に戻ります。

①

!! 注意 !!

入力した文章には、編集機能の指定内容と一緒に含まれています。全文消去をおこなうと、これらの内容もすべて消去されます。消去してもよいかを充分に確認してから全文消去をおこなってください。

MEMO

- 削除した直後なら **復活** で復活できます。
- 全文消去では、以下の内容は消去されません。
ファイル・あて名・名前・辞書・外字データ、文字地紋データ、創作地紋データ、編集の保存値、漢字や記号などの学習内容、文字の入力状態
- すべてを購入時の設定に戻りたいときは、本機の初期化をおこなってください。
参照 P.202 「本機を初期化する」

●行を増やす（改行）

2行以上の文章を入力するときは「改行」をおこないます（を押します）。

テープ幅と印刷できる行数

本機では4mmから36mmまでの幅のテープおよびカットラベルを使うことができます。セットされたテープカートリッジ幅によって、印刷できる文章の行数に制限があります。

テープ幅	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm	36mm
印刷可能な行数	1行まで	2行まで	3行まで	5行まで	7行まで	10行まで	13行まで

カットラベルで印刷できる行数は、P.152「カットラベルフォームメニュー一覧」を参照してください。

MEMO

- 表示されている文章が何行目にあるかは行頭マークで確認できます。行頭マークには空白行頭マーク **1** **2** …… 、**1** **2** …… と、実質行頭マーク **1** **2** …… 、**1** **2** …… の2種類があります。空白行頭マークは文字が何も入力されていないことを表し、その行は印刷されません。
- はこれ以上行数を増やせないことを表示しています。 の表示があるときに を押しでも「行数オーバー！」が表示されます。不要な行を削除し、 の表示がなくなったことを確認してから印刷をおこなってください。
参照 「こんな表示が出たときは」

新しい行を作る

行の終わりで を押しと、新しい行に入力することができます（改行）。

例：3行の文章を入力する

営業1課
営業2課
営業3課

1 「営業1課」を入力し、 を押す

1 営業1課



2行目に「行頭マーク」が表示されます。

1 営業1課
2

2 「営業2課」を入力し、 を押す

1 営業1課
2 営業2課



3行目に「行頭マーク」が表示されます。3行目を入力します。

2 営業2課
3

MEMO

仮確定文字があるときは、 を押しでも改行できず、文字が確定します。点滅文字があるときは、文字が仮確定状態になります。

文字を次行に移動する

行の途中で改行すると、カーソルより後ろ（右側）の文字は次の行に移ります。

例：「営業 1 課田中慶介」を 2 行にする

営業 1 課田中慶介



途中で改行すると

営業 1 課
田中慶介

- 1 で「課」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

1 営業 1 課田中慶介

- 2 を押す
2 行目に行頭マークが表示され、「田中慶介」は 2 行目に移動します。

1 営業 1 課
2 田中慶介

MEMO

仮確定文字があるときは、 を押しても改行はできず、文字が確定します。点滅文字があるときは、文字が仮確定状態になります。

改行を取り消す

行頭マークにカーソルを合わせて を押すと、その行の文章は前の行に移動し、連結されます。

例：2 行目での改行を取り消す

株式会社 ○×商事
営業部
営業 1 課
田中慶介



途中の改行を取り消すと

株式会社 ○×商事
営業部 営業 1 課
田中慶介

- 1 3 行目の行頭マーク の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

2 営業部
3 営業 1 課
4 田中慶介

- 2 を押す
3 行目の「営業 1 課」が 2 行目に連結されます。
4 行目の「田中慶介」が 3 行目になります。

2 営業部 営業 1 課
3 田中慶介

MEMO

- 最終行の先頭にカーソルを合わせ、 を押すと 4 行目の文章が 3 行目に連結され、4 行目は自動的に削除されます。
- 第 1 段落の 1 行目の行頭マーク は削除できません。

●段落を増やす（改段落）

下のラベルは3つのブロックからできています。本機ではこのブロックを「段落」と呼んでいます。段落とはテープ幅に積み重ねて印刷される「行の集まり（または1行）」のことです。1つのラベルの中にいくつかの段落を設けることで、いろいろな行数を混在させたり、デザインを段落ごとに変えたりすることができます。

段落は1つのラベル（文章）の中に最大32段落まで作ることができます。

段落が3つのラベル



印刷すると各段落は横につながって印刷されますが、画面上では下記のように各段落が縦にならんだ形になります。

【画面上では】

- 段落1 1 ☎
- 段落2 1 内線
2 営業部
- 段落3 1 営業1課 131
2 営業2課 132
3 営業3課 133

新しい段落を作る

段落の終わりで **シフト** を押しながら **選択改行** (=改段落) を押しと、新しい段落ができます。

例：2段落の文章を入力する

☎ 内線	営業1課	131
営業部	営業2課	132
	営業3課	133

段落1 段落2

1 段落1を入力する

1行目に「☎内線」、2行目「営業部」と入力します。

☎ 内線
営業部

2 文末にカーソルを合わせ、**シフト** を押しながら **選択改行** (=改段落) を押す

新しい段落が発生し、その1行目の行頭マーク①が表示されます。

☎ 内線
① 営業部

3 段落2を入力する

1行目「営業1課 131」
2行目「営業2課 132」
3行目「営業3課 133」
と入力します。

改行のときは、行の終わりで **選択改行** を押しとてください。

② 営業2課	132
③ 営業3課	133

段落を分割する

段落の途中で改段落すると、カーソル位置より後ろ(右側)の文字は新しい段落に移ります。

例：新しい段落を増やす

☎ 内線	営業1課	131
営業部	営業2課	132
	営業3課	133

段落1 段落2

↓ 段落1の「☎」の後ろ
(右側)で改段落すると

☎ 内線	営業1課	131
営業部	営業2課	132
	営業3課	133

段落1 段落2 段落3

1 段落1の1行目「☎」の後ろ(右側)にカーソルを合わせる

☎ 内線
① 営業部

2 **シフト** を押しながら **選択改行** (=改段落) を押すと改段落され、カーソルより後ろ(右側)の文字は新しくできた段落に移ります。カーソルは新しい段落の1行目にあります。段落2はそのまま段落3に移ります。

☎ 内線
① 内線

MEMO

- 仮確定文字があるときは、**シフト** を押しながら **選択改行** を押しと改段落はできず、文字が確定します。点滅文字があるときは、文字が仮確定状態になります。
- 段落分割によって新しくできた段落の段落スタイルの内容は、もとの段落と同じです。
参照 ☞ P.82 「機能の説明(段落スタイル)」
- もとの段落スタイルの文字サイズに行数が指定されていると、段落分割によって各段落の行数が変わり、指定した行数と一致しくなくなります。このとき、文字サイズは「均等」で印刷されます。
参照 ☞ P.82 「文字サイズ」

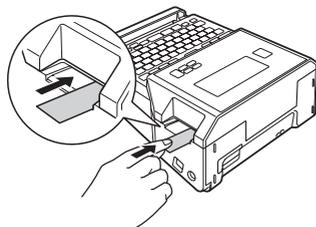
●カドを丸く仕上げる

ラベルをトリマー差込み口に挿入すると、ラベルのカドを丸く仕上げることができます。「カド丸仕上げ」にすると、見栄えがよいばかりでなく、ラベルがカドからはがれにくくなります。

9mm、12mm、18mm、24mm 幅テープのとき

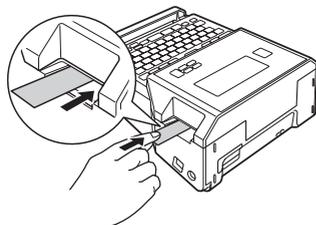
ラベルのカドを片側ずつ仕上げます。

- 1 ラベルの片側をトリマー差込み口の左右どちらかのガイドに沿わせ、つき当たるまで差し込む



- 2 数回カット音がしたら、ラベルを抜くカドが丸くカットされているか確認します。

- 3 ラベルの反対側をガイドに沿わせ、同様にカットする



36mm 幅テープのとき

左右のカドが同時にカットされます。

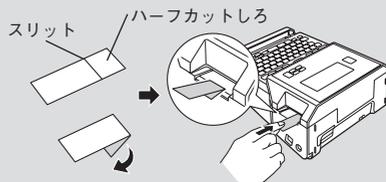
- 1 ラベルの左右をトリマー差込み口のガイドに沿わせ、つき当たるまで差し込む

- 2 数回カット音がしたら、ラベルを抜く

お得なセット！
初回限定版Box 

MEMO

- ハーフカットのスリットが入っているラベルは、スリット部分を折り曲げ、トリマー差込み口に差し込んでください。



- ご購入時、「トリマーカバー」に製造工程での切断検査の切りクズが残っていることがあります。

!! 注意 !!

- 印刷中および上カバーが開いているときはオートトリマーが作動しません。
- ラベルはトリマーガイドに沿わせてまっすぐ差し込んでください。
- ラベルはつき当たるまでしっかりと差し込んでください。
- オートトリマーにラベルを差し込んだままラベルを左右に動かさないでください。途中で引っかかり、うまくカドが丸くカットされることがあります。
- トリマー差込み口には、シャープペンシルやクリップなどラベル以外のものを入れてください。オートトリマーが故障する原因となります。
- 4mm 幅、6mm 幅ラベルには、オートトリマーを使用できません。別売のトリマー(RT36W)を使ってカットしてください。参照 [P.12](#) 「別売品のご案内」
- 耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・熱収縮チューブ・上質紙ラベル・マスキングテープ [mt] ラベル・蓄光ラベル・りぼん・カットラベルはカットできませんので、オートトリマーに差し込まないでください。参照 [P.209](#) 「テープカートリッジを使いわける」

オートトリマーのお手入れ

「トリマーカバー」にはオートトリマーの切りクズがたまります。ときどき「トリマーカバー」をはずして掃除してください。

- ① **ON/OFF** を押して電源を切る

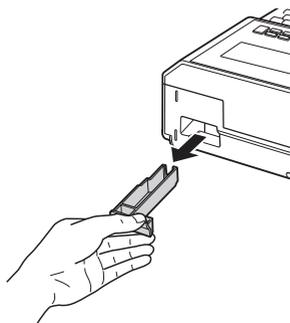


警告



「トリマーカバー」をはずすときは、必ず電源を切ってください。「トリマーカバー」をはずしたまま作動させると刃で指を切ったりするなど、大変危険です。また、オートトリマーを掃除するときにはオートトリマー内部に絶対、指を入れないでください。指を切るおそれがあります。

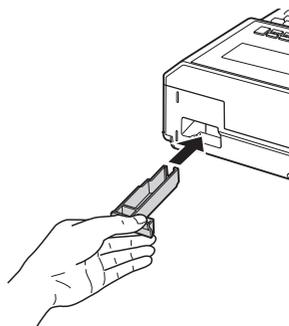
- ② 「トリマーカバー」をはずす
「トリマーカバー」の下側に指を入れ手前に引きます。



- ③ 切りクズを取り除く
「トリマーカバー」内にたまった切りクズを市販の綿棒などで取り除きます。



- ④ 「トリマーカバー」をはめる
「トリマーカバー」をもとのように取り付けます。



MEMO

オートトリマーは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。オートトリマーの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照 巻末「アフターサービスについて」

機能編

～「テプラ」の機能を使いこなそう～

「文章全体の向きを変えたい」

「ラベルを見栄えよくしたい」

「入力した文章を保存しておきたい」

こんなときは各機能のボタンでレイアウトの変更や各種指定をおこないます。

●ダイレクトキーで書体を変更する

書体を使う

書体を使うと、ラベル全体の書体を以下の順で切り換えられます。

ゴシック→丸ゴシック→明朝体→てがき→細字てがき→行書体→波ゴ体→太型ゴシック→太丸ゴシック→太型明朝体→太型行書体



1 目的の書体になるまで書体を押す

書体を押すたびに、選択された書体が表示され、選択肢が切り換わります。

シフトを押しながら書体を押すと、選択肢が逆順で切り換わります。



MEMO

- 仮確定文字、点滅文字があるときは、書体を変更できません。
- 「書体」は編集機能の「書体」でも指定できます。
参照 P.81 「書体」
- 段落ごとや文字ごとに「書体」を指定する場合や、かな専用書体、英数専用書体を指定する場合、編集機能の「書体」で指定します。
- 書体は文章全体の書体を変えます。「編集」機能で段落ごとや文字ごとに書体を指定している場合は、▶ (文字モード指定マーク) 前までの書体を変更します。また、漢字、かな、英数書体を別々の書体を指定していても、文章全体が同じ書体になります。

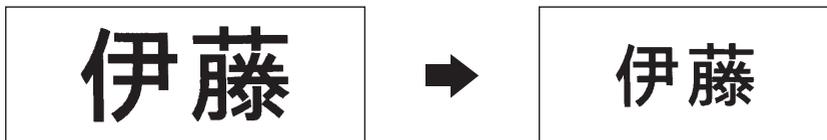
●ダイレクトキーで文字サイズを変更する

文字サイズを使う

文字サイズを使うと、カーソルのある段落の文字サイズを一段階ずつ切り換えられます。各行の文字サイズを「おまかせフォーマット」の組み合わせから選択できます。

均等

中



選択できる文字サイズは、ラベルの行数によって次のようになります（文字サイズを押したときに表示される画面イメージとは若干異なります）。

ラベルの行数	文字サイズ
1行	特大、大、中、小、細
2行	大大、中中、大小、小小
3行	均等、1大、2大、3大
4行	均等、1大、2大、3大、4大
5行	均等、1大、2大、3大、4大、5大
6行	均等、1大、6大
7-13行	均等

1 目的の設定になるまで文字サイズを押す

文字サイズを押すたびに選択肢が切り換わります。

カーソルがある行の文字サイズは、ディスプレイのインジケータで確認できます。

シフトを押しながら文字サイズを押すと、選択肢が逆順で切り換わります。



MEMO

- 仮確定文字、点滅文字があるときは、「文字サイズ」を変更できません。
- 「文字サイズ」は編集機能の「文字サイズ」でも指定できます。
参照 P.82 「文字サイズ」
- 「文字サイズ」は、カーソルのある段落に対する指定です。
- 初期設定値（均等）に戻すには、編集機能の「文字サイズ」で「均等」を指定します。
- 選択肢を切り換えたあとは、プレビューなどでイメージを確認することをおすすめします。

●ダイレクトキーで文章全体の向きを変更する(縦・横)

縦・横を使う

縦・横を使うと、文章全体の向きを「縦」または「横」で切り換えられます。

よこ書きラベル

千代田区**
石原 大輔



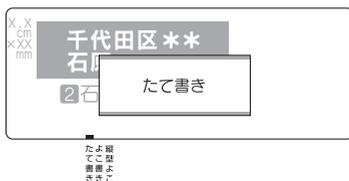
たて書きラベル

千代田区**
石原 大輔

1 縦・横を押す

「たて書き」と表示された場合は、たて書きになります。「よこ書き」と表示された場合は、よこ書きになります。たて書き・よこ書きは、ディスプレイのインシキーターで確認できます。

シフトを押しながら縦・横を押すと、選択肢が逆順で切り換わります。

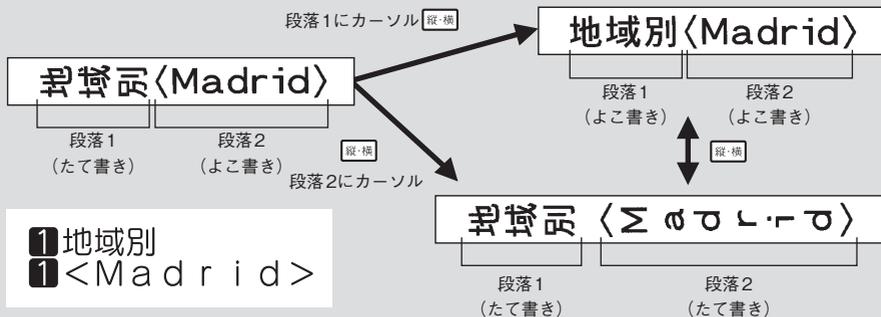


MEMO

- 仮確定文字、点滅文字があるときは、「たて書き」「よこ書き」は変更できません。
- 編集機能の「縦・横」では文章全体または段落単位で指定できます。
参照 P.69 「ラベルの見栄えをよくする(編集)」
- 編集機能の「縦・横」で「縦型よこ書」を指定している段落は、縦・横で変更できません。
参照 P.88 「縦・横」

!!注意!!

縦・横は文章全体の向きを変えます。「たて書き」と「よこ書き」の段落が混在している文章の場合は、カーソルのある段落に対する変更が文章全体に反映されます。



たて書きで2桁の数字を印刷する

「2桁数字」は2桁の数字を1文字として扱うものです。たて書きのラベルで日付や住所の番地などに「2桁数字」を使うと、きれいに揃えて印刷できます。

例：「14回大会記録」を入力する

14回大会記録

1 **縦横** を押し、「たて書き」を指定する



4 続けて文章を入力する



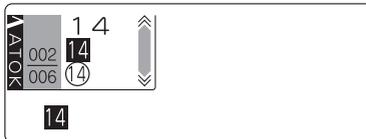
2 **1** **4** と入力して **変換スペース** を押す



MEMO

- 2桁の数字は、**記号誌** を押して「2桁数字」を選んで入力することもできます。
- 仮確定文字、点滅文字があるときは、**記号誌** で2桁数字は入力できません。

3 **変換スペース** を押し2桁数字の「14」を選び、**選択実行** を押す



●ダイレクトキーで外枠を指定する

外枠を使う

外枠を使うと、直接外枠メニューに移動します。
文章全体のまわりにつける外枠を手軽に切り換えてできます。

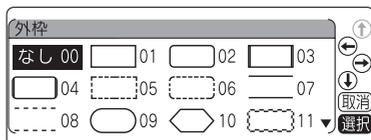
外枠なし

頭上注意

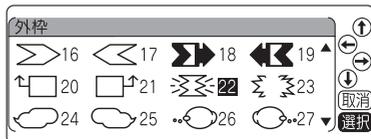
外枠あり

⇒頭上注意⇐

- 1 外枠を押す
外枠メニューが表示されます。



- 2 切り換えたい外枠を選び、**選択改行**を押す



!! 注意 !!

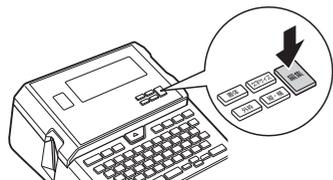
- 仮確定文字、点滅文字があるときは、外枠を変更できません。
- 記号外枠、表組みの指定はできません。
- 編集機能の「外枠」では文章全体または段落単位で指定できます。
参照 P.86 「外枠・表組」
- 編集機能の「外枠」で、記号外枠、表組みを指定している場合も、**外枠** で選択した外枠に変更されます。
参照 P.86 「外枠・表組」

●ラベルの見栄えをよくする（編集）

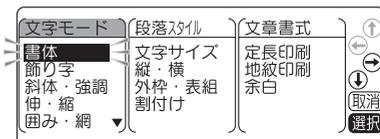
文字の書体や大きさを変えて、見栄えの良いラベルにすることができます。

ラベルの見た目を変えるには、**編集**を押して表示されるメニューから機能を選択します。

機能は、指定可能な範囲の違いによって、文字モード・段落スタイル・文章書式に分類されています。



表示されるメニュー



編集ボタンの機能

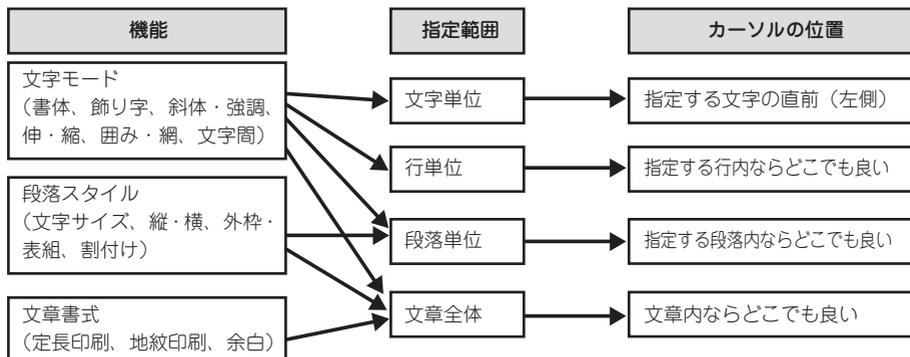
機能の分類	指定範囲	機能	内容
文字モード	文字単位 行単位 段落単位 文章全体	書体	漢字、かな、英数字の書体を指定します。
		飾り字	淡文字、白文字、影文字、白抜影の装飾をします。
		斜体・強調	斜体、強調、斜強調の装飾をします。
		伸・縮	文字を伸縮して変形します。
		囲み・網	下線、網かけ、囲みの装飾をします。
		文字間	文字の間隔を狭くしたり、広くしたりします。
段落スタイル	段落単位 文章全体	文字サイズ	行ごとの文字サイズを指定します。
		縦・横	たて書きや、よこ書き、縦型よこ書にします。
		外枠・表組	飾り枠、表組みを指定します。
		割付け	各行の割りつけ位置を指定できます。
文章書式	文章全体	定長印刷	できあがるラベルの長さを指定します。
		地紋印刷	背景全体に地紋を入れます。
		余白	ラベル前後の余白の長さを指定します。

編集の指定範囲とカーソルの位置について

機能を選択する場合、**編集**を押す前に、指定範囲に合わせてカーソルの位置を移動しておく必要があります。

このカーソル位置を基準にして、メニュー操作の途中で範囲の指定をおこないます。

カーソル位置は、指定する機能や範囲によって異なります。次の図を参考にカーソルの位置を確認してください。



編集を指定する

編集は以下のような流れで指定します。

1 カーソルを合わせる

文字に指定するときは、指定する文字の直前（左側）にカーソルを合わせます。
行全体に指定するときはその行に、段落に指定するときはその段落内にカーソルを合わせます。
文章全体に指定するときは、カーソル位置はどこでもかまいません。
参照 P.69 「編集の指定範囲とカーソルの位置について」

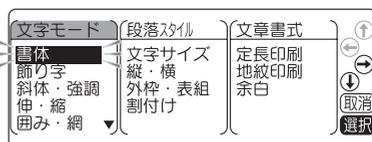
2 編集を押す

!! 注意 !!

文章中に仮確定の文字があるときは、編集は指定できません。

3 機能を選ぶ

← ↑ ↓ → で目的の機能を選び、**選択実行**を押します。



4 各機能の選択肢を指定する

↑ ↓ で目的の選択肢を選び、**選択実行**を押します。



5 「終わり？」を選ぶ

1つの機能の指定が終わると、「終わり？」が表示されます。

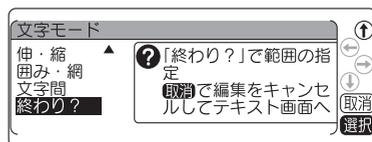
同じ分類の機能（この場合「文字モード」）であれば、続けて指定することができます。↑ ↓ で目的の機能を選び、**選択実行**を押します。

以降の手順は 4 5 と同様です。

指定を終了する場合は、「終わり？」を選び、

選択実行を押します。

手順 6 へ進みます。



MEMO

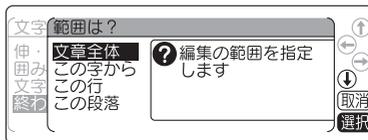
異なる分類の機能（この場合「段落スタイル」「文章書式」）を指定したい場合は、手順 7 の「編集続行？」で「する」を選択してください。

6 指定した機能の範囲を決める

指定した機能の範囲を指定します。

下表を参考に、  で指定する範囲を選び、 を押します。

〔「文章書式」の機能を選択した場合は、範囲の画面は表示されませんので手順⑦へ進みます。〕



● 「文字モード」の機能を指定した場合

文章全体	文章全体に、指定した文字モードを反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。
この字から	カーソルを合わせた位置に「▶（文字モード指定マーク）」が表示され、「▶」直後の文字から行末（または、次の「▶」）まで、指定した文字モードを反映します。
この行	カーソルを合わせた行の行頭に「▶（文字モード指定マーク）」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した文字モードを反映します。
この段落	カーソルを合わせた段落の行の先頭すべてに「▶（文字モード指定マーク）」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した文字モードを反映します。

● 「段落スタイル」の機能を指定した場合

文章全体	文章全体に、指定した段落スタイルを反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。
この段落	カーソルを合わせた段落に、指定した段落スタイルを反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。

● 「文章書式」の機能を指定した場合

範囲の画面は表示されません。

手順⑤で「終わり？」を選択した時点で、文章全体に指定した文章書式を反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。

MEMO

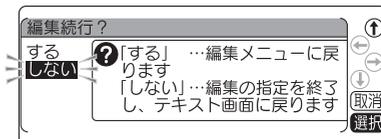
- ▶（文字モード指定マーク）は印刷されません。
- ▶は削除することができます。
- ▶を削除すると、その前にある「▶」の指定を反映します。
▶がない場合は、「文章全体」で指定した内容、または編集の保存値を反映します。
- 編集にある各機能のご購入時の状態（初期設定値）はP.72「編集メニュー一覧」で確認できます。また、この設定はP.197「編集機能の保存値を設定する」で変更することもできます。
- 編集の指定の途中で または を押すと、1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すと、編集の指定を解除しテキスト画面に戻ることができます。編集の指定の途中で を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 一部の編集の指定内容は、インジケータの点灯で確認できます。
参照  P.24 「ディスプレイの見かたとはたらき」
また、 を押して、各機能の選択肢を表示させても確認できます。ネガ表示になっている選択肢が現在の指定内容です。
- 装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることがあります。
- カットラベルフォームでの編集メニューは、通常テキストの編集メニューと異なります。
参照  P.157 「カットラベル編集メニュー一覧」

7 編集を続けるかどうかを決める

  で編集を続行するかどうかを選び、 を押します。

「しない」にした場合は編集を終了し、テキスト画面に戻ります。

「する」にした場合は手順③の編集メニューが表示されます。続けて、編集の各機能を指定することができます。



編集メニュー一覽

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
文字モード 書体 ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 書体 漢字書体とかな書体、英数書体をそれぞれ選択します。 参照👉 P.81 </div> 飾り字 ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 飾り字 文字の装飾を指定します。 参照👉 P.78 </div> 斜体・強調 ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 斜体・強調 文字を斜体または強調します。 参照👉 P.78 </div>	漢字書体 ▶ ゴシック 丸ゴシック 明朝体 てがき 細字てがき 行書体 波ゴ体 太型ゴシック 太丸ゴシック 太型明朝体 太型行書体	かな書体 ▶ 自動 ゴシック 丸ゴシック 明朝体 てがき 細字てがき 行書体 波ゴ体 えれん ハッピー 太型ゴシック 太丸ゴシック 太型明朝体 太型行書体 太型えれん 太型ハッピー	英数書体 自動 ゴシック 丸ゴシック 明朝体 てがき 細字てがき 行書体 波ゴ体 HV 体 BR 体 PL 体 ST 体 太型ゴシック 太丸ゴシック 太型明朝体 太型行書体 太型 HV 体 太型 BR 体 太型 PL 体 太型 ST 体
	A ふつう A 淡文字 A 白文字 A 影文字 A 白抜影		
	A 正体 A 斜体 A 強調 A 斜強調		

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
文字モード 伸・縮 ▶ 伸・縮 行中の基本文字サイズに対し、どれだけ大きく（小さく）するかを指定します。基本文字サイズに対して「中並び」はセンター揃え、「下並び」は文字のベースライン揃えとなります。 参照 📖 P.79	A ふつつ A 縮める ▶ A 小さく A 伸ばす A 細かく	(小さく、細かくのみ) A A 中並び A A 下並び
囲み・網 ▶ 囲み・網 下線や文字囲み、網かけなどを指定します。網は網濃度が選べます。 参照 📖 P.79	A なし A 訂正線 ▶ A 網かけ A 下線 A 角囲み網 A 角囲み A 丸囲み網 A 丸囲み	(網かけ、角囲み網、丸囲み網のみ) 網濃度 ふつつ 濃い ベタ
文字間 ▶ 文字間 文字間隔を調整します。プロポーショナルは英数字に有効で、「オフ」にすると英数字も全角扱いになります。 参照 📖 P.80	密着 ▶ 狭い ふつつ 広い	プロポーショナル オン オフ
終わり? ▶ 終わり? 指定後のみ表示され、文字モードの範囲を指定します。 参照 📖 P.70	範囲は? 文章全体 この字から この行 この段落	編集続行? する しない

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
<p>段落スタイル</p> <p>文字サイズ ▶</p> <p>均等 各行を同じ文字サイズにします。</p> <p>らく² 入力文字数に応じて文字サイズを自動調整します。</p> <p>おまかせフォーマット 各行の文字サイズを、ピクトグラフで表示される組み合わせのように指定します。</p> <p>自由のび² 行ごとに文字の大きさを指定します。 参照 P.82、84</p>	<p>自動</p> <p>1行 ▶</p> <p>2行 ▶</p> <p>3行 ▶</p> <p>4行 ▶</p> <p>5行 ▶</p> <p>6行 ▶</p> <p>7-13行 ▶</p>	<p>均等</p> <p>らく²</p> <p>(おまかせフォーマット)</p> <p>特大 1a 小 1d</p> <p>大 1b 細 1e</p> <p>中 1c</p> <p>自由のび²</p> <p>大大 2a 大小 2c</p> <p>中中 2b 小大 2d</p> <p>自由のび²</p> <p>均等 3a 2大 3c</p> <p>1大 3b 3大 3d</p> <p>自由のび²</p> <p>均等 4a 3大 4d</p> <p>1大 4b 4大 4e</p> <p>2大 4c</p> <p>自由のび²</p> <p>均等 5a 3大 5d</p> <p>1大 5b 4大 5e</p> <p>2大 5c 5大 5f</p> <p>自由のび²</p> <p>均等 6a 下大 6c</p> <p>上大 6b</p> <p>自由のび²</p> <p>均等</p>

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
<p>段落スタイル</p> <p>縦・横 ▶</p> <p>縦・横 文字の向きを指定します。 参照 P.88</p> <p>外枠・表組 ▶</p> <p>外枠 ピクトグラフのような飾り枠がつけられます。 「?二?」（記号外枠）はオリジナルの外枠を作ります。 参照 P.86、87</p> <p>表組み ピクトグラフのような表組みのラベルを作ります。 参照 P.86</p>	<p>たて書き</p> <p>よこ書き 縦型よこ書</p> <p>なし</p> <p>外枠 ▶</p> <p>01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99</p> <p>表組み ▶</p> <p>01 02 03 04 05 06 07 08 09 10</p>	

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
<p>段落スタイル</p> <p>割付け ▶</p> <p>割付け 各行の文字の配置を指定します。 参照🔗 P.85</p> <p>終わり? ▶</p> <p>終わり? 指定後のみ表示され、段落スタイルの範囲を指定します。 参照🔗 P.70</p>	<p> 前揃え</p> <p> 中揃え</p>	<p> 均等割</p> <p> 後揃え</p>
	<p>範囲は?</p> <p>文章全体</p> <p>この段落</p>	<p>編集続行?</p> <p>する</p> <p>しない</p>

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢		
文章書式 定長印刷 ▶ 定長印刷 決まった長さのラベルを作ります。 参照 P.89	しない 数値指定 A4 ファイル B5 ファイル CD・DVD ケース FD・MO 音楽テープ	(数値指定のみ) ▶ 1.0cm ~ 95cm (数値指定以外) 前寄せ 均等割 中寄せ 後寄せ	前寄せ 均等割 中寄せ 後寄せ		
	地紋印刷 ▶ 地紋印刷 定型地紋の入ったラベルを作ります。ピクトグラフを参考に地紋の柄を選びます。 参照 P.91 文字地紋 文字地紋の入ったラベルを作ります。 参照 P.92 創作地紋 創作地紋の入ったラベルを作ります。 参照 P.93	なし 海波 菱形 菱網 雪 桜 星 カト 唐草 切抜 点網 文字地紋 ▶	(点網のみ) 網濃度 ふつつ 濃い (文字地紋のみ) 地紋の文入力画面 (創作1~4のみ) ▶ 創作地紋作成画面	創作地紋柄 小柄 大柄	
		創作 1 ~ 4 ▶	(創作1~4のみ) ▶ 創作地紋作成画面	創作地紋柄 小柄 大柄	
		余白 ▶ 余白 ラベルの前後の余白を調整します。 参照 P.94 終わり? ▶ 終わり? 指定後のみ表示されます。 参照 P.70	極少 少なめ ふつつ 多め 自動少なめ 自動多め	編集続行? する しない	

機能の説明（文字モード）

●飾り字

文字の装飾を選択します。

ふつう

飾り字

淡文字

飾り字

白文字

飾り字

影文字

飾り字

白抜影

飾り字

MEMO

文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることがあります。

●斜体・強調

文字の斜体、強調を選択します。

正体

斜体・強調

斜体

斜体・強調

強調

斜体・強調

斜強調

斜体・強調

MEMO

文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることがあります。

●伸・縮

各行の基本文字サイズ（行の大小）は、テープ幅・入力行数・文字サイズの段落スタイル指定によって決まります。伸・縮はこの基本文字サイズに対して相対的な大きさを指定します。

ふつう (ご購入時の初期設定値)	これを選ぶと、基本文字サイズになります。
小さく - 中並び / 下並び	基本サイズより、1段階小さい文字になります。これを選んでから、次に文字の位置を中並び / 下並びから選びます。
細かく - 中並び / 下並び	基本サイズより、2段階小さい文字になります。これを選んでから、次に文字の位置を中並び / 下並びから選びます。
縮める	横の長さを基本サイズの約 0.75 倍にします。
伸ばす	横の長さを基本サイズの約 1.5 倍にします。

MEMO

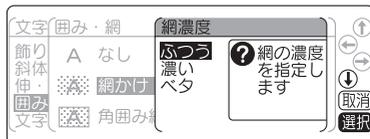
- 基本文字に対して、「中並び」はセンター揃え、「下並び」は文字のベースライン揃えとなります。
- てがき書体および英数専用書体（HV体・BR体・PL体・ST体）はベースラインが他の漢字書体やかな書体と異なるため、「下並び」を指定しても、他の漢字書体やかな書体とベースラインが揃いません。
- 基本文字サイズがすでに小さい場合は、「小さく」「細かく」を指定しても、文字の大きさが変わらない場合があります。
- 各行の基本文字サイズは段落スタイルの指定で変えることができます。
参照 P.82 「文字サイズ」
- 装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることがあります。
- 細いテープを使っている場合など大きな文字サイズを使えないときに「伸ばす」を指定すると、文字の大きさが少し大きく見え、より目立つラベルを作ることができます。

●囲み・網

文字につける囲みや下線、網などを選びます。表示されるピクトグラフで囲み・網の種類を確認できます。網かけ、角囲み網、丸囲み網を選択した場合は、さらに網濃度を選べます。

!! 注意 !!

- 網濃度で「ベタ」を選ぶと、自動的に印刷速度が遅くなります。
- 網濃度で「ベタ」を選ぶと、自動的に飾り字が「白文字」に指定されます。
- 網濃度の指定を変更しても、テキスト画面の印刷イメージには反映されません。
- 網濃度で「濃い」または「ベタ」を選ぶと、印刷結果にムラが生じることがあります。



●文字間

文字の間隔を選びます。

密着

□□密着

狭い

□□狭い

ふつう

□□ふつう

広い

□□広い

さらに文字間「プロポーショナル」の「オン/オフ」を選びます。

プロポーショナル「オン」

世界選抜 1-1 キングFC
UEHA選抜 0-2 キングFC

「プロポーショナル」を「オン」にすると、英数字にプロポーショナルがかかり、文字間を美しく調整して並べます。プロポーショナルとは英数字が美しく見えるように文字間を自動的に調整する機能です。

プロポーショナル「オフ」

世界選抜 1 - 1 キングFC
UEHA選抜 0 - 2 キングFC

「プロポーショナル」を「オフ」にすると、プロポーショナル機能が解除され、英数字（半角スペースを含む）をすべて全角文字として扱います。複数行で上下の文字の並びをきちんと揃えたいときは、「プロポーショナル」を「オフ」にしてください。

MEMO

文字間の指定について

- あらかじめ小さくデザインされている文字に「密着」を指定しても、密着しているように見えなことがあります。
- 複数個の外字をつなげたロゴを作るときは、「密着」を指定すると完全につながったロゴが印刷できます。
参照  P.118 「外字を使う」
- イラストをつなげて使用する場合は、該当箇所の文字間を「密着」に指定してください。
参照  P.45 「イラストを入力する」
- 大きい文字では文字間を狭く、小さい文字では文字間を広くとると、美しいラベルが作れます。

●書体

文字の書体を選びます。かな書体と英数書体で「自動」を選ぶと、漢字書体と同じ書体が選択されます。

書体イメージは、指定中のガイドで確認できます。

書体の変更は **書体** でも指定できます。

参照  P.64 「ダイレクトキーで書体を変更する」



書体イメージ

MEMO

太型書体やてがき書体など、文字の大きさ等によってつぶれることがありますのでご了承ください。

機能の説明（段落スタイル）

●文字サイズ

文字サイズの指定は「均等」「らく²」「おまかせフォーマット」「自由のび²」で指定してください。
文字サイズの変更は[文字サイズ]でも指定できます。

参照 P.65 「ダイレクトキーで文字サイズを変更する」

均等 (ご購入時の 初期設定値)	各行を同じ文字サイズにします。 12mm 幅テープ <div data-bbox="252 355 616 448" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">2ndアルバム 発売中!</div> 18mm 幅テープ <div data-bbox="252 491 751 628" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">封入特典 サインイベント招待券 日時:6月10日 19:30~ 詳しくは店員まで</div>
らく ²	入力文字数に応じて、文字サイズを自動調整します（フルオート）。 1行のとき：文字数が多くなると自動的に文字サイズを小さくします。 <div data-bbox="252 703 714 770" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「テプラ」PRO</div> <div data-bbox="252 783 946 842" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">簡単・綺麗なラベルが作れる「テプラ」PRO</div> 2行以上のとき：各行の長さがバランスよくなるように文字サイズを自動調整します。 <div data-bbox="252 890 591 983" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">堀之内 ◆0X0-20XX-20XX</div> <div data-bbox="252 999 672 1091" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">HORINOUCHI ◆0X0-20XX-20XX</div> テープ幅や行数、文字数の割合に応じて、各行のできあがりの長さができるだけ揃うようにします。また、文字数が多くなってもラベル全体が長くなりすぎないように、文字サイズを自動調整します。
おまかせ フォーマット	各行の文字サイズ（行の大小）を、あらかじめ用意された組み合わせの中から選びます（セミオート）。参照 P.83 「おまかせフォーマット」
自由のび ²	行ごとの文字サイズを自由に選びます（マニュアル）。参照 P.84 「自由のび ² 」

MEMO

- 各行の文字サイズはテープ幅によって異なり、文字サイズインジケーターで確認できます。
- カットラベルフォームで指定できる文字サイズは、上記とは異なります。

参照 P.161 「文字サイズ」

おまかせフォーマット (1行～13行)

選択肢から文字サイズ(行の大小)を選びます。表示されるピクトグラフで各行の文字のバランスなど、レイアウトを確認できます。

また、「自由のび²⁾」を選ぶと、行ごとの文字の大きさ(行の大小)を自由に指定できます。



おまかせフォーマット 1行

□□ 特大 1a · □□□ 大 1b · □□□□ 中 1c · □□□□□ 小 1d · □□□□□□ 細 1e と選んだ場合、テープ幅により次のような文字の大きさが印刷されます。

印字 サンプル	美 美 美 美 美 美						
	文字サイズ [pt]	K [72]	K' [64]	H [51]	U [38]	U' [32]	G [26]
テープ幅							
36mm		特大	大	中	小	細	—
24mm		—	—	特大	大	中	小
18mm		—	—	—	特大	大	中
12mm		—	—	—	—	—	特大
9mm		—	—	—	—	—	—
6mm		—	—	—	—	—	—
4mm		—	—	—	—	—	—

印字 サンプル	美 美 美 美 美 美 美							
	文字サイズ [pt]	L [19]	L' [16]	M [13]	S [10]	S' [8]	P [6]	F [5]
テープ幅								
36mm		—	—	—	—	—	—	—
24mm		細	—	—	—	—	—	—
18mm		小	細	—	—	—	—	—
12mm		大	中	小	細	—	—	—
9mm		特大	大	中	小	細	—	—
6mm		—	—	特大	大	中	小	細
4mm		—	—	—	—	特大	大	中、小、細

!! 注意 !!

テープに印刷できる文字の大きさに制限があるため、テープ幅や印刷する行数によっては、おまかせフォーマットの一部が機能しない場合があります。各行の文字サイズは、文字サイズインジケータで確認してください。

MEMO

- おまかせフォーマット（2 行以上）は、ピクトグラフで表現しています。
- 各行の文字サイズはテープ幅によって異なり、文字サイズインジケータで確認できます。
- 指定した行数と実際に入力された行数が異なると、「均等」で印刷されます。
- カットラベルフォーム使用時の文字サイズ [pt] はカットラベルフォームのページに記載しています。
参照  P.161 「文字サイズ」

自由のび²

各行ごとに文字の大きさ（行の大小）を「細」「小」「中」「大」「特大」の 5 段階で、自由に指定できます。ただし、テープ幅や行数によっては異なるサイズを指定しても、印刷結果は同じになることがあります。



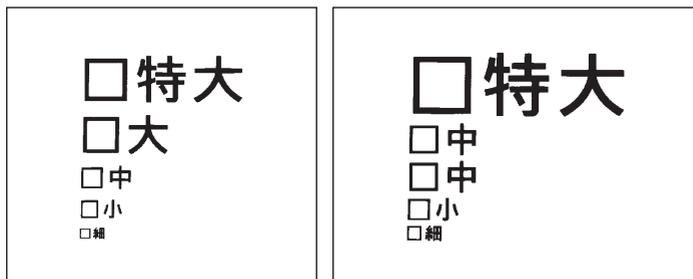
2 行（18mm 幅テープ）の印刷見本



3 行（24mm 幅テープ）の印刷見本



4 行（36mm 幅テープ）の印刷見本



5行（36mm幅テープ）の印刷見本

MEMO

- これらの例は、自由のび²の組み合わせのごく一部です。
- 各行の文字サイズは文字サイズインジケータで確認できます。
- 指定した行数と実際に入力された行数が異なると、「均等」で印刷されます。

●割付け

複数行のとき、各行の「揃え」を指定します。

 前揃え（ご購入時の初期設定値）	行頭を揃えます。
 中揃え	各行の中心を揃えます。
 均等割	一番長い行の長さに揃えて他の行を均等に割りつけます。
 後揃え	行末を揃えます。

MEMO

文字間「密着」が指定されている場合、割付け「均等割」を指定しても、文字間「密着」が優先されます。

●外枠・表組

文章（段落）のまわりに外枠や表組みをつけます。

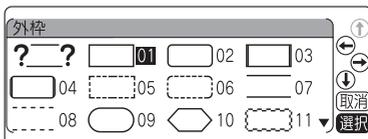
なし（ご購入時の初期設定値）

外枠・表組みをつけません。

外枠

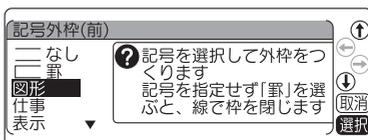
文章（段落）のまわりに外枠をつけます。

表示されるピクトグラフで外枠の種類を確認できます。



「? ?」を選ぶと、外枠の左右に配置する記号を選択して外枠を作れます。

参照 P.87 「記号外枠を指定する」



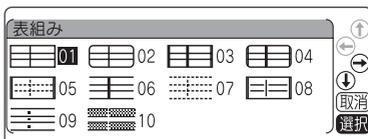
表組み

文章（段落）を枠で囲み、行間に横罫線を引きます。

また、複数の段落に同じ表組みを指定すると、前後に区切られた表ができます。

表示されるピクトグラフで表組の種類を確認できます。

備品名	RDS
管理番号	1103-U



MEMO

表組みのラベルの行中にさらに縦罫線を入れたいときは、**記号罫** を押して表示される記号メニューから「編集」を選択し、その中の罫を入力します。

ラベルの行中に縦罫線が入る

備品名	RDS本館
管理番号	1103-U

段落1 段落2

テキスト画面に罫を入力する

1	RDS	罫	本館
2	1103-U		

シフト + 選択罫行 で改段落をして、このように段落2を入力します。

記号外枠を指定する

記号外枠とは、外枠の前後を記号の中から選んでオリジナルの外枠を作る機能です。

例：



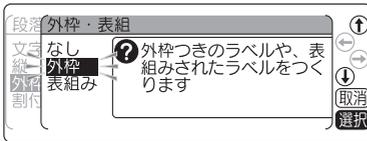
「記号外枠（前）」
で選択した記号

「記号外枠（後）」
で選択した記号

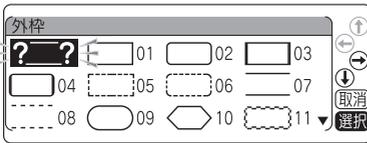
1 編集を押す

「編集」メニューが表示されます。

2 「外枠・表組」の「外枠」を選ぶ



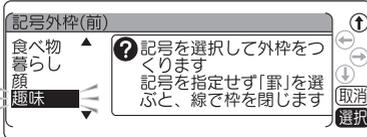
3 「?」を選び、「選択」を押す



記号選択メニューが表示されるので、記号外枠の前部分を指定します。

4 外枠の前部分に配置する記号を選ぶ

例の場合は「趣味」の中から「」を選びます。

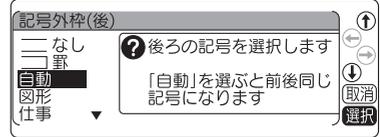


記号外枠の前部分が選択されます。続いて、後ろ部分を指定します。

5 外枠の後ろ部分に配置する記号を選ぶ

例の場合は「趣味」の中から「」を選びます。

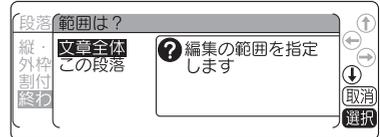
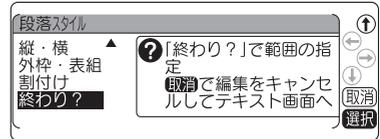
ここで「自動」を選ぶと、前部分と同じ記号が指定されます。



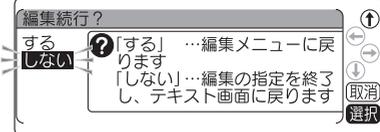
6 デザインを確認し、「選択」を押す



7 「終わり?」で「範囲」を指定する



8 「編集続行?」で「しない」を選択し、「選択」を押す



記号外枠が指定されます。



●縦・横

文字をたて書きにするか、よこ書きにするか、縦型よこ書きにするかを指定します。
たて書き / よこ書きの変更は **縦・横** でも指定できます。

参照  P.66 「ダイレクトキーでラベルの向きを変更する（縦・横）」

よこ書き（ご購入時の初期設定値）

よこ書き

たて書き

たて書き

縦型よこ書

縦型
よこ書

MEMO

- 「縦型よこ書」を指定すると、段落スタイルの「文字サイズ」と文字モードの「文字間」の指定が反映されません。また、セットされたテープ幅によって、入力できる文字数に制限があります。

テープ幅	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm	36mm
入力可能な文字数	1文字	2文字	3文字	5文字	7文字	10文字	13文字

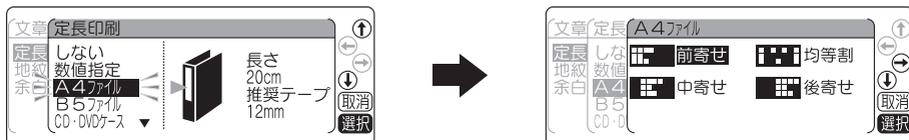
- 「横型たて書」のラベルは、ビジネスフォームで作成できます。
参照  P.143 「横型たて書」

機能の説明（文章書式）

●定長印刷

印刷するラベルの長さを指定します。

長さを指定したあと、ラベル全体に対する文字の印刷位置を選びます。表示されるピクトグラフで位置のイメージを確認できます。



「数値指定」を選んだときは、ラベルの長さを指定してからラベル全体に対する文字の印刷位置を選びます。



用途別の定長を選ぶとラベルの長さが自動的に指定されます。お使いになるテープは、下表の「推奨テープ幅」をお奨めします。

用途	長さ	推奨テープ幅
A4 ファイル	20cm	12mm
B5 ファイル	15cm	12mm
CD・DVD ケース	11cm	4mm
FD・MO	7.0cm	18mm、24mm、36mm
音楽テープ	9.5cm	9mm

MEMO

- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは、「入力した文章が長すぎます」が表示され、指定した長さで印刷することができません。定長印刷を無視して印刷するか、字数を減らしたり、行の大小指定や文字の伸・縮の指定で文字の大きさを小さくしてください。
- 定長印刷で指定するラベルの長さは一応の目安です。実際のできあがりの長さとは完全には一致しません。
- ハーフカットを無効にしている場合は、長さ「1.9cm」未満のラベルは印刷できません。

定長内に文字をおさめる「つめ²」機能

「文字サイズ」で「らく²」を指定すると、入力文字数に応じて自動的に文字サイズを調整します。この「らく²」と「定長」を指定し、定長内に段落をいくつか作って文字を入力した場合、定長で指定した長さに文字がおさまらない場合があります。

そんなとき本機では、定長で指定した長さにおさまるよう文字サイズを自動的に計算し、「らく²」を指定した段落の中で、後ろから順に段落単位で文字サイズを小さくする「つめ²」機能が働きます。

1 一番最後の段落の文字を小さくする

(図 A → B)

定長に入らない場合はまず、「らく²」を指定した段落の中で一番最後の段落(⑤)の文字サイズを1段階小さいサイズに置き換えます。これで定長におさまれば自動計算は終わります。

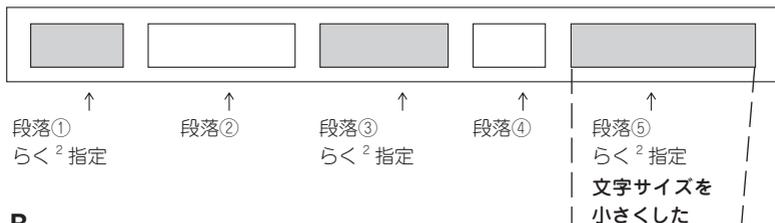
2 最後から2番目の段落の文字を小さくする(図 B → C)

それでも定長に入らない場合は、「らく²」を指定した段落の中で最後から2番目の段落(③)の文字サイズを1段階小さくします。

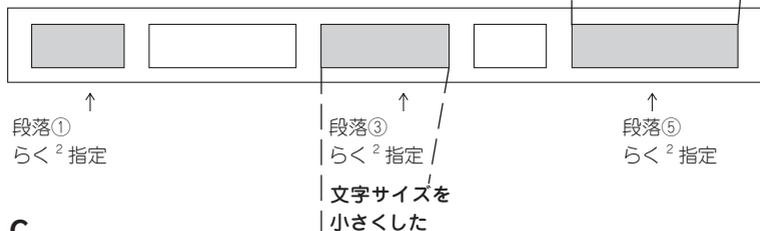
定長で指定した長さにおさまるまで、上記の処理をおこないます。

この処理を繰り返しても定長で指定した長さにおさまらない場合は「入力した文章が長すぎます」と表示されます。定長を指定しなおすが、文字を少なくするなどの操作をおこなってください。

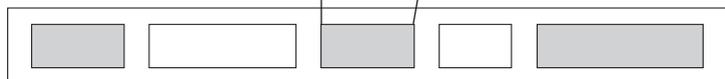
A



B



C



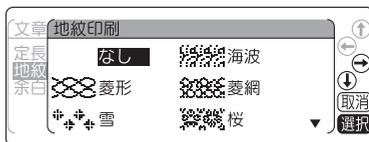
※段落②、④が「らく²」を指定していない段落です。

!! 注意 !!

- 「らく²」を指定していない段落は「つめ²」機能は働きません。
- 「らく²」以外の指定をしても実際の行数が指定と合わず結果的に「均等」になった段落については、「つめ²」機能による処理はおこなわれません。

●地紋印刷

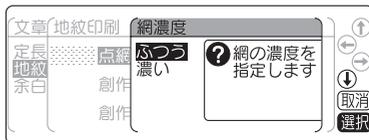
ラベルの背景全体に地紋をつけます。表示されるピクトグラフで地紋の柄を確認できます。



「点網」を選んだときは、さらに濃度指定ができます。

!! 注意 !!

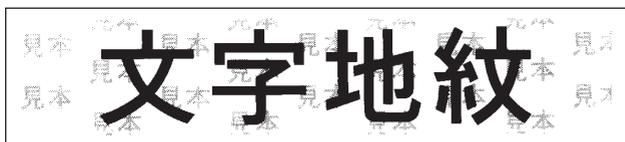
網濃度で「濃い」を選ぶと、印刷結果にムラが生じることがあります。



文字地紋

好きな文字を入力し、地紋として印刷することができます。

参照 P.92 「文字地紋を使う」

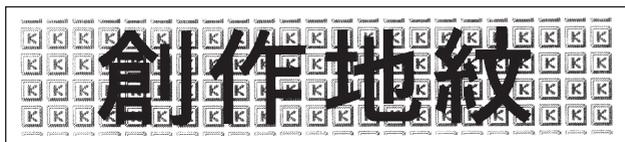


創作地紋

オリジナルの柄の地紋を作成します。

参照 P.93 「創作地紋を作る」

小柄



大柄



MEMO

- 文字地紋は「文字地紋」、創作地紋は「創作1」～「創作4」のエリアに登録できます。
- 地紋を指定した場合、テキスト画面の印刷イメージやプレビューで地紋が判読できない、文字が表示されないことがありますが、印刷に影響はありません。
- 地紋印刷時、ーフカットを有効にしていると、地紋の一部分に縦の濃いラインが入る場合があります。
- 文字地紋/創作地紋の登録データは本機内に保存されます。全文消去をおこなっても、登録したデータは消去されません。消去するには、登録画面でそれぞれを消去していくか、本機の初期化をおこなってください。

参照 P.202 「本機を初期化する」

文字地紋を使う

文字地紋を使えば、ラベルの下地にオリジナルの文字を印刷することができます。企業名を入れたラベルなども作れます。

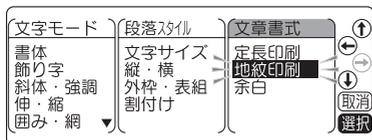
例：「5周年記念」の文字を地紋にして印刷する



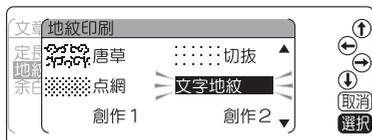
1 編集を押す

「編集」メニューが表示されます。

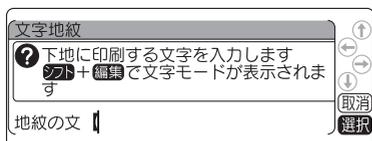
2 「地紋印刷」を選び、選択実行を押す



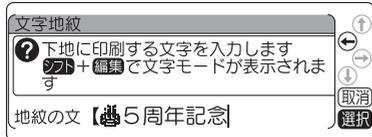
3 「文字地紋」を選び、選択実行を押す



「地紋の文」の入力画面になります。

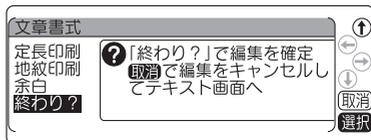


4 地紋の文「5周年記念」を入力し、選択実行を押す

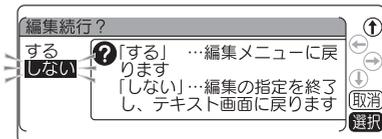


入力できる文字数は16文字までです。
文字だけでなく、記号、外字も入力できます。

5 「終わり？」を選び、選択実行を押す



6 「編集続行？」で「しない」を選び、選択実行を押す



地紋インジケーターが点灯します。

MEMO

- 文字地紋の登録データは本機内に保存されます。全文消去をおこなっても、登録したデータは消去されません。消去するには、登録画面で消去するか、初期化をおこなってください。

参照 P.202 「本機を初期化する」

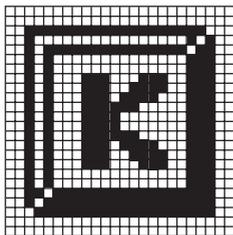
- 文字地紋に文字モードを指定するときは、**シフト**+**編集**で指定します。なお、文字モードの「囲み・網」の指定はできません。
- 地紋を指定した場合、テキスト画面の印刷イメージやプレビューで地紋が判読できない、文字が表示されないことがありますが、印刷に影響はありません。

創作地紋を作る

24 ドット× 24 ドットのオリジナルマークを登録し、地紋として使うことができます。登録できるマークは「創作 1」～「創作 4」の 4 個です。

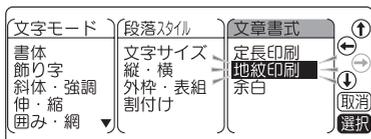
会社のロゴマークなどを地紋として印刷すれば、本格的な管理用ラベルが作成できます。

例：次のようなマークを「創作 1」に登録する



1 **編集** を押す
「編集」メニューが表示されます。

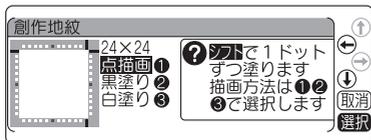
2 「地紋印刷」を選び、**選択実行** を押す



3 「創作 1」を選び、**選択実行** を押す



創作地紋の描画画面になります。

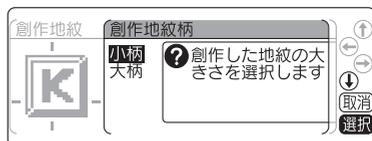


4 創作地紋を描画する
描画方法は、外字を作成する場合と同じです。**←** **↑** **↓** **→** で描画エリア内をカーソル移動し、**ソフト** で 1 ドットずつ塗りつぶします。

参照 P.119 「画面表示と描画方法」

5 創作地紋の描画が終わったら **選択実行** を押す

6 「小柄」または「大柄」を選び、**選択実行** を押す

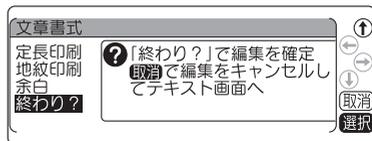


小柄と大柄のちがい

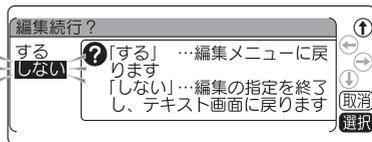
例を「小柄」と「大柄」で印刷すると以下のようになります。



7 「終わり？」を選び、**選択実行** を押す



8 「編集続行？」で「しない」を選び、**選択実行** を押す



!! 注意 !!

- 全面が黒っぽいパターンの創作地紋は、印刷結果にムラが生じることがあります。
- 創作地紋では 24 ドットのデータを作成します。

●余白

ラベルの前後の余白の長さを指定します。

極少（余白：前後約 1mm）

[極少]

少なめ（余白：前後約 3mm）

[少なめ]

ふつう（余白：前後約 10mm）

[ふつう]

多め（余白：前後約 18mm）

[多め]

自動少なめ

テープ幅に応じて余白の長さが自動的に少なめに調整されます。印刷するテープの幅の約 1/3 が前後の余白になります（12mm 幅テープであれば余白は前後約 4mm）。

[自動少なめ]

自動多め

テープ幅に応じて余白の長さが自動的に多めに調整されます。印刷するテープの幅相当が前後の余白になります（12mm 幅テープであれば余白は前後約 12mm）。

[自動多め]

MEMO

- ハーフカットを無効にしている場合は、長さ約 19mm 未満のラベルは印刷できません。ラベル長さが約 19mm 以上になるように定長や余白を設定してください。ハーフカットが有効の場合は、長さ 8mm 以上のラベルを印刷できます。
- ハーフカットを無効にしている場合は、「極少」、「少なめ」（全テープ幅）、「自動少なめ」（36mm 幅テープ以外）、「自動多め」（4mm、6mm 幅テープ）を指定すると、前余白の調整のために印刷前にテープが約 19mm 空送りされ、カットされます。
- 転写テープでは余白の指定が無効になります。

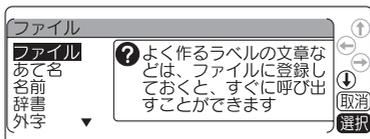
●文章を呼び出す・登録する

本機の **ファイル** では、作成した文章を保存したり、あて名、名前、辞書、外字を登録できます。

ファイルを使う

作成した文章やあて名などのデータを登録するには、**ファイル** を押して表示されるメニューから機能を選択します。

ファイルメニュー画面



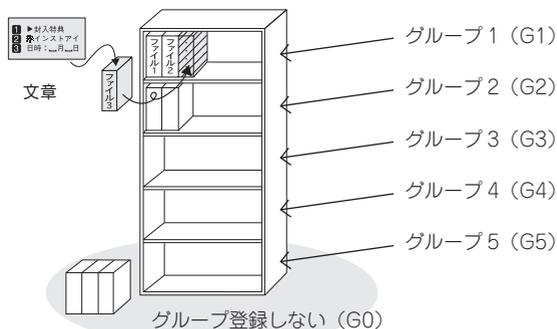
ファイルボタンのメニュー一覧 (**太字** は購入時の初期設定値です。)

メニュー	最初の選択肢	機能	参照ページ
ファイル ▶	登録	作成した文章にファイル名をつけて保存します	P.97
	呼出	登録した文章を呼び出します	P.99
	消去	登録した文章を消去します	P.100
	複写	登録した文章を別のファイルに複写します	P.101
	印刷	5つまでのファイルを続けて印刷します	P.103
	グループ名修正 終わり?	ファイルのグループ名を修正します テキスト画面に戻ります	P.102
あて名 ▶	登録	あて名を登録します	P.105
	修正	登録したあて名を修正します	P.106
	消去	登録したあて名を消去します	P.107
	複写	登録したあて名を複写します	P.106
	印刷	登録したあて名ラベルを印刷します	P.108
	グループ名修正 終わり?	あて名のグループ名を修正します テキスト画面に戻ります	P.109
名前 ▶	登録	名前とふりがなを登録します	P.112
	修正	登録した名前を修正します	P.113
	消去	登録した名前を消去します	P.113
	印刷	登録した名前ラベルを印刷します	P.108
	グループ名修正 終わり?	名前のグループ名を修正します テキスト画面に戻ります	P.113
	辞書 ▶	登録	語句に読みをつけて辞書登録します
修正		登録した辞書を修正します	P.116
消去		登録した辞書を消去します	P.117
終わり?		テキスト画面に戻ります	
外字 ▶		新規作成	新規に外字を作成し、登録します
	参照作成	文字や記号を参照して外字を作成し、登録します	P.124
	修正	登録した外字を修正します	P.121
	呼出	登録した外字を文章中に呼び出します	P.122
	消去	登録した外字を消去します	P.123
	複写	登録した外字を複写します	P.122
	終わり?	テキスト画面に戻ります	

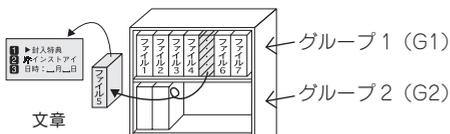
ファイルとは

作成した文章をファイルとして登録しておけば、必要に応じて呼び出し、変更や印刷ができます。ファイルには、文章のほかに編集機能の指定内容などラベルの状態がそのまま登録されます。ファイルは、5つのグループ（G1～G5）に分類して登録できます。それぞれグループ名を変更できるので、仕事用、プライベート用などファイルを分類して整理できます。なお、グループに分類したくないファイルは「G0：グループ登録しない」も選べます。

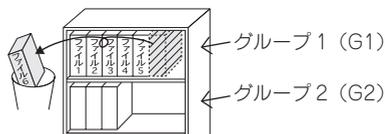
登録…文章を保存します。グループごとに分類できます。



呼出…ファイルを画面上に呼び出します。



消去…ファイルを削除します。



MEMO

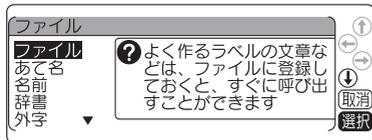
- ファイル機能には、このほか、登録した文章を別のファイルに複写する「複写」、5つまでのファイルを続けて印刷できる「印刷」、ファイルのグループ名を修正する「グループ名修正」機能があります。
- ビジネスフォーム、カットラベルフォームのファイル機能では、複写やグループの分類など、一部のメニューをご利用いただけません。詳しい説明は、P.145「よく作るビジネスフォームをファイル登録する」、P.165「よく作るカットラベルフォームをファイル登録する」を参照してください。

ファイルを登録する

ファイルに文章を登録します。ファイルはファイル番号 00 ~ 99 (100 件) の中から番号を選んで登録します。

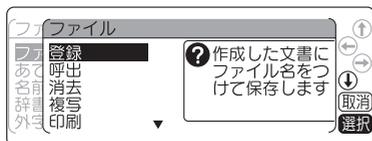
- ① **ファイル** を押す

- ② 「ファイル」 を選び、**選択改行** を押す



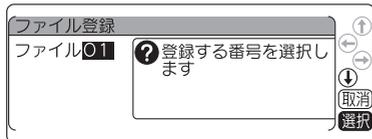
「ファイル」メニューが表示されます。

- ③ 「登録」 を選び、**選択改行** を押す



ファイル登録画面が表示されます。

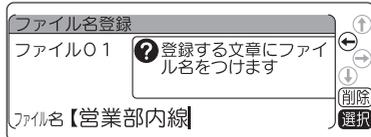
- ④ **↑** **↓** または **0** ~ **9** で登録するファイル番号を選び、**選択改行** を押す



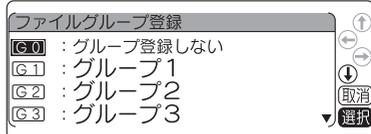
↓
数字入力した場合



- ⑤ **ファイル名** を入力し、**選択改行** を押す
ファイル名は 15 文字まで自由に付けられます。入力しなくても登録できます。

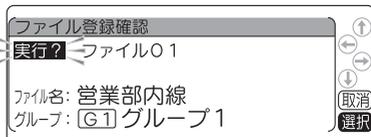


- ⑥ **登録するグループ** を選び、**選択改行** を押す
グループ登録しない場合は **G0** を選びます。



登録する内容の確認画面になります。

- ⑦ **内容を確認** し、**選択改行** を押す



「実行中」と表示され、登録後に「終わり？」にカーソルが移ります。続けてファイルの消去や複写ができます。「終わり？」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

「実行中」に AC アダプタや電池を抜かないでください。ファイル内容がこわれる可能性があります。

MEMO

- 操作の途中で「削除」または「ファイル」を押すと、1つ前の状態に戻ります。「ホーム」を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字、点滅文字があると「ファイル」メニューを表示できません。
- データがいっぱいでこれ以上登録できなくなると「メモリーがいっぱいです」が表示されます。不要なファイル、あて名、名前データを消去してください。
- 本機には、約 10,000 文字（最大で 100 個のファイル）を登録することができますが、ファイル、あて名、名前は登録エリアが共有のため、たくさんのあて名や名前を登録していると、登録できるファイルの件数が少なくなります。
- ビジネスフォームやカットラベルフォームの内容をファイル登録したい場合は、それぞれのフォームメニューから登録をおこなう必要があります。

参照  P.145 「よく作るビジネスフォームをファイル登録する」、P.165 「よく作るカットラベルフォームをファイル登録する」

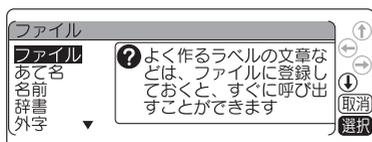
ファイル呼び出す

ファイルに登録した文章をテキスト画面に呼び出します。「上書き呼出」と「連結呼出」の2つの呼び出し方法があります。「上書き呼出」を選ぶと、テキスト画面の文章は全部消去され、呼び出したファイルの文章と置き換わります。

「連結呼出」を選ぶと、カーソルのある段落の直後に新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。ただし、カーソルが段落1の1行目の行頭マークにある場合は、カーソルのある段落の前に、新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。

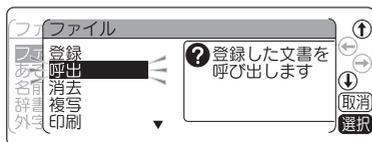
1 を押す

2 「ファイル」を選び、 を押す



「ファイル」メニューが表示されます。

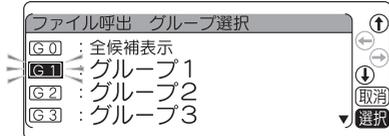
3 「呼出」を選び、 を押す



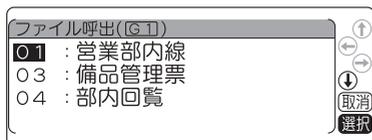
ファイル呼出グループ選択画面が表示されます。

4 呼び出したいファイルが登録されているグループを選び、 を押す

グループがわからないときは[G0]を選びます。



5 または ~ で呼び出したいファイルを選び、 を押す



呼び出す内容の確認画面になります。

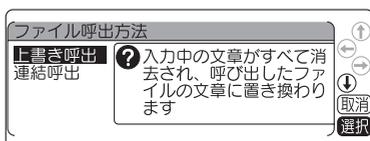
6 内容を確認し、 を押す

で文章を確認することができます。



呼出方法を選択する画面になります。

7 「上書き呼出」「連結呼出」のいずれかを選び、 を押す



ファイルの文章が呼び出され、テキスト画面に表示されます。

!! 注意 !!

- 「上書き呼出」を選ぶと、テキスト画面で作成していた文章は消え、 を押しても復活させることはできません。「上書き呼出」を選ぶ前に、もう一度確認し、必要な文章はファイルに登録するなどの対処をおこなってください。
- 「連結呼出」で呼び出す場合は、連結によって入力できる文章の制限をオーバーした部分、自動的に文末から削除されます。

MEMO

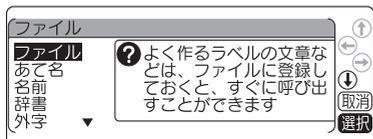
操作の途中で または を押すと、1つ前の状態に戻ります。 を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

ファイルを消去する

ファイルは、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて消去できます。

① **ファイル** を押す

② 「ファイル」を選び、**選択実行** を押す



「ファイル」メニューが表示されます。

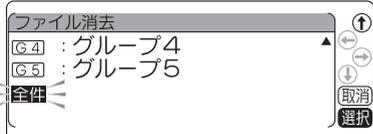
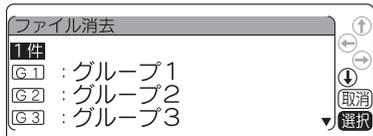
③ 「消去」を選び、**選択実行** を押す



ファイル消去画面が表示されます。

④ 消去する範囲を選び、**選択実行** を押す

1件 : 1ファイルのみ消去します。
[G1]~[G5] : 選択したグループ内のすべてのファイルを消去します。
全件 : すべてのファイルを消去します。



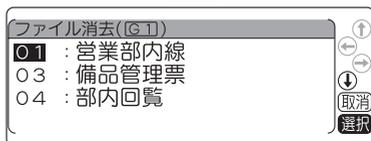
グループまたは全件を選んだ場合は、消去確認の画面に変わります(手順⑦)。1件の場合は次の手順でファイルを選びます。

⑤ 消去したいファイルが登録されているグループを選び、**選択実行** を押す

グループがわからないときは[G0]を選びます。



⑥ **↑**、**↓** または [0] ~ [9] で消去したいファイルを選び、**選択実行** を押す



消去する内容の確認画面になります。

⑦ 内容を確認し、**選択実行** を押す

ファイル1件消去の場合はラベルの内容が、グループまたは全件消去の場合は含まれているファイルのファイル名が表示されます。1件消去の場合



グループ消去の場合



⑧ 内容を確認し、**選択実行** を押す

1件消去の場合はファイルの情報が、グループまたは全件消去の場合は「グループ名」「全件」と表示されます。



「実行中」と表示され、消去後に「終わり?」にカーソルが移ります。続けてファイルの消去や複写ができます。

「終わり?」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

MEMO

- 消去したファイルは、**復活** を押しても復活させることはできません。
- 操作の途中で**制限取消**または**ファイル**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 削除件数が多い場合、時間がかかることがあります。

ファイルを複製する

登録したファイルを別の番号のファイルへ複製します。

① **ファイル** を押す

② 「ファイル」 を選び、 **選択実行** を押す
「ファイル」メニューが表示されます。

③ 「複製」 を選び、 **選択実行** を押す



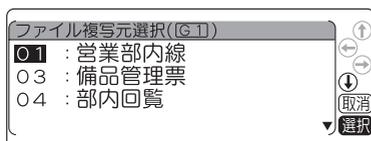
ファイル複製画面が表示されます。

④ 複製元のファイルが登録されているグループを選び、 **選択実行** を押す

グループがわからないときは **[G 0]** を選びます。



⑤ **↑** **↓** または **[0]** ~ **[9]** で複製元のファイルを選び、 **選択実行** を押す



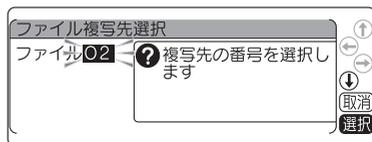
複製する内容の確認画面になります。

⑥ 内容を確認し、 **選択実行** を押す

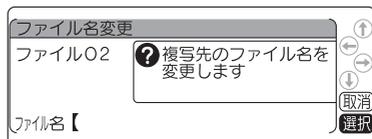


ファイル複製先選択画面が表示されます。

⑦ **↑** **↓** または **[0]** ~ **[9]** で複製先のファイル番号を選び、 **選択実行** を押す



⑧ ファイル名を入力し、 **選択実行** を押す
ファイル名は15文字まで自由に付けられます。入力しなくても登録できます。

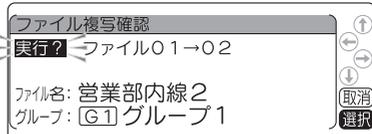


⑨ 登録するグループを選び、 **選択実行** を押す
グループ登録しないときは **[G 0]** を選びます。



複製する内容の確認画面になります。

⑩ 内容を確認し、 **選択実行** を押す



「実行中」と表示され、登録後に「終わり？」にカーソルが移ります。続けてファイルの消去や複製ができます。

「終わり？」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

MEMO

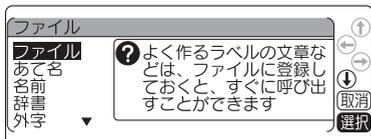
- 操作の途中で **削除実行** または **ファイル** を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- ファイル複製をおこなっても、複製元のファイルは残ります。

グループの名前を変える

ファイルを登録するグループ名を変更できます。
あて名や名前データのグループも同様の操作で変更できます。

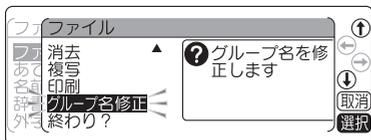
① **ファイル** を押す

② 「ファイル」 を選び、 **選択改行** を押す



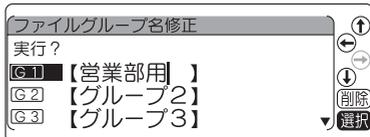
「ファイル」メニューが表示されます。

③ 「グループ名修正」 を選び、 **選択改行** を押す



グループ名修正画面が表示されます。

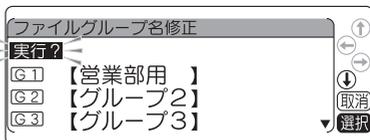
④ **↑** **↓** で名前を変えたいグループを選び、
グループ名を変更する



⑤ **選択改行** を押す

「実行？」が選択されます。

⑥ 内容を確認し、 **選択改行** を押す



「実行中」と表示されたあと、グループ名が変更されます。

続けてファイルの消去や複写ができます。

「終わり?」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

MEMO

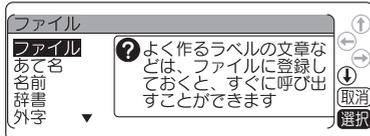
- 操作の途中で **削除改行** または **ファイル** を押すと、1 つ前の状態に戻ります。 **ホーム** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- あて名や名前のグループ名を変えるときは、手順②で「あて名」または「名前」を選んでください。
- グループ名を消去して登録すると、グループ名は空欄になります。
- 手順④で **シフト** を押しながら **削除改行** (=全消去) を押すと、全文消去となり、すべてのグループ名が消去されます。

ファイルをまとめて印刷する

ファイル番号を指定するだけでファイルをテキスト画面に呼び出さずに印刷できます。一度に5つのファイルまで指定できます。

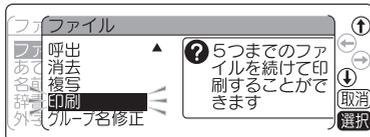
1 **「ファイル」**を押す

2 **「ファイル」**を選び、**「選択実行」**を押す



「ファイル」メニューが表示されます。

3 **「印刷」**を選び、**「選択実行」**を押す



ファイル印刷画面が表示されます。

4 印刷したいファイルが登録されている**グループ**を選び、**「選択実行」**を押す

グループがわからないときは**[G0]**を選びます。



5 **↑**、**↓** または **[0]** ~ **[9]** で印刷したいファイルを選び、**「選択実行」**を押す



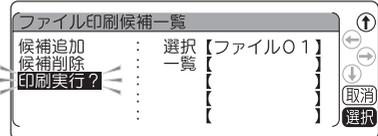
印刷する内容の確認画面になります。

6 内容を確認し、**「選択実行」**を押す



印刷するファイル候補の一覧画面になります。

7 **「印刷実行？」**を選び、**「選択実行」**を押す

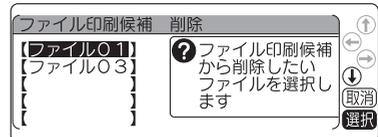


印刷が開始されます。印刷後に「終わり？」にカーソルが移ります。続けてファイルの消去や複写ができます。

「終わり？」を選ぶとテキスト画面に戻ります。印刷するファイルを追加するときは、「候補追加」を選び、**「選択実行」**を押して手順④からの操作を繰り返します。

印刷するファイルを取り消すときは、「候補削除」を選び、**「選択実行」**を押します。印刷するファイルの候補から削除するファイルを選び、**「選択実行」**を押します。

「候補削除」をおこなっても、ファイルそのものは削除されません。



内容を確認し、**「選択実行」**を押すと「実行中」と表示されたあと、印刷するファイル候補の一覧画面に戻ります。

!! 注意 !!

- セットされているテープカートリッジのテープ幅がファイルに含まれる文章の行数を印刷できない場合、そのファイルの印刷はおこなわれません。
- 指定したファイル印刷の全長が16mを超える場合は印刷できません。印刷候補を減らしてください。

MEMO

- 印刷するとき、各ファイルはテキスト画面に呼び出されません。
- 操作の途中で**[削除]**または**「ファイル」**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**[ホーム]**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 印刷を途中でやめるときは**「印刷取消」**を押してください。

●名前や語句を登録する(あて名/名前/辞書)

あて名ラベルを作る

あて名データとして郵便番号や住所・名前などを登録しておく、あて名ラベルをまとめて印刷することができます。

■登録できる項目とあて名ラベル

101-0031 東京都千代田区東神田二丁目10番18号 株式会社キングジム 開発部 山岸 正樹 様 

項目	入力内容	入力可能文字
〒番号 (郵便番号)	[101-0031	8文字
住所 1	[東京都千代田区東神田二丁目10番18号	20文字
住所 2	[20文字
会社	[株式会社キングジム	20文字
部署	[開発部	20文字
氏名	[山岸正樹	20文字
〒  (カスタマバーコード)	[10100312-10-18	20文字

バーコードに入力した内容は、カスタマバーコードとして印刷されます。

参照  P.110「カスタマバーコードについて」

本機内に登録できるあて名は約 10,000 文字 (最大 100 件のあて名) です。

!! 注意 !!

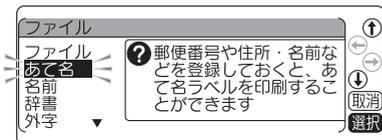
郵便番号に入力した先頭の 5 桁に対応する都道府県名と区町村名を、「住所 1」に自動的に入力することができます。郵便番号変換は、2013 年 10 月末時点のデータをもとにおこなっています。そのため、お客様が入力したい住所、所在地が候補として表示されない場合もありますのであらかじめご了承ください。

あて名を登録する

あて名データを登録します。あて名はあて名番号 00 ~ 99 (100 件) の中から番号を選んで登録します。

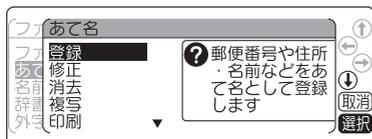
1 **ファイル** を押す

2 「あて名」を選び、**選択実行** を押す



「あて名」メニューが表示されます。

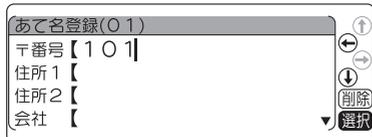
3 「登録」を選び、**選択実行** を押す



あて名登録画面が表示されます。

4 **↑**、**↓** または **0** ~ **9** で登録するあて名番号を選び、**選択実行** を押す

5 数字ボタンで郵便番号を入力する



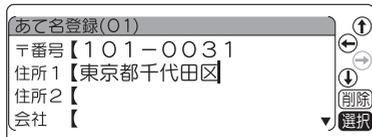
4 桁目を入力すると、自動的にハイフン (-) が挿入されます。

6 **変換スペース** を押す

郵便番号に対応する都道府県名と区町村名の候補が表示されます。

7 地名が正しいときは、**選択実行** を押す

地名が違うときは、**←**、**↑**、**↓**、**→** で適切な地名を選びます。



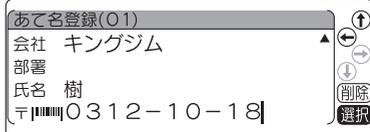
8 住所 1 を入力し、**選択実行** を押す

9 住所 2、会社名、部署名、氏名を入力し、**選択実行** を押す

10 必要に応じてカスタマバーコードを入力し、

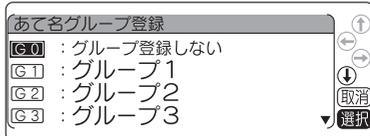
選択実行 を押す

参照 P.110 「カスタマバーコードについて」

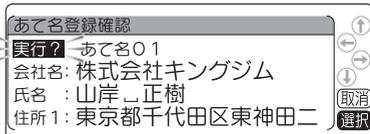


11 登録するグループを選び、**選択実行** を押す

グループ登録しない場合は、**G0** を選びます。



12 内容を確認し、**選択実行** を押す



「実行中」と表示され、登録後に「終わり？」にカーソルが移ります。続けてあて名の修正や消去ができます。

「終わり？」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

「実行中」に AC アダプタや電池を抜かないでください。あて名の内容がこわれる可能性があります。

MEMO

- 未入力の項目があっても登録できます。
- 操作の途中で**削除**または**ファイル**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**戻る**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- データがいっぱいでこれ以上登録できなくなると「メモリーがいっぱいです」が表示されます。不要なファイル・あて名・名前データを消去してください。
- 本機には、約 10,000 文字 (最大で 100 件のあて名データ) を登録することができますが、ファイル、あて名、名前は登録エリアが共有のため、ファイルや名前が多いと、登録できるあて名の件数が少なくなります。

あて名を修正する

登録したあて名を修正します。

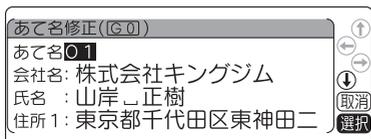
- 1 **ファイル** を押す
- 2 「あて名」を選び、**選択** を押す
「あて名」メニューが表示されます。
- 3 「修正」を選び、**選択** を押す



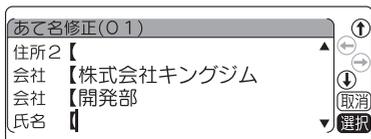
- 4 修正したいあて名が登録されているグループを選び、**選択** を押す
グループがわからないときは**G0**を選びます。



- 5 **↑** **↓** または **0** ~ **9** で修正したいあて名を選び、**選択** を押す



- 6 内容を修正し、**選択** を押す



以降は、P.105 登録操作(手順⑪以降)と同様にグループを選び登録します。

MEMO

操作の途中で**削除**または**ファイル**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

あて名を複写する

登録したあて名を別の番号のあて名へ複写します。

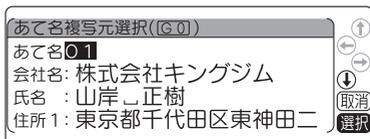
- 1 **ファイル** を押す
- 2 「あて名」を選び、**選択** を押す
「あて名」メニューが表示されます。
- 3 「複写」を選び、**選択** を押す



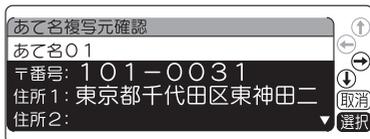
- 4 複写元のあて名が登録されているグループを選び、**選択** を押す
グループがわからないときは**G0**を選びます。



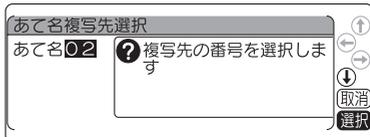
- 5 **↑** **↓** または **0** ~ **9** で複写元のあて名を選び、**選択** を押す



- 6 内容を確認し、**選択** を押す



- 7 **↑** **↓** または **0** ~ **9** で複写先のあて番号を選び、**選択** を押す



以降は、P.105 登録操作(手順⑪以降)と同様にグループを選び登録します。

あて名を消去する

あて名は、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて消去できます。

1 **ファイル** を押す

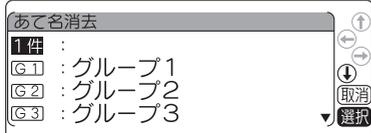
2 「あて名」を選び、**選択改行** を押す
「あて名」メニューが表示されます。

3 「消去」を選び、**選択改行** を押す



4 消去する範囲を選び、**選択改行** を押す

1件 : 1件のみ消去します。
[G1]~[G5] : 選択したグループ内のすべてのあて名を消去します。
全件 : すべてのあて名を消去します。



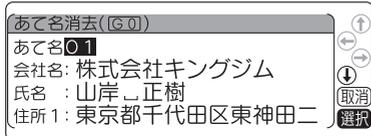
グループまたは全件を選んだ場合は、消去確認の画面に変わります(手順7)。
1件の場合は次の手順であて名を選びます。

5 消去したいあて名が登録されているグループを選び、**選択改行** を押す

グループがわからないときは[G0]を選びます。



6 **↑** **↓** または **0** ~ **9** で消去したいあて名を選び、**選択改行** を押す

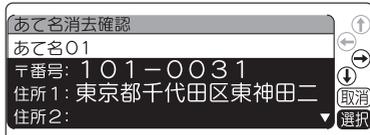


消去する内容の確認画面になります。

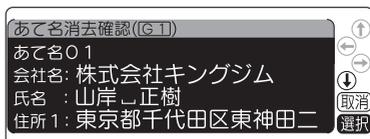
7 内容を確認し、**選択改行** を押す

1件消去の場合はあて名の内容が、グループまたは全件消去の場合は含まれているあて名の情報が表示されます。

1件消去の場合

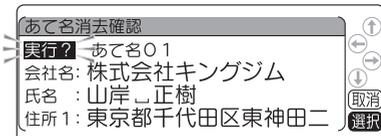


グループ消去の場合



8 内容を確認し、**選択改行** を押す

1件消去の場合はあて名の情報が、グループまたは全件消去の場合は「グループ名」「全件」と表示されます。



「実行中」と表示され、消去後に「終わり？」にカーソルが移ります。続けてあて名の修正や消去ができます。

「終わり？」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

MEMO

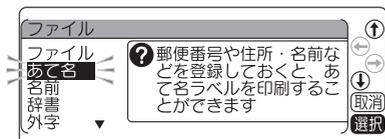
- 消去したあて名は、**復活** を押しても復活させることはできません。
- 操作の途中で**削除改行** または **ファイル** を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 削除件数が多い場合、時間がかかることがあります。

あて名ラベルを印刷する

あて名は、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて印刷できます。
また、印刷時に書体を指定できます。

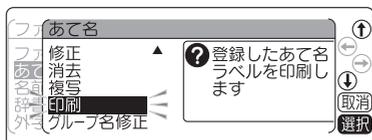
1 **「ファイル」**を押す

2 「あて名」を選び、**「選択実行」**を押す



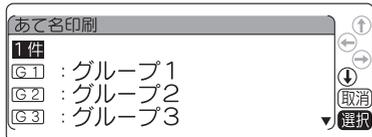
「あて名」メニューが表示されます。

3 「印刷」を選び、**「選択実行」**を押す



4 印刷する範囲を選び、**「選択実行」**を押す

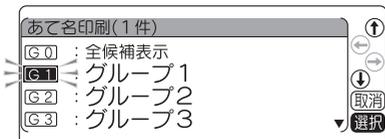
1件 : 1件のみ印刷します。
[G1]～[G5] : 選択したグループ内のすべてのあて名を印刷します。
全件 : すべてのあて名を印刷します。



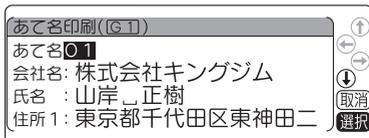
グループまたは全件を選んだ場合は、印刷確認の画面に変わります(手順7)。
1件の場合は次の手順であて名を選びます。

5 印刷したいあて名が登録されているグループを選び、**「選択実行」**を押す

グループがわからないときは[G0]を選びます。



6 **「↑」「↓」**または[G0]～[G9]で印刷したいあて名を選び、**「選択実行」**を押す

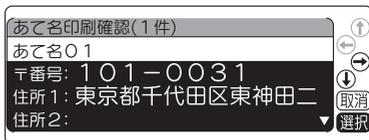


印刷する内容の確認画面になります。

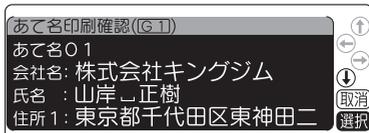
7 内容を確認し、**「選択実行」**を押す

あて名の情報が表示されます。

1件印刷の場合



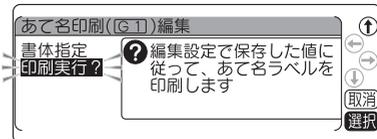
グループ印刷 / 全件印刷の場合



8 内容を確認し、**「選択実行」**を押す

あて名印刷の編集画面になります。

9 「印刷実行?」を選び、**「選択実行」**を押す



あて名が印刷されます。

印刷後に「終わり?」にカーソルが移ります。
続けてあて名の修正や消去ができます。
「終わり?」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

MEMO

- 「書体指定」を選ぶと、印刷する書体を指定できます。指定したあとに「印刷実行?」を選んで**「選択実行」**を押すと、指定した書体であて名が印刷されます。
- 印刷を途中でやめるときは**「印刷実行」**を押してください。

!! 注意 !!

カスタマバーコード付きのあて名ラベルを印刷するときは、バーコードリーダーで読み取りやすい白ラベルに黒文字のテープで作成することをお奨めします。

MEMO

- あて名印刷時は、「御中」または「様」が自動的につきます。あて名登録時に氏名を入力しないと、会社名または部署名のあとに「御中」がつきます。氏名まで入力すると、氏名のあとに「様」がつきます。

氏名を入力しない「あて名」

101-0031
東京都千代田区東神田二丁目10番18号

株式会社キングジム
開発部 御中

「御中」がつきます

氏名まで入力した「あて名」

101-0031
東京都千代田区東神田二丁目10番18号

株式会社キングジム
開発部
山岸 正樹 様

「様」がつきます

- 操作を途中でやめるときは  を押してテキスト画面に戻ります。

あて名のグループ名修正

あて名を登録するグループ名を変更できます。

参照  P.102 「グループの名前を変える」

カスタマバーコードについて

郵便局では、郵便番号とあて名を合わせた情報からバーコードを作成し、処理していますが、差出し側があらかじめバーコードを印刷することもできます。このバーコードをカスタマバーコードといいます。本機では、郵便番号と住所表示番号を入力するだけで、カスタマバーコードを印刷することができます。

MEMO

- 「カスタマバーコード」を印刷する義務はありません。
- 「カスタマバーコード」は7桁郵便番号時のみご利用頂けます。
- 「カスタマバーコード」、「カスタマバーコード割り引き制度」などの利用についての詳細は、お客様の配達を受け持つ郵便局におたずねください。

カスタマバーコード指定の基本ルール

カスタマバーコードを印刷する場合、「あて名登録」の「カスタマバーコード (〒)」欄に「郵便番号」+「住所表示番号」を入力します。基本ルールを以下に示します。

例：千葉県鎌ヶ谷市右京塚
東3丁目20-5 鈴木・A&b コーポ B604号

- 住所データを次のAとBの部分に分割する
住所A：「郵便番号」で指定される町域名まで
住所B：町域名以降の住所
- 住所Aを郵便番号に置き換える
〔-〕(ハイフン)は省略
- 住所Bにあるアルファベットの小文字は大文字に置き換える
- データ内にある以下の文字は取り除き、後ろのデータを詰める
「&」(アンパサンド) 「/」(スラッシュ)
「・」(中黒) 「,」(ピリオド)
- ③および④で処理したデータから、算出数字、ハイフンおよび連続していないアルファベットを抜き出す
- 抜き出された文字の前にある下記の文字等は、ハイフン1文字に置き換える
「漢字」、「かな文字」、「カナ文字」、「漢数字」、
「ブランク」、「2文字以上連続したアルファベット文字」
- ⑥の置き換えで、ハイフンが連続する場合は1つにまとめる
- 先頭がハイフンの場合は取り除く
- アルファベットの前後にある(-)を取り除く
- ②で処理したデータに⑨で処理したデータをつなげる

	郵便番号	住所B
	XXX-XXXX	東3丁目-20-5 鈴木・A&bコーポB604号
(②の処理)	XXXXXXXX	
(③の処理)		東3丁目-20-5 鈴木・A&bコーポB604号
(④の処理)		東3丁目-20-5 鈴木ABコーポB604号
(⑤の処理)	3	-20-5 B604号
(⑥の処理)	東 3 丁目	鈴木ABコーポ
		「-」に置き換え
(⑥の処理後)		-3--20-5-B604
(⑦の処理)		-3-20-5-B604
(⑧の処理)		3-20-5-B604
(⑨の処理)		3-20-5B604
(⑩の処理)	XXXXXXXX3	-20-5B604

カスタマバーコードの記入例

- 漢数字が「丁目」「丁」「番地」「号」「地割」「線」「の」「ノ」の前にある場合は、住所 B とし、算用数字に変換して指定します。

例 : 東京都青梅市河辺町十一丁目六番地一号
永井タワー 601
郵便番号 : xxx-xxxx
住所 B : 十一丁目六番地一号永井タワー
601
バーコード [xxxxxxxx11-6-1-601

例 : 北海道帯広市稲田町南七線西 28
郵便番号 : xxx-xxxx
住所 B : 七線西 28
バーコード [xxxxxxxx7-28

- 連続していないアルファベットは指定しますが、算用数字に続くアルファベット 1 文字「F」（ビル等の階数表示の略）については指定しません。

もし、「F」以降に指定対象となるデータがある場合は、「F」はハイフンに置き換えます。

例 : 茨城県日立市宮田町 6 丁目 7-14
ABC ビル 2F
郵便番号 : xxx-xxxx
住所 B : 6 丁目 7-14ABC ビル 2F
バーコード [xxxxxxxx6-7-14-2

例 : 茨城県日立市宮田町 6 丁目 7-14
ABC ビル 2F201 号室
郵便番号 : xxx-xxxx
住所 B : 6 丁目 7-14ABC ビル 2F201 号室
バーコード [xxxxxxxx6-7-14-2-201

- アルファベットの前後にあるハイフンは取り除きます。また、アルファベットの前後にあるハイフンを取り除いた結果、アルファベットが 2 文字以上連続してもアルファベットは取り除きません。

例 : 神戸市中央区港島中町 9 丁目 7-6
南シティ A 棟 1F1 号
郵便番号 : xxx-xxxx
住所 B : 9 丁目 7-6 南シティ A 棟 1F1 号
バーコード [xxxxxxxx9-7-6A1-1

例 : 京都府綾部市青野町綾部 6-7
L プラザ B106
郵便番号 : xxx-xxxx
住所 B : 6-7 L プラザ B106
バーコード [xxxxxxxx6-7LB106

- バーコードの合計桁数が 20 文字を超えた場合、以降の文字については切り捨てます。

例 : 札幌市中央区南四条西 29 丁目 1524-23
第 2 ステージハウス 501
郵便番号 : xxx-xxxx
住所 B : 29 丁目 1524-23 第 2 ステージハウス 501
バーコード [xxxxxxxx29-1524-23-2-

MEMO

本機ではバーコードは 20 文字まで入力できます。

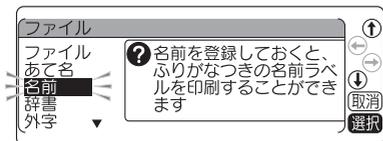
名前を登録する

名前データを登録します。

名前は名前番号 01 ~ 40 (40 件) の中から番号を選んで、登録します。

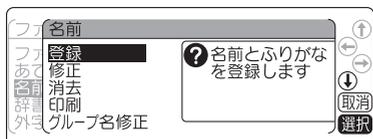
1 **ファイル** を押す

2 「名前」を選び、**選択** を押す

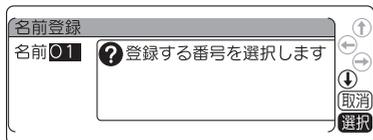


「名前」メニューが表示されます。

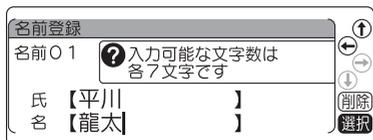
3 「登録」を選び、**選択** を押す



4 **↑**、**↓** または **01** ~ **09** で登録する名前番号を選び、**選択** を押す



5 名前 (氏と名) を入力し、**選択** を押す
各 7 文字まで入力できます。

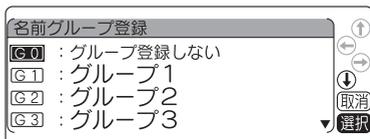


ふりがな修正画面が表示されます。

6 ふりがなを確認し、**選択** を押す
必要に応じてふりがなを修正します。

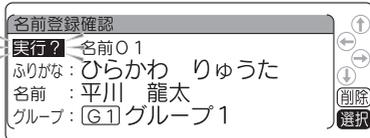


7 登録するグループを選び、**選択** を押す
グループ登録しない場合は **G0** を選びます。



登録する内容の確認画面になります。

8 内容を確認し、**選択** を押す



「実行中」と表示され、登録後に「終わり？」にカーソルが移ります。続けて名前の修正や消去ができます。「終わり？」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

「実行中」に AC アダプタや電池を抜かないでください。名前の内容がこわれる可能性があります。

MEMO

- 操作の途中で **削除** または **ファイル** を押すと、1 つ前の状態に戻ります。**ホーム** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- データがいっぱいでこれ以上登録できなくなると「メモリーがいっぱいです」が表示されます。不要なファイル・あて名・名前データを消去してください。
- 本機には、約 10,000 文字 (最大で 40 件の名前データ) を登録することができますが、ファイル、あて名、名前は登録エリアが共有のため、たくさんの文章をファイルしていたり、あて名を登録していると、登録できる名前の件数が少なくなります。

名前を修正する

登録した名前を修正する場合は、P.112 手順③で「修正」を選びます。登録したグループから名前の番号を選ぶと修正画面になり、登録と同様の操作で修正できます。

名前を消去する

名前を消去する場合は、P.112 手順③で「消去」を選びます。消去の範囲（1件、グループ、全件）を選び、消去します。1件消去を選択した場合は、さらに名前番号を指定します。

名前のグループ名修正

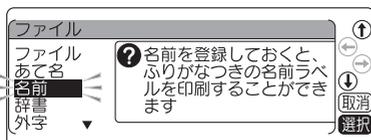
名前を登録するグループ名を変更できます。
参照 P.102「グループの名前を変える」

名前ラベルを印刷する

名前は、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて印刷できます。
また、印刷時に書体やラベルの長さ（定長）などを指定できます。

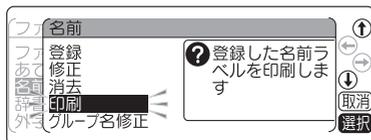
1 **ファイル** を押す

2 「名前」を選び、**選択** を押す



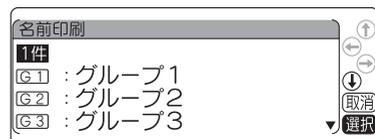
「名前」メニューが表示されます。

3 「印刷」を選び、**選択** を押す



4 印刷する範囲を選び、**選択** を押す

- 1件 : 1件のみ印刷します。
- [G1] ~ [G5] : 選択したグループ内のすべての名前を印刷します。
- 全件 : すべての名前を印刷します。



グループまたは全件を選んだ場合は、印刷確認の画面に変わります（手順⑦）。
1件の場合は次の手順で名前を選びます。

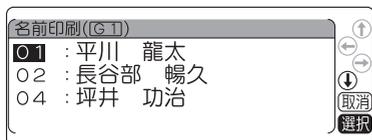
5 印刷したい名前が登録されているグループを選び、**選択** を押す

グループがわからないときは[G0]を選びます。



次へ進みます

- 6 または ~ で印刷したい名前を選び、 を押す



印刷する内容の確認画面になります。

- 7 内容を確認し、 を押す
1 件印刷の場合は内容が、グループまたは全件印刷の場合は名前一覧が表示されます。
1 件印刷の場合

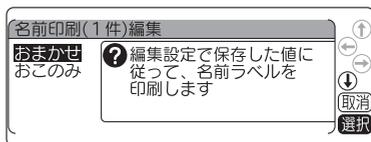


グループ印刷の場合

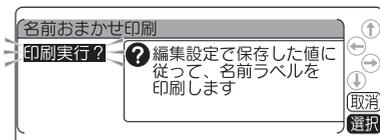


- 8 内容を確認し、 を押す
名前印刷の編集画面になります。

- 9 そのまま印刷する場合は「おまかせ」を選び、 を押す
ここで「おこのみ」を選ぶと、定長印刷、飾り字、斜体・強調、書体、ふりがなの有無が指定できます。



- 10 「印刷実行？」を選び、 を押す



名前ラベルが印刷されます。
印刷後に「終わり？」にカーソルが移ります。
続けて名前の修正や消去ができます。
「終わり？」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

MEMO

- 操作の途中で または を押すと、1 つ前の状態に戻ります。 を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 印刷を途中でやめるときは を押してください。
- 登録した名前をたて書きで印刷する場合は、「編集設定」メニューから「縦・横」を選び、「たて書き」に設定してください。参照 P.198 「保存値を変更する」

!! 注意 !!

4mm 幅テープでは「ふりがな」が入力されていても、名前 1 行のラベルが印刷されます。

9mm幅テープ（「ふりがな」あり）

9mm幅テープ（「ふりがな」なし）

4mm幅テープ

ひらかわりゅうた
平川龍太

平川龍太

平川龍太

変換できない語句を登録する（辞書の登録）

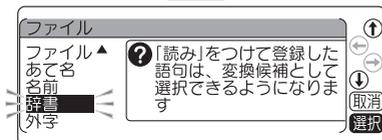
難しい人名や長い熟語など一度に漢字変換することが難しい「語句」に「読み」をつけて辞書登録しておく、通常の漢字変換と同じ操作で、簡単に変換できるようになります。

辞書には漢字だけでなく、記号・外字・英数字・英記号も登録できます。辞書番号 01 ~ 50 に最大 50 個まで登録できます。

例：特許申請手続き代行書類（とつきよしよるい）を登録する

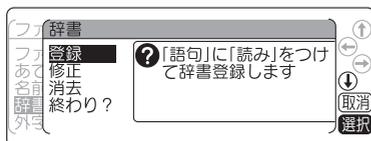
1 **ファイル** を押す

2 「辞書」を選び、**選択** を押す

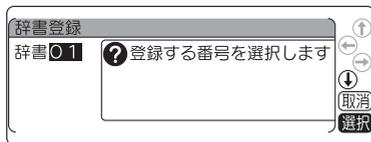


「辞書」メニューが表示されます。

3 「登録」を選び、**選択** を押す

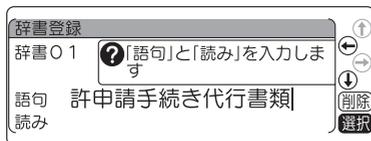


4 **↑**、**↓** または **0** ~ **9** で登録する辞書番号を選び、**選択** を押す

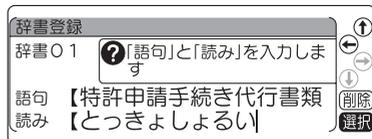


辞書の登録画面になります。

5 「語句」を入力し、**選択** を押す



6 「読み」をひらがなで入力する



7 **選択** を押す

「実行中」と表示され、登録後に「終わり？」にカーソルが移ります。続けて辞書の修正や消去ができます。

「終わり？」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

MEMO

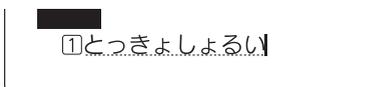
- 登録できる「語句」の文字数は 15 文字以内、「読み」の文字数は 16 文字以内です。ただし、濁音、半濁音は 2 文字と数えます。入力できる文字数を超えると、超えた分は自動的に文末から削除されます。
- 入力できる「読み」はひらがなのみです。
- 操作の途中で**削除**または**ファイル**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 登録済みの辞書と同じ「語句・読み」を登録しようとする、「辞書に登録済み」と表示され、登録できません。違う「語句・読み」を入力してください。
- 辞書登録では文章書式、段落スタイル、文字モード、イラスト、連番、バーコードの登録はできません。
- 辞書がいっぱいこれ以上登録できなくなると、「辞書の登録数がいっぱいです」が表示されます。それでも辞書の登録をしたい場合は、辞書消去で不要な辞書データを削除してください。

登録した語句を呼び出す

通常の漢字変換と同じように呼び出すことができます。

例：特許申請手続き代行書類を「とっきよしよるい」で呼び出す

1 「とっきよしよるい」を入力する

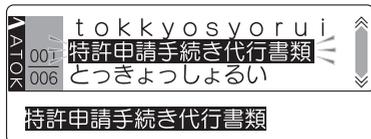


2 変換スペースを押す

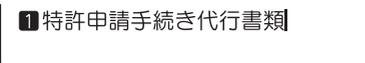
辞書登録した「特許申請手続き代行書類」が変換候補として表示されます。



3 「特許申請手続き代行書類」になっている状態で▼を押す



「特許申請手続き代行書類」が確定されます。

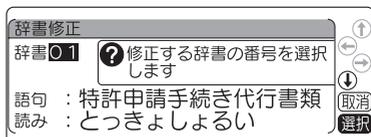


登録した辞書を修正する

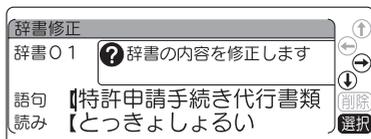
例：「読み」の「とっきよしよるい」を「とくしん」に変える

1 P.115「変換できない語句を登録する」の手順③で「修正」を選び、**選択改行**を押す

2 修正したい辞書を選び、**選択改行**を押す

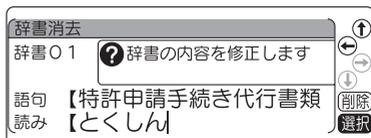


登録した辞書が表示され、修正できる状態になります。



3 新しい「読み」を入力する

「とっきよしよるい」を削除し、「とくしん」と入力しなおします。



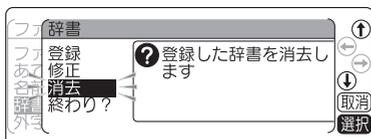
4 **選択改行**を押す

「読み」を修正した辞書が登録されます。続けて辞書の修正や消去ができます。「終わり?」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

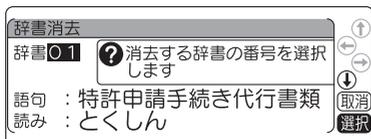
登録した辞書を消去する

登録されている辞書を消去します。

- 1 **ファイル** を押す
- 2 「辞書」を選び、**選択改行** を押す
「辞書」メニューが表示されます。
- 3 「消去」を選び、**選択改行** を押す



- 4 **↑** **↓** または **0** **1** ~ **0** **9** で消去したい辞書を選び、**選択改行** を押す

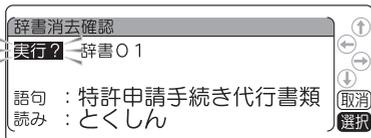


消去する内容の確認画面になります。

- 5 内容を確認し、**選択改行** を押す



- 6 **選択改行** を押す



辞書が消去されます。

続けて辞書の修正や消去ができます。

「終わり?」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

消去した辞書は**復活**を押しても復活させることはできません。十分に確認した上で消去の操作をおこなってください。

MEMO

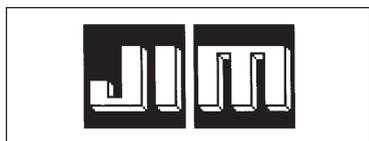
操作の途中で**削除**または**ファイル**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

●外字を使う

自分でデザインしたマークや会社のロゴ、対応していない漢字や内蔵されていない文字・記号は、外字として登録すると、文中に入力し印刷できます。

外字は正方形です。横長のロゴタイプなどは複数の外字に切り分けて登録し、「編集」の文字モードで文字間を「密着」に指定すると、つながったロゴとして印刷できます。

外字2つに分けて登録（文字間「ふつう」）



文字間「密着」



MEMO

- 外字は10文字まで登録できます。
- 本機は、美しい印刷を可能にするアウトラインフォントという形式の文字を搭載していますが、外字については作成のしやすさから、ビットマップ形式を採用しています。ビットマップ形式での外字はアウトラインフォントの文字と比べて多少ギザギザが目立ちます。

外字を作る概要

外字を登録するときは、1つの外字について、16・24・32・40・48ドットの5段階の大きさの字形データを作成します。これは、複数の文字サイズを美しく印刷するためです。

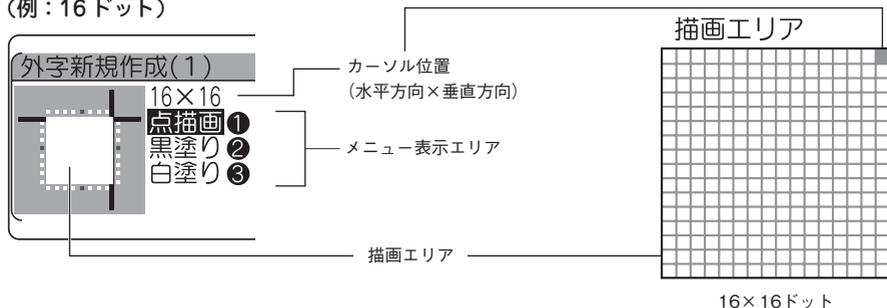
ただし、5段階すべての外字を始めから作る手間をなくすため、最初に16ドットのデータを入力すると、これをもとに自動的に拡大して24・32・40・48ドットの字形データを作り、あとから細部を補正して作るしくみになっています。

画面表示と描画方法

外字の作成は、方眼紙のマスを埋めていくような作業です。画面に表示された描画エリアを方眼紙に見立て、点（ドット）を塗りつぶしていきます。

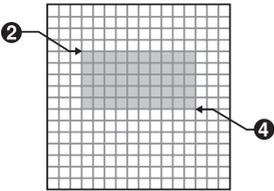
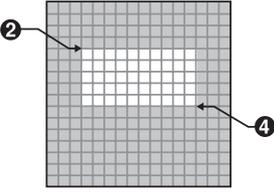
画面表示

(例：16ドット)



描画方法（メニュー表示エリアで選択）

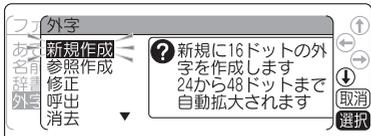
描画方法（メニュー）には、1ドットずつ塗りつぶす「点描画」のほか、ブロックで黒く塗りつぶす「黒塗り」、ブロックで白く塗りつぶす「白塗り（=消去）」があり、それぞれ数字ボタン **1** / **2** / **3** で選択します。

メニュー	描画方法	手順
点描画	1つ1つの点（ドット）ずつ塗りつぶす方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 1を押す。 メニュー「点描画」がネガ表示されます。 2 塗りつぶすドットにカーソルを ← ↑ ↓ → で移動する。 3 シフトを押す。 カーソル位置が黒く塗りつぶされます。 もう一度押すと、白く塗りつぶされます。
黒塗り	広い範囲のブロックを黒く塗りつぶす方法 指定範囲 	<ol style="list-style-type: none"> 1 2を押す。 メニュー「黒塗り」がネガ表示されます。 2 塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを ← ↑ ↓ → で移動する。 3 シフトを押す。 対角線上のもう一方の頂点にカーソルを ← ↑ ↓ → で移動する。 4 シフトを押す。手順2と4で指定した範囲全体が黒く塗りつぶされます。
白塗り	広い範囲のブロックを白くする（消す）方法 指定範囲 	<ol style="list-style-type: none"> 1 3を押す。 メニュー「白塗り」がネガ表示されます。 2 塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを ← ↑ ↓ → で移動する。 3 シフトを押す。 対角線上のもう一方の頂点にカーソルを ← ↑ ↓ → で移動する。 4 シフトを押す。手順2と4で指定した範囲全体が白く塗りつぶされます。

外字を作成し、登録する

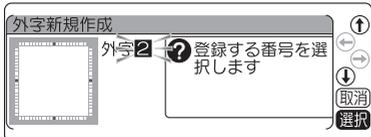
例：外字番号「2」に「」を登録する

- 1  を押す
- 2 「外字」を選び、 を押す
「外字」メニューが表示されます。
- 3 「新規作成」を選び、 を押す

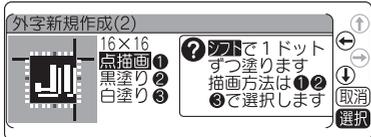


描画エリアと外字番号が表示されます。

- 4 登録する番号に「2」を選び、 を押す

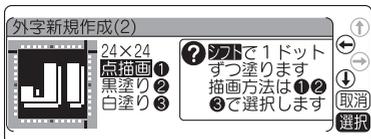


- 5 16ドットのデータを描画する
 と , , ,  で描画します。
参照  P.119 「画面表示と描画方法」



- 6 16ドットの描画が終わったら、 を押す

16ドットのデータをもとに、24・32・40・48ドットのデータが自動的に拡大作成されます。

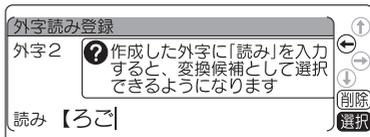


- 7 24・32・40・48ドットのデータを補正する
手順  と同様の操作で、拡大されたデータを補正します。 を押すと、次のサイズの描画に移ることができ、48ドットの描画が終わると、「読み」の入力画面が表示されます。

!! 注意 !!

24～48ドットすべてのデータを補正しないと、文字サイズによってはきれいに印刷されません。

- 8 外字の「読み」を入力し、 を押す
「読み」はひらがなで16文字まで入力できます。



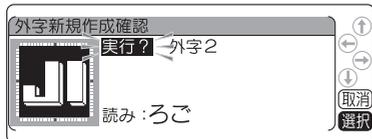
MEMO

- 登録できる「読み」の文字数は16文字以内です。ただし、濁音、半濁音は2文字と数えます。入力できる文字数を超えると、超えた分は自動的に文末から削除されます。
- テキスト入力でこの「読み」を入力し、 を押すと、外字を呼び出すことができます。

!! 注意 !!

外字作成中にUSBケーブルを挿入したりカッターのテープカートリッジをセットすると、作成中の外字は削除され、それぞれパソコンリンク状態または「カッターレフォーム」メニューが表示されます。

9 内容を確認し、**選択**を押す



「実行中」と表示され、登録後に「終わり?」にカーソルが移ります。続けて外字の消去や複写ができます。
「終わり?」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

MEMO

- 操作の途中で**削除**または**ファイル**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字、点滅文字があるときは、**ファイル**で外字を新規作成できません。

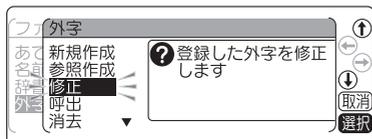
外字を修正する

例：外字番号「4」の48ドットデータを修正する

1 **ファイル**を押す

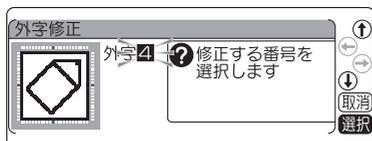
2 「外字」を選び、**選択**を押す
「外字」メニューが表示されます。

3 「修正」を選び、**選択**を押す



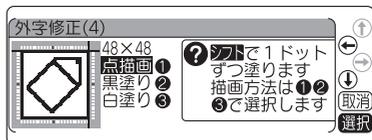
登録されている外字番号が表示されます。

4 修正する外字番号「4」を選び、**選択**を押す



16ドットの描画面が表示されます。

5 48ドットの描画面が表示されるまで**選択**を押す



6 48ドットのデータを修正する
参照 [P.119](#) 「画面表示と描画方法」

7 **選択**を押す
「読み」の入力画面が表示されます。
必要に応じて、「読み」の修正をします。

8 **選択**を押す
修正の確認画面になります。

9 内容を確認して、**選択**を押す
修正した外字が登録されます。続けて外字の消去や複写ができます。
「終わり?」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

登録時と異なり、修正した内容は自動で拡大されません。

外字を呼び出す

登録した外字を入力します。外字を滑らかに印刷したいときは、「平滑化=する」を選んでください。

MEMO

簡単に呼び出すには

登録した外字の読みを入力し、**交換スペース**を押すと、登録した外字が表示されます（この場合は外字の「平滑化」はおこなわれません）。

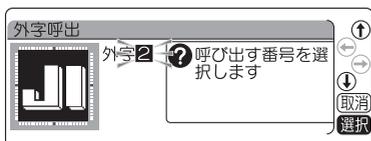
① 外字を入力する部分にカーソルを合わせる

② **ファイル**を押す

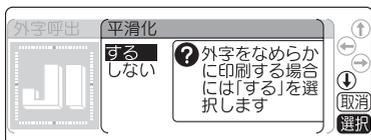
③ 「外字」を選び、**選択実行**を押す

④ 「呼出」を選び、**選択実行**を押す

⑤ 呼び出す外字を選び、**選択実行**を押す



⑥ 「平滑化」メニューから「する」または「しない」を選び、**選択実行**を押す



カーソル位置に外字が入力されます。

MEMO

- 操作の途中で**削除**または**ファイル**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 記号メニューで「外字呼出」を選択しても手順⑤に進めます。

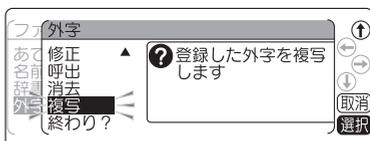
外字を複写する

外字を別の外字番号に複写します。

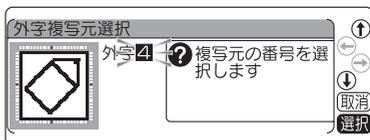
① **ファイル**を押す

② 「外字」を選び、**選択実行**を押す

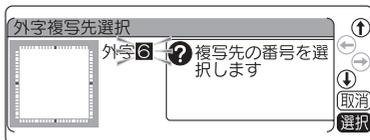
③ 「複写」を選び、**選択実行**を押す



④ 複写元の外字番号を選び、**選択実行**を押す

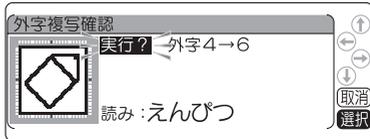


⑤ 複写先の外字番号を選び、**選択実行**を押す



⑥ 複写先の「読み」を入力し、**選択実行**を押す
複写する内容の確認画面になります。

⑦ 内容を確認し、**選択実行**を押す



複写した外字が登録されます。続けて外字の消去や複写ができます。「終わり?」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

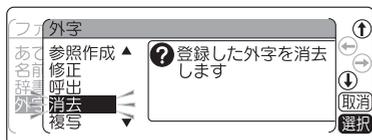
MEMO

- 操作の途中で**削除**または**ファイル**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字、点滅文字があるときは、**ファイル**で外字を複写できません。

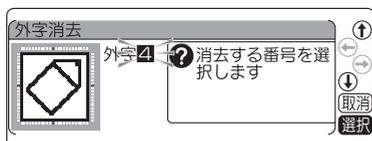
外字を消去する

登録されている外字を消去します。

- 1 **ファイル** を押す
- 2 「外字」を選び、**選択改行** を押す
- 3 「消去」を選び、**選択改行** を押す

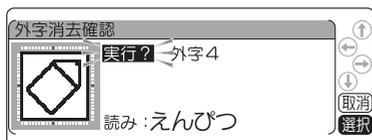


- 4 消去する外字番号を選び、**選択改行** を押す



消去する内容の確認画面になります。

- 5 内容を確認し、**選択改行** を押す



外字が消去され、続けて外字の消去や複写ができます。

「終わり?」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

消去した外字は **復活** を押しても復活させることはできません。十分に確認した上で消去の操作をおこなってください。

MEMO

- 操作の途中で **削除** または **ファイル** を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字、点滅文字があるときは、**ファイル** で外字を消去できません。
- 消去された外字が文章などに使われていた場合、その外字は空白として印刷されます。

外字を参照作成し、登録する

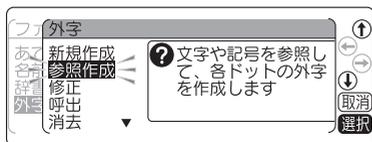
「参照作成」では、本機に内蔵されている文字や記号のデータをもとに修正して外字を作成します。操作は「外字を作成し、登録する」と同じですが、「参照作成」は途中で参照する文字を入力します。

例：「記号」の「生き物」の「」にヒゲをつけて「」にする

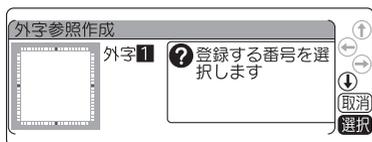
1  を押す

2 「外字」を選び、 を押す

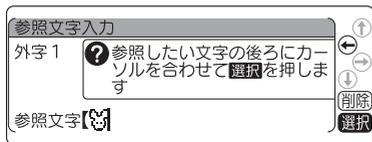
3 「参照作成」を選び、 を押す



4 登録する外字番号を選び、 を押す



5 参照する文字（記号）を入力し、カーソルをその後ろ（右側）に合わせる



最大5文字まで入力できますが、カーソルの左側の1文字を参照します（入力ガイドにカーソルがあるときは先頭文字を参照します）。

MEMO

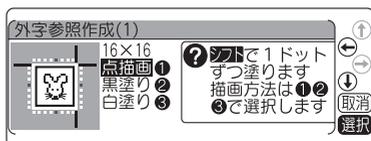
- 最大5文字まで入力できるので、単語や熟語、辞書登録した語句なども利用できます。
- 連番、バーコード、合成記号、編集記号、半角スペース、外字は参照できません。
- 参照する文字には、文字モードの書体を指定できます。

6 データを修正する

参照文字が16ドットで表示されますので、これをもとに修正します。

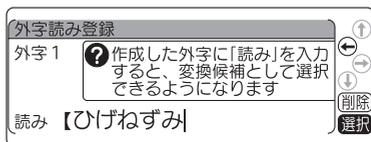
 を押すと次のサイズの修正画面に移ります。

参照  P.119 「画面表示と描画方法」



7 48ドットの描画が終わったら  を押す

8 外字の「読み」を入力し、 を押す



9 内容を確認し、 を押す

「実行中」と表示され、登録後に「終わり？」にカーソルが移ります。続けて外字の消去や複写ができます。

「終わり？」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

MEMO

- 文章中でこの「読み」を入力し、 を押すと外字を呼び出すことができます。
- 操作の途中で  または  を押すと、1つ前の状態に戻ります。 を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字、点滅文字があるときは、 で外字を参照作成できません。
- 参照作成をおこなう場合は、修正した内容は自動で拡大されません。

●デザインされたラベルを呼び出す (デザインフォーム)

本機にはオフィスや製造現場、医療機関、店舗などのさまざまなシーンで使えるデザインされたフォームが登録されています。呼び出すことで、フォームの内容をそのまま印刷したり、手間をかけずにラベルを作成することができます。

例：「可燃ごみ」のラベル（デザインフォーム）



デザインフォームメニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	選択肢		
オフィス ▶	PC電源	エアコン	紙節約
	職場きれいに	社外秘	印刷面を上
	開放厳禁	本日休暇です	離席中
	節電	節水	可燃ごみ
	不燃ごみ	ケーブル(細)	ケーブル(太)
	フォルダー山	回覧の捺印	備品管理票
	QR 備品管理票		
	施設 ▶	案内所	情報コーナー
救護所		警察	お手洗い
男子		女子	身障者用設備
車椅子20-7°		飲料水	喫煙所
消火器		非常電話	非常ボタン
非常口		広域避難場所	禁止
禁煙		火気厳禁	進入禁止
駐車禁止		自転車禁止	立入禁止
かけ込み禁止		さわるな	捨てるな
飲めない		携帯禁止	電子機器禁止
撮影禁止		フラッシュ	注意
障害物注意		上り段差注意	下り段差注意
滑面注意		転落注意	天井に注意
感電注意		指示	静かに
立つ(左側)		立つ(右側)	

メニュー	選択肢		
お店 ▶	お会計	カード支払い	現金払い
	両替	レシート不要	レジ袋
	ラッピング	募金	配達
	先に食券を	呼び鈴	トレイ置き場
	砂糖	塩	禁煙席
	喫煙席	無線LAN	当店HP
	触れないで	携帯電話禁止	飲食禁止
	防犯カメラ	新商品	パンフレット
	ご覧ください	店長おすすめ	故障中
	年中無休	お手洗	並ぶ
入荷待ち	休憩所	警備員巡回中	
係員	ペット禁止		
建設 ▶	ヘルメット	安全帯着用	5S運動
	安全規則	指差呼称	立ち入り禁止
	作業中	開口部注意	血液型ラベル
工場 ▶	安全確認	ミス防止	手順確認
	高温部注意	巻き込み注意	切断注意
	指挟まれ注意	現場を離れる	整理整頓
	物を置かない	スイッチ切る	保護帽着用
	土足厳禁	責任者ラベル	
病院 ▶	診察中	緊急時ボタン	待合室
	診察券提示	荷物はこちら	必要事項記入
	マスク着用	医療廃棄物	
お名前 ▶	オフィス名札	住所・氏名	学校持ち物
	店舗名札	QR 携帯 1	QR 携帯 2
	QR 携帯 3		

デザインフォーム見本

!! 注意 !!

- 使用するテープ幅によってレイアウトは多少変わることがあります。ラベルサンプルは一部を除き12mm幅テープで印刷したものを縮小したものです。
- 推奨テープ以外のテープ幅では、「行数オーバー」と表示され印刷できないことがあります。

● オフィス ※ () 内は推奨テープ幅

■ PC電源 (6 ~ 36mm)



退出時には電源OFF!

■ エアコン (6 ~ 36mm)



エアコン消し忘れ注意



■ 紙節約 (6 ~ 36mm)



紙の節約を



■ 職場きれいに (6 ~ 36mm)



職場はいつもきれいに



■ 社外秘 (6 ~ 36mm)

社外秘

■ 印刷面を上 (6 ~ 36mm)



印刷面を上にしてセットしてください



■ 開放厳禁 (6 ~ 36mm)



開けたら閉める!

■ 本日休暇です (6 ~ 36mm)



本日休暇です



■ 離席中 (6 ~ 36mm)



席を外しています



■ 節電 (9 ~ 36mm)



節電

■ 節水 (9 ~ 36mm)



節水

■ 可燃ごみ (9 ~ 36mm)



可燃ごみ

■ 不燃ごみ (9 ~ 36mm)



不燃ごみ

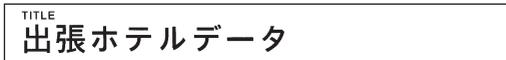
■ ケーブル（細）（24mm）



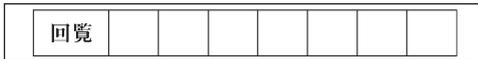
■ ケーブル（太）（36mm）



■ フォルダー山（12mm）※長さ 11cm



■ 回覧の捺印（12～36mm）



■ 備品管理票（18～36mm）

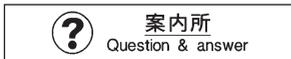
備品名	デジタルPBX
管理番号	0512-S
購入年月	20XX年10月
管理部署	営業部

■ QR 備品管理票（36mm）

備品名	607d	
管理番号	KG00206	
購入年月日	20XX年5月12日	
管理部署	開発技術部	

● 施設 ※（）内は推奨テープ幅

■ 案内所（9～36mm）



■ 情報コーナー（9～36mm）



■ 病院（9～36mm）



■ 救護所（9～36mm）



■ 警察（9～36mm）



■ お手洗（9～36mm）



■ 男子（9～36mm）



■ 女子（9～36mm）



■ 身障者用設備（9～36mm）



■ 車椅子スロープ（9～36mm）



■ 飲料水（9～36mm）



■ 喫煙所（9～36mm）



■ 消火器（9～36mm）



■ 非常電話（9～36mm）



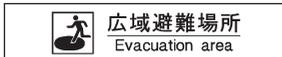
■ 非常ボタン（9～36mm）



■ 非常口（9～36mm）



■ 広域避難場所（9～36mm）



■ 禁止（9～36mm）



■ 禁煙 (9 ~ 36mm)



■ 進入禁止 (9 ~ 36mm)



■ 自転車禁止 (9 ~ 36mm)



■ かけ込み禁止 (9 ~ 36mm)



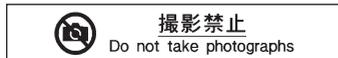
■ 捨てるな (9 ~ 36mm)



■ 携帯禁止 (9 ~ 36mm)



■ 撮影禁止 (9 ~ 36mm)



■ 注意 (9 ~ 36mm)



■ 上り段差注意 (9 ~ 36mm)



■ 滑面注意 (9 ~ 36mm)



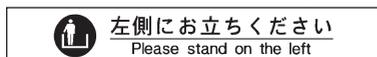
■ 天井に注意 (9 ~ 36mm)



■ 指示 (9 ~ 36mm)



■ 立つ(左側) (9 ~ 36mm)



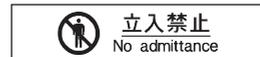
■ 火気厳禁 (9 ~ 36mm)



■ 駐車禁止 (9 ~ 36mm)



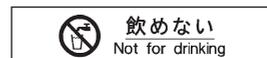
■ 立入禁止 (9 ~ 36mm)



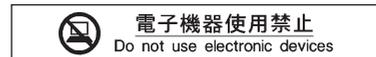
■ さわるな (9 ~ 36mm)



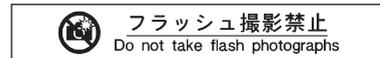
■ 飲めない (9 ~ 36mm)



■ 電子機器禁止 (9 ~ 36mm)



■ フラッシュ (9 ~ 36mm)



■ 障害物注意 (9 ~ 36mm)



■ 下り段差注意 (9 ~ 36mm)



■ 転落注意 (9 ~ 36mm)



■ 感電注意 (9 ~ 36mm)



■ 静かに (9 ~ 36mm)



■ 立つ(右側) (9 ~ 36mm)



●お店 ※ () 内は推奨テープ幅

■ お会計 (6 ~ 36mm)

← お会計はこちらで →

■ カード支払い (9 ~ 36mm)

 クレジットカード利用できます
Credit cards accepted

■ 現金払い (9 ~ 36mm)

 お支払いは日本円の現金をお願いします
Please pay in yen

■ 両替 (9 ~ 36mm)

当店では両替できません
We cannot exchange currency here

■ レシート不要 (9 ~ 36mm)

 不要なレシートはこちらへ
Discard unneeded receipts here

■ レジ袋 (6 ~ 36mm)

 レジ袋は有料です 

■ ラッピング (9 ~ 36mm)

 ラッピング無料で承ります 
Gift wrapping Service

■ 募金 (6 ~ 36mm)

 募金にご協力ください ♡

■ 配達 (9 ~ 36mm)

 配達できます
Delivery service available

■ 先に食券を (6 ~ 36mm)

 券は先にお取りください

■ 呼び鈴 (6 ~ 36mm)

 [ご用の方は押してください]

■ トレイ置き場 (6 ~ 36mm)

 トレイはこちらに

■ 砂糖 (6 ~ 36mm)

 砂糖
sugar

■ 塩 (6 ~ 36mm)

 塩
salt

■ 禁煙席 (6 ~ 36mm)



■ 喫煙席 (6 ~ 36mm)



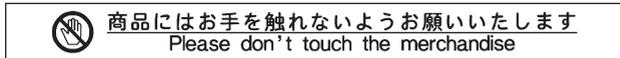
■ 無線LAN (9 ~ 36mm)



■ 当店HP (6 ~ 36mm)



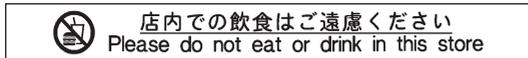
■ 触れないで (9 ~ 36mm)



■ 携帯電話禁止 (9 ~ 36mm)



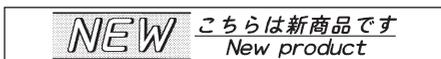
■ 飲食禁止 (9 ~ 36mm)



■ 防犯カメラ (9 ~ 36mm)



■ 新商品 (9 ~ 36mm)



■ パンフレット (9 ~ 36mm)



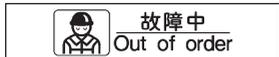
■ ご覧ください (9 ~ 36mm)



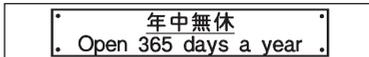
■ 店長おすすめ (9 ~ 36mm)



■ 故障中 (9 ~ 36mm)



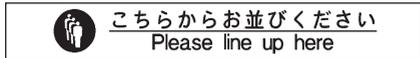
■ 年中無休 (9 ~ 36mm)



■ お手洗 (9 ~ 36mm)



■ 並ぶ (9 ~ 36mm)



■ 入荷待ち (6 ~ 36mm)



■ 休憩所 (6 ~ 36mm)



■ 警備員巡回中 (6 ~ 36mm)



■ 係員 (6 ~ 36mm)



ご不明な点は係員まで

■ ペット禁止 (6 ~ 36mm)



ペットの持ち込み禁止

● 建設 ※ () 内は推奨テープ幅

■ ヘルメット (9 ~ 36mm)



ヘルメット着用

■ 安全帯着用 (9 ~ 36mm)

■ 5 S運動 (9 ~ 36mm)



安全帯着用



5S運動実施中

■ 安全規則 (9 ~ 36mm)



私に安全規則を守りなさい

■ 指差呼称 (9 ~ 36mm)



指差呼称で安全確認

■ 立ち入り禁止 (12 ~ 36mm)

■ 作業中 (9 ~ 36mm)



関係者以外立ち入り禁止



血液型ラベル

■ 開口部注意 (18 ~ 36mm)

■ 血液型ラベル (18 ~ 36mm)



開口部注意



会社(株)キング建設
氏名 石原大輔

● 工場 ※ () 内は推奨テープ幅

■ 安全確認 (9 ~ 36mm)



声を掛け合い安全確認

■ ミス防止 (9 ~ 36mm)



人為的ミス防止!

■ 手順確認 (9 ~ 36mm)



作業手順を再確認

■ 高温部注意 (6 ~ 36mm)

■ 巻き込み注意 (6 ~ 36mm)



警告
高温部注意



警告
巻き込み注意

■ 切断注意 (6 ~ 36mm)

■ 指挟まれ注意 (6 ~ 36mm)



警告
切断注意



警告
指挟まれ注意

- 現場を離れる (9 ~ 36mm)

 **現場を離れる際は報告を**

- 整理整頓 (9 ~ 36mm)

 **整理 + 整頓**

- 物を置かない (9 ~ 36mm)

 **通路に物を置かないで** 

- スイッチ切る (9 ~ 36mm)

 **使わないときはスイッチOFF** 

- 保護帽着用 (9 ~ 36mm)

保護帽着用 

- 土足厳禁 (9 ~ 36mm)

 **土足厳禁**

- 責任者ラベル (12 ~ 36mm)

火元取扱 正 野井
責任者 園 笠原

- 病院 ※ () 内は推奨テープ幅

- 診察中 (6 ~ 36mm)

 **診察中**

- 緊急時ボタン (6 ~ 36mm)

 **緊急時はこのボタンを押してください**

- 待合室 (6 ~ 36mm)

 **順番にお呼びいたします+**

- 診察券提示 (6 ~ 36mm)

 **診察券をご提示ください** 

- 荷物はこちら (6 ~ 36mm)

荷物  **はこちら↑に置いてください**

- 必要事項記入 (6 ~ 36mm)

 **必要事項を記入してください** 

- マスク着用 (6 ~ 36mm)

 **マスクの着用をお願いします** 

■ 医療廃棄物 (12 ~ 36mm)

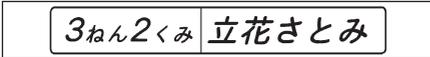


● お名前 ※ () 内は推奨テープ幅

■ オフィス名札 (9 ~ 36mm)



■ 学校持ち物 (9 ~ 36mm)



■ 住所・氏名 (9 ~ 36mm)



■ 店舗名札 (9 ~ 36mm)



■ QR 携帯 1 (36mm)



■ QR 携帯 2 (36mm)



■ QR 携帯 3 (36mm)



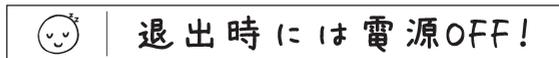
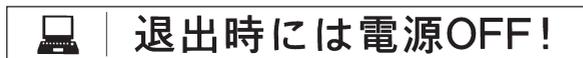
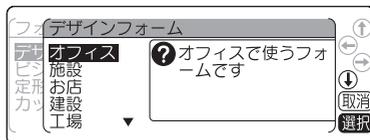
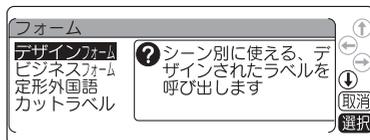
MEMO

- 「QR 携帯 1」、「QR 携帯 2」、「QR 携帯 3」の QR コードは、それぞれ docomo、au、SoftBank の携帯電話での読み取り・登録に対応しています (2014 年 9 月現在)。QR コードの読み取り・登録については、携帯電話の取扱説明書などを参照してください。
- コードの内容や誤り訂正レベルを変更する場合は、QR コードマーク () の直後 (右側) にカーソルを合わせ、[シフト] を押しながら [F1/F2] (= 連番・バーコード) を押ししてください。参照 P.177 「QR コードを印刷する」

ラベルの作りかた（デザインフォーム）

デザインフォームを使ったラベルは以下の流れで作成します。

- 1 使用するフォームを決める**
使いたいデザインフォームを選んでください。
参照 P.127 「デザインフォーム見本」
- 2 フォームを押す**
「フォーム」メニューが表示されます。
- 3 「デザインフォーム」を選ぶ**
↑ ↓ でデザインフォームを選び、**選択改行**を押します。
- 4 分類を選ぶ**
↑ ↓ で目的のフォームが含まれる分類を選び、**選択改行**を押します。
- 5 目的のフォーム名を選ぶ**
フォームの内容を確認しながらフォーム名を選び、**選択改行**を押します。
- 6 入力画面で内容を編集する**
テキスト画面にデザインされたフォームの内容が表示されます。
必要に応じて内容を変更すると、簡単にアレンジしたラベルが作れます。



!! 注意 !!

- デザインフォームを呼び出すと、テキスト画面に入力した文章は消えてしまいます。デザインフォームを呼び出す前に、必要な文章はファイルに登録してください。
参照 P.97 「ファイルに登録する」
- 操作の途中で **戻る** または **ホーム** を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

● 特殊なデザインのラベルを作成する (ビジネスフォーム)

ビジネスフォームとして通常の編集指定では作ることのできない、特殊なデザインのラベルも用意されています。

例：「インデックス（横）」長さ 3.2cm のラベル（ビジネスフォーム）

顧客データ あり

ビジネスフォームメニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
ファイル ▶	呼出 消去	
背見出し A4 ▶	入力	
背見出し B5 ▶	題名 [
	項目 1 [
	項目 2 [
インデックス（縦） ▶	長さ	入力
インデックス（横） ▶	1.8cm ▶	1 枚目 表 [
	3.2cm ▶	1 枚目 裏 [
	6.0cm ▶	2 枚目 表 [
	8.0cm ▶	2 枚目 裏 [
	11cm ▶	:
		12 枚目 表 [
		12 枚目 裏 [

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
備品管理票 ▶	備品管理票 入力 ▶	入力 備品名 [管理番号 [購入日 [管理部門 [
	項目名変更 ▶	入力 項目 1 [備品名 項目 2 [管理番号 項目 3 [購入日 項目 4 [管理部門	
ケーブル ▶	長さ 1.4cm ▶ 2.0cm ▶ 2.6cm ▶ 5.0cm ▶	入力 1 行目 [2 行目 [3 行目 [
	長さ 1.4cm ▶ 2.0cm ▶ 2.6cm ▶ 5.0cm ▶	入力 表 1 行目 [表 2 行目 [裏 1 行目 [裏 2 行目 [
フラッグ (縦) ▶	長さ 1.4cm ▶ 2.0cm ▶ 2.6cm ▶ 5.0cm ▶	入力 表 1 行目 [表 2 行目 [裏 1 行目 [裏 2 行目 [
フラッグ (横) ▶	長さ 1.4cm ▶ 2.0cm ▶ 2.6cm ▶ 5.0cm ▶	入力 表 1 行目 [表 2 行目 [裏 1 行目 [裏 2 行目 [
フラッグ (縦横) ▶	入力 表 1 行目 [表 2 行目 [裏 1 行目 [裏 2 行目 [
定ピッチ ▶	長さ 3.0mm ▶ : 24.0mm ▶ : 60.0mm ▶	区切り 実線 ▶ 点線 ▶ なし ▶	入力 1 列目上 [1 列目下 [2 列目上 [: 16 列目上 [16 列目下 [

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
複数ラベル ▶	入力 1 枚目 [<input type="text"/>] 2 枚目 [<input type="text"/>] : 16 枚目 [<input type="text"/>]	
値札 (込) ▶	長さ 3.0 cm ▶ 3.8 cm ▶ 6.5 cm ▶ 8.5 cm ▶ 11.0 cm ▶	入力 品名 [<input type="text"/>] 本体価格 ¥ [<input type="text"/>] 税率 % [<input type="text"/>]
値札 (抜 / 込) ▶	長さ 2.4 cm ▶ 4.0 cm ▶ 5.0 cm ▶ 6.0 cm ▶	入力 品名 [<input type="text"/>] 本体価格 ¥ [<input type="text"/>] 税率 % [<input type="text"/>]
縦型よこ書 ▶	入力 1 行目 [<input type="text"/>] 2 行目 [<input type="text"/>] : 32 行目 [<input type="text"/>]	
横型たて書 ▶	入力 1 行目 [<input type="text"/>] 2 行目 [<input type="text"/>] : 32 行目 [<input type="text"/>]	

ビジネスフォーム見本

MEMO

ビジネスフォームでも **シフト** を押しながら **削除** (=全消去) を押すと、全文消去ができます。

!! 注意 !!

入力内容にある「おもて」「うら」や「1行目」「2行目」は入力の案内をするためのガイドであり、画面上に表示されるだけで印刷はされません。

- 背見出し A4.....A4 用の背見出しに最適です。 ■ 背見出し B5.....B5 用の背見出しに最適です。

顧客データ

顧客データ : 顧客データ
顧客データ : ××社 ××円

12mm幅テープ (背見出し B5) の印刷見本

MEMO

「背見出し A4/B5」には、編集機能のうち文字モード (書体、飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間) が指定可能です。

- インデックス (縦)....たて書きのインデックスに最適です。 ■ インデックス (横)....よこ書きのインデックスに最適です。

顧客データ

顧客データ

24mm幅テープ (長さ3.2cm) の印刷見本

顧客データ

顧客データ

24mm幅テープ (長さ3.2cm) の印刷見本

MEMO

- 「インデックス (縦 / 横)」には、編集機能のうち文字モード (書体、飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間) が指定可能です。
- 4mm 幅、6mm 幅のテープには印刷できません。
- 入力できる文字数および印刷できる文字数は、以下の通りです。

	入力可能な文字数	印刷可能な文字数 (目安)	
インデックス (縦)	各行 27 文字	長さ 1.8cm : 各行 4 文字 長さ 3.2cm : 各行 8 文字 長さ 6.0cm : 各行 17 文字	長さ 8.0cm : 各行 23 文字 長さ 11cm : 各行 27 文字
インデックス (横)	各行 27 文字	長さ 1.8cm : 各行 7 文字 長さ 3.2cm : 各行 13 文字 長さ 6.0cm : 各行 26 文字	長さ 8.0cm : 各行 27 文字 長さ 11cm : 各行 27 文字

- 印刷可能な文字数は、編集機能を指定しない状態での文字数です。編集機能の「飾り字」や「伸・縮」などを指定すると、印刷可能な文字数は変わります。

参考

「インデックス (縦 / 横)」には、インデックスラベルキングファイルのインデックス表示に最適。

ミシン目入りラベルなので、折りやすくキレイに貼れます。

STY24KM : インデックス山に貼り付けるタイプです (24mm 幅 透明つや消し)。

SSY24K・SCY24R・SCY24Y・SCY24G・SCY24B :

書類などに直接貼り付けるタイプです (24mm 幅 白、赤、黄、緑、青)。

- **備品管理票**「備品名」「管理番号」「購入日」「管理部門」を表組みにした備品管理ラベルを作成できます。
項目名は網掛け印刷され、本格的な雰囲気になります。入力時に「項目名変更」を選択すると、項目名を書き換えることもできます。

備品名	デジタルカメラ
管理番号	1 2 3 4 5 6 7
購入日	20XX年7月
管理部門	総務部

18mm幅テープの印刷見本

MEMO

「備品管理票」には、編集機能のうち文字モード（書体、飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間）が指定可能です。

- **ケーブル**ケーブル表示ラベル用のフォームです。24mm幅、36mm幅テープに対応しています。

本部 5F 開発部 ソフト評価用端末

24mm幅のテープ（長さ2.6cm）
2行の印刷見本

MEMO

- 「ケーブル」には、編集機能のうち文字モード（書体、飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間）が指定可能です。
- 入力できる文字数および印刷できる文字数は、以下の通りです。

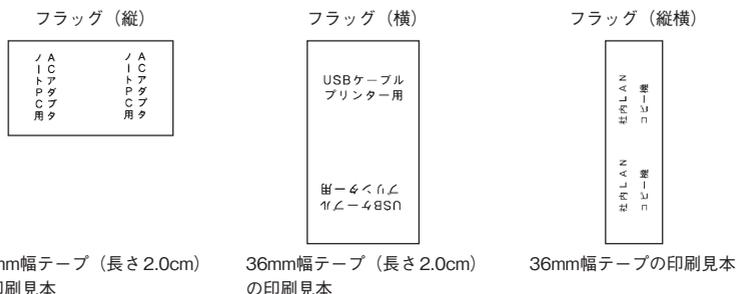
入力可能な文字数	印刷可能な文字数（目安）	印刷可能な行数
各行 26 文字	長さ 1.4cm：各行 6 文字 長さ 2.0cm：各行 10 文字 長さ 2.6cm：各行 13 文字 長さ 5.0cm：各行 26 文字	24mm 幅テープ：2 行 36 mm 幅テープ：3 行

- 印刷可能な文字数は、編集機能を指定しない状態での文字数です。編集機能の「飾り字」や「伸・縮」などを指定すると、印刷可能な文字数は変わります。

参考

「ケーブル」には、ケーブル表示ラベル印刷部分を汚れなどから保護する「セルフラミネート」タイプ。白エリアに印刷し、透明エリアを巻きつけることによりラミネートできます。
SV24K: 24mm 幅（ケーブル径 φ 2.1mm ~ φ 5.4mm 用）
SV36K: 36mm 幅（ケーブル径 φ 2.8mm ~ φ 7.6mm 用）

- **フラッグ（縦／横／縦横）**.....フラッグラベル用のフォームです。細いケーブル（径 1mm ～ 2mm）の貼り付けに最適です。36mm 幅テープに対応しています。



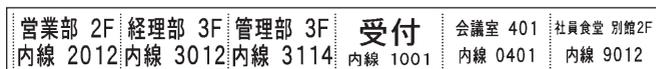
MEMO

- ・「フラッグ（縦／横）」には、編集機能のうち文字モード（書体、飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間）が指定可能です。
- ・「フラッグ（縦横）」には、編集機能のうち文字モードの書体のみが指定可能です。
- ・入力できる文字数および印刷できる文字数は、以下の通りです。

	入力可能な文字数	印刷可能な文字数（目安）
フラッグ（縦）	各行 19 文字	長さ 1.4cm：各行 4 文字 長さ 2.6cm：各行 9 文字 長さ 2.0cm：各行 7 文字 長さ 5.0cm：各行 19 文字
フラッグ（横）	各行 19 文字	長さ 1.4cm：各行 6 文字 長さ 2.6cm：各行 13 文字 長さ 2.0cm：各行 10 文字 長さ 5.0cm：各行 19 文字
フラッグ（縦横）	各行 5 文字	各行 5 文字

- ・印刷可能な文字数は、編集機能を指定しない状態での文字数です。編集機能の「飾り字」や「伸・縮」などを指定すると、印刷可能な文字数は変わります。

- **定ピッチ**.....固定ピッチのフォームです。長さを揃えた複数のラベルを作る場合に便利です。

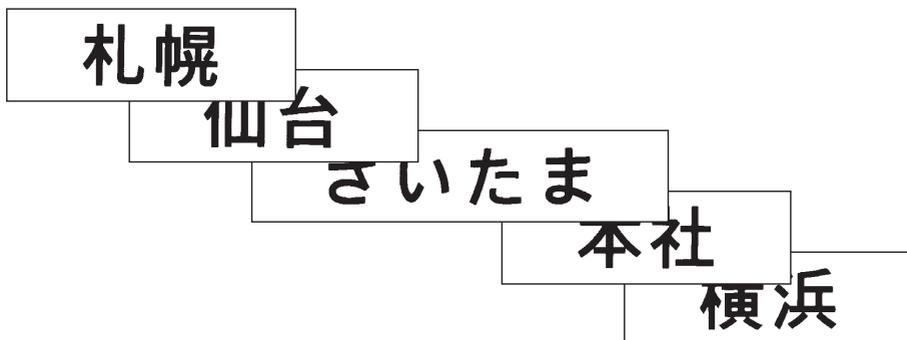


12mm幅テープ（20.0mm、点線区切り）の印刷見本

MEMO

- ・「定ピッチ」には、編集機能のうち文字モード（書体、飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間）が指定可能です。

- 複数ラベル1 行のラベルを複数枚同時に印刷します。

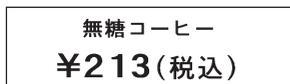


12mm幅テープの印刷見本

MEMO

「複数ラベル」には、編集機能のうち文字モード（書体、飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間）が指定可能です。

- 値札（込 / 抜・込）.....値札ラベル用のフォームです。お使いになるテープ幅に合ったラベルの長さを選択したあと、本体価格と税率を入力することで、税込み価格を自動計算して表示します。



18mm幅テープ（長さ 6.5cm）の印刷見本

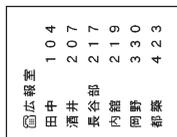


18mm幅テープ（長さ 4cm）の印刷見本

MEMO

- 「値札（込 / 抜・込）」には編集機能のうち文字モードの書体のみが指定可能ですが、指定できるのはカーソルが品名にある場合に限りです。
- 「値札（込 / 抜・込）」で入力できる本体価格は¥1 ～ ¥999,999 です。また、入力できる税率は、0.00% ～ 99% です。
- 自動計算される税込価格は、小数点以下切り捨てで計算されます。

- 縦型よこ書.....内線表などの縦型表示に最適です。



24mm幅テープの印刷見本

MEMO

- 「縦型よこ書」には、編集機能のうち文字モードの書体のみが指定可能です。
- セットされたテープ幅によって、入力できる文字数に制限があります。
参照 P.88 「縦・横」

MEMO

- 入力行が複数あるビジネスフォームは  を押すと次の行にカーソルが移ります。
- インデックスなど表裏があるビジネスフォームは「表」の行で  を押すと、「表」の行に入力した内容が「裏」の行に自動的にコピーされます。
- ビジネスフォームの入力内容にある「1枚目」、「2枚目」や「1枚目 表」、「1枚目 裏」などは入力の案内をするためのガイドであり、画面上に表示されるだけで印刷はされません。
- ビジネスフォームの備品管理票で連続印刷できるのは20枚までです。
- 操作の途中で  または  を押すと、1つ前の状態に戻ります。  を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 入力画面で  を押すと、ラベルを装飾することができます。「フラッグ（縦横）」「値札（税込 / 抜・込）」「縦型よこ書」「横型たて書」は書体のみ、その他のフォームは文字モードの全ての機能（書体、飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間）が指定可能です。
-  を押しながら  （＝全消去）を押すと、入力した内容の全文消去ができます。背見出しおよび備品管理票の画面では、「初期状態に戻す」も選択できます。
- ビジネスフォームの印刷をしたあとは、ビジネスフォームの続行を確認する画面になります。「する」を選択するとビジネスフォームの画面に戻り、「しない」を選択すると通常のテキスト画面に戻ります。このときテキスト画面には、ビジネスフォームを使用する前の文章が残っています。

!! 注意 !!

長さを指定するビジネスフォームでは、入力できる文字数と印刷できる文字数が異なり、入力した内容が指定した長さにおさまらずに印刷できない場合は、入力画面の文字が網掛け表示になります。また、印刷時に「入力した文章が長すぎます」が表示されます。  を押して印刷を中止し、文字数を減らすか「伸・縮」で文字を小さくするなどの指定をしてください。そのまま  または  を押すと、定長を解除して印刷します。

よく作るビジネスフォームをファイル登録する

よく作るビジネスフォームの入力内容をファイル登録することができます。ファイルはファイル番号 00～99（100 件）の中から番号を選んで登録します。

- 1 登録したいビジネスフォームの入力画面で内容を入力し、**ファイル**を押す。

- 2 「ファイル」メニューから、「登録」を選択する

- 3 **↑**、**↓** または **0**、**9** で登録するファイル番号を選び、**選択実行**を押す

- 4 ファイル名を入力し、**選択実行**を押す

- 5 内容を確認し、**選択実行**を押す

「実行中」と表示され、登録後に「終わり?」にカーソルが移ります。続けてファイルの呼出や消去ができます。「終わり?」を選ぶとビジネスフォーム入力画面に戻ります。

!! 注意 !!

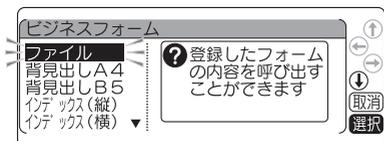
「実行中」に AC アダプタや電池を抜かないでください。ファイル内容がこわれる可能性があります。

MEMO

- 操作の途中で**戻る**または**ファイル**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字、点滅文字があると「ファイル」メニューを表示できません。
- データがいっぱいでこれ以上登録できなくなると、「メモリーがいっぱいです」が表示されます。不要なビジネスフォームをファイルから消去してください。
- 本機には、ビジネスフォームを約 5,000 文字分登録することができます。登録できる個数は、入力時の文字数・行数などによります。

登録したビジネスフォームを呼び出す

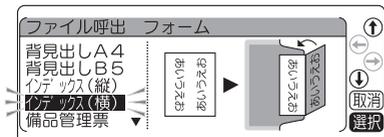
- 1 ビジネスフォームのメニュー一覧から、「ファイル」を選び、**選択実行**を押す



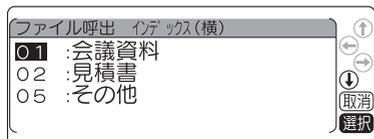
- 2 「呼出」を選び、**選択実行**を押す



- 3 呼び出したいファイルの種類を選び、**選択実行**を押す



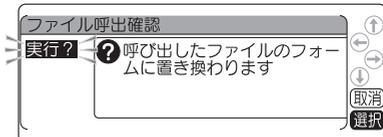
- 4 **↑**、**↓** または **0** ~ **9** で呼び出したいファイルを選び、**選択実行**を押す



- 5 内容を確認し、**選択実行**を押す
←、**↑**、**↓**、**→** で文章を確認することができます。



- 6 内容を確認し、問題なければ **選択実行** を押す



選択したビジネスフォームが呼び出されます。

!! 注意 !!

ファイル登録したビジネスフォームを呼び出すと、前回入力して自動保存されていたフォームは消えます。

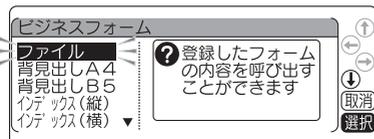
MEMO

- 操作の途中で **削除** または **ファイル** を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- ビジネスフォームの入力画面で、**ファイル** を押して表示される「ファイル」メニューからも、ビジネスフォームのファイルを呼び出すことができます。

登録したビジネスフォームを消去する

ビジネスフォームのファイルは、1件ごとに消去できます。

- ① ビジネスフォームのメニュー一覧から、「ファイル」を選び、**選択改行**を押す



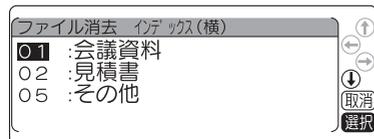
- ② 消去を選び、**選択改行**を押す



- ③ 消去したいフォームを選び、**選択改行**を押す



- ④ **↑**、**↓** または **01** ~ **09** で呼び出したいファイルを選び、**選択改行**を押す

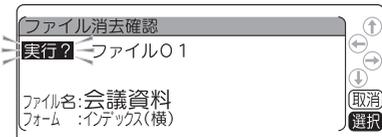


- ⑤ 内容を確認し、**選択改行**を押す

←、**↑**、**↓**、**→** で文章を確認することができます。



- ⑥ 内容を確認し、問題なければ**選択改行**を押す



選択したビジネスフォームが消去されます。続けてファイルの呼出や消去ができます。「終わり?」を選べるとビジネスフォーム入力画面に戻ります。

MEMO

- 消去したビジネスフォームは、**復活**を押しても復活させることはできません。
- 操作の途中で**削除改行**または**ファイル**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- ビジネスフォームのファイルは全件まとめての消去や、フォームの種類ごとにまとめて消去することはできません。
- ビジネスフォームの入力画面で、**ファイル**を押して表示される「ファイル」メニューからも、ビジネスフォームのファイルを消去できます。

● 定型外国語を入力する

本機には、定型文を日本語、英語、中国語、韓国語の4ヶ国語で表示する定型外国語機能があります。日本語の読みを入力し、検索結果から定型文を選ぶだけで、自動的に対応する英語、中国語、韓国語の文章が呼び出されます。さらに定型文によっては記号の入ったラベルになるため、注意ラベルなどの作成に役立ちます。



定型外国語に対応している定型文は、よく使う注意文や表示文、名詞など約 800 フレーズにおよび、いろいろな用途に利用できます。

MEMO

定型外国語に対応している定型文（日本語）は、P.246 「定型外国語一覧表」を参照してください。

定型外国語メニュー一覧

フォームメニューから定型外国語を入力することができます。

メニュー

入力

定型外国語

日本語の読みを入力して定型文を検索します。

参照 P.149

呼出確認

呼び出した定型文を確認します。

- でテキスト画面に確認中の定型外国語を呼び出します。
- で確認中の定型外国語を各言語ごとに印刷します。

定型外国語を使う

定型の日本語に該当する英語、中国語、韓国語のラベルを作成します。

例：「エレベーター」のラベルを作成する

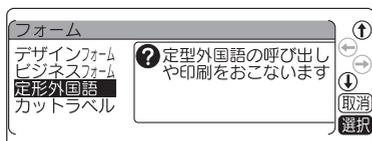
- 呼出確認画面から [印刷] を指定した場合のラベル



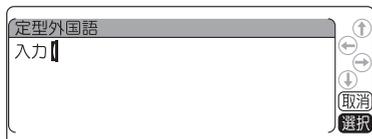
- テキスト画面に呼び出した場合のラベル



- 1 **フォーム** を押す
「フォーム」メニューが表示されます。
- 2 **「定型外国語」** を選ぶ
[↑] [↓] で定型外国語を選び **選択改行** を押します。



「定型外国語」入力画面が表示されます。



- 3 検索したい内容を、ひらがなで入力し、**選択改行** を押す
変換候補一覧が表示されます。



MEMO

- ひらがな以外を入力した場合は定型文を検索できません。
- 入力された文字に対応する定型文がない場合は、「該当する候補がありません」が表示され検索結果になにも表示されません。

- 4 検索結果が複数ある場合は、[↑] [↓] で目的の文を選び **選択改行** を押す
定型外国語呼出確認画面が表示されます。

- 5 **内容を確認し、操作を選択する**

選択改行 : 確認中の定型外国語をテキスト画面に新しい段落として挿入します (手順 8 へ)。

印刷 : 言語ごとにラベルを印刷します (手順 6 へ)。



次へ進みます

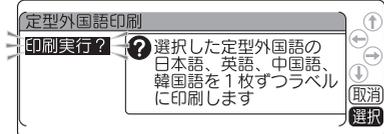


MEMO

操作の途中で **削除** または **ホーム** を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

6 「印刷実行」を選び、**選択**を押す

各言語のラベルが印刷されます。印刷後は呼出確認の画面に戻ります（手順7へ）。



MEMO

手順6で印刷実行した場合、ラベルは以下の指定で印刷され、変更はできません。

「文字サイズ」: 「自動」 - 「均等」

「漢字 / かな書体」: 「ゴシック」

「英数書体」: 「HV 体」

「文字間」: 「狭い」 - 「プロポーショナル オン」

上記以外は、初期設定値となります。各機能の初期設定値については、P.72「編集メニュー一覧」を参照してください。

7 **削除** または **選択** を押す

終了する場合は **削除** を押します。テキスト画面に文章を呼び出す場合は、**選択** を押します。

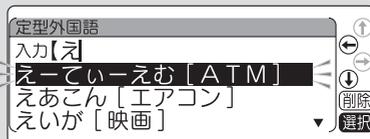


8 テキスト画面でラベルを編集する



MEMO

- 手順2で表示される定型文は、最初の1文字を入力だけでも検索できます。
- テキスト画面では、定型外国語マークで囲まれて表示されます。定型外国語マークは、日本語が **J**、英語が **E**、中国語が **C**、韓国語が **K** になります。
- 定型外国語マークで囲まれた言語は、12個までしか挿入できません。



定型外国語を編集する

定型外国語のラベルを編集する場合は、以下のことに注意してください。

- 定型外国語マークで囲まれた各言語は、内容を変更できません。
- 定型外国語マークで囲まれた各言語内に文字カーソルを移動すると点線表示の状態でも移動できますが、各言語は1つのブロックになっており、削除する場合、その言語の文全体が削除されます。コピーする場合も、文全体をコピーします。
- 日本語と英語は書体を変更できますが、中国語と韓国語は変更できません。文字サイズや強調などの編集は全言語で変更できます。



●カットラベルに印刷する

カットラベルフォームを使うと、あらかじめ定形に型抜きされたラベルを使って、完成度の高い成果物を作成することができます。



品名	ノートPC
番号	KJ0123

!! 注意 !!

- カットラベルフォームで印刷するには、カットラベルのテープカートリッジを本機にセットする必要があります。
- 本機は「SR5900P 専用」と書かれているカットラベルもお使いいただけます。

MEMO

- カットラベルフォームメニューはカットラベル以外をセットした場合も、**フォーム**から選択が可能です。ただし、ファイルの消去のみ実行できます。それ以外の操作は、カットラベルをセットしてからおこなってください。
- カットラベルのテープカートリッジをセットしているときに**ホーム**を押すと、テキスト画面ではなく、カットラベルフォームメニュー画面に戻ります。

カットラベルをセットすると、自動的にカットラベルフォームメニューが表示されます。



!! 注意 !!

きれいに印刷されない場合は、印字濃度や印刷速度を調整してください。

参照 P.195 「印刷濃度を調整する」

参照 P.195 「印刷速度を設定する」

カッターベルフォームメニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
ファイル ▶	ファイル 呼出 消去		
丸型 ▶	縦・横 たて書き よこ書き	丸型 1行目 [2行目 [: 10行目 [
楕円(横) ▶	縦・横 たて書き よこ書き	楕円(横) 1行目 [2行目 [: 10行目 [
楕円(縦) ▶	縦・横 たて書き よこ書き	楕円(縦) 1行目 [2行目 [: 10行目 [

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
角丸（横） ▶	縦・横 たて書き よこ書き ▶	表組み なし ▶	角丸（横） 1行目 [] 2行目 [] : 10行目 []
		あり ▶	角丸（横）よこ書き 1行目左 [] 1行目右 [] 2行目左 [] 2行目右 [] : 10行目左 [] 10行目右 []
			角丸（横）たて書き 1列目上 [] 1列目下 [] 2列目上 [] 2列目下 [] : 10列目上 [] 10列目下 []

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
角丸（縦） ▶	縦・横 たて書き よこ書き ▶	表組み なし ▶	1行目 [] 2行目 [] : 10行目 []
		あり ▶	角丸（縦）よこ書き 1行目左 [] 1行目右 [] 2行目左 [] 2行目右 [] : 10行目左 [] 10行目右 []
			角丸（縦）たて書き 1列目上 [] 1列目下 [] 2列目上 [] 2列目下 [] : 10列目上 [] 10列目下 []

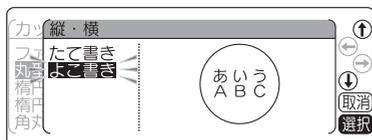
丸型・楕円のラベルを印刷する

- 1 カットラベル・丸型または楕円のカートリッジをセットして、電源を入れる
カットラベルフォームが表示されます。

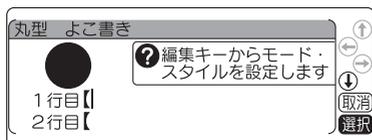
- 2 作りたいラベルの形状・向きを選び、**選択改行**を押す



- 3 「たて書き」または「よこ書き」を選び、**選択改行**を押す



- 4 ガイドに従って文字を入力する
入力ガイドの後ろ（右側）にカーソルを合わせ、通常のテキスト画面と同じように文字を入力します。



- 5 内容を確認し、**印刷**を押す。
カットラベルが印刷されます。

MEMO

- カットラベルの入力可能行数は最大 10 行です。**▼**を押すと次の行にカーソルが移ります。
- 入力画面にある「1 行目」や「2 行目」などは入力の案内をするためのガイドあり、画面上に表示されるだけで印刷はされません。
- 操作の途中で**削除**または**フォーム**を押すと、1 つ前の状態に戻ります。**ホーム**を押すと、どの階層からでも「カットラベルフォーム」メニュー画面に戻ります。
- **シフト**を押しながら**削除** (=全消去)を押すと、入力した内容の全文消去ができます。
- 入力画面で**編集**を押すと、ラベルを装飾することができます。指定できる機能は P.157 「カットラベルを編集する」を参照してください。
- ラベル内に文字をバランスよく配置するため、割付けの変更はできません。丸型、楕円の割付けは「中揃え」に指定されています。
- カットラベルは自動でハーフカットが無効になります。
- カットラベルにはバーコードを印刷することはできません。
- **5**の画面で**特殊印刷**を押すと、連続印刷、鏡文字印刷をおこなうことができます。
参照 P.180 「同じラベルを連続して印刷する (連続印刷)」
- カットラベルフォームから拡大印刷、リボン連続印刷をおこなうことはできません。

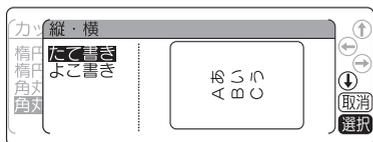
角丸のラベルを印刷する

- 1 カットラベル・角丸のカートリッジをセットして、電源を入れる
カットラベルフォームが表示されます。

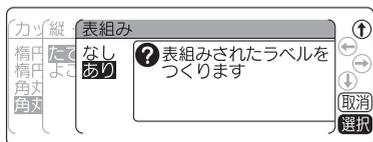
- 2 作りたいラベルの向きを選び、**選択改行**を押す



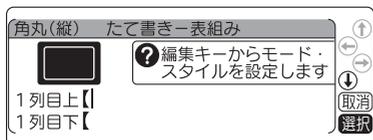
- 3 「たて書き」または「よこ書き」を選び、**選択改行**を押す



- 4 表組みのあり・なしを選び、**選択改行**を押す



- 5 ガイドに従って文字を入力する
入力ガイドの後ろ（右側）にカーソルを合わせ、通常のテキスト画面と同じように文字を入力します。



- 6 内容を確認し、**印刷**を押す
カットラベルが印刷されます。

MEMO

- カットラベルの入力可能行数は最大 10 行です。**▼**を押すと次の行にカーソルが移ります。
- 入力画面にある「1 行目」や「2 行目」などは入力の案内をするためのガイドあり、画面上に表示されるだけで印刷はされません。
- 操作の途中で**削除改行**または**フォーム**を押すと、1 つ前の状態に戻ります。**ホーム**を押すと、どの階層からでも「カットラベルフォーム」メニュー画面に戻ります。
- **シフト**を押しながら**削除改行**（＝全消去）を押すと、入力した内容の全文消去ができます。
- 入力画面で**編集**を押すと、ラベルを装飾することができます。指定できる機能は P.157 「カットラベルを編集する」を参照してください。
- ラベル内に文字をバランスよく配置するため、割付けの変更はできません。角丸の割付けは表組みありの場合「均等割」、表組みなしの場合「中揃え」に指定されています。
- カットラベルは自動でハーフカットが無効になります。
- カットラベルにはバーコードを印刷することはできません。
- ⑤の画面で**連続印刷**を押すと、連続印刷、鏡文字印刷をおこなうことができます。
参照 P.180 「同じラベルを連続して印刷する（連続印刷）」
- カットラベルフォームから拡大印刷、りぼん連続印刷をおこなうことはできません。

カットラベルを編集する

「カットラベルフォーム」の入力画面で **編集** を押すことで、モード・スタイルを指定できます。

カットラベル編集メニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
文字モード 書体 ▶ 書体 漢字書体とかな書体、英数書体をそれぞれ選択します。 参照 P.81	漢字書体 ▶ ゴシック 丸ゴシック 明朝体 てがき 細字てがき 行書体 波ゴ体 太型ゴシック 太丸ゴシック 太型明朝体 太型行書体	かな書体 ▶ 自動 ゴシック 丸ゴシック 明朝体 てがき 細字てがき 行書体 波ゴ体 えれん ハッピー 太型ゴシック 太丸ゴシック 太型明朝体 太型行書体 太型えれん 太型ハッピー	英数書体 自動 ゴシック 丸ゴシック 明朝体 てがき 細字てがき 行書体 波ゴ体 HV 体 BR 体 PL 体 ST 体 太型ゴシック 太丸ゴシック 太型明朝体 太型行書体 太型 HV 体 太型 BR 体 太型 PL 体 太型 ST 体
飾り字 ▶ 飾り字 文字の装飾を指定します。 参照 P.78	A ふつう A 淡文字 A 白文字 A 影文字 A 白抜影		
斜体・強調 ▶ 斜体・強調 文字を斜体または強調します。 参照 P.78	A 正体 A 斜体 A 強調 A 斜強調		

機能編

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
<p>文字モード</p> <p>伸・縮 ▶</p> <p>伸・縮 行中の基本文字サイズに対し、どれだけ大きく(小さく)するかを指定します。基本文字サイズに対して「中並び」はセンター揃え、「下並び」は文字のベースライン揃えとなります。 参照 P.79</p> <p>囲み・網 ▶</p> <p>囲み・網 下線や文字囲み、網かけなどを指定します。網は網濃度が選べます。 参照 P.79</p> <p>文字間 ▶</p> <p>文字間 文字間隔を調整します。プロポーションは英数字に有効で、「オフ」にすると英数字も全角扱いになります。 参照 P.80</p> <p>終わり? ▶</p> <p>終わり? 指定後のみ表示され、文字モードの範囲を指定します。 参照 P.70</p>	<p>A ふつう A 縮める ▶</p> <p>A 小さく A 伸ばす</p> <p>A 細かく</p>	<p>(小さく、細かくのみ)</p> <p>AA 中並び</p> <p>AA 下並び</p>
	<p>A なし A 訂正線 ▶</p> <p>A 網かけ A 下線</p> <p>A 角囲み網 A 角囲み</p> <p>A 丸囲み網 A 丸囲み</p>	<p>(網かけ、角囲み網、丸囲み網のみ)</p> <p>網濃度</p> <p>ふつう</p> <p>濃い</p> <p>ベタ</p>
	<p>密着 ▶</p> <p>狭い</p> <p>ふつう</p> <p>広い</p> <p>※通常テキスト時とは初期設定値が異なります。</p>	<p>プロポーション</p> <p>オン</p> <p>オフ</p>
	<p>範囲は?</p> <p>文章全体</p> <p>この字から</p> <p>この行</p>	<p>編集続行?</p> <p>する</p> <p>しない</p>

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
スタイル 文字サイズ ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>均等 各行を同じ文字サイズにします。</p> <p>らく² 入力文字数に応じて文字サイズを自動調整します。</p> <p>おまかせフォーマット 各行の文字サイズを、ピクトグラフで表示される組み合わせのように指定します。</p> <p>自由のび² 行ごとに文字の大きさを指定します。 参照📖 P.161、163</p> </div>	自動 1行 ▶ 2行 ▶ 3行 ▶ 4行 ▶ 5行 ▶ 6行 ▶ 7-10行 ▶	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 均等 らく² </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> (おまかせフォーマット)  特大 1a  小 1d  大 1b  細 1e  中 1c </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 自由のび²  大大 2a  大小 2c  中中 2b  小小 2d </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 自由のび²  均等 3a  2大 3c  1大 3b  3大 3d </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 自由のび²  均等 4a  3大 4d  1大 4b  4大 4e  2大 4c </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 自由のび²  均等 5a  3大 5d  1大 5b  4大 5e  2大 5c  5大 5f </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 自由のび²  均等 6a  下大 6c  上大 6b </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 自由のび² 均等 </div>

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
------	--------	-------

スタイル

外枠（表組み） ▶

外枠（表組み）

選択したカットラベルにより、外枠・表組みが切り換わります。

外枠

形状に合わせてピクトグラフのような飾り枠がつけられます。

表組み

ピクトグラフのような表組みのラベルを作ります。角丸（横）、角丸（縦）で表組み「あり」を選択した場合に指定可能です。ピクトグラフのような飾り枠がつけられます。

参照  P.163

外枠 ▶

なし	00		01		02
	03		04		05
	06		07		08
	09		10		

なし	00		01		02
	03		04		05
	06		07		08
	09		10		

なし	00		01		02
	03		04		05
	06		07		08
	09		10		11
	12		13		14
	15		16		

表組み ▶

なし	00		01		02
	03		04		

反転 ▶

反転

背景色と文字色を反転させたラベルを作ります。

参照  P.164

終わり？

終わり？

指定後のみ表示され、入力画面に戻ります。

する

しない

!! 注意 !!

- 上記の項目以外をカットラベル印刷時に指定することはできません。
- 通常テキストの編集機能の指定内容はカットラベルには反映されません。

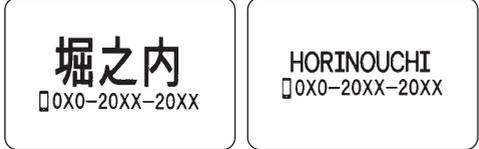
機能の説明（スタイル）

モードは通常テキストの「文字モード」と同じように指定することができます。

参照  P.78 「機能の説明（文字モード）」

●文字サイズ

通常テキストの「文字サイズ」と同様に、文字サイズの指定ができます。 参照  P.82 「文字サイズ」
ただし、ラベルの形状によって印刷できる文字数に制限があります。

均等 (ご購入時の 初期設定値)	文字数が多くなると自動的にサイズを小さくします。複数行ある場合は、最も文字数の多い行の文字サイズに合わせます。 
らく ²	入力文字数に応じて、文字サイズを自動調整します（フルオート）。 1行のとき：文字数が多くなると自動的に文字サイズを小さくします。  2行以上のとき：ラベルの形状の範囲内でバランスよくなるように、各行の文字サイズを自動調整します。 
おまかせ フォーマット	各行の文字サイズ（行の大小）を、あらかじめ用意された組み合わせの中から選びます（セミオート）。 参照  P.162 「おまかせフォーマット」
自由のび ²	行ごとの文字サイズを自由に選びます（マニュアル）。 参照  P.163 「自由のび ² 」

MEMO

- ご購入時の初期設定値では、文字間は「狭い」、文字サイズは「均等」に指定されています。
- カットラベルフォームの文字サイズは、 では指定できません。

おまかせフォーマット（1行～10行）

選択肢から文字サイズ（行の大小）を選びます。表示されるピクトグラフで各行の文字のバランスなど、レイアウトを確認できます。

また、「自由のび²」を選ぶと、行ごとの文字の大きさ（行の大小）を自由に指定できます。

おまかせフォーマット 1 行

 特大 1a・ 大 1b・ 中 1c・ 小 1d・ 細 1e と選んだ場合、次のような文字の大きさと印刷されます。

印字 サンプル					
文字サイズ [pt]	U [38]	U' [32]	G [26]	L [19]	L' [16]
カットラベル 丸型 楕円（横） 楕円（縦） 角丸（横） 角丸（縦）	特大	大	中	小	細

!! 注意 !!

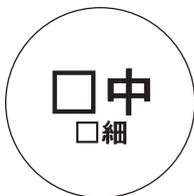
カットラベルに印刷できる文字の大きさに制限があるため、ラベルの形状・向きや印刷する行数によっては、おまかせフォーマットの一部が機能しない場合があります。各行の文字サイズは、文字サイズインジケータで確認してください。

MEMO

指定した行数と実際に入力された行数が異なると、「均等」で印刷されます。

自由のび²

各行ごとに文字の大きさ（行の大小）を「細」「小」「中」「大」「特大」の5段階で、自由に指定できます。ただし、行数や文字数によっては異なるサイズを指定しても、印刷結果は同じになることがあります。



MEMO

- これらの例は、自由のび²の組み合わせのごく一部です。
- 各行の文字サイズは文字サイズインジケータで確認できます。
- 指定した行数と実際に入力された行数が異なると、「均等」で印刷されます。

●外枠（表組み）

カットラベル専用の外枠を、文章のまわりにつけます。

表示されるピクトグラフで外枠の種類を確認できます。

角丸で表組み - ありを選んだ場合は、表組みのデザインを変更します。

外枠あり

外枠なし



表組みあり



表組みなし



!! 注意 !!

入力した文字のサイズによって、文字と外枠が重なることがあります。

必要に応じて文字サイズを小さくするなど、重ならないように調整をしてください。

●反転

「する」を選ぶと、背景色と文字色を反転させたラベルを作成することができます。

しない



する



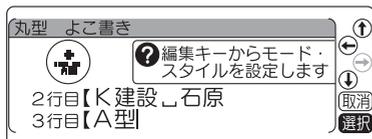
!! 注意 !!

「反転」を「する」に指定すると印刷結果にムラが生じることがあります。

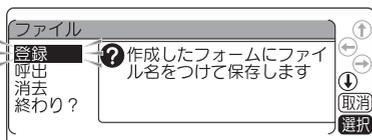
よく作るカットラベルフォームをファイル登録する

よく作るカットラベルフォームの入力内容をファイル登録することができます。ファイルはファイル番号 00～99（100 件）の中から番号を選んで登録します。

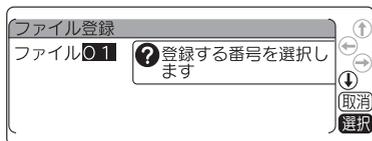
- 1 登録したいカットラベルフォームの入力画面で内容を入力し、**ファイル**を押す



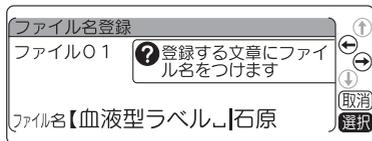
- 2 「ファイル」メニューから、「登録」を選択する。



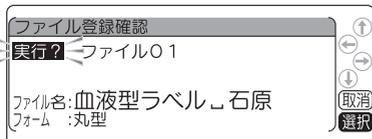
- 3 **↑**、**↓** または **0**～**9** で登録するファイル番号を選び、**選択**を押す



- 4 ファイル名を入力し、**選択**を押す



- 5 内容を確認し、**選択**を押す



「実行中」と表示され、登録後に「終わり?」にカーソルが移ります。続けてファイルの呼出や消去ができます。「終わり?」を選ぶとカットラベルフォーム入力画面に戻ります。

!! 注意 !!

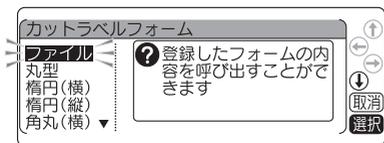
「実行中」に AC アダプタや電池を抜かないでください。ファイル内容がこわれる可能性があります。

MEMO

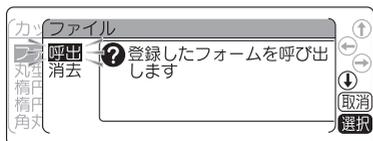
- 操作の途中で**削除**または**ファイル**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム**を押すと、「カットラベルフォーム」メニュー画面に戻ります。
- 仮確定文字、点滅文字があると「ファイル」メニューを表示できません。
- データがいっぱいでこれ以上登録できなくなると、「メモリーがいっぱいです」が表示されます。不要なカットラベルフォームをファイルから削除してください。
- 本機には、カットラベルフォームを約 5,000 文字分を登録することができます。登録できる個数は、入力時の文字数・行数などによります。

登録したカットラベルフォームを呼び出す

- 1 カットラベルフォームのメニュー一覧から、「ファイル」を選び、**選択実行**を押す



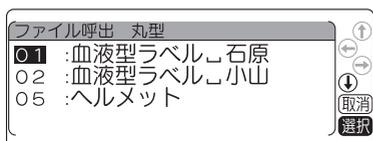
- 2 「呼出」を選び、**選択実行**を押す



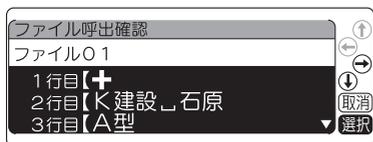
- 3 呼び出したいカットラベルフォームの種類を選び、**選択実行**を押す



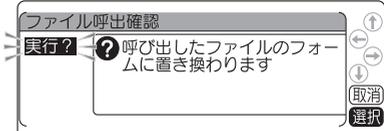
- 4 **↑**、**↓** または **0** ~ **9** で呼び出したいファイルを選び、**選択実行**を押す



- 5 内容を確認し、**選択実行**を押す
←、**↑**、**↓**、**→** で文章を確認することができます。



- 6 内容を確認し、問題なければ **選択実行** を押す



選択したカットラベルフォームが呼び出されます。

!! 注意 !!

ファイル登録したカットラベルフォームを呼び出すと、前回入力して自動保存されていたカットラベルフォームは消え、**復活**を押しても復活させることはできません。「実行?」を選ぶ前に、もう一度確認し、必要な文章はファイルに登録するなどの対処をおこなってください。

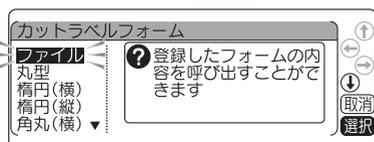
MEMO

- 操作の途中で**削除**または**ファイル**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム**を押すと、「カットラベルフォーム」メニュー画面に戻ります。
- カットラベルフォームの入力画面で、**ファイル**を押して表示される「ファイル」メニューからも、カットラベルフォームのファイルを呼び出すことができます。

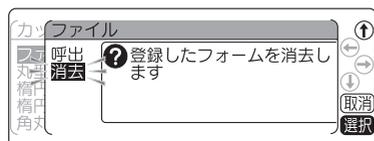
登録したカットラベルフォームを消去する

カットラベルフォームのファイルは、1件ごとに消去できます。

- ① カットラベルフォームのメニュー一覧から、「ファイル」を選び、**選択実行**を押す



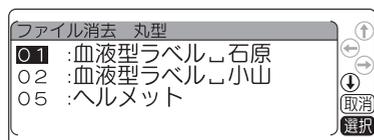
- ② 「消去」を選び、**選択実行**を押す



- ③ 消去したいカットラベルフォームの種類を選び、**選択実行**を押す



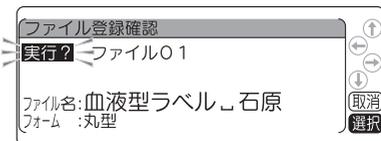
- ④ ↑ ↓ または 01 ~ 09 で呼び出したいファイルを選び、**選択実行**を押す



- ⑤ 内容を確認し、**選択実行**を押す
← ↑ ↓ → で文章を確認することができます。



- ⑥ 内容を確認し、問題なければ **選択実行** を押す



選択したカットラベルフォームが消去されます。続けてファイルの呼出や消去ができます。

「終わり?」を選べるとカットラベルフォーム入力画面に戻ります。

MEMO

- 消去したファイルは、**復活**を押しても復活させることはできません。
- 操作の途中で**削除取消**または**ファイル**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム**を押すと、「カットラベルフォーム」メニュー画面画面に戻ります。
- カットラベルフォームのファイルは全件まとめた消去や、形状ごとにまとめた消去することはできません。
- カットラベルフォームの入力画面で、**ファイル**を押して表示される「ファイル」メニューからも、カットラベルフォームのファイルを消去できます。

● 転写テープを印刷する

転写テープをセットしているときは、印刷時に転写印刷を指定できます。

転写印刷を指定する

① 転写テープのカートリッジを本機にセットする

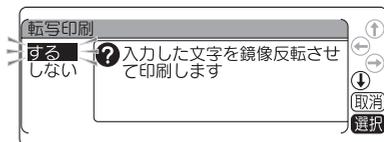
テープカートリッジをセットした直後は、**シフト**を押したまま **印刷** を押し、「テープ送り」または「送りカット」をしてください。

② 文字を入力する

③ **印刷** を押す

「転写印刷」メニューが表示されます。

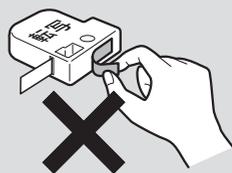
④ 「する」を選び、**選択改行**を押す



上下逆さまになった「鏡像」で印刷されます。印刷終了後、テープは自動的にカットされます。

!! 注意 !!

- 本機では、転写テープの「識別シール」を読み取り、転写テープを認識します。「識別シール」をはがしたり、「識別シール」の上に余分なラベルを貼ると、間違って識別されることがあります。



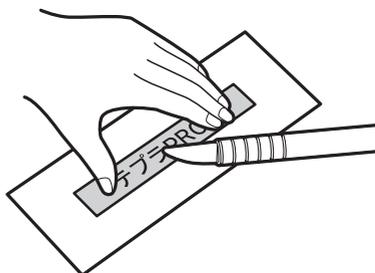
- テープを本機にセットしたら、必ず一度「テープ送り」または「送りカット」をしてインクリボンのたるみをとってください。
- 転写テープで転写印刷を「しない」で印刷すると、印刷結果が正像になります。このラベルを転写すると、転写結果が「鏡像」になりますのでご注意ください。
- 転写テープは自動でハーフカットが無効になります。
- 転写テープは自動で印刷速度が遅くなります。
- 転写しやすいように、余白は自動的に多めに印刷されます。

転写テープの文字を転写する

① 机などの平面に転写する紙面を置き、紙面の上に転写テープを文字が正しく読める面上にして置く

② テープの余白をしっかりと押さえ、付属の転写スティックでテープの上から1文字ずつ、ていねいにこする

③ 上から見て、文字が白っぽく変わったら、転写完了

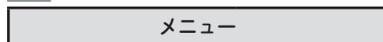


●最近印刷した文章を呼び出す

本機は、最近印刷した文章を最大 10 件まで記憶しており、簡単な操作で呼び出すことができます。ファイル登録をし忘れた場合などに便利です。

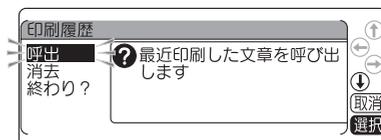
印刷履歴メニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。



印刷履歴を呼び出す

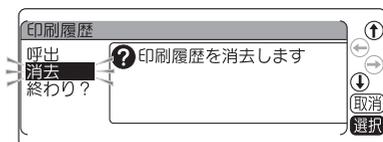
- 1 **シフト** を押しながら **ホーム** (= 印刷履歴) を押す
「印刷履歴」メニューが表示されます。
- 2 「呼出」を選び、**選択実行** を押す
最近印刷した文章（第 1 段落の 1 行目のみ）が 10 件表示されます。
- 3 呼び出したい文章を選び、**選択実行** を押す
呼び出す内容の確認画面になります。
- 4 内容を確認し、**選択実行** を押す
「実行中」と表示されたあと、文章が呼び出され、テキスト画面に表示されます。



印刷履歴を消去する

1 **シフト** を押しながら **ホーム** (= 印刷履歴) を押す

2 「消去」を選び、**選択実行** を押す
最近印刷した文章が10件表示されます。



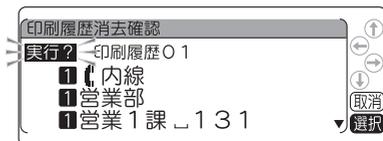
3 消去する文章を選び、**選択実行** を押す
消去する内容の確認画面になります。



4 内容を確認し、**選択実行** を押す



5 内容を確認し、**選択実行** を押す
「実行中」と表示されたあと、文章が印刷履歴から消去されます。
続けて印刷履歴の呼出や消去ができます。
「終わり?」を選べるとテキスト画面に戻ります。



!! 注意 !!

- 印刷履歴を呼び出すと、テキスト画面で作成していた文章は消え、**復活** を押しても復活させることはできません。呼び出す前に、もう一度確認し、必要な文章はファイルに登録するなどの対処をおこなってください。
- 最近印刷した10件の文章を保存するため、古いものから自動的に書き換えられていきます。
- 印刷履歴の対象となるのは、通常印刷のみで、特殊印刷やビジネスフォーム、カットラベルフォームからの印刷などは保存されません。
- 文字数の多い文章の場合、記憶している文章の件数が10件にならないことがあります。
- QRコードを使った場合など、印刷したラベルの情報量によっては印刷履歴に記録されないことがあります。

MEMO

操作の途中で**削除**または**ホーム**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**戻る**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

●連番やバーコードを印刷する

シフトを押しながら**ファイル**(=連番・バーコード)を押すと、連続番号やバーコードが入力できます。

連番・バーコードメニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢	次の選択肢	
連続番号 1桁 ▶ 2桁 ▶ 1桁丸付 2桁丸付 連続番号 連番の入ったラベルを作ります。 参照 P.172	初期値入力 ▶	繰返し回数	1回		
			2回		
			3回		
			4回		
			5回		
			10回		
	バーコード QRコード ▶	用途	誤り訂正レベル	7%	
		一般 ▶		15%	
		URL ▶		25%	
				30%	
JAN-13 ▶ NW-7 ▶ JAN-8 ▶ ITF ▶ UPC-A ▶ CODE39 ▶ UPC-E ▶ バーコード バーコードの入ったラベルを作ります。 参照 P.175	全体の幅 ▶			数値入力	
	小さめ				
	ふつう	(NW-7、ITF、CODE39のみ)	(NW-7、ITF、CODE39のみ)		
	大きめ	細・太の比率 ▶	チェックデジット ▶		
		2.0	あり		
		2.5	なし		
	3.0				

連番を印刷する

数字または英字の部分だけが異なる複数のラベルを作る場合、連続番号を指定すると、1枚印刷するたびに、自動的に加算して印刷します。

連続番号には「1桁」「2桁」「1桁丸付」「2桁丸付」があります。連続番号を印刷するときは、初期値と繰り返し回数（1、2、3、4、5、10回）を指定します。繰り返し回数では同じ文字を何回繰り返すかを指定します。

例：2桁連番で、4、5、6…の入ったラベルを2枚ずつ作る



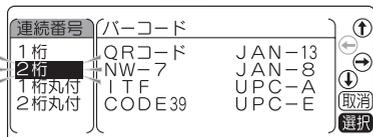
- ① 連番を入れる位置にカーソルを合わせる

① 顧客リスト

- ② シフトを押しながら **数字** (=連番・バーコード) を押す

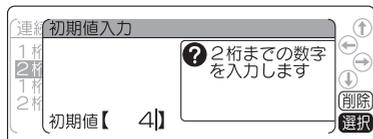
「連続番号」メニューが表示されます。

- ③ 「2桁」を選び、**選択実行**を押す



「初期値入力」画面が表示されます。

- ④ 初期値に「4」を入力し、**選択実行**を押す



MEMO

初期値には、「1桁」「1桁丸付」の場合は英数字1桁、「2桁」「2桁丸付」の場合は数字を2桁まで入力できます。

- ⑤ 繰り返し回数「2回」を選び、**選択実行**を押す



テキスト画面に戻り、カーソル位置に連番(連番マーク²N+ 数値エリア「4」)が表示されます。

① 顧客リスト ²N4

MEMO

テキスト画面での連番マークは、「1桁」が¹N、「2桁」が²N、「1桁丸付」が¹N、「2桁丸付」が²Nになります。

⑥ **印刷** を押す

「4」の1枚目のラベルが印刷されます。

顧客リスト 4

⑦ **印刷** を押す

繰り返し回数「2回」を指定しているので、2枚目の「4」のラベルが印刷されます。

顧客リスト 4

印刷後、数値入力エリアの番号が加算され「5」になります。

⑧ **印刷** を押す

「5」の1枚目のラベルが印刷されます。

顧客リスト 5

以降、同様に繰り返します。

MEMO

- 連番の初期値に指定できるのは、「1桁」「1桁丸付」の場合は、数字の0～9とアルファベットのA～Z、a～zです。「2桁」「2桁丸付」の場合は、数字の0～9または00～99です。小数点やマイナスは指定できません。
- 「1桁」「1桁丸付」の場合、1、2、3、4…と9まで数字が1つずつ繰り返りあがります。英字の場合、A (a)、B (b)、C (c)、D (d) とアルファベット順に1つずつ繰り返りあがります。

「1桁」で数字の場合

1、2、3、… 8、9、0、1、…

「1桁丸付」で数字の場合

①、②、③、… ⑧、⑨、⑩、①、…

「1桁」で英字の場合

A、B、C、… X、Y、Z、A、…

a、b、c、… x、y、z、a、…

「1桁丸付」で英字の場合

Ⓐ、Ⓑ、Ⓒ、… Ⓐ、Ⓑ、Ⓒ、Ⓐ、…

ⓐ、ⓑ、ⓒ、… ⓐ、ⓑ、ⓒ、ⓐ、…

- 「2桁」「2桁丸付」の場合、1、2、3、4…と99（または、01、02、03、04…と99）まで数字が1つずつ繰り返りあがります。

「2桁」で初期値が1桁の場合

1、2、3、… 9、10、… 98、99、0、1、…

「2桁」で初期値が2桁の場合

01、02、03、… 09、10、… 98、99、00、01、…

「2桁丸付」で初期値が1桁の場合

①、②、③、… ⑨、⑩、… ⑨⑧、⑨⑨、⑩①、①①、…

「2桁丸付」で初期値が2桁の場合

①①、①②、①③、… ①⑨、①⑩、… ①⑨⑧、①⑨⑨、①⑩①、…

- 1つの文章に入力できる連番は、バーコードと合わせて6個までです。
- 連番の初期値や繰り返し回数を変更する場合は、連番の直後（右側）にカーソルを合わせ、 + （＝連番・バーコード）を押してください。「連番」メニューが表示されます。以降の指定方法は、入力手順と同じです。
連番を削除するときは、連番の直後（右側）にカーソルを合わせ、を押してください。
連番（連番マーク + 数値エリア）にも、通常の文字と同様に、文字モード、段落スタイルの編集機能を指定できます。
- 連番は合成記号と組み合わせることはできません。
- 連番指定された文章を連続印刷すると、連続番号の入ったラベルを枚数分印刷することができます。
参照 「同じラベルを連続して印刷する（連続印刷）」
- ハーフカット有効で連番の繰り返し回数を2回以上に指定して連番印刷を実行した場合、ハーフカットは自動で無効になります。

バーコードを印刷する

各種規格に準じたバーコードを印刷することができます。

印刷できるバーコードの規格と指定できる項目

規格	全体の幅 小さめ / ふつう / 大きめ	細・太の比率 2.0 / 2.5 / 3.0	チェックデジット あり / なし
JAN-13・JAN-8 UPC-A・UPC-E	○	-	-
NW-7・ITF・CODE39	○	○	○

太字 は購入時の初期設定値です。

○：指定可能

-：指定不要

全体幅：バーコード全体の幅

細・太の比率：細いバーと太いバーの太さの比率

!! 注意 !!

バーコードを作成する際は、そのバーコードの規則にしたがって入力してください。

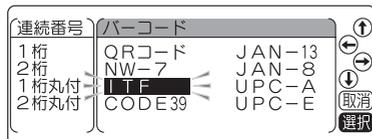
例：「ITF」のバーコード（全体幅大きめ、細・太の比率 3.0、チェックデジットあり）を印刷する



1 **シフト** を押しながら **ファイル** (=連番・バーコード) を押す

「バーコード」メニューが表示されます。

2 **ITF** を選び、**選択実行** を押す



「全体の幅」メニューが表示されます。

3 **大きめ** を選び、**選択実行** を押す



「細・太の比率」メニューが表示されます。

4 **3.0** を選び、**選択実行** を押す



「チェックデジット」メニューが表示されます。

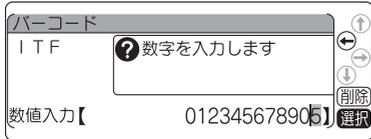
5 **あり** を選び、**選択実行** を押す



バーコードの数値入力画面になります。

次へ進みます

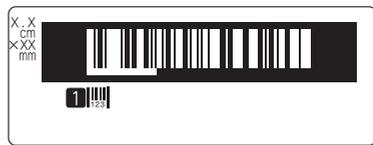
6 数値ボタンでバーコードの数値を入力する



数値が表示されます。右側の網かけ部にはチェックデジットが自動的に発生します。なお、入力できる桁数は規格によって異なります。

7 [選択変更] を押す

テキスト画面に戻ります。カーソル位置にバーコードマーク (|||||) が表示されます。



8 [印刷] を押す

バーコードのラベルが印刷されます。

MEMO

- 1つの文章に入力できるバーコードは、連番と合わせて6個までです。
- バーコードはデータ量が多いため、ファイルに保存するとたくさんのメモリーを使用します。
- バーコードの数値を変更したり、規格などを変更する場合は、バーコードマーク (|||||) の直後 (右側) にカーソルを合わせ、[シフト] + [ファイル] (=連番・バーコード) を押してください。「[バーコード]」メニューが表示されます。以降の指定方法は、入力手順と同じです。
- バーコードの数値を修正するときは、数値入力画面に入り、前の数字を削除してから新しい数字を入力してください。
- バーコードを削除するときは、バーコードマーク (|||||) の直後 (右側) にカーソルを合わせ、[削除] を押してください。
- バーコードマークにも、通常の文字と同様に、文字モード、段落スタイルの編集機能を指定できますが、反映されるものは以下のとおりです。

バーコードマークに反映される機能

段落スタイル	外枠・表組、割付け
文字モード	囲み・網

- 印刷したバーコードは、ご使用になっているお手持ちのバーコードリーダーで読み取りの確認をしてからご使用ください。
- お手持ちのバーコードリーダーで読み取れない場合は、「全体の幅」や「細・太の比率」を調整し、再度確認してください。
- バーコードの印刷は、バーコードリーダーで読み取りやすい白地に黒文字のテープカートリッジをお奨めします。
- 規格によって入力できる桁数が異なります。ITFとNW-7は1～29桁、CODE39は1～27桁です。
- ITFは偶数桁数のみの規格です。チェックデジットを「あり」に指定して偶数桁を入力した場合、または「なし」に指定して奇数桁を入力した場合は、1桁目にスベアコード (0) が自動的に発生します。
- UPC-Eのチェックデジットは数値入力画面やバーコードの数字には表示されません。
- NW-7は始めと終わりに「A、B、C、D」のいずれかを入力しなければ、作成したラベルをバーコードリーダーで読み取ることができません。
- バーコードのバーの長さ (線の部分) と数字の長さが一致しないことがありますが、ご使用上問題はありません。
- NW-7とCode39は [記号] で記号を入力することができます。入力できる記号は規格によって異なります。
- バーコードは合成記号と組み合わせることはできません。
- カットラベルにはバーコードを印刷することはできません。

QRコードを印刷する

QRコードは2次元コードの一種で、通常のバーコードよりも多くの情報量を表現できます。また、内容にひらがなや漢字などの日本語情報を入力できます。

例：携帯電話用の電話帳データ（名前、読み、電話番号など）

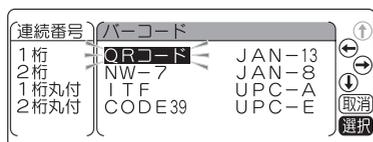


入力例「MECARD:N:山岸,正樹;SOUND:ヤマギシ,マサキ;TEL:0301234567;」
(英数、記号は半角文字です。入力に必要な情報はお使いの携帯電話によって異なります。デザインフォームのP.134「QR携帯1」～「QR携帯3」を参考にしてください。)

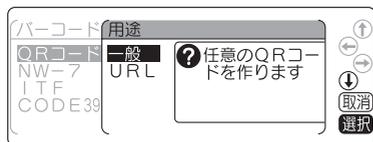
1 **シフト** を押しながら **ファイル** (=連番・バーコード) を押す

「バーコード」メニューが表示されます。

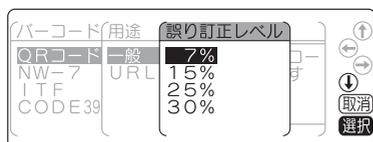
2 「QRコード」を選び、**選択** を押す



3 用途を選び、**選択** を押す



4 誤り訂正レベルを選び、**選択** を押す

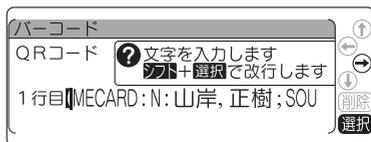


MEMO

誤り訂正レベルとは、QRコードのよごれ、破損などから読み取れなくなったデータを復元する能力です。誤り訂正レベルを上げると、復元能力は向上しますが、QRコードのサイズが大きくなる場合があります。

5 内容を入力する

一般：複数行の入力ができます。**シフト** を押しながら **選択** で改行できます。



URL：ABC（半角）入力で1行のみ入力できます。あらかじめ「http://www.」が入力されています。



MEMO

- QRコードでは、半角英数字が入力できます。**入力** を押して入力状態を「ABC（半角）入力」にしてください。用途が「URL」の場合は「ABC（半角）入力」のみとなります。
- 入力中、文字サイズインジケーターにQRコードのサイズが表示されます。

6 **選択** を押す

テキスト画面に戻ります。カーソルの位置にQRコードマーク (QR) が表示されます。



MEMO

- QRコードの場合、テープ幅や指定項目により入力可能文字数が異なります。

QRコードの最大入力可能文字数：

誤り訂正レベル= 7%

文字種 \ QRコードのサイズ	G	U'	U	H	K'	K
全角文字	10	32	65	141	262	346
半角文字 (abcdefghijklmnopqrstuvwxyz…と入力した場合)	17	53	106	230	425	586
半角数字 (1234567890123…と入力した場合)	41	127	255	552	692	—

誤り訂正レベル= 15%

文字種 \ QRコードのサイズ	G	U'	U	H	K'	K
全角文字	8	26	52	111	204	277
半角文字 (abcdefghijklmnopqrstuvwxyz…と入力した場合)	14	42	84	180	331	450
半角数字 (1234567890123…と入力した場合)	34	101	202	432	692	—

誤り訂正レベル= 25%

文字種 \ QRコードのサイズ	G	U'	U	H	K'	K
全角文字	7	20	37	80	149	198
半角文字 (abcdefghijklmnopqrstuvwxyz…と入力した場合)	11	32	60	130	241	322
半角数字 (1234567890123…と入力した場合)	27	77	144	312	580	692

誤り訂正レベル= 30%

文字種 \ QRコードのサイズ	G	U'	U	H	K'	K
全角文字	4	15	27	60	109	154
半角文字 (abcdefghijklmnopqrstuvwxyz…と入力した場合)	7	24	44	98	177	250
半角数字 (1234567890123…と入力した場合)	17	58	106	235	427	602

- 印刷できる文字サイズは各テープ幅によって異なります。4mm、6mm、9mm幅テープにはQRコードを印刷することができません。参照 ㊦ P.82 「文字サイズ」
- 1つの文章に入力できるQRコードは2個までです。また、1つの文章に入力できるバーコード(QRコードを含む)は、連番と合わせて6個までです。
- QRコードには一部の記号も入力できます。入力画面で を押すことで呼び出せます。
- コードの内容や誤り訂正レベルを変更する場合は、QRコードマーク (☐) の直後 (右側) にカーソルを合わせ、 を押しながら (=連番・バーコード) を押してください。「連番・バーコード」メニューが表示されます。以降の指定方法は作成操作と同じですが、「用途」やバーコードの規格を変更すると、入力されていたコードの内容は失われます。
- 文字サイズインジケータのG～K部分が点滅している場合、「QRコードが大きすぎます！」が表示され、印刷できません。以下の操作をおこなってください。
 - QRコードの誤り訂正レベルを低くする。
 - QRコードの文字数を減らす。
 - QRコードが大きい場合、「QRコードが大きすぎます！」が表示され、印刷できません。QRコード入力中の文字サイズインジケータを参考にして以下の操作をおこなってください。
 - 幅の広いテープに交換する。
 - 通常テキストの行数を減らす。
 - QRコードの誤り訂正レベルを低くする。
 - QRコードの文字数を減らす。
- QRコードの情報量によっては、印刷したラベルが印刷履歴に記録されないことがあります。
- カットラベルにはQRコードを印刷することはできません。

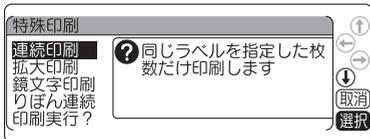
同じラベルを連続して印刷する（連続印刷）

同じラベルを指定した枚数分だけ続けて印刷します。

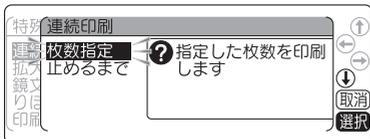
例：同じラベルを3枚連続して印刷する

1 文章を入力し、**印刷**を押す
「特殊印刷」メニューが表示されます。

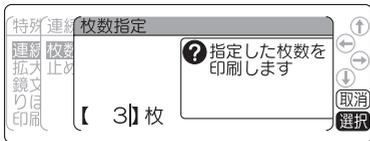
2 「連続印刷」を選び、**選択実行**を押す



3 「枚数指定」を選び、**選択実行**を押す

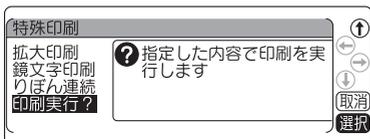


4 印刷枚数を入力し、**選択実行**を押す
入力できる枚数は1～99枚です。



「特殊印刷」メニューに戻ります。

5 「印刷実行？」を選び、**選択実行**を押す



印刷が開始されます。1枚目の印刷が終了するとテープがカット、またはーフカットされ、同様に2枚目、3枚目が印刷されます。

MEMO

- 操作の途中で**印刷**または**印刷**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**戻る**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 印刷を途中でやめるときは**印刷**を押してください。
- 「連続印刷」メニューの「止めるまで」を選択した場合、最大100枚まで印刷を続けます。印刷を停止したいときは、いずれかのボタンを押してください。
- 指定した枚数のラベルの全長が16mを超える場合は印刷できません。枚数を減らすか、文字数を減らすなどしてラベルの長さを短くしてください。
- ビジネスフォームの備品管理票で連続印刷できるのは20枚までです。
- 連番指定された文章を連続印刷すると、連続番号の入ったラベルが枚数分印刷されます。例えば、初期値「1」繰り返し回数1回の連番を3枚連続して印刷すると、「1」「2」「3」というラベルが連続して印刷されます。
- ハーフカット有効で連番の繰り返し回数を2回以上に指定して連番印刷を実行した場合、ハーフカットは自動で無効になります。参照 [P.172](#) 「連番を印刷する」

!! 注意 !!

- 特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。**印刷**では通常の印刷がおこなわれます。
- 連続印刷をするときは、テープ取出し口付近にラベルがたまらないように注意し、こまめにラベルを取り除いてください。テープ取出し口付近にラベルをためておくと、同じラベルを再びカットするおそれがあります。
- 連続印刷中にテープが終了した場合は、正しく印刷されなかったラベルから再度印刷することができます。参照 [P.181](#) 「印刷中にテープが終了したら（印刷再開機能）」

印刷中にテープが終了したら（印刷再開機能）

テープが終了するなど印刷が中断されたときは、テープ終了エラーメッセージが表示されます。

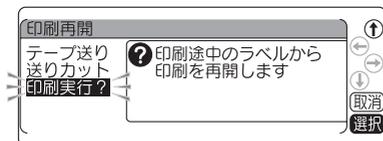


1 新品のテープカートリッジをセットし、上カバーを閉じる

「印刷再開」メニューが表示されます。

2 印刷実行？を選ぶ

正しく印刷されなかったラベルから再度印刷が始まります。連続印刷の場合は、指定した枚数まで続けて印刷されます。



MEMO

- テープカートリッジをセットした直後は、テープのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をしてください。
- ②で  を押すと、印刷を再開せずにテキスト画面に戻ります。カットラベルをセットしている場合は「カットラベルフォーム」メニュー画面に戻ります。

!! 注意 !!

印刷していたテープ幅と、新しくセットしたテープ幅が異なる場合は、印刷を再開することができません。エラーメッセージが表示されますので、正しい幅のテープをセットしてください。
参照  P.220 「こんな表示が出たときは」

テープ幅より大きなラベルを作る（拡大印刷）

印刷内容を2倍、3倍、4倍に拡大し、部分ごとに分けて印刷することでテープ幅より大きなラベルが作れます。できあがったラベルは貼り合わせて使用してください。

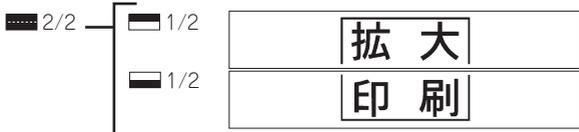
「2倍印刷」なら上下2枚で1組、「3倍印刷」なら上中下3枚で1組のラベルになります。大きさを指定したあとに、「1/2」「1/3」などを選ぶと、1組のうちの該当する部分の1枚だけを印刷できます。

● 拡大印刷の種類

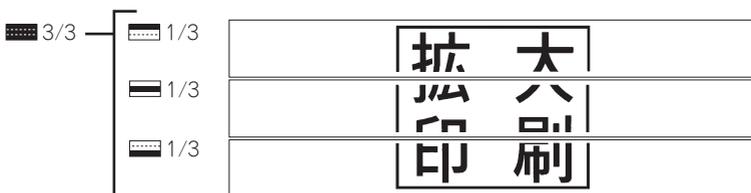
印刷 による
通常の印刷



2倍印刷 2倍拡大



3倍印刷 3倍拡大



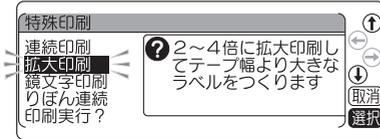
4倍印刷 4倍拡大



例 : 3 倍に拡大して印刷をする

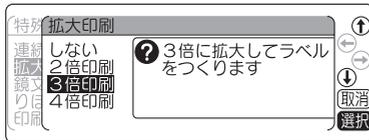
1 文章を入力したあと **[印刷]** を押す
「特殊印刷」メニューが表示されます。

2 「拡大印刷」を選び、**[選択実行]** を押す



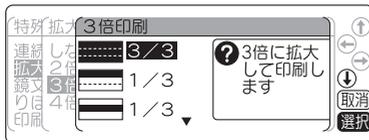
「拡大印刷」メニューが表示されます。

3 「3 倍印刷」を選び、**[選択実行]** を押す

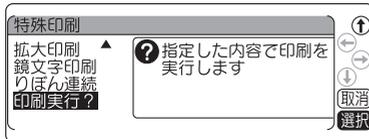


「3 倍印刷」メニューが表示されます。

4 「3/3」を選び、**[選択実行]** を押す
「3/3」が指定され、「特殊印刷」メニューに戻ります。



5 「印刷実行？」を選び、**[選択実行]** を押す



印刷が開始されます。3 枚 1 組のラベルが 1 枚ずつ印刷されます。

6 テープを貼り合わせる



上下の余白をカッターなどで切り、貼り合わせてください。

MEMO

- 操作の途中で **[印刷]** または **[特殊印刷]** を押すと、1 つ前の状態に戻ります。**[ホーム]** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 印刷を途中でやめるときは **[印刷停止]** を押してください。
- 「拡大印刷」で作ったラベルを貼り合わせたとき、多少のズレが生じることがあります。
- 長い文章を「拡大印刷」で印刷しようとするとき、全長が 16m を超えて印刷できないことがあります。ラベルの文字数を減らすか、文章の内容を 2 組に分けるなど指定をしておいてください。
- 「拡大印刷」は通常の印刷内容を 2 倍、3 倍、4 倍にする機能です。そのため、定長印刷を指定した場合に「拡大印刷」をおこなうと、指定した長さの 2 倍、3 倍、4 倍のラベルが印刷されます。
- 画面に表示されるテープの長さは、通常の印刷時の長さです。「拡大印刷」で印刷すると、表示される長さの 2 倍、3 倍、4 倍の長さのラベルが印刷されます。

拡大印刷	テープ幅	テープ長さ	使用するテープ量
2 倍印刷	約 2 倍	約 2 倍	約 4 倍
3 倍印刷	約 3 倍	約 3 倍	約 9 倍
4 倍印刷	約 4 倍	約 4 倍	約 16 倍

例えば「3 倍印刷」で印刷をおこなうと、**[印刷]** による通常の印刷に比べて、幅が約 3 倍、長さが約 3 倍のラベルになるので、使用するテープ量は約 9 倍になります。

!! 注意 !!

特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。**[印刷]** では通常の印刷がおこなわれます。

参考

カラフルな 3 倍印刷

「3 倍印刷」の上中下をそれぞれ違う色の同じ幅のテープに印刷してカラフルなラベルを作ってみましょう。ただし違う色のテープで印刷をおこなうと、長さが若干異なる場合があります。また、テープカートリッジを入れ換える際にはテープをセットしたあとに、必ずテープ送りをおこなってください。

鏡文字を印刷する

入力した文字を鏡像反転させて印刷します。

●鏡文字印刷

する (鏡像)



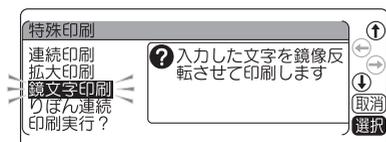
しない (正像)



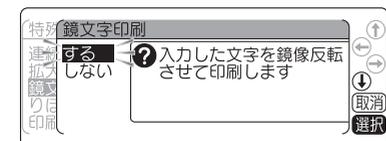
例：鏡文字を印刷をする

1 文章を入力し、**特殊印刷**を押す
「特殊印刷」メニューが表示されます。

2 「鏡文字印刷」を選び、**選択実行**を押す

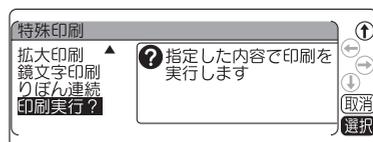


3 「する」を選び、**選択実行**を押す



「特殊印刷」メニューに戻ります。

4 「印刷実行？」を選び、**選択実行**を押す



ラベルが鏡像で印刷されます。

MEMO

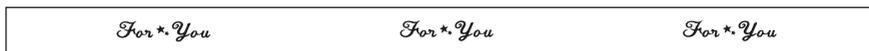
- 操作の途中で**印刷取消**または**特殊印刷**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 印刷を途中でやめるときは**印刷取消**を押してください。
- 転写テープがセットされているときは、印刷時に転写印刷を選択できるため、鏡文字印刷を指定する必要はありません。
参照  P.168 「転写テープを印刷する」

!! 注意 !!

特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。**印刷**では通常の印刷がおこなわれます。

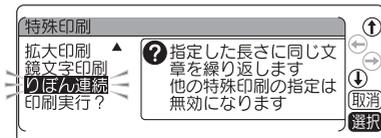
指定したラベルの長さ、同じ文章を繰り返し印刷する (りぼん連続印刷)

指定したラベルの長さ、同じ文章を繰り返し印刷します。

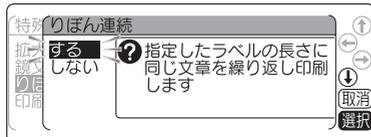


1 繰り返したい文章を入力し、**特殊印刷**を押す
「特殊印刷」メニューが表示されます。

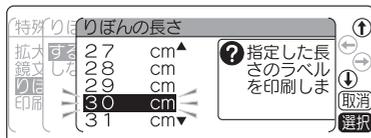
2 「りぼん連続」を選び、**選択実行**を押す



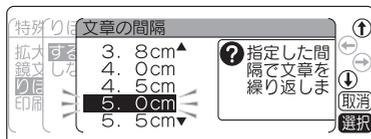
3 「する」を選び、**選択実行**を押す



4 「りぼんの長さ」を指定し、**選択実行**を押す
5.0cm～99cmの範囲で指定できます。長さは数字ボタンでも指定できます。

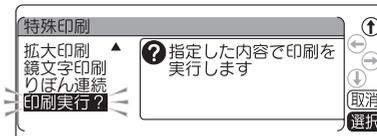


5 「文章の間隔」を指定し、**選択実行**を押す
1.0cm～99cmの範囲で指定できます。長さは数字ボタンでも指定できます。



特殊印刷メニューに戻ります。

6 「印刷実行?」を選び、**選択実行**を押す



ラベルが印刷されます。

MEMO

- 操作の途中で**解除印刷**または**特殊印刷**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 印刷を途中でやめるときは**印刷**を押してください。
- 指定するりぼんの長さは一応の目安です。実際のできあがり長さとは完全に一致しません。
- 「りぼん連続」は、りぼん以外のテープでも使用できます。
- 「自動カット」の設定に関わらず、「りぼん連続」では自動カットはおこなわれません。

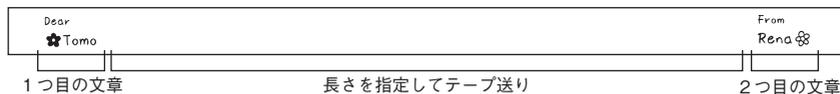
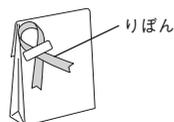
!! 注意 !!

- 特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行?」を選択したときのみ実行されます。**印刷**では通常の印刷がおこなわれます。
- 「りぼん連続」で「する」を選ぶと、連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷を指定することができなくなります。連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷をおこなう場合は、「りぼん連続」を「しない」に設定してください。

指定した長さでテープ送りをする（送り長指定）

長さを指定してテープを空送りします。ラベルの前や後ろに余白が必要なときや複数文章の印刷で途中で空白を入れたいときに利用してください。

例：りぼんを使ったラッピングなどに



1 1つ目の文章を入力して、**印刷**を押す

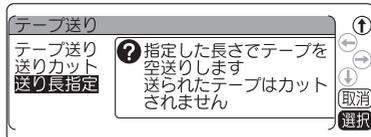
!! 注意 !!

続けて「送り長指定」をする場合は、「自動カット」をオフにしてください。

2 **シフト**を押しながら **印刷** (=テープ送り) を押す

「テープ送り」メニューが表示されます。

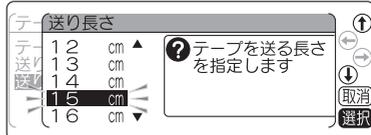
3 **↑** **↓** で「送り長指定」を選び、**選択実行**を押す



4 **↑** **↓** で送る長さを指定する

2.0cm ~ 99cm の範囲で指定できます。

長さは数字ボタンでも指定できます。



5 **選択実行**を押す

指定した長さでテープ送りします。

続けて2つ目の文章を入力して、印刷します。

MEMO

- 「送り長さ」は一応の目安です。実際のできあがり長さと完全には一致しません。
- 操作を途中でやめるときは、**印刷実行**を押します。
- 「自動カット」の設定にかかわらず、「送り長指定」では自動カットはおこなわれません。

●読みのわからない漢字を入力する

「読み」のわからない漢字は、漢字検索機能でコードでの入力や部首の読み・画数による検索ができます。

MEMO

本書には区点コード表を掲載しております。部首、JISコード、シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書もしくはコード表をご参照ください。

参照  P.232 「漢字変換表」

漢字検索メニュー一覧

 を押しながら  (=漢字検索) を押すと以下のメニューが表示されます ( は購入時の初期設定値です)。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
コード入力 ▶ コードを入力して漢字を呼び出します。 参照  P.188	コード入力 ▶ コード	コード	
部首読み ▶ 部首の読みで漢字を検索します。 参照  P.189	部首読み ▶ 読み	部首 ▶	漢字
部首画数 ▶ 部首の画数で漢字を検索します。 参照  P.189	部首画数 ▶ 画数	部首 ▶	漢字

コードで入力する

「読み」のわからない漢字を、コードで入力できます。
入力できるコードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードです。

MEMO

本書には区点コード表を掲載しております。JISコード、シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。

参照 P.232 「漢字変換表」

例：「お休み處」と入力する

1 仮確定文字、点滅文字がないことを確認する



2 入力したい漢字「處」のコードを調べる

コードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードのいずれでもかまいません。

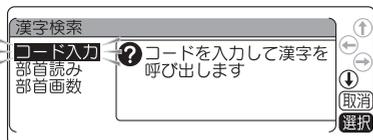
處…4961（区点コード）

参照 P.232 「漢字変換表」

3 を押しながら （＝漢字検索）を押す

「漢字検索」メニューが表示されます。

4 「コード入力」を選び、 を押す

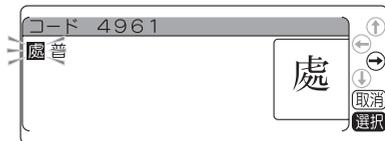


5 コードを入力する



を押します。

最後の数字を押すと、コードに対応した漢字の候補が表示されます。



コードを入力すると、目的の文字以外の文字も表示されることがあります。例えば4961は区点コードでは「處」ですが、JISコードでは「普」です。このように異なるコードにも対応した漢字があるときは、候補が複数表示されます。

6 「處」を選び、 を押す



カーソル位置に「處」が入力されます。

MEMO

- 仮確定文字、点滅文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、 または を押し、操作を戻します。
- コードの入力を間違えたときは を押して入力しなおしてください。

部首による漢字検索

漢字を部首の読みや画数で検索し、入力できます。

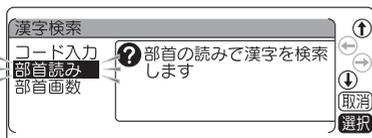
例：「榎（えのき）」（部首：木）を入力する

部首の読みで検索する

- 1 シフトを押しながら **あ・ア・A**（＝漢字検索）を押す

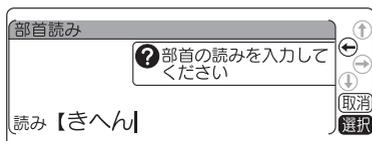
「漢字検索」メニューが表示されます。

- 2 「部首読み」を選び、**選択/実行**を押す



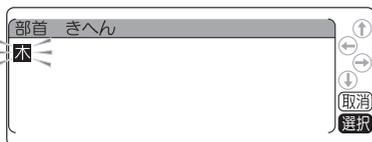
- 3 検索する部首の読みをひらがなで入力し、**選択/実行**を2回押す

「きへん」を入力します。



- 4 ← ↑ ↓ → で部首を選び、**選択/実行**を押す

「木」を選択します。



選択した部首の漢字が表示されます。

- 5 目的の漢字を選び、**選択/実行**を押す



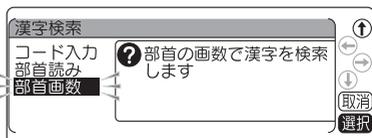
「榎」が入力されます。これで入力完了です。

部首の画数で検索する

- 1 シフトを押しながら **あ・ア・A**（＝漢字検索）を押す

「漢字検索」メニューが表示されます。

- 2 「部首画数」を選び、**選択/実行**を押す



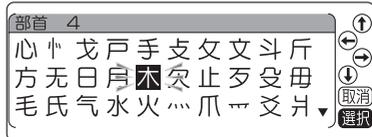
- 3 検索する部首の画数を入力し、**選択/実行**を押す

画数は **4** を押します。



- 4 ← ↑ ↓ → で部首を選び、**選択/実行**を押す

「木」を選択します。



選択した部首の漢字が表示されます。

- 5 目的の漢字を選び、**選択/実行**を押す



「榎」が入力されます。これで入力完了です。

MEMO

- 仮確定文字、点滅文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、**解除/戻る**または **あ・ア・A** を押し、操作を戻します。
- 部首読みで入力できる読みは16文字までです。
- 部首画数で入力できる数字は1～23です。0もしくは24以上は入力できません。

●印刷設定 / 編集設定 / 環境設定

シフトを押しながら **復活** (=設定) を押すと、印刷や表示などの保存値を変更できます。

設定メニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
印刷設定 ▶	自動カット ▶ 自動カット 印刷時の自動カットの有無を設定します。 参照 ↗ P.193	自動カット ▶ する しない	ハーフカット ▶ する しない
	印刷濃度 ▶ 印刷濃度 印刷の濃さを設定します。 参照 ↗ P.195	-3 ~ 0 ~ +3	
	印刷速度 ▶ 印刷速度 ACアダプタ使用時の印刷速度を選択します。 参照 ↗ P.195	高速印刷 低速印刷	
	カッタベル位置 ▶ カッタベル位置 カッタベルの印刷位置を調整します。 参照 ↗ P.196	テープ幅方向 ▶ テープ長さ方向	-5 ~ 0 ~ +5
	リセット ▶ リセット 印刷設定を初期設定値にします。 参照 ↗ P.196	実行?	

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
編集設定 ▶ 編集設定 編集機能の保存値を設定します。 参照 P.197	リセット ▶ 定長印刷 ▶ 地紋印刷 ▶ 余白 ▶ 文字サイズ ▶ 縦・横 ▶ 外枠・表組 ▶ 割付け ▶ 書体 ▶ 飾り字 ▶ 斜体・強調 ▶ 伸・縮 ▶ 囲み・網 ▶ 文字間 ▶ 終わり? ▶	実行? 詳細な項目を設定できます。設定方法は、通常の文章書式や文字モードなどと同じです。

!! 注意 !!

カットラベルフォームの入力画面では、「書体」「飾り字」「斜体・強調」「伸・縮」「囲み・網」「文字間」以外の編集設定の保存値は反映されません。

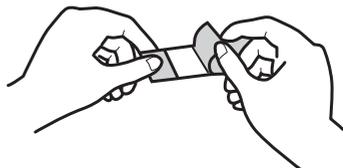
メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
環境設定 ▶	<p>表示切換 ▶</p> <p>表示切換 印刷イメージの表示サイズを設定します。 参照  P.199</p>	<p>印刷イメージ無</p> <p>印刷イメージ小</p> <p>印刷イメージ大</p>
	<p>表示濃度 ▶</p> <p>表示濃度 画面表示の濃さを設定します。 参照  P.199</p>	<p>-5 ~ 0 ~ +5</p>
	<p>バックライト ▶</p> <p>バックライト 液晶ディスプレイのバックライトを ON/OFF します。 参照  P.200</p>	<p>ON</p> <p>OFF</p>
	<p>学習初期化 ▶</p> <p>学習初期化 文字入力の学習内容を初期化します。 参照  P.200</p>	<p>実行?</p>
	<p>電池種類 ▶</p> <p>電池種類 使用する電池の種類を設定します。 参照  P.201</p>	<p>アルカリ乾電池</p> <p>ニッケル水素電池</p>

●印刷設定を変更する

印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する

本機には、印刷時に、ラベルを自動的にカットする「自動カット」と、ラベル部分にスリットを入れ、はがしやすくする「ハーフカット」機能があります。

ハーフカットを有効にして印刷すると、ラベル部分にスリットが入るので、はがしやすくなります。ハーフカットが有効になっているときは、ハーフカットランプが点灯します。

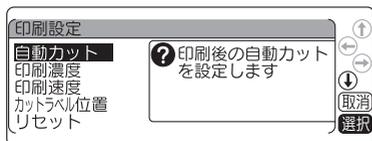


!! 注意 !!

- 本機のカッターでカットできない耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・蓄光ラベル・りぼんを使う場合は、自動カットを無効にして印刷してください。
参照 P.209 「テープカートリッジを使いわせる」
- ハーフカットのできない耐熱ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・熱収縮チューブ・ロングテープ・上質紙ラベル・蓄光ラベル・りぼんを使う場合は、ハーフカットを無効にして印刷してください。
参照 P.209 「テープカートリッジを使いわせる」
- 転写テープ、カットラベルは自動でハーフカットが無効になります。

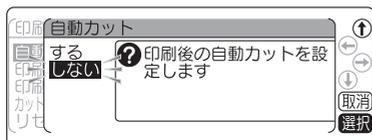
自動カットとハーフカットを無効にする

- 1 **シフト**を押しながら **復活** (=設定)を押す
「設定」メニューが表示されます。
- 2 「印刷設定」を選び、**選択改行**を押す
「印刷設定」メニューが表示されます。
- 3 「自動カット」を選び、**選択改行**を押す



「自動カット」が表示されます。

- 4 「しない」を選び、**選択改行**を押す

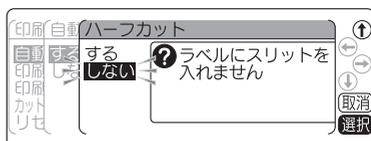


自動カットとハーフカットが無効に設定され、テキスト画面に戻ります。

自動カットを有効、ハーフカットを無効にする

左の手順④で「する」を選ぶと自動カットは有効となり、「ハーフカット」メニューが表示されます。手順⑤の操作をおこなってください。

- 5 「しない」を選び、**選択改行**を押す



ハーフカットのみ無効に設定され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- 自動カットとハーフカットをともに有効にする場合は、手順④、⑤で「する」を選びます。
- 操作の途中で^{印刷中}または^{復活}を押すと、1つ前の状態に戻ります。^{ホーム}を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 自動カットなしで印刷したラベルは、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm（りぼんの場合は10mm）程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
- 自動カットが無効でも、「テープ送り」メニューの「送りカット」ではテープをカットすることができます。

参照  P.32 「5. テープ送りをする」

- ハーフカットを無効にしている場合は、長さ約19mm未満のラベルは印刷できません。ハーフカットが有効の場合は、長さ8mm以上のラベルを印刷できます。
- フラッグ（縦横）を印刷する場合、ハーフカットを「しない」に設定すると「定長の指定が短すぎます 定長を解除して実行しますか？」とメッセージが出て長さ約19mmのテープが出ます。ハーフカット「あり」をおすすめします。
- 地紋印刷時、または余白が以下の条件のときにハーフカットが無効になっていると、印刷前にテープが約19mmカットされます。
 - 余白が「極少」、「少なめ」の場合（全テープ幅）
 - 余白が「自動少なめ」の場合（36mm幅テープ以外）
 - 余白が「自動多め」の場合（4mm、6mm幅テープ）
- カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照  巻末 「アフターサービスについて」

- ハーフカット有効で連番の繰り返し回数を2回以上に指定して連番印刷を実行した場合、ハーフカットは自動で無効になります。

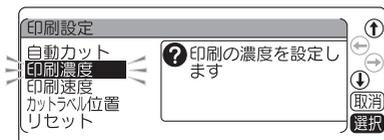
印刷濃度を調整する

印刷濃度は7段階で設定できます。印刷が薄いときや濃いときに調整してください。通常は「0」でご使用ください。

1 シフトを押しながら 復活 (=設定) を押す
「設定」メニューが表示されます。

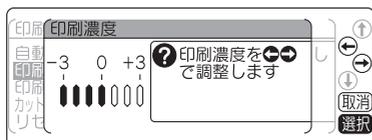
2 「印刷設定」を選び、 選択実行 を押す
「印刷設定」メニューが表示されます。

3 「印刷濃度」を選び、 選択実行 を押す



「印刷濃度」が表示されます。

4 濃度を調整し、 選択実行 を押す



印刷濃度が設定されます。

MEMO

- 本機は温度センサーを内蔵しており、印刷ヘッドの温度にあわせて印刷濃度が一定になるように自動調整されます。
- 印刷濃度を「0」以外に設定すると、電池の消耗が激しくなったり、印字がつぶれたりカスレたりすることがあります。また、まれにラベルの文字がはがれやすくなる場合がありますのでご注意ください。
- 操作の途中で 削除 または 復活 を押すと、1つ前の状態に戻ります。ホーム を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 耐熱ラベルを使う場合や、上質紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル・蓄光ラベル・ギフトシールで印字がカスレた場合は「+3」に設定してください。
参照 P.209「テープカートリッジを使いわける」

印刷速度を設定する

印刷結果にムラやカスレが生じるなどきちんと印刷できないときは、印刷速度を調整してください。

1 シフトを押しながら 復活 (=設定) を押す
「設定」メニューが表示されます。

2 「印刷設定」を選び、 選択実行 を押す
「印刷設定」メニューが表示されます。

3 「印刷速度」を選び、 選択実行 を押す



「印刷速度」メニューが表示されます。

4 「高速印刷」または「低速印刷」を選び、 選択実行 を押す
印刷速度が設定されます。

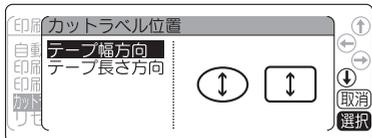
MEMO

- 上質紙・マスキングテープ「mt」ラベル・りぼん・ギフトシールを使う場合は「低速印刷」に設定してください。
- 「印刷速度」はACアダプタ使用時の印刷速度のみ設定することができます。設定した印刷速度は、電池で使用する場合には反映されません。
- 転写テープを使用する場合や、編集メニューの「囲み・網」で網濃度「ベタ」を選んだ場合は、自動的に印刷速度が遅くなります。

カットラベル位置を調整する

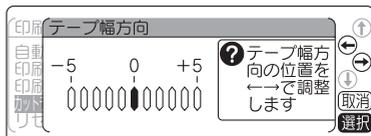
カットラベルは設計上、印刷位置がわずかにズレて印刷される場合があります。印刷位置が合わない場合は、カットラベル位置を調整してください。テープ幅方向と長さ方向にそれぞれ 11 段階で設定できます。

- 1 **シフト** を押しながら **復活** (=設定) を押す
「設定」メニューが表示されます。
- 2 「印刷設定」を選び、**選択実行** を押す
「印刷設定」メニューが表示されます。
- 3 「カットラベル位置」を選び、**選択実行** を押す
「カットラベル位置」メニューが表示されます。
- 4 「テープ幅方向」「テープ長さ方向」の設定したい方を選び、**選択実行** を押す



「テープ幅方向」または「テープ長さ方向」の調整画面が表示されます。

- 5 位置を調整し、**選択実行** を押す



カットラベルの印刷位置が設定されます。

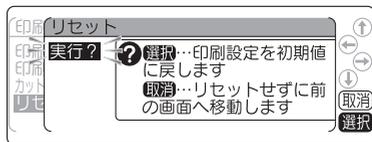
MEMO

- 「テープ幅方向」ではラベルの上方向を“+”として、1目盛りあたり0.25mm印刷位置を動かします。
- 「テープ長さ方向」ではラベルの右方向を“+”として、1目盛りあたり0.25mm印刷位置を動かします。

印刷設定をリセットする

印刷設定をご購入時の状態（初期設定値）に戻します。

- 1 **シフト** を押しながら **復活** (=設定) を押す
「設定」メニューが表示されます。
- 2 「印刷設定」を選び、**選択実行** を押す
「印刷設定」メニューが表示されます。
- 3 「リセット」を選び、**選択実行** を押す
- 4 「実行？」を選び、**選択実行** を押す



「印刷設定」で設定した内容が初期設定値になります。

MEMO

操作の途中で **削除** または **復活** を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

●編集設定を変更する

編集機能の保存値を設定する

「書体」や「余白」などの保存値を変更することができます。

本機では  を使って、次のような機能を指定することができます。

編集ボタンの機能

機能の分類	指定できる機能
文章書式	定長印刷、地紋印刷、余白
段落スタイル	文字サイズ、縦・横、外枠・表組、割付け
文字モード	書体、飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間

各機能を選ぶと、選択肢が表示されます。表示されたときに選ばれている選択肢が保存値です。よく使う「書体」や「余白」などが、ご購入時の保存値（「初期設定値」と呼びます）とは異なる場合、「編集設定」で保存値を変更しておく、文章を作るたびに  で変更する必要がなくなります。

ラベルには保存値の内容が自動的に反映されるので、例えば、「縦・横」の保存値を「たて書き」に指定しておく、通常は「たて書き」のラベルになります。

なお、変更した保存値は、編集設定のリセットによって、いつでも初期設定値に戻すことができます。

MEMO

- 各機能の初期設定値については P.72 「編集メニュー一覧」を参照してください。
-  での指定内容は、全文消去をおこなうと保存値に戻りますが、地紋印刷の文字地紋 / 創作地紋データのみは本機内部に保存され、ほかの文章でも使用することができます。
- ファイルに登録された内容は、ファイル登録時の指定が反映されます。「印刷履歴」で呼び出した内容は、印刷時の指定が反映されます。
- カットラベルフォームでは、文章書式、段落スタイルで設定した保存値および「文字間」の保存値は反映されません。

参照  P.157 「カットラベル編集メニュー一覧」

!! 注意 !!

保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。

参照  P.56 「すべての文章を消去する」

保存値を変更する

- 1 **シフト** を押しながら **削除** (=全消去) を押し、全文消去をおこなう

!! 注意 !!

保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。

参照 P.56 「すべての文章を消去する」

- 2 **シフト** を押しながら **復活** (=設定) を押す

- 3 「編集設定」を選び、**選択実行** を押す
「編集設定」メニューが表示されます。

- 4 「編集設定」メニューの変更したい項目を選び、**選択実行** を押す



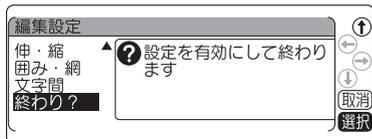
- 5 保存値に設定したい選択肢を選び、**選択実行** を押す



各項目の設定方法は、通常の文章書式や文字モードなどと同じです。

参照 P.69 「ラベルの見栄えをよくする (編集)」

- 6 変更したいすべての項目の設定が終わったら、「編集設定」メニューから「終わり?」を選び、**選択実行** を押す



保存値が変更され、テキスト画面に戻ります。

保存値を初期設定値に戻す

変更した保存値の設定を、ご購入時の保存値 (初期設定値) に戻します。

- 1 **シフト** を押しながら **削除** (=全消去) を押し、全文消去をおこなう

!! 注意 !!

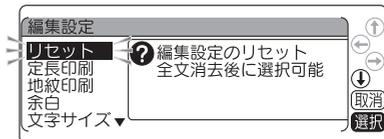
保存値の設定を初期設定値に戻すときには、全文消去をする必要があります。

参照 P.56 「すべての文章を消去する」

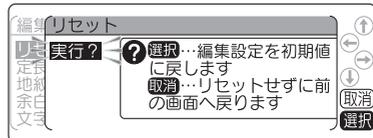
- 2 **シフト** を押しながら **復活** (=設定) を押す

- 3 「編集設定」を選び、**選択実行** を押す
「編集設定」メニューが表示されます。

- 4 「編集設定」メニューの「リセット」を選び、**選択実行** を押す



- 5 「実行?」を選び、**選択実行** を押す



編集の保存値が初期設定値に戻ります。

MEMO

操作の途中で **削除** または **復活** を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

●環境設定を変更する

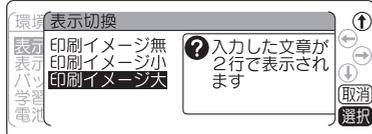
表示切換

テキスト画面の印刷イメージのサイズと表示できる行数を変更できます。

- 1 シフトを押しながら 復活 (=設定) を押す
「設定」メニューが表示されます。
- 2 「環境設定」を選び、 選択改行 を押す
「環境設定」メニューが表示されます。
- 3 「表示切換」を選び、 選択改行 を押す



- 4 印刷イメージの設定を選び、 選択改行 を押す



印刷イメージ無：印刷イメージがなく、入力した文章のみ5行表示します。

印刷イメージ小：印刷イメージを小さく表示し、入力した文章を3行表示します。

印刷イメージ大：印刷イメージを大きく表示し、入力した文章を2行表示します。

印刷イメージが設定されます。

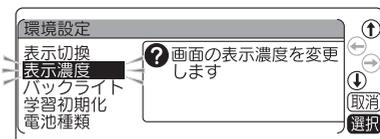
MEMO

- 操作の途中で 削除改行 または 復活 を押すと、1つ前の状態に戻ります。ホームを押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 表示切換は、全文消去や電源 OFF では初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。
参照 P.202 「本機を初期化する」

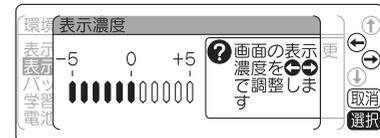
ディスプレイの濃度を調整する

ディスプレイの表示濃度は11段階で設定できます。ディスプレイの表示が見にくい場合は、次の手順で調整します。

- 1 シフトを押しながら 復活 (=設定) を押す
「設定」メニューが表示されます。
- 2 「環境設定」を選び、 選択改行 を押す
「環境設定」メニューが表示されます。
- 3 「表示濃度」を選び、 選択改行 を押す



- 4 ← → で濃度を調整し、 選択改行 を押す
初期設定値は「0」に設定されています。



表示濃度が設定され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- 操作の途中で 削除改行 または 復活 を押すと、1つ前の状態に戻ります。ホームを押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 表示濃度は、電源 OFF では初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機の初期化をおこなってください。
参照 P.202 「本機を初期化する」

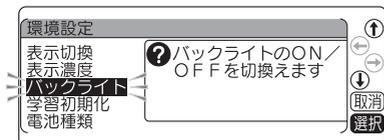
バックライトの切換

ディスプレイのバックライトはON/OFFできません。バックライトをONにすると表示が見やすくなりますが、単3形アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池で使用するときなどは、OFFにすると電池を節約できます。

① **シフト**を押しながら**復活** (=設定)を押す
「設定」メニューが表示されます。

② 「環境設定」を選び、**選択実行**を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

③ 「バックライト」を選び、**選択実行**を押す



④ ON/OFFを選び、**選択実行**を押す



初期設定値は「ON」に設定されています。バックライトが設定され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- 仮確定文字、点滅文字があるときは操作できません。
- 操作の途中で**削除**または**復活**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- バックライトは、全文消去や電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。

参照 P.202 「本機を初期化する」

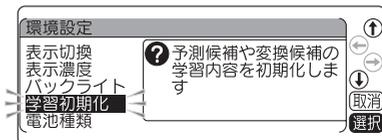
学習内容を初期化する

文字入力の際の予測候補や変換候補の学習内容を初期化します。

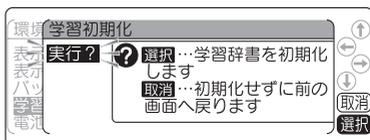
① **シフト**を押しながら**復活** (=設定)を押す
「設定」メニューが表示されます。

② 「環境設定」を選び、**選択実行**を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

③ 「学習初期化」を選び、**選択実行**を押す



④ **選択実行**を押す



学習内容が初期化されます。

MEMO

- 仮確定文字、点滅文字があるときは操作できません。
 - 操作の途中で**削除**または**復活**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**ホーム**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
 - ファイル・あて名・名前・外字データ・印刷履歴は初期化されません。
- 参照 P.202 「本機を初期化する」

電池種類を設定する

本機では単 3 形アルカリ乾電池の他に、充電式ニッケル水素電池（単 3 形）もご使用頂けます。
充電式ニッケル水素電池（単 3 形）をご使用になる際には電池設定を「ニッケル水素電池」に変更してください。

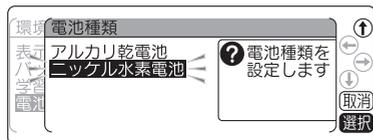
1 [シフト] を押しながら [復活] (=設定) を押す
「設定」メニューが表示されます。

2 「環境設定」を選び、[選択変更] を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

3 「電池種類」を選び、[選択変更] を押す



4 「ニッケル水素電池」を選び、[選択変更] を押す



初期設定値は「アルカリ乾電池」に設定されています。
電池種類が設定されます。

MEMO

- 仮確定文字、点滅文字があるときは操作できません。
- 操作の途中で [削除] または [復活] を押すと、1 つ前の状態に戻ります。 [ホーム] を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 再び「アルカリ乾電池」を使用する際には、同じ手順で「アルカリ乾電池」を設定してください。
- 電池種類は、全文消去や電源 OFF では初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。参照 P.202 「本機を初期化する」

!! 注意 !!

電池種類で設定した電池を使用していないときには、電池の寿命が短くなったり、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないことなどがあります。
参照 P.26 「2. 電池（別売）を入れて使用するときは」

●本機を初期化する

!! 注意 !!

- 本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の要因で不具合を起こすことがあります。
- 不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなった場合は、下記の手順で「本機の初期化」をおこなってください。
- 初期化をすれば正常に使えるようになりますが、万一、初期化をおこなっても正常に動作しない場合には、お買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店に修理を依頼してください。
なお、初期化や、修理・検査をおこなうと、ファイルのデータや外字のデータなど、すべての登録内容や学習内容が失われ、復元はできません。あらかじめご了承ください。

初期化とは

初期化の操作により、本機の設定がすべてご購入時の状態に戻ります。

初期化をおこなう前に、充分に確認してください。

機能 内容		機能					
		初期化	編集設定 のリセット (P.198)	印刷設定 のリセット (P.196)	全文消去 (P.56)	ビジネス フォーム / カットラベル フォームでの 全文消去 (P.143、 155)	電源 OFF (P.51)
入力	テキスト画面の文章	●	— ^{*1}	—	●	—	—
	コピーした内容	●	—	—	—	—	●
	地紋データ	●	—	—	—	—	—
	ビジネスフォーム / カットラベルフォーム の文章	●	—	—	—	●	—
	入力状態と小文字ロック	●	—	—	—	—	—
データ	ファイルデータ	●	—	—	—	—	—
	あて名データ	●	—	—	—	—	—
	名前データ	●	—	—	—	—	—
	辞書データ	●	—	—	—	—	—
	外字データ	●	—	—	—	—	—
	印刷履歴	●	—	—	—	—	—
設定	自動カットの設定値	●	—	●	—	—	—
	印刷濃度の設定値	●	—	●	—	—	—
	印刷速度の設定値	●	—	●	—	—	—
	カットラベル位置の設定値	●	—	●	—	—	—
	表示濃度の設定値	●	—	—	—	—	—
	編集設定の保存値	●	●	—	—	—	—

● : ご購入時の状態に戻ります。

— : 保持されます。

*1 : 編集設定のリセットをおこなうときには、全文消去をする必要があります。

初期化する

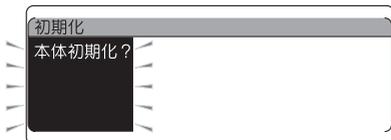
- 1 **ON/OFF** を押して電源を切る

!! 注意 !!

ON/OFF を押しても電源が切れないときには、AC アダプタを抜いて電池も抜きます。次にもう一度 AC アダプタを接続、または電池をセットし、再度 **ON/OFF** を押して電源を入れます。以降は手順 1 から操作で初期化してください。

- 2 **選択/実行** と **削除/再入** を押しながら **ON/OFF** を押す

タイトル画面が表示されたあと、「本体初期化?」が点滅します。



!! 注意 !!

- 初期化をやめるときは **選択/実行** 以外のボタンを押してください。
- 本当に初期化しても大丈夫ですか？
今まで登録したファイル・外字・辞書など、あらゆるデータや学習内容が消去されます。初期化をおこなう前に、十分に確認してください。

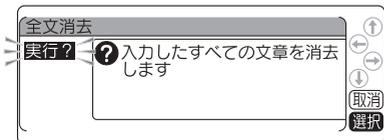
- 3 **選択/実行** を押す

「初期化中」と表示され、本機の初期化がおこなわれたあと、「ローマ字入力」モードが表示され、テキスト画面になります。

● デモ印刷をする

本機が正しく動くかどうか、デモ印刷をして確認することができます。また、書体など本機の機能を参照することができます。

- 1 **シフト** を押しながら **削除** (=全消去) を押し、
全文消去をおこなう



!! 注意 !!

デモ印刷をおこなう前には、全文消去をする必要があります。

参照 P.56 「すべての文章を消去する」

- 2 「demo」と入力する
参照 P.42 「英字を入力する」

d e m o l

- 3 **シフト** を押しながら **変換スペース** を押す
デモ印刷がおこなわれます。

!! 注意 !!

- 4mm幅テープとカットラベルではデモ印刷できません。
- ご使用中に「故障かな?」と思ったときは、このデモ印刷をおこなってください。デモ印刷が見本どおりに印刷されないときは、お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照 巻末 「アフターサービスについて」

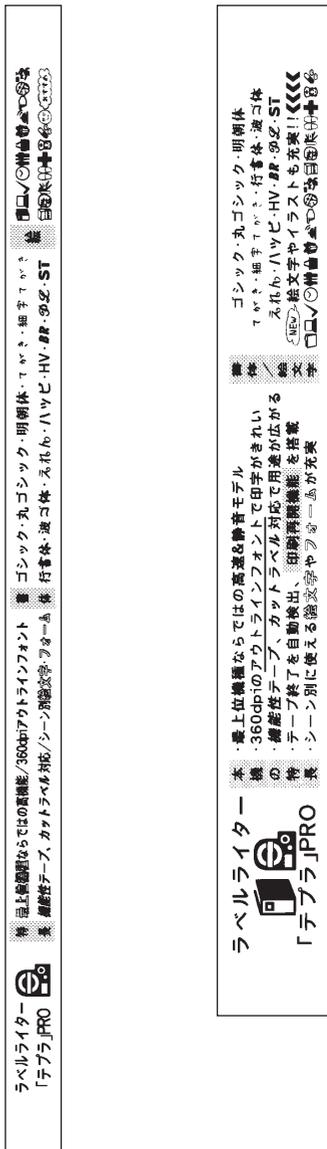
MEMO

印刷を途中でやめるときは **削除** を押してください。

見本 (80%縮小)

9mm幅テープ

17mm幅テープ



付録

●メニュー一覧

各ボタンで表示される機能は、該当ページを参照してください。

	機能名	参照ページ
	テープ送り	P.208
	特殊印刷	P.179
	フォーム	P.125、136、151、148
	印刷履歴	P.169
	編集	P.72
	ファイル	P.95
	連番・バーコード	P.171
	設定	P.190
	記号	P.207
テープ終了エラー メッセージ表示後、 新品のテープカートリッジをセットし、上カバーを閉じる	印刷再開	P.181

記号メニュー一覧

記号を押すと、記号を入力できます（**太字**は購入時の初期設定値です）。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
記号 外字呼出 登録した外字を入力 します。 参照 P.122 2桁数字 2桁の数字を1文字 として入力します。 参照 P.67 編集 全角スペースや縦罫 線を入力します。 参照 P.43、86 合成 合成文字を作成します。 参照 P.46 イラスト 絵文字 3文字分の大き な絵文字を入力します。 参照 P.45	外字呼出 ▶ 記述 ▶ 省略 ▶ カッコ ▶ 矢印 ▶ 単位 ▶ 算数 ▶ 数字 ▶ 2桁数字 ▶ ギリシャ ▶ ロシア ▶ 欧州 ▶ 図形 ▶ 仕事 ▶ 表示 ▶ 案内用 ▶ お店 ▶ 建設 ▶ 工場 ▶ 病院 ▶ 生き物 ▶ 乗り物 ▶ 食べ物 ▶ 暮らし ▶ 顔 ▶ 趣味 ▶ 編集 ▶ 合成 ▶ イラスト ▶	外字選択 ▶ 記号選択 参照 P.240「記号・外枠一 覧表」 数値入力 記号選択 参照 P.240「記号・外枠一 覧表」
		平滑化
		する
		しない

フォームメニュー一覧

メニュー	参照ページ
フォーム	
デザインフォーム	P.125
ビジネスフォーム	P.136
定型外国語	P.148
カットラベル	P.152

テープ送りメニュー一覧

シフトを押しながら**印刷**（=テープ送り）を押すと、テープ送りや送りカットを実行できます（**太字**は購入時の初期設定値です）。

メニュー	
テープ送り	
テープ送り テープ送りを実行します。 参照 シフト P.32	テープ送り 送りカット 送り長指定

印刷再開メニュー一覧

メニュー	
印刷再開	
印刷再開 印刷中にテープが終了した場合、正しく印刷されなかったラベルから再度印刷します。 参照 シフト P.181	テープ送り 送りカット 印刷実行？

● テープカートリッジを使いわける

使用するテープ種類に合わせて、下記の通り対応してください。

	テープ種類	設定方法
オートカッター 使用禁止	耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・蓄光ラベル・リボン	①カッターの刃の磨耗を防ぐため、「自動カット」無効で印刷する。 ②本機からテープカートリッジを取り出す。 ③カートリッジ側にテープを3mm（リボンの場合は10mm）程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットする。 参照 P.193 「印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する」
ハーフカット禁止	耐熱ラベル・アイロンラベル・カットラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・熱収縮チューブ・ロングテープ・上質紙ラベル・転写テープ・蓄光ラベル・リボン	「ハーフカット」無効で印刷する。 参照 P.193 「印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する」
オートトリマー 使用禁止	耐熱ラベル・アイロンラベル・カットラベル・マグネットテープ・熱収縮チューブ・上質紙ラベル・マスキングテープ「mt」ラベル・蓄光ラベル・リボン	トリマーにラベルを差し込まない。
印刷濃度の調整が必要	耐熱ラベル	印刷濃度を「+3」に設定して印刷する。
	上質紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル・蓄光ラベル・ギフトシール	印刷がカスレた場合、印刷濃度を「+3」に設定して印刷する。 参照 P.195 「印刷濃度を調整する」
印刷速度の調整が必要	上質紙ラベル・マスキングテープ「mt」ラベル・リボン・ギフトシール・カットラベル	印刷速度を「低速印刷」に設定して印刷する。
鏡文字の設定が必要	アイロン転写テープ	鏡文字を「する」に設定して印刷する。

テープカートリッジの詳しい使用方法は、テープカートリッジのパッケージおよび同梱されている取扱説明書をご覧ください。

!! 注意 !!

テープを本機にセットしたら、必ず一度「テープ送り」をしてテープやインクリボンのたるみをとってください。

参照 P.32 「5. テープ送りをする」

MEMO

- アイロンラベル・アイロン転写テープをご使用の際は、アイロンをご用意ください。
- 熱収縮チューブをご使用の際は、工業用ドライヤーをご用意ください。
- マスキングテープ「mt」ラベルは素材の性質上、一般的な「テブラ」テープに比べ、印刷がカスレやすくなっています。本機の印刷濃度を変えることによりカスレ具合の調整は可能ですが、細かな文字や白抜き文字、網掛け、地紋の印刷などには向きません。
- マスキングテープ「mt」ラベルはヘッド接触部のインクがテープに転写しないよう、印刷時以外は、カートリッジを本機から取り外してください。

●パソコンに接続して使う

本機は、USB ケーブルでパソコンと接続して、パソコンからラベルのレイアウト編集をおこなうことができます。

※パソコンとの接続には市販の USB ケーブルが必要です (USB2.0/1.1 ケーブル A-B タイプ)。

専用のラベルソフトは Windows 向け「PC ラベルソフト SPC10」と Mac OS 向け「シンプルラベルソフト SMA3」に対応しています。

ラベルソフトは本製品に同梱しておりません。当社ホームページ (<http://www.kingjim.co.jp/>) からダウンロードいただけます。なお、ダウンロードの際はインターネット環境が必要となります。

本書では、テキストや画像を自由にレイアウトしたり、「流し込み印刷」などの便利な機能をもった「PC ラベルソフト SPC10」のセットアップ手順を説明しています。

「PC ラベルソフト SPC10」の使用方法についての詳細は、当社ホームページ (<http://www.kingjim.co.jp/>) をご覧ください。

アプリケーション、プリンタドライバをインストールする

以下のソフトをインストールします。

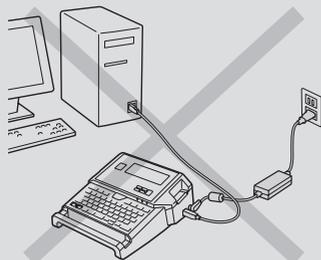
「PC ラベルソフト SPC10」	パソコンを利用して画像やイラストを挿入したり「流し込み印刷」などができる、ラベル編集ソフトです。
プリンタドライバ	パソコンから「テブラ」本体で印刷するために必要なソフトです。

インストールできるパソコンの条件 (動作環境) は、当社ホームページ (<http://www.kingjim.co.jp/>) でご確認ください。

!! 注意 !!

画面で指示されるまで「テプラ」本体をパソコンに接続しないでください。

USB ケーブルで接続する場合、画面による指示があるまで「テプラ」本体をパソコンに接続して電源を入れないでください。



「テプラ」本体の接続を指示する画面



- ラベルソフトは本製品に同梱しておりません。当社ホームページ (<http://www.kingjim.co.jp/>) からダウンロードいただけます。なお、ダウンロードの際はインターネット環境が必要となります。
- 本機には USB ケーブルは同梱されていません。市販の USB ケーブルをご使用ください (USB 2.0/1.1 ケーブル A-B タイプ)。
- プリントドライバをインストールしていない状態で「テプラ」本体をパソコンに接続して電源を入れると、[新しいハードウェアの追加] 画面が表示される場合があります。すぐに [キャンセル] をクリックし、パソコンから「テプラ」本体をはずしてください。
- 本項目は、「PC ラベルソフト SPC10」とプリントドライバのインストールについて説明する内容になっており、Windows やパソコンの操作については詳しく説明していません。また、Windows やパソコンについて、最低限の操作 (マウス操作やファイルの扱いなど) を習得されていることを前提しておりますので、必要な場合は Windows やパソコンの説明書をお読みください。
- 本プログラムをご使用になったうえでの故障や不具合、データ損失などにつきましては責任を負いかねますのでご了承ください。
- 1 台のパソコンに同じ機種 of 「テプラ」本体を複数接続する場合、接続する台数分のプリントドライバが必要になります。2 台目以降のプリントドライバは、別の「テプラ」本体を接続すると自動的にプリントドライバのコピーが作成されます。このとき新たにインストールされたプリントドライバの名前には「コピー」がつきます。
- 複数ユーザーで使用する場合はインストール後、一度ログオフしてから「別ユーザー」としてご使用ください。
- インストールの際は、ウィルス対策ユーティリティなどのプログラムを終了してからおこなってください。ラベルソフトが正常にインストールされない場合があります。

- 1 パソコンの電源を入れ、Windows を起動する
起動しているソフトウェアがあれば終了してください。ウイルス対策ユーティリティなどのプログラムも終了してください。
- 2 当社ホームページ (<http://www.kingjim.co.jp/>) から「PC ラベルソフト SPC10」ソフトウェアをダウンロードする
- 3 ダウンロードしたファイルをデスクトップなどに保存し、ファイルを解凍したあと、表示されたフォルダ中の SetUp.exe ファイルを実行する
インストールプログラムが起動します。

[ユーザーアカウント制御] の画面が表示された場合は、[続行] または [はい] をクリックし続けてください。



MEMO

右の画面が表示されるときは、既にアプリケーションまたはプリンタドライバがインストールされています。インストール項目を追加する場合は、[機能の追加/変更] で変更できます。

古いバージョンのアプリケーションがインストールされているときは、表示に従いアンインストールしてから本ソフトをインストールしてください。



- 4 [アプリケーションとドライバのインストール] をクリックする
プリンタドライバのみをインストールすることもできますが、ここでは、アプリケーション、プリンタドライバの両方をインストールします。

MEMO

[ドライバのみのインストール] をクリックした場合は、手順⑥のあと、手順⑨に進みます。



1 クリック

- 5 ソフトウェア使用許諾契約の内容を確認して同意する場合は [同意する] をクリックする
同意しない場合は [同意しない] をクリックしてください。インストールは中止されます。

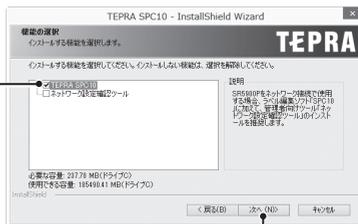


1 クリック

- 6** 「TEPRA SPC10」をチェックし [次へ] をクリックする
インストールが開始されます。

MEMO

「ネットワーク設定確認ツール」のインストールは、本機では不要です。



- ① チェックして ② クリック

- 7** インストール先を確認し、[次へ] をクリックする
インストール先を変更する場合は [参照] をクリックすると変更できます。



- ① 確認して ② クリック

- 8** 必要な項目をチェックし [完了] をクリックする
アプリケーションのインストールが終了すると、インストールされたフォント一覧とショートカットの作成を確認する画面が表示されます。
続いてプリンタドライバのインストールに進みます。



- ① クリック

!! 注意 !!

お使いのパソコンの環境によって、プリンタドライバのインストール画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。表示されるまで、しばらくお待ちください。

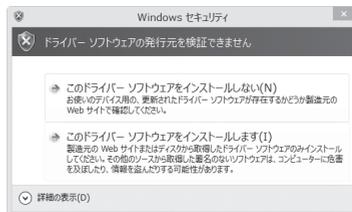
次へ進みます

9 機種を選択し、[次へ]をクリックする

右側の [▼] をクリックして表示されるリストから SR970 を選択します。



「Windows セキュリティ」の画面が表示された場合は、「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックし継続してください。



10 画面に表示される指示に従って本機をパソコンに接続する

「新しいハードウェア」のインストールが実行されず。しばらくするとインストールが完了し、完了画面が表示されます。



MEMO

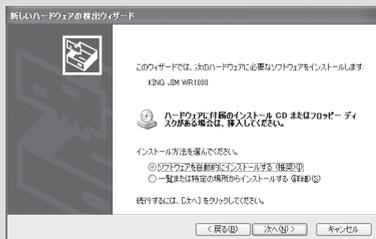
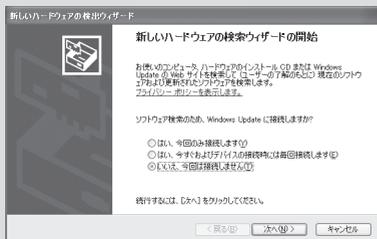
「新しいハードウェア」のインストールが実行されない場合

手順⑩の画面が表示されるより前に、USB ケーブルを「テプラ」本体とパソコンに接続していると、インストールが正しくおこなわれません。

画面右下の「キャンセル」をクリックしてインストールプログラムを一旦終了したあと、USB ケーブルをはずし、再びインストールプログラムを起動させてください。

ハードウェア検出ウィザードが表示された場合

インストール時に、まれに「ハードウェア検出ウィザード」が表示される場合があります。「Windows Update の接続」では「いいえ、今回は接続しません」を選択します。「インストール方法」は「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択します。



- 11 **【完了】をクリックする**
インストールが終了します



1 クリック

!! 注意 !!

プリンタの削除は「プログラムのアンインストール」（または「プログラムの追加と削除」）かインストールプログラムで削除してください。

参照 P.217 「アプリケーション、プリンタドライバをアンインストールする」

パソコンと「テプラ」本体を接続する

本機をパソコンと接続して使用する場合は、以下の手順で、パソコンリンク状態に切り換えて使用してください。

※パソコンとの接続には市販のUSBケーブルが必要です（USB2.0/1.1 ケーブル A-B タイプ）。

- 1 本機に AC アダプタを接続する
- 2 本機に USB ケーブルを接続する
- 3 本機にテープカートリッジをセットする

4 本機の **ON/OFF** を押し、電源を入れる

USB ケーブルを本機に接続した状態で、**ON/OFF** を押し、パソコンリンク状態に切り換わります。パソコンリンク状態を解除したい場合は、USB ケーブルを本機からはずしてください。



以降、「PC ラベルソフト SPC10」の使用方法についての詳細は、当社ホームページ (<http://www.kingjim.co.jp/>) をご覧ください。

!! 注意 !!

- パソコンにプリンタドライバをインストールしていない状態で本機をパソコンに接続して電源を入れると、[新しいハードウェアの追加] 画面が表示される場合があります。すぐに [キャンセル] をクリックしパソコンから本機をはずして、必ずプリンタドライバをインストールしてからご使用ください。
参照 [P.210](#) 「アプリケーション、プリンタドライバをインストールする」
- 1 台のパソコンに同じ機種種の「テプラ」本体を USB ケーブルで複数接続する場合、接続する台数分のプリンタドライバが必要になります。2 台目以降のプリンタドライバは、別の「テプラ」本体を接続すると自動的にプリンタドライバのコピーが作成されます。このとき新たにインストールされたプリンタドライバの名前には「コピー」がつきます。
- USB ハブを使用した場合の動作については、保証できません。

MEMO

パソコンリンク状態でも、本体を操作してテープ送りすることができます。それ以外の動作は、パソコンリンク状態ではおこなうことができません。

アプリケーション、プリンタドライバをアンインストールする

!! 注意 !!

- アプリケーション、プリンタドライバのアンインストールは、必ず下記に記載の手順でおこなってください。
- プリンタドライバをアンインストールするときは、パソコンと「テプラ」本体を接続しているUSBケーブルをはずしてからおこなってください。

1 当社ホームページ (<http://www.kingjim.co.jp/>) から「PC ラベルソフト SPC10」ソフトウェアをダウンロードする

2 ダウンロードしたファイルをデスクトップなどに保存し、ファイルを解凍したあと、表示されたフォルダ中の SetUp.exe ファイルを実行する

3 「削除」をクリックする
アンインストールの準備が整うと、確認の画面が表示されます。



4 「はい」をクリックする
アンインストールが開始されます。



MEMO

ここで「いいえ」をクリックすると、アプリケーションのアンインストールを中止します。

5 「完了」をクリックする
SPC10 に関連してアンインストールされたフォルダ一覧が表示されます。
続いて、プリンタドライバのアンインストールに進みます。



次へ進みます

- 6** **【はい】 をクリックする**
プリンタの選択画面に進みます。

1 クリック



MEMO

ここで **【いいえ】** をクリックすると、プリンタドライバのアンインストールを中止します。

- 7** **SR970 をネガ表示にし、【完了】 をクリックする**
プリンタドライバのアンインストールが開始されます。

1 ネガ表示にして

2 クリック



- 8** **【はい】 をクリックする**
パソコンが再起動されます。

1 クリック

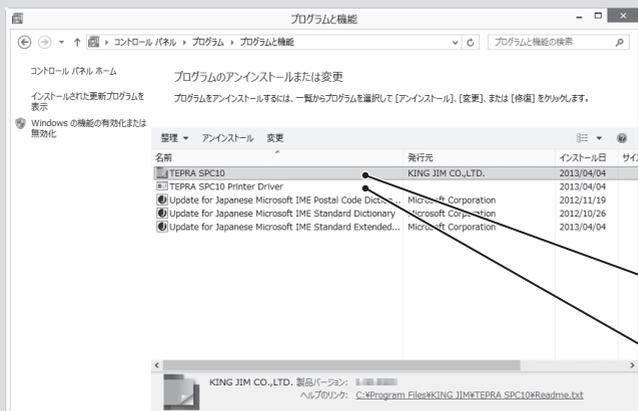


!! 注意 !!

- プリンタドライバをアンインストールした場合は、必ずパソコンを再起動してください。
- プリンタドライバの削除は「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」(または「プログラムの追加と削除」) もしくはインストールプログラムで削除してください。

MEMO

アプリケーション SPC10 とプリンタドライバのアンインストールは、[コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール] からでも操作できます。ただし、当社ホームページ (<http://www.kingjim.co.jp/>) からダウンロードできるファイルからのアンインストールとは異なり、アプリケーション用 (TEPRA SPC10) とプリンタドライバ用 (PC ラベルソフト SPC10 プリンタドライバ) と分かれていますので、ご注意ください。



アプリケーションを
アンインストールする場合

プリンタドライバを
アンインストールする場合

●こんな表示が出たときは

エラーメッセージが表示されたときは

MEMO

同じエラーでも、画面の表示状態によってメッセージの表示が変わります。
参照 P.199 「表示切換」

エラーメッセージ	原因・対処
電圧が低下しています 電池を交換してください	電池が消耗しました。電源を切り、すべての電池を新しい単3アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池に交換してください。または、電池の⊕⊖の向きが間違っている場合や、電池種類の設定が正しくない場合があります。また、できるだけ付属のACアダプタを使用してください。 参照 P.26 「1. ACアダプタを接続する」 参照 P.26 「2. 電池（別売）を入れて使用するときは」 参照 P.201 「電池種類を設定する」
上カバーを閉じてください！	電源が入っている状態で上カバーを開くと表示されます。上カバーを閉じてください。
テープがありません！	テープカートリッジがセットされていません。電源を切ってテープカートリッジを正しくセットしてください。 参照 P.29 「3. テープカートリッジをセットする」
印刷ヘッドが過熱！電源を切り、テープを抜いてしばらく放置してください	印刷を連続しておこなったために印刷ヘッドが過熱しています。電源を切り、テープカートリッジを抜いて、印刷ヘッドを冷やすためにしばらく放置してください。
行数オーバーです！	文章の行数が多すぎて、セットされているテープカートリッジでは印刷やプレビューの表示ができません。幅の広いテープカートリッジをセットするか、行数を減らしてください。 参照 P.57 「テープ幅と印刷できる行数」
テープ幅が不足しています！	文章の行数が多すぎて、セットされているテープカートリッジでは印刷や印刷イメージの表示ができません。または、あて名印刷を24mm・36mm幅以外のテープで印刷しようとした。幅の広いテープカートリッジをセットするか、行数を減らしてください。
入力した文章が長すぎます！	入力した文章が長すぎて、一度に印刷できるテープの長さ（16m）におさまりません。ビジネスフォームの定ピッチを使用している場合は、指定したピッチに対して入力した文章が長すぎます。カットラベルフォームの場合は、選択したラベルの形状に対して入力した文章が長すぎます。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らすか、文字の大きさを小さくしてください。
連番・バーコードは6個までしか入力できません	連番とバーコードは、合わせて6個までしか入力できません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照 P.172 「連番を印刷する」 参照 P.175 「バーコードを印刷する」

エラーメッセージ	原因・対処
QRコードは 2個までしか入力できません	QRコードは2個までしか入力できません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照  P.177 「QRコードを印刷する」
QRコードが大きすぎます！	QRコードが大きすぎます。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、QRコード入力中の文字サイズインジケータを参考にして以下の操作をおこなってください。 <ul style="list-style-type: none"> • 幅の広いテープに交換する。 • 通常テキストの行数を減らす。 • QRコードの誤り訂正レベルを低くする。 • QRコードの文字数を減らす。 参照  P.177 「QRコードを印刷する」
定型外国語は12個までしか 入力できません	定型外国語マーク (J J 、 E E 、 C C 、 K K) で囲まれた定型外国語は、12個までしか入力できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻ります。定型外国語以外の内容は呼び出されています。 参照  P.148 「定型外国語を入力する」
指定した特殊印刷はできません 拡大印刷や連続印刷の指定内容 を変更してください	指定した拡大印刷や連続印刷の内容では、長すぎて一度に印刷できるテープの長さ(16m)におさまりません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、拡大印刷や連続印刷の指定内容を変更してください。 参照  P.180 「同じラベルを連続して印刷する(連続印刷)」 参照  P.182 「テープ幅より大きなラベルを作る(拡大印刷)」
入力した文章が長すぎます 定長を解除して 実行しますか？	定長で指定した長さに文章がおさまりません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らす、文字の大きさを小さくする、余白を少なくするなどの対処をおこなってください。このまま  を押すと、定長を解除してプレビューまたは印刷を強行します。 参照  P.89 「定長印刷」
定長の指定が短すぎます 定長を解除して 実行しますか？	ハーフカット OFF で約 19mm 未満のラベルをプレビューまたは印刷をしようとした。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、テープの長さを変更してください。 このまま  を押すと、定長を解除してプレビューまたは印刷を強行します。 参照  P.193 「印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する」
メモリーがいっぱいです これ以上登録できません	ファイル・あて名・名前を登録するメモリーがいっぱいで、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押して「ファイル」メニューに戻り、不要なファイル・あて名・名前を消去してください。 参照  P.100 「ファイルを消去する」 参照  P.107 「あて名を消去する」 参照  P.113 「名前を消去する」 参照  P.147 「登録したビジネスフォームを消去する」 参照  P.167 「登録したカットラベルフォームを消去する」

エラーメッセージ	原因・対処
ファイルが登録されていません	<p>ファイルが登録されていない状態で、ファイルの呼び出し、消去、複写、印刷の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すと「ファイル」メニューに戻ります。</p> <p>参照 ☞ P.97 「ファイルを登録する」 参照 ☞ P.147 「登録したビジネスフォームを消去する」 参照 ☞ P.167 「登録したカットラベルフォームを消去する」</p>
ファイル印刷の長さが長すぎます 印刷候補を減らしてください	<p>ファイル印刷候補（最大 5 件）すべてを印刷すると、一度に印刷できるテープの長さ（16m）におさまりません。いずれかのボタンを押してファイル印刷候補の選択メニューに戻り、ファイル印刷の候補数を減らしてください。</p>
あて名が登録されていません	<p>あて名が登録されていない状態で、あて名の修正、消去、複写、印刷の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すと「あて名」メニューに戻ります。</p> <p>参照 ☞ P.105 「あて名を登録する」</p>
辞書の登録数がいっぱいで これ以上登録できません	<p>辞書がいっぱいで、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押して「辞書」メニューに戻り、不要な辞書を消去してください。</p> <p>参照 ☞ P.117 「登録した辞書を消去する」</p>
辞書に登録済みの語句です	<p>辞書登録ですすでに登録してある「語句・読み」をふたたび登録しようとした。この場合は、その登録はおこなわれません。いずれかのボタンを押すと「辞書」メニューに戻ります。</p>
辞書が登録されていません	<p>辞書が登録されていない状態で、辞書の修正、消去の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すと「辞書」メニューに戻ります。</p> <p>参照 ☞ P.115 「変換できない語句を登録する（辞書の登録）」</p>
未入力の項目があるため 辞書に登録できませんでした	<p>未入力の項目がある状態で、辞書を登録しようとした。この場合は、その登録はおこなわれません。いずれかのボタンを押すと「辞書」メニューに戻ります。</p>
名前が登録されていません	<p>名前が登録されていない状態で、名前の修正、消去、印刷の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すと「名前」メニューに戻ります。</p> <p>参照 ☞ P.112 「名前を登録する」</p>
外字が登録されていません	<p>外字が登録されていない状態で、外字の修正、呼び出し、消去、複写の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すと「外字」メニューに戻ります。</p> <p>参照 ☞ P.120 「外字を作成し、登録する」 参照 ☞ P.124 「外字を参照作成し、登録する」</p>
外字の登録数がいっぱいで これ以上登録できません	<p>外字の登録数がいっぱいで、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押して「外字」メニューに戻り、不要な外字を消去してください。</p> <p>参照 ☞ P.123 「外字を消去する」</p>
印刷履歴がありません	<p>印刷履歴がない状態で、印刷履歴の呼び出し、消去の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すと「印刷履歴」メニューに戻ります。</p>

エラーメッセージ	原因・対処
<p>テープが終了しました！ テープを交換してください</p>	<p>テープが終了しました。新品のテープカートリッジをセットしてください。または、テープカートリッジが正しくセットされていない可能性があります。テープカートリッジが正しくセットされているか確認してください。 参照 P.29 「3. テープカートリッジをセットする」 参照 P.181 「印刷中にテープが終了したら（印刷再開機能）」</p> <p>また、ヘッド・クリーニングテープを使用すると、こちらのメッセージが表示されます。上カバーを開けて再度上カバーを閉じると、テキスト入力に戻ります。 参照 P.228 「ヘッド・クリーニングテープを使う」</p>
<p>カットラベルをセットしてください</p>	<p>カットラベルの印刷中にテープが終了したあと、カットラベル以外のテープをセットしようとしてしまいました。カットラベルフォームからは、カットラベル以外のテープは印刷できません。カットラベルをセットしてください。 参照 P.151 「カットラベルに印刷する」</p>
<p>テープがテープ取出し口に 残っています！ テープを取り除いてください</p>	<p>印刷したテープがテープ取出し口に残っています。残っているテープを取り除いてください。</p>
<p>ラベルが検出できません！ カットラベルをセットし直してください</p>	<p>カットラベルのテープカートリッジが正しくセットされていないため、ラベルの位置を読み取ることができません。テープカートリッジを正しくセットし直してください。</p>
<p>テープ幅が変わりました 同じ幅のテープをセットしてください</p>	<p>印刷中にテープが終了したあと、異なる幅のテープをセットしました。印刷時と同じテープ幅のテープカートリッジをセットしてください。</p>

MEMO

表記以外のエラーメッセージが表示されたときは、当社お客様相談室までご相談ください。
参照 巻末 「アフターサービスについて」

●故障かな？と思ったら

MEMO

パソコンと接続しているときの問題は、ラベルソフトの取扱説明書も参照してください。

正常な動作をしない

本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の原因で不具合を起こすことがあります。不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなったときは、本機の初期化をおこなってください。

参照  P.202 「本機を初期化する」

(ON/OFF)を押してもディスプレイに何も表示されない

- ACアダプタはしっかりと接続されていますか？
本機のACアダプタ差込み口とコンセントにしっかりと接続してください。
- 電池は正しくセットされていますか？
電池の向きが⊕⊖逆にセットされていると電源はONになりません。電池ケースの中に刻印されている向きに、正しくセットされているか確認してください。
- 専用ACアダプタ以外のACアダプタを使用していますか？
同梱のACアダプタ(AS1527J)以外のACアダプタをご使用になると、本機の回路を損傷したり、過熱するなど大変に危険です。
- 電池が消耗していませんか？
消耗した電池を使用していると、電源が入らないことがあります。新しい電池と交換してください。
- ディスプレイの表示濃度は適切ですか？
ディスプレイの表示濃度によっては表示が見えないときがあります。ディスプレイが見にくいときは、表示濃度を調整することができます。
参照  P.199 「ディスプレイの濃度を調整する」

キーボードが動作しない

- パソコンリンクランプが点灯し、ディスプレイに「パソコンリンク中」と表示されていませんか？
パソコンリンクランプが点灯しているときは、パソコンからの操作が優先されます。「テブラ」本体でラベルを作るときは、USBケーブルを本体からはずしてパソコンリンク状態を解除してください。

ディスプレイが消える

- オート・パワーオフ機能ではありませんか？
本機では、5分間以上操作をしないと、電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します。(オート・パワーオフ)
- 操作を間違えませんでしたか？
本機では、ボタン操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。

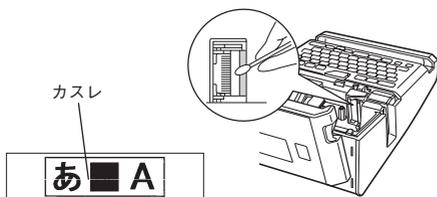
を押しても何も印刷されない

- 文章が入力されていますか？
テキスト画面やビジネスフォーム、カットラベルフォームに何も入力されていないと印刷はされません。
- ディスプレイにメッセージが表示されていませんか？
エラーメッセージが表示されていると印刷されません。
参照  P.220 「こんな表示が出たときは」
準備中と表示されているときは、しばらくお待ちください。
- オートトリマーが動作中ではありませんか？
オートトリマー使用中は、印刷できません。

- 消耗していないテープカートリッジが正しくセットされていますか？
テープカートリッジのテープがなくなっていたり、上カバーが正しく閉じていないと印刷できません。テープカートリッジを正しくセットし、上カバーをしっかりと閉じてください。

文字がきちんと印刷されない

- テープカートリッジは正しくセットされていますか？
テープカートリッジを正しくセットしていないと、きちんと印刷できません。テープカートリッジを取り出し、もう一度手順にしたがってセットしてください。
参照 ☞ P.29 「3. テープカートリッジをセットする」
- 印刷ヘッドが汚れていませんか？
印刷ヘッドにゴミ、ホコリなどが付着すると文字の一部がカスレることがあります。同梱のヘッド・クリーニングテープ（SR36C）をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。
参照 ☞ P.228 「お手入れについて」



- 電池が消耗していませんか？
電池が消耗すると「電圧が低下しています 電池を交換してください」が表示されます。速やかにすべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）と交換するか、同梱のACアダプタ（AS1527J）を使用してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。また電池種類を正しく設定してください。
参照 ☞ P.201 「電池種類を設定する」
- 印刷速度が適切に設定されていますか？
「印刷設定」で印刷速度を「低速印刷」に設定してください。
参照 ☞ P.195 「印刷速度を設定する」

ラベルを印刷後、オートカットされない

- 自動カットを「しない」に設定していませんか？
印刷設定の自動カットを「しない」に設定すると、印刷後の自動カットはおこなわれません。
参照 ☞ P.193 「印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する」
- カッターの刃が磨耗していませんか？
カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照 ☞ 巻末「アフターサービスについて」
- りぼん連続、送り長指定を使用していませんか？
りぼん連続、送り長指定を使用すると、ラベルは自動カットされません。

文章の途中までしか印刷されない

- テープカートリッジにテープの残りがありますか？
テープカートリッジのテープが終了している場合は、新品のテープカートリッジをセットしてください。
参照 ☞ P.181 「印刷中にテープが終了したら（印刷再開機能）」
- 電池が消耗していませんか？
電池が消耗すると「電圧が低下しています 電池を交換してください」が表示されます。速やかにすべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）と交換するか、同梱のACアダプタ（AS1527J）を使用してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。また電池種類を正しく設定してください。
参照 ☞ P.201 「電池種類を設定する」

ハーフカットがうまくできない

- ハーフカットは「する」になっていますか？
印刷設定の自動カットでハーフカットを「しない」に設定すると、ハーフカットはおこなわれません。
参照 [P.193](#) 「印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する」
- 自動カット「しない」になっていませんか？
印刷設定の自動カットが「しない」になっている場合はハーフカットも動作しません。
参照 [P.193](#) 「印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する」
- ハーフカットのできないラベルを使用していますか？
本機のカッターでハーフカットできないラベルを使用している場合は、ハーフカットを「しない」に設定してください。
転写テープ、カットラベルは、自動でハーフカットが無効になります。
参照 [P.193](#) 「印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する」
- ハーフカットの刃が磨耗していませんか？
カッターは刃物ですので、長期間使い続けると、磨耗し、切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照 [P. 巻末](#) 「アフターサービスについて」

オートトリマーでうまくカットできない

- 印刷中ではありませんか？
テープ印刷中はオートトリマーが作動しません。
- ラベルをトリマー差込み口にきちんと差し込んでいますか？
ラベルをガイドに合わせず差し込むときれいにカットできません。ガイドに沿ってラベルを差し込んでください。
参照 [P.61](#) 「カドを丸く仕上げる」
- 切りクズがつまっていますか？
トリマーカバーをはずし、トリマーの切りクズを取り除いてください。
参照 [P.62](#) 「オートトリマーのお手入れ」
- 4mm、6mm 幅テープをカットしようとしていませんか？
4mm、6mm 幅テープはオートトリマーでカットすることはできません。トリマー (RT36W) を使ってカットしてください。
参照 [P.12](#) 「別売品のご案内」
- オートトリマーでカットのできないラベルを使用していますか？
本機のオートトリマーでカットできないラベルはオートトリマーに差し込まないでください。
参照 [P.61](#) 「カドを丸く仕上げる」
- オートトリマーの刃が磨耗していませんか？
オートトリマーの刃は、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。オートトリマーの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照 [P. 巻末](#) 「アフターサービスについて」

ファイルの内容が消えてしまった

- **本機の初期化をしましたか？**
本機の初期化をおこなうと、ファイル・あて名・外字・辞書登録などのデータがすべて失われます。
参照  P.202 「本機を初期化する」
- **電源が入った状態で電池を交換していませんか？**
電池交換は、必ず電源を切ってからおこなってください。電源が入った状態で電池交換をおこなうと、登録したファイル・あて名・名前・外字・辞書などのデータがすべて失われることがあります。また電池種類を正しく設定してください。
参照  P.201 「電池種類を設定する」
- **動作中に AC アダプタや電池を抜きませんでしたか？**
ファイル登録時の「実行中」や印刷の「準備中」および「印刷中」、電源を切るときの「電源を切る準備をしています」が表示されているときに AC アダプタや電池を抜くと登録したファイル・あて名・名前・外字・辞書などのデータがすべて失われることがあります。

前回入力した内容が消えてしまった

- **本機の初期化をしましたか？**
本機の初期化をおこなうと、前回入力した内容はすべて失われます。
- **電源を切らずに終了しましたか？**
AC アダプタ使用時に電源を切らずに操作を終了すると、前回入力した内容がすべて失われます。使い終わったあとは必ず電源を切って終了してください。

印刷履歴に記録されない

QR コードを使った場合など、印刷したラベルの情報量によっては印刷履歴に記録されないこともあります。

参照  P.177 「QR コードを印刷する」

ラベルを貼り付けることができない

- **裏紙をはがしていますか？**
粘着タイプのラベルは、裏紙をはがして貼ってください。
参照  P.50 「ラベルを貼る」
- **貼る場所が汚れていたり、凹凸がありませんか？**
表面がザラザラしている場所や、ホコリ・油のついている場所には貼り付けられません。また、特殊な加工がしてある面や、特殊な材質の面には貼り付けられない場合があります。

MEMO

上記以外のときや、上記項目を確認しても改善しないときは、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照  巻末 「アフターサービスについて」

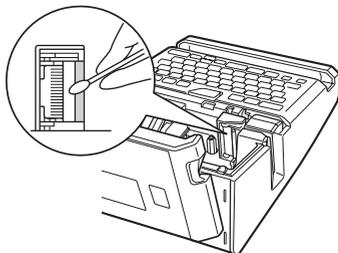
●お手入れについて

■ 本機外側の汚れ・ホコリは

乾いたやわらかな布で拭き取ってください。とくに、汚れがひどい場合は、固く絞ったぬれ布巾で拭き取ってください。ベンジン・シンナー・アルコールなどの溶剤・薬剤や化学ぞうきんの使用は絶対におやめください。

■ 印刷が欠けたりカスレたりする場合

印刷ヘッドにゴミがついていることがあります。同梱のヘッド・クリーニングテープ (SR36C) をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール (エチルアルコール) を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。



ヘッド・クリーニングテープを使う

ヘッドクリーニングをおこなう

① ヘッド・クリーニングテープを本機にセットする

② **シフト** を押しながら **印刷** (= テープ送り) を押す

③ 「テープ送り」を選び、**選択実行** を押す

「テープ送り」の操作によりヘッド・クリーニングテープが送られ、印刷ヘッドがクリーニングされます。

「テープ送り」をおこなったあと、「テープが終了しました」とエラーが表示されます。上カバーを開けて再度上カバーを閉じると、テキスト入力に戻ります。

「テープ送り」をもう一度おこなう場合は、テキスト入力に戻ったことを確認してからおこなってください。

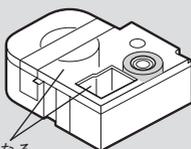
参照  P.32 「5. テープ送りをする」

!! 注意 !!

- 使用後は元の箱に入れて清潔な場所に保管してください。ホコリ・砂などの多い場所に放置すると、クリーニング性が低下するばかりが、印刷ヘッドを傷める原因になります。
- ヘッド・クリーニングテープで印刷をおこなわないでください。印刷をおこなうとヘッドを傷める原因となります。



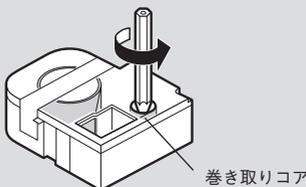
- 図のようにテープがすべて「巻き取りコア」に巻き取られたら、そのヘッド・クリーニングテープは終了です。テープ終了後に使用するとヘッドを傷めるおそれがありますので、ご使用にならないでください。



白いテープがなくなる

MEMO

- 本機でご使用になるヘッド・クリーニングテープは SR36C をお使いください。
- テープは巻き取り式になっていますので、「テープカット」は不要です。
- テープがたるんでいる場合、図のように「巻き取りコア」を矢印方向に回してたるみをとってください。



- ヘッドクリーニングをおこなっても印刷が欠けたりカスレたりする場合、本機の故障が考えられます。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室にご相談ください。
- ヘッド・クリーニングテープは薄い材料で作られています。新品でも少なめにみえますが、約 120 回のクリーニングが可能です。

●入力文字一覧表

文字ボタン配列

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	-
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	
A	S	D	F	G	H	J	K	L		
Z	X	C	V	B	N	M	,	。		

入力文字表

「大」は  を押していない状態、「小」は  を押した状態を表します。

ボタン	ローマ字		かなめくり		ABC		ABC(半角)	
	大	小	大	小	大	小	大	小
1	1	!	1	!	1	!	1	!
2	2	@	2	@	2	@	2	@
3	3	?	3	?	3	?	3	?
4	4	¥	4	¥	4	¥	4	¥
5	5	:	5	:	5	:	5	:
6	6	,	6	,	6	,	6	,
7	7	/	7	/	7	/	7	/
8	8	.	8	.	8	.	8	.
9	9	(9	(9	(9	(
0	0)	0)	0)	0)
-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q	Q	q			Q	q	Q	q
W	W	w			W	w	W	w
E	E	e			E	e	E	e
R	R	r			R	r	R	r
T	T	t			T	t	T	t
Y	Y	y			Y	y	Y	y
U	U	u			U	u	U	u
I	I	i			I	i	I	i
O	O	o			O	o	O	o
P	P	p			P	p	P	p

ボタン	ローマ字		かなめくり		ABC		ABC(半角)	
	大	小	大	小	大	小	大	小
A	A	a			A	a	A	a
S	S	s			S	s	S	s
D	D	d			D	d	D	d
F	F	f			F	f	F	f
G	G	g			G	g	G	g
H	H	h			H	h	H	h
J	J	j			J	j	J	j
K	K	k			K	k	K	k
L	L	l			L	l	L	l
Z	Z	z			Z	z	Z	z
X	X	x			X	x	X	x
C	C	c			C	c	C	c
V	V	v			V	v	V	v
B	B	b			B	b	B	b
N	N	n			N	n	N	n
M	M	m			M	m	M	m
,	,	,			,	,	,	,
。	。	。			。	。	。	。

注1 : ボタン  の「」「」は単独では入力、印刷できません。

注2 : ボタン  で入力できる文字は次のとおりです。

ローマ字 (大)、かな (大):「」(長音)

ローマ字 (小)、かな (小)、ABC (小)、ABC (半角):「」(マイナス)

ABC (大):「」(ハイフン)

注3 : ボタン  の「」はピリオドです。

注4 : 「ABC (半角)」はQRコード入力時のみ有効です。

入力文字表（かなめくり入力）

ボタン	押す回数									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Q (あ)	あ	い	う	え	お	あ	い	う	え	お
W (か)	か	き	く	け	こ	か	け			
E (さ)	さ	し	す	せ	そ					
R (た)	た	ち	つ	て	と	つ				
T (な)	な	に	ぬ	ね	の					
Y (は)	は	ひ	ふ	へ	ほ					
U (ま)	ま	み	む	め	も					
I (や)	や	ゆ	よ	や	ゆ	よ				
O (ら)	ら	り	る	れ	ろ					
P (わ)	わ	を	ん	ゐ	ゑ	わ				
L (ゝ・)	ゝ	ゝ								

目的の文字を通り過ぎたときは **シフト** を押しながら文字ボタンを押すことで前の文字に戻すことができます（リバース機能）。

注： ボタン **L** は、直前がか行、さ行、た行、は行の仮確定文字、点滅文字の場合に、濁点、半濁点が入力できます。

●漢字変換表

ここでは、区点コードを掲載しています。JISコード・シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。

参照☞ P.187「読みのわからない漢字を入力する」

!! 注意 !!

- 漢字変換表はJISに基づき「音読み」で記載しています。本機の内蔵辞書は「音読み」もしくは「訓読み」だけを搭載している文字があり、「音読み」では変換できないことがあります。
参照☞ P.187「読みのわからない漢字を入力する」
- 表にあげた文字と印刷される文字の字形が異なるものがあります。

JIS 第 1 水準

*の欄の数字は区点コードの下1桁を表します。

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ア	1601 ~ 1609	亜	啞	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢
	1610 ~ 1619	葵	茜	穉	惡	握	渥	旭	葦	芦
	1620 ~ 1629	梓	庄	幹	扱	宛	姐	虻	飴	絢
	1630 ~ 1639	鮎	或	粟	裕	安	庵	按	暗	案
	1640 ~ 1641	鞍	杏							
イ	1642 ~ 1649		以	伊	位	依	偉	圉	夷	委
	1650 ~ 1659	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏
	1660 ~ 1669	移	維	緯	胃	叢	謂	違	遣	逸
	1670 ~ 1679	井	亥	域	育	郁	磯	一	壹	溢
	1680 ~ 1689	稻	茨	芋	鱗	允	印	咽	員	因
1690 ~ 1694	引	飲	淫	胤	蔭	吋				
1701 ~ 1705	院	陰	隱	韻	吋					
ウ	1706 ~ 1709					右	宇	烏	羽	
	1710 ~ 1719	迂	雨	卯	鸛	窺	丑	確	白	渦
	1720 ~ 1729	唄	蔚	蔚	鰻	姥	既	浦	瓜	聞
	1730 ~ 1732	云	運	雲						
エ	1733 ~ 1739		荏	餌	叡	營	嬰	影	映	
	1740 ~ 1749	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎	英
	1750 ~ 1759	衛	詠	銳	液	疫	益	駅	悅	謁
	1760 ~ 1769	閱	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延
	1770 ~ 1779	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿
1780 ~ 1786	艶	苑	菌	遠	鉛	鴛	塩			
オ	1787 ~ 1789							於	汚	甥
	1790 ~ 1794	凹	央	輿	往	応				
	1801 ~ 1809	押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鶯
	1810 ~ 1819	鴉	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆
	1820 ~ 1827	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音	
カ	1828 ~ 1829								下	化
	1830 ~ 1839	仮	何	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏
	1840 ~ 1849	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火
	1850 ~ 1859	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華
	1860 ~ 1869	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄
1870 ~ 1879	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
力	1880 ~ 1889	介	会	解	回	塊	壞	廻	快	怪
	1890 ~ 1894	恢	懷	戒	拐	改				
	1901 ~ 1909		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絳
	1910 ~ 1919	蟹	開	階	貝	凱	効	外	咳	害
	1920 ~ 1929	慨	概	涯	碼	蓋	街	該	骸	澀
	1930 ~ 1939	馨	蛙	垣	柿	斲	鈎	劃	嚇	各
	1940 ~ 1949	拈	攪	格	核	殺	獲	確	覺	角
	1950 ~ 1959	赫	較	笠	閣	隔	革	學	岳	樂
	1960 ~ 1969	頸	頸	笠	櫻	櫃	欸	渴	割	喝
	1970 ~ 1979	恰	括	活	渴	滑	葛	轄	轄	且
1980 ~ 1989	叶	枕	樺	鞞	株	兜	竈	釜	鎌	
1990 ~ 1994	嗜	鴨	栢	茅	萱					
キ	2001 ~ 2009	粥	刈	苟	瓦	乾	冠	寒	寒	刊
	2010 ~ 2019	勘	勸	卷	喚	堪	姦	完	官	寬
	2020 ~ 2029	幹	患	感	憤	憾	柑	柑	棺	樽
	2030 ~ 2039	款	歛	汗	漢	澗	灌	環	甘	監
	2040 ~ 2049	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	鑑	觀
	2050 ~ 2059	諫	貫	還	鑑	間	閑	閑	韓	館
	2060 ~ 2069	館	丸	含	岸	巖	玩	癌	眼	翫
	2070 ~ 2074	贗	雁	頑	顏	願				
	2075 ~ 2079						企	伎	危	喜
	2080 ~ 2089	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮
2090 ~ 2094	旗	既	期	棋	棄					
ク	2101 ~ 2109	機	婦	毅	氣	汽	畿	祈	季	稀
	2110 ~ 2119	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢
	2120 ~ 2129	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬
	2130 ~ 2139	贖	疑	祇	義	蟻	誼	譏	詢	菊
	2140 ~ 2149	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砵	杵	黍
	2150 ~ 2159	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及
	2160 ~ 2169	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸
	2170 ~ 2179	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去
	2180 ~ 2189	巨	拒	挾	拳	渠	虛	許	距	鋸
	2190 ~ 2194	禦	魚	亨	亨	京				

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
キ	2201 ~ 2209	供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	
	2210 ~ 2219	脚	叫	喬	峽	強	疆	怯	恐	恭	
	2220 ~ 2229	挾	教	橋	況	輿	仰	胸	脅	興	
	2230 ~ 2239	蕎	郷	鏡	響	驚	凝	堯	曉		
	2240 ~ 2249	業	局	曲	極	玉	桐	秆	僅	勤	均
	2250 ~ 2259	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	2260 ~ 2268	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	2269										九
	2270 ~ 2279	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	軀	驅	隅
	2280 ~ 2289	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	
2290 ~ 2294	串	櫛	釧	屑	屈						
2301 ~ 2309		掘	窟	杏	靴	轡	窪	熊	隈	象	
2310 ~ 2319	栗	繰	桑	歛	勲	君	薫	訓	群	軍	
2320		郡									
ケ	2321 ~ 2329	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	
	2330 ~ 2339	珪	携	契	形	徑	惠	慶	慧	憩	
	2340 ~ 2349	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系	經	
	2350 ~ 2359	繫	野	莖	荆	蚩	計	詣	警	輕	
	2360 ~ 2369	鷄	芸	迎	鯨	劇	戟	擊	激	隙	
	2370 ~ 2379	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	
	2380 ~ 2389	俟	倦	健	兼	券	劍	喧	堅	圜	
	2390 ~ 2394	建	憲	懸	拳	捲	犬	獻	研	硯	
	2401 ~ 2409		檢	榷	牽	犬	獻	研	硯	絹	
	2410 ~ 2419	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	險	顛	
2420 ~ 2429	餘	元	原	嚴	幻	弦	減	源	玄		
2430 ~ 2434	絃	絃	言	諺	限						
2435 ~ 2439						乎	個	古	呼		
2440 ~ 2449	姑	孤	己	庫	弧	戶	故	枯	狐		
2450 ~ 2459	菀	菀	股	胡	弧	袴	袴	鈺	屨		
2460 ~ 2469	顧	顧	鼓	五	互	午	誇	吳	娛		
2470 ~ 2479	御	悟	梧	檣	瑚	碁	語	誤	護		
2480 ~ 2489	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公		
2490 ~ 2494	効	勾	厚	口	向						
2501 ~ 2509		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	工		
2510 ~ 2519	巧	巷	幸	庚	庚	弘	恒	校	抗		
2520 ~ 2529		拘	控	昂	庚	更	抗	校	梗		
2530 ~ 2539	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿		
2540 ~ 2549	紅	絃	絞	網	耕	考	肯	肱	腔		
2550 ~ 2559	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	醇		
2560 ~ 2569	砦	鋼	閣	降	項	香	高	鴻	剛		
2570 ~ 2579	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	趨	克		
2580 ~ 2589	告	国	穀	酪	鵠	黑	獄	漉	韻		
2590 ~ 2594		忽	惚	骨	枯	込					
2601 ~ 2609		此	頃	今	困	坤	壘	婚	恨		
2610 ~ 2618	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	良	魂		
2619											
2620 ~ 2629	佐	又	峻	嵯	左	差	查	沙	瑳		
2630 ~ 2639	詐	鎖	梁	坐	座	挫	債	催	再		
2640 ~ 2649	哉	塞	妻	宰	彩	裁	採	裁	濟		
2650 ~ 2659		采	屎	碎	祭	斎	斎	細	菜		
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
サ	2660 ~ 2669	載	際	劑	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	2670 ~ 2679	堺	神	肴	咲	崎	崎	崎	冴	作	削
	2680 ~ 2689	昨	揅	昨	咲	崎	崎	崎	冴	索	錯
	2690 ~ 2694	鮭	笹	匙	册	册	册	策	策		
	2701 ~ 2709		察	拶	撮	擦	札	殺	葎	雉	阜
	2710 ~ 2719	鯖	捌	鏑	鮫	皿	晒	傘	傘	參	山
	2720 ~ 2729	慘	撒	散	棧	椽	珊	産	算	算	蚤
	2730 ~ 2736	讀	贊	酸	餐	斬	暫	殘			
	2737 ~ 2739										
	2740 ~ 2749	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
2750 ~ 2759	子	屍	市	師	志	指	指	指	攻	斯	
2760 ~ 2769	施	旨	枝	止	死	氏	獅	社	私	糸	
2770 ~ 2779	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	
2780 ~ 2789	證	資	賜	雌	飼	齒	似	事	侍	兒	
2790 ~ 2794	字	寺	慈	持	時						
2801 ~ 2809		次	滋	治	爾	爾	痺	磁	而		
2810 ~ 2819	耳	自	薛	辞	執	執	識	識	鳴	竺	
2820 ~ 2829	軸	六	季	七	叱	執	嫉	室	悉		
2830 ~ 2839	濕	漆	疾	質	實	蔀	柴	柴	芝		
2840 ~ 2849	屢	蕊	綺	舍	写	射	捨	斜	煮		
2850 ~ 2859	社	紗	者	謝	車	蛇	邪	借	勺		
2860 ~ 2869	尺	杓	灼	爵	酌	錫	殊	寂	弱		
2870 ~ 2879	丈	主	惹	取	手	若	狩	種	種		
2880 ~ 2889	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	授	樹		
2890 ~ 2894	綬	需	囚	取	周						
2901 ~ 2909		宗	就	州	修	愁	拾	秀	秋		
2910 ~ 2919	終	繡	習	臭	舟	蒐	衆	豐	賦		
2920 ~ 2929	輯	遇	酋	酬	集	醜	什	充	十		
2930 ~ 2939	從	戎	淑	祝	洪	猷	熟	熟	術		
2940 ~ 2949	夙	宿	柔	祝	縮	穉	出	出	循		
2950 ~ 2959	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	准	循		
2960 ~ 2969	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	巡	遵		
2970 ~ 2979	醇	順	処	初	所	暑	曙	庶	緒		
2980 ~ 2989	署	書	署	諸	諸	助	奴	女	序		
2990 ~ 2994		恕	鋤	除	傷	償					
3001 ~ 3009		勝	匠	升	哨	商	唱	嘗	獎		
3010 ~ 3019	妾	娼	宵	將	少	尚	庄	床	廠		
3020 ~ 3029	彰	承	抄	招	捷	昇	昭	晶	晶		
3030 ~ 3039	松	梢	樟	樵	沼	涉	湘	焦	焦		
3040 ~ 3049	照	症	省	硝	礁	祥	章	笑	粧		
3050 ~ 3059	紹	肖	昌	蔣	蕉	衝	裳	詔	詔		
3060 ~ 3069	詳	象	貫	醬	鉦	鐘	鐘	障	鞞		
3070 ~ 3079	丈	丞	乘	城	釐	場	場	娘	娘		
3080 ~ 3089	情	援	条	杖	淨	狀	量	穰	穰		
3090 ~ 3094	釀	錠	唳	埴	飾						
3101 ~ 3109		拭	植	殖	燭	織	職	色	觸		
3110 ~ 3119	蝕	辱	尻	伸	信	侵	辱	寝	審		
3120 ~ 3129		心	慎	振	晋	森	森	浸	申		
3130 ~ 3139		疹	真	新	秦	森	仁	親	親		
3140 ~ 3149		身	辛	進	針	震	震	刃	塵		
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

付録

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
シ	3150 ~ 3157	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	朝			
	3158 ~ 3159									筭	誦	
	3160 ~ 3169	須	醉	凶	厨	逗	吹	垂	帥	推	水	
	3170 ~ 3179	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錐	錘	隨	
	3180 ~ 3189	瑞	髓	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	
	3190 ~ 3194	榻	菅	頗	雀	裾						
	3201 ~ 3203		澄	摺	寸							
	3204 ~ 3209					世	瀬	畝	是	凄	制	
	3210 ~ 3219	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	
	3220 ~ 3229	栖	正	清	性	生	盛	精	聖	声	製	
3230 ~ 3239	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	齐	税		
3240 ~ 3249	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積		
3250 ~ 3259	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙		
3260 ~ 3269	接	撰	折	設	窃	節	說	雪	絶	舌		
3270 ~ 3279	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰		
3280 ~ 3289	扇	撰	栓	梅	泉	浅	洗	染	潜	煎		
3290 ~ 3294	煽	旋	穿	箭	線							
3301 ~ 3309		織	羨	腺	外	船	薦	詮	賤	踐		
3310 ~ 3319	選	選	錢	銑	閃	鮮	前	善	漸	然		
3320 ~ 3324	全	禪	繕	膳	糰							
3325 ~ 3329					嚼	塑	咀	措	會			
3330 ~ 3339	曾	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素		
3340 ~ 3349	組	蘇	訴	阻	週	鼠	僧	創	及	叢		
3350 ~ 3359	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匝	惣	想		
3360 ~ 3369	搜	掃	挿	搔	操	早	曹	巢	槍	槽		
3370 ~ 3379	漕	燥	争	瘦	相	窓	槽	総	綜	聡		
3380 ~ 3389	草	莊	葬	蒼	藻	裝	走	送	遭	鎗		
3390 ~ 3394	霜	駮	像	增	憎							
3401 ~ 3409	臟	藏	贈	造	促	側	則	即	息			
3410 ~ 3419	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	統		
3420 ~ 3429	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜		
3430 ~ 3439	夕	他	多	太	汰	訛	唾	墮	妥	惰	打	
3440 ~ 3449		舵	舵	梢	陀	駄	驛	体	堆	対	耐	
3450 ~ 3459		岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎	
3460 ~ 3469		腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代	
3470 ~ 3479		台	宅	托	挾	拓	沢	濯	滝	卓	啄	
3480 ~ 3489		宅	托	挾	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	
3490 ~ 3494		諾	茸	夙	蜻	只						
3501 ~ 3509		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	豎	迪		
3510 ~ 3519	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	单	嘆	坦		
3520 ~ 3529		担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箏	
3530 ~ 3539		綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	团	壇	彈	断	
3540 ~ 3544		暖	檀	段	男	談						
3545 ~ 3549	子				值	知	地	弛	恥			
3550 ~ 3559		智	池	痴	稚	置	致	蚰	遲	馳	築	
3560 ~ 3569		畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着	
3570 ~ 3579		中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	
3580 ~ 3589		註	耐	鏑	駐	梲	瀦	猪	苧	苧	貯	
3590 ~ 3594		註	耐	涸	喋	用						
3601 ~ 3609		帖	帖	帳	庁	帛	張	彫	徽	懲	挑	
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
チ	3610 ~ 3619	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
	3620 ~ 3629	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	抄
	3630 ~ 3636	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
ツ	3637 ~ 3639								津	墜	椎
テ	3640 ~ 3649	植	追	鎚	痛	通	塚	拇	掴	槻	佃
	3650 ~ 3659	漬	柘	辻	蔦	綴	鏝	椿	潰	壺	壺
	3660 ~ 3665	嬌	紬	爪	吊	釣	鶴				
テ	3666 ~ 3669							亭	低	停	偵
ト	3670 ~ 3679	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	弟	
	3680 ~ 3689	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	3690 ~ 3694	艇	訂	諦	蹄	通					
ト	3701 ~ 3709		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	撤	滴	
	3710 ~ 3719	的	笛	適	鎬	溺	哲	徹	徹	迭	
	3720 ~ 3729	鉄	典	填	天	展	店	添	緋	貼	
ト	3730 ~ 3737	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
ト	3738 ~ 3739									兔	吐
ト	3740 ~ 3749	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	菟	
	3750 ~ 3759	賭	途	都	鍍	砥	斫	努	度	土	奴
	3760 ~ 3769	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塔	套
ト	3770 ~ 3779	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	棟	
	3780 ~ 3789	盜	洵	湯	涛	灯	燈	当	痘	禱	等
	3790 ~ 3794	答	筒	糖	統	到					
ト	3801 ~ 3809		董	蕩	藤	討	膳	豆	踏	逃	透
	3810 ~ 3819	鐙	陶	頭	騰	鬪	働	動	同	堂	導
	3820 ~ 3829	撞	撞	洞	腫	童	胴	苟	同	銅	峠
ト	3830 ~ 3839	鴛	匿	得	德	洩	特	督	篤	毒	
	3840 ~ 3849	独	読	析	椽	凸	突	楸	届	苦	
	3850 ~ 3859	寅	酉	滯	噸	屯	悼	敦	豚	遁	
ト	3860 ~ 3863	頓	吞	曇	鈍						
ト	3864 ~ 3869							奈	那	内	凧
ニ	3870 ~ 3879	謎	灘	捺	鍋	梢	馴	繩	暇	南	楠
	3880 ~ 3882	軟	難	汝							
	3883 ~ 3889				二	尼	弍	迺	句	販	肉
ニ	3890 ~ 3894	虹	廿	日	乳	入					
	3901 ~ 3907		如	尿	菲	任	妊	忍	認		
	3908										濡
ニ	3909										欄
ノ	3910 ~ 3919	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	捻	燃
	3920		粘								
	3921 ~ 3929		乃	迺	之	埜	囊	惱	濃	納	能
ハ	3930 ~ 3934	腦	膿	農	視	蚤					
	3935 ~ 3939						巴	把	播	罷	杷
	3940 ~ 3949	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	痲
ハ	3950 ~ 3959	拌	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	鞞	配
	3960 ~ 3969	倍	培	媒	梅	煤	煤	狽	買	壳	賠
	3970 ~ 3979	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
ハ	3980 ~ 3989	柏	泊	白	箔	柏	柏	薄	迫	曝	漠
	3990 ~ 3994	爆	縛	莫	駁	麥					
	4001 ~ 4009		函	箱	舂	鑿	筭	筭	髻	髻	罰
ハ	4010 ~ 4019	畑	島	舂	澆	澆	醜	醜	髮	伐	挑
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ハ	4020 ~ 4029	拔	筏	閥	鳩	嘶	塙	蛤	隼	伴	判
	4030 ~ 4039	半	反	帆	搬	斑	板	範	汎	汎	煩
	4040 ~ 4049	犯	班	畔	繁	藩	版	範	采		
	4050 ~ 4058	頒	飯	挽	晚	番	盤	磬	審		
	4059										匪
ヒ	4060 ~ 4069	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	4070 ~ 4079	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	毘	肥	被
	4080 ~ 4089	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
	4090 ~ 4094	枇	毘	毘	眉	美					
	4101 ~ 4109		鼻	稜	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
	4110 ~ 4119	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
	4120 ~ 4129	肘	百	謬	佞	彪	標	氷	漂	瓢	票
	4130 ~ 4139		評	豹	廟	描	病	秒	苗	鏞	鉞
	4140 ~ 4149		蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀨	貧	賔
	4150 ~ 4151		敏	瓶							
フ	4152 ~ 4159			不	付	埠	夫	婦	富	富	布
	4160 ~ 4169	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	4170 ~ 4179	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4180 ~ 4189	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葦	蔀
	4190 ~ 4194	伏	副	復	幅	服					
	4201 ~ 4209		福	腹	複	覆	淵	弗	弘	沸	仏
	4210 ~ 4219		物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚
	4220 ~ 4225		粉	糞	紛	雰	文	聞			
	4226 ~ 4229							丙	併	兵	塚
	4230 ~ 4239	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陸	米	頁
ヘ	4240 ~ 4249	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	篋	偏	變
	4250 ~ 4259	片	篇	編	辺	返	遍	便	婉	娩	弁
	4260		鞭								
	4261 ~ 4269	輔	保	鋪	圃	捕	步	甫	補	輔	
	4270 ~ 4279	穗	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4280 ~ 4289	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	4290 ~ 4294	抱	捧	放	方	朋					
	4301 ~ 4309		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
	4310 ~ 4319	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	4320 ~ 4329	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
ホ	4330 ~ 4339	望	某	棒	冒	紡	紡	膨	謀	貿	
	4340 ~ 4349	銓	防	吠	頰	類	僕	卜	墨	撲	朴
	4350 ~ 4359	牧	陸	穆	鉅	勃	沒	殆	堀	幌	奔
	4360 ~ 4363		本	翻	凡	盆					
	4364 ~ 4369					摩	磨	魔	麻	埋	妹
	4370 ~ 4379	味	枚	每	哩	棋	幕	膜	枕	鮪	枉
	4380 ~ 4389	鱒	榭	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	仄
	4390 ~ 4394	繭		万	慢	滿					
	4401 ~ 4402		漫	蔓							
	4403 ~ 4409				味	未	魅	巳	箕	岬	密
ミ	4410 ~ 4418	蜜	湊	糞	稔	脈	妙	耗	民	眠	
	4419										務
ム	4420 ~ 4428	夢	無	牟	矛	霧	鷓	掠	婿	娘	
	4429										冥
メ	4430 ~ 4439	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
マ	4440 ~ 4445	免	棉	綿	緬	面	麵				
	4446 ~ 4449							摸	模	茂	妄
モ	4450 ~ 4459	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默
	4460 ~ 4469	目	柰	勿	餅	尤	戾	粗	貫	問	悶
	4470 ~ 4472	紋	門	匆							
	4473 ~ 4479				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	4480 ~ 4489	矢	厄	役	約	藥	訳	躍	靖	柳	藪
コ	4490	鏢									
	4491 ~ 4494		愉	愈	油	癒					
	4501 ~ 4509		論	輪	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
	4510 ~ 4519	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	4520 ~ 4528	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
ミ	4529										予
	4530 ~ 4539	余	与	誉	輿	預	備	幼	妖	容	庸
	4540 ~ 4549	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶	熔	用
	4550 ~ 4559	窯	羊	耀	葉	蓉	詔	踊	遙	陽	
	4560 ~ 4568	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ラ	4569										羅
	4570 ~ 4579	螺	裸	来	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪
	4580 ~ 4587	乱	卵	嵐	欄	盞	藍	蘭	覽		
	4588 ~ 4589										利
	4590 ~ 4594	履	李	梨	理	璃					吏
リ	4601 ~ 4609		痢	裏	裡	離	陸	陸	率	立	
	4610 ~ 4619	律	掠	略	劉	溜	溜	留	硫	粒	
	4620 ~ 4629	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	亮	僚	
	4630 ~ 4639	両	凌	寮	寮	涼	涼	療	瞭	稜	
	4640 ~ 4649	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	綠	倫
	4650 ~ 4659	厘	林	淋	淋	琳	臨	臨	隣	鱗	鱗
	4660 ~ 4664	珪	墨	涙	累	類					
	4665 ~ 4669						令	伶	例	冷	肋
	4670 ~ 4679	嶺	伶	玲	礼	苓	鈴	零	靈	麗	
	4680 ~ 4689	齡	曆	歷	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
ル	4690 ~ 4694	漣	煉	簾	練	聯					
	4701 ~ 4703		連	連	鍊						
	4704 ~ 4709					呂	魯	櫓	炉	路	
	4710 ~ 4719		露	勞	婁	廊	弄	朗	榔	榔	漏
	4720 ~ 4729		牢	狼	篋	老	聾	蠟	郎	六	麓
ロ	4730 ~ 4732		肋	録	論						
	4733 ~ 4739					倭	和	話	至	賄	惑
	4740 ~ 4749		粹	鷲	互	巨	鱒	詫	葦	葦	湾
	4750 ~ 4751		碗	腕							
		区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8

JIS 第 2 水準

*の欄の数字は区点コードの下1桁を表します。
従って「井」の区点コードは「4807」となります。

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4801~4809	弋	丐	丕	个	卍	井	ノ	父		
4810~4819	乖	乘	亂	亅	豫	事	舒	式	于	亞
4820~4829	亟	亼	亢	夂	京	亮	亼	仍	仄	仆
4830~4839	叻	仗	夂	初	夂	仵	伉	伉	伉	佛
4840~4849	尙	佗	佗	佗	佗	佗	佗	佗	佗	佩
4850~4859	侑	佯	來	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑
4860~4869	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑
4870~4879	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑
4880~4889	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑
4890~4899	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑
4901~4909	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
4910~4919	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
4920~4929	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
4930~4939	競	競	競	競	競	競	競	競	競	競
4940~4949	問	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑
4950~4959	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑
4960~4969	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑
4970~4979	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑
4980~4989	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑
4990~4999	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑
5001~5009	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5010~5019	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5020~5029	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5030~5039	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5040~5049	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5050~5059	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5060~5069	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5070~5079	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5080~5089	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5090~5099	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5101~5109	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5110~5119	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5120~5129	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5130~5139	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5140~5149	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5150~5159	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5160~5169	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5170~5179	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5180~5189	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5190~5199	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5201~5209	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5210~5219	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5220~5229	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5235~5239	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5240~5249	堡	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5250~5259	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5260~5269	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5270~5279	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5280~5289	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5290~5299	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5301~5309	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5310~5319	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5320~5329	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5330~5339	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5340~5349	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5350~5359	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5360~5369	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5370~5379	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5380~5389	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5390~5399	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5401~5409	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5410~5419	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5420~5429	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5430~5439	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5440~5449	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5450~5459	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5460~5469	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5470~5479	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5480~5489	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5490~5499	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5501~5509	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5510~5519	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5520~5529	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5530~5539	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5540~5549	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5550~5559	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5560~5569	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5570~5579	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5580~5589	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5590~5599	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5601~5609	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5610~5619	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5620~5629	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5630~5639	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5640~5649	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5650~5659	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5660~5669	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5670~5679	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5680~5689	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5690~5699	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5701~5709	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5710~5719	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5720~5729	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5730~5739	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

付録

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7740~7749	軾	輗	輅	輈	載	輊	輋	輌	輍	輎
7750~7759	輏	輐	輑	輒	輓	輔	輕	輖	輗	輘
7760~7769	輙	輚	輛	輜	輝	輞	輟	輠	輡	輢
7770~7779	輣	輤	輥	輦	輧	輨	輩	輪	輫	輬
7780~7789	輭	輮	輯	輰	輱	輲	輳	輴	輵	輶
7790~7799	輷	輸	輹	輺	輻	輿	輻	輿	輻	輿
7801~7809	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
7810~7819	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
7820~7829	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
7830~7839	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
7840~7849	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
7850~7859	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
7860~7869	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
7870~7879	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
7880~7889	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
7890~7899	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
7901~7909	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
7910~7919	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
7920~7929	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
7930~7939	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
7940~7949	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
7950~7959	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
7960~7969	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
7970~7979	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
7980~7989	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
7990~7999	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
8001~8009	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
8010~8019	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
8020~8029	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
8030~8039	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
8040~8049	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
8050~8059	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
8060~8069	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
8070~8079	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
8080~8089	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
8090~8099	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
8101~8109	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
8110~8119	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
8120~8129	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
8130~8139	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
8140~8149	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
8150~8159	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
8160~8169	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
8170~8179	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
8180~8189	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
8190~8199	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
8201~8209	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
8210~8219	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
8220~8229	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
8230~8239	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁	邁
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8240~8249	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
8250~8259	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
8260~8269	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
8270~8279	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
8280~8289	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
8290~8299	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
8301~8309	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
8310~8319	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
8320~8329	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
8330~8339	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
8340~8349	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
8350~8359	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
8360~8369	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
8370~8379	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
8380~8389	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
8390~8399	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
8401~8409	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
8410~8419	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
8420~8429	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
8430~8439	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
8440~8449	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
8450~8459	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
8460~8469	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
8470~8479	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
8480~8489	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
8490~8499	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

その他

文字上の数字はコードの下2桁を表します。

区点コード	コード														
	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
85	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻
86	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻	鰻

●記号・外枠一覧表

記号一覧表

!! 注意 !!

記号一覧表の記号と印刷される記号の結果が異なるものがあります。

記述

、 。 ， ・ ・ ・ : ;
? ! - - / \ ~
@ ~ _ § † ‡ 、
ゝ 〉 彡 // 全々 夂
…… ※ *

省略

No. & 〒 商標 © ®
秘印済注控検問
答祝休祭(代)(内)(直)
(呼)(株)KK(有)(財)(社)(特)
(学)TEL FAX ♂ ♀

カッコ

‘ ’ “ ” () [
] [] { } < >
《 》 「 」 『 』 【
】

矢印

→ ← ↑ ↓ ↘ ↙ ↗ ↖
↙ → ← ↑ ↓ ↔ ↕

単位

% ‰ μm mm cm m km
ft mile cm ² m ² a ha km ²
cm ³ m ³ mg g kg t cc
ml dl l kl mol ¥ (円)
\$ € £ Fr ¢ A V
Ω W kW Hz dB HP Å
@ ° ' " °C °F Pt
ct

算数

+ - ± × ÷ = ≠
< > ≤ ≥ ∞ ∴ ∴ ≡
≡ √ ∞ ∧ §

数字

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦
⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭
⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ○
一 二 三 四 五 六 七
八 九 Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ
Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ X i ii
iii iv v vi vii viii ix
X 1 2 3 4 5 6
7 8 9 0 1 2 3
4 5 6 7 8 9 0
+ - 1/2 1/3 2/3 1/4 3/4

2桁数字

00 ~ 99

案内用



お店



建設



工場



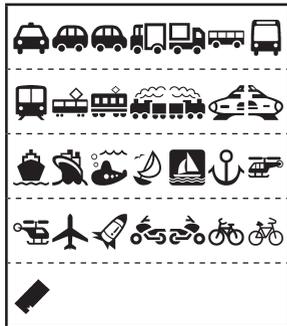
病院



生き物



乗り物



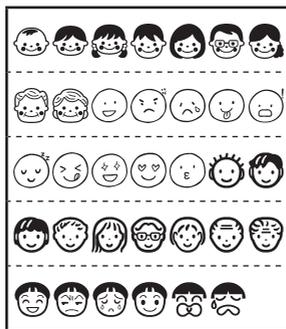
食べ物



暮らし



顔



趣味



編集



合成



イラスト

01		02		03		04		05	
06		07		08		09		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18					

外枠・表組み一覧表

外枠

01		02		03		04		05	
06		07		08		09		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	
26		27		28		29		30	
31		32		33		34		35	
36		37		38		39		40	
41		42		43		44		45	
46		47		48		49		50	
51		52		53		54		55	
56		57		58		59		60	
61		62		63		64		65	
66		67		68		69		70	
71		72		73		74		75	

76		77		78		79		80	
81		82		83		84		85	
86		87		88		89		90	
91		92		93		94		95	
96		97		98		99			

表組み

01		02		03		04		05	
06		07		08		09		10	

カットラベルフォーム 外枠・表組み一覧表

丸型外枠	01		02		03		04	
	05		06		07		08	
	09		10					
楕円外枠	01		02		03		04	
	05		06		07		08	
	09		10					
角丸外枠	01		02		03		04	
	05		06		07		08	
	09		10		11		12	
	13		14		15		16	
表組み	01		02		03		04	

● 定型外国語一覧表

選択できる定型外国語の日本語を紹介します。

日本語の読みを入力し、検索結果から定型文を選ぶだけで、自動的に対応する英語、中国語、韓国語の文章が呼び出されます。さらに定型文によっては記号の入ったラベルになります。

MEMO

- 定型外国語に対応している定型文の日本語、英語、中国語、韓国語、記号の一覧は、キングジムのホームページ (<http://www.kingjim.co.jp/>) をご覧ください。
- 一覧表の語順は、画面上で実際に表示される語順とは異なります。
- 装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字のつぶれが発生することがあります。
- 一覧表の文字とラベルに印刷される文字の字形が異なるものがあります。
- 定型外国語のほかにも、外国語を併記したラベル作成ができる Web サイト「テプラ 外国語ラベル工房」もあります。
<http://tepra.kingjim.co.jp/> にアクセスすれば、Web 上からテプラ外国語ラベルが印刷できます。

No.	記号	日本語
1		アイスクリーム
2		アイスコーヒー
3		アイ스티ー
4		ID カード
5		相部屋
6		アイロン
7		上がる
8		赤ワイン
9		秋
10		空部屋
11		開けられます
12		開ける
13		開けるな
14		朝ご飯
15	○	足もと注意
16		預り金
17		暖かい
18		熱い
19		後払い
20		危ない
21		アルコール
22		アルミ
23	○	安全バーを開ける

No.	記号	日本語
24	○	安全バーを閉める
25	○	案内
26	○	案内所
27		案内図
28		行き方
29		行き先
30		行き止まり
31		胃薬
32		居酒屋
33		医師
34	○	遺失物取扱所
35		医者
36		一日乗車券
37		胃腸薬
38	○	一列並び
39		1階
40		一般
41		犬
42		イベントリスト
43		いらっしゃいませ
44		入口
45		医療品
46	○	飲食禁止

No.	記号	日本語
47	○	飲料水
48		烏龍茶
49		上
50		迂回路
51	○	受付
52		受付時間
53		右折
54		運休
55		運賃 (電車)
56		運賃 (バス)
57		運転免許証
58		エアコン
59		映画
60		映画館
61		営業時間
62		営業中
63		営業日
64	○	ATM
65	○	駅
66	○	エスカレーター
67	○	エレベーター
68		宴会場
69		エントランス

No.	記号	日本語
70		エントランスホール
71		横断歩道
72		往復
73		往復切符
74		往復料金
75		オーダー
76		オートロック
77		大広間
78		大盛り
79	○	お会計
80		おかわり自由
81	○	屋外プール
82		屋上
83		贈り物
84		お酒
85		お座敷
86		お札
87	○	お支払い
88		おしぼり
89	○	お食事
90		お酢
91		押す
92		お薦め
93		お茶
94		おつまみ
95		お釣り
96	○	お手洗
97		お手拭
98		お寺
99		お問い合わせ
100		大人
101		大人料金
102		おはようございます
103		お昼ご飯
104		オフ
105		オフィス
106	○	お風呂場

No.	記号	日本語
107		お待ちください
108	○	お店
109		お土産
110	○	おみやげ売場
111		お持ち帰り
112		お湯
113		折曲厳禁
114		終わり
115		オン
116	○	温泉
117		音量
118	○	カート
119		カード
120		カード支払い
121		カード挿入口
122		会員
123		開館時間
124		開館中
125		会議室
126	○	会計
127		介護犬
128		介護犬可
129		改札口
130		開始
131		介助犬
132		介助犬可
133	○	海水浴場
134		回数券
135	○	階段
136		懐中電灯
137		開店
138	○	ガイド
139		ガイドブック
140		開閉厳禁
141		開放厳禁
142	○	火気厳禁
143		学生

No.	記号	日本語
144		学生証
145	○	かけ込み禁止
146		火災報知器
147		貸切
148		風邪薬
149	○	ガンリンスタンド
150		片道
151		カタログ
152	○	滑面注意
153		可燃ごみ
154		可燃物
155	○	カフェ
156	○	カフェテリア
157		火曜日
158		カラオケ
159		カラオケルーム
160		辛子
161		ガラス
162		缶
163		換気扇
164		関係者以外立入禁止
165	○	観光案内所
166		観光案内資料
167	○	感電注意
168	○	館内案内
169		漢方薬
170		観覧料
171		貴金属
172		危険
173		危険物
174		北
175		北口（入口）
176		北口（出口）
177		貴重品
178		貴重品預かり所
179	○	喫煙車
180	○	喫煙所

No.	記号	日本語
181	○	喫煙コーナー
182	○	喫煙席
183	○	喫茶・軽食
184	○	喫茶店
185		キッチン
186	○	きっぷうりば
187		基本料金
188	○	客室
189		客室料金
190		客席
191		キャッシュ
192	○	キャッシュサービス
193	○	キャッシュ ディスペンサー
194		キャンセル
195		キャンセル待ち
196		キャンセル料
197	○	キャンプ禁止
198	○	キャンプ場
199		休館
200		休館日
201		救急箱
202		休業日
203	○	休憩所
204	○	救護所
205		休日
206		牛肉
207		牛乳
208		救命胴衣
209		教会
210		共同浴場
211	○	禁煙
212	○	禁煙時間
213	○	禁煙車
214	○	禁煙席
215	○	禁煙タイム
216		金額

No.	記号	日本語
217		緊急連絡先
218		金庫
219	○	銀行
220	○	銀行・両替
221	○	禁止
222		金曜日
223	○	空港
224		空車
225		空席
226		空調
227		クーポン券
228	○	くず入れ
229		薬
230		下り（下へ）
231		下り（電車）
232	○	下り段差注意
233		靴べら
234		靴をお脱ぎください
235	○	車椅子スロープ
236		クレジットカード
237	○	クローク
238		クローゼット
239	○	警告
240	○	警察
241		警察官巡回店
242	○	警察署
243	○	景勝地
244	○	軽食
245		携帯電話
246	○	携帯電話使用禁止
247		警備員巡回中
248		警備システム作動中
249		景品
250	○	ケーブル鉄道
251		ゲームコーナー
252		劇場
253	○	化粧室

No.	記号	日本語
254		下駄箱
255		月曜日
256	○	検疫
257		見学科
258		玄関
259		現金
260		現在地
261	○	券売機
262	○	ご案内
263		コインランドリー
264	○	コインロッカー
265	○	広域避難場所
266	○	更衣室
267	○	更衣室（女子）
268	○	更衣室（男子）
269	○	公園
270		高温注意
271		硬貨
272		硬貨投入口
273	○	航空機
274		高校
275		高校生
276		工事中
277	○	公衆電話
278		紅茶
279		交通案内
280	○	交番
281		御宴会場
282		コーヒー
283		コーラ
284		国際電話
285		国内電話
286	○	腰掛け式リフト
287		ご自由にお持ちください
288	○	ご出発
289		故障

No.	記号	日本語
290		胡椒
291		故障中
292		ご使用料
293		ご使用料金
294		ご署名
295	○	ご精算
296	○	ご精算所
297	○	ご相談窓口
298		ご注文
299		骨董品
300	○	ご到着
301		子供
302		子供用
303		子供料金
304		ご飯
305		ごみ置き場
306	○	ゴミ箱
307		ご予約
308		娯楽室
309		コレクトコール
310		ご連絡先
311		こわれもの
312		コンサートホール
313		コンセント
314		コンビニエンスストア
315		混浴
316		サービス料
317		サウナ
318		下がる
319		酒類
320		座敷
321		左折
322	○	撮影禁止
323	○	サッカー競技場
324		砂糖
325		サラダ

No.	記号	日本語
326	○	さわるな
327	○	三列並び
328		塩
329		歯科
330		時刻表
331	○	静かに
332		史跡
333	○	自然保護
334		下
335		試着室
336	○	室内プール
337		指定席
338	○	自転車
339	○	自転車乗り入れ禁止
340		自動
341		自動改札
342	○	自動券売機
343		自動ドア
344		自動販売機
345	○	支払い
346		自販機
347		紙幣
348		紙幣投入口
349		閉まる
350		事務所
351		閉める
352	○	シャワー
353	○	シャワー室
354	○	シャワールーム
355		シャンプー
356		従業員専用
357	○	終日禁煙
358		住所
359		ジュース
360		自由席
361		終点
362		重要

No.	記号	日本語
363		重要文化財
364		終了
365	○	宿泊施設
366	○	出国手続
367	○	出発
368	○	授乳室
369		小
370	○	障害物注意
371	○	消火器
372		小学生
373		小学校
374		使用可能
375		使用禁止
376		昇降口
377		乗車券
378		乗船券
379		使用中
380		消灯時間
381		消費期限
382		消費税
383		使用不可
384	○	情報コーナー
385		消防署
386		賞味期限
387		乗務員室
388		正面口
389		醤油
390		使用料
391		使用料金
392		食事
393	○	食堂
394		植物園
395	○	女子
396	○	女子トイレ
397	○	女性
398	○	女性専用
399	○	女性用

No.	記号	日本語
400		食券
401	○	ショップ
402		署名
403		所要時間
404	○	書類審査
405		資料室
406		城
407		白ワイン
408		シングルルーム
409		神社
410	○	身障者用設備
411	○	進入禁止
412		新発売
413	○	新聞・雑誌
414		深夜料金
415		深夜割増し
416		酔
417		炊事場
418		水族館
419		スイッチ
420		水曜日
421	○	スカッシュコート
422	○	スキー場
423	○	スキーの先を上げる
424	○	スキーヤーは降りる
425	○	頭上注意
426		スタッフ
427		スタッフ専用
428		スチール
429		頭痛薬
430	○	捨てるな
431		素泊まり
432	○	スポーツ活動
433		税・サービス料込み
434		税・サービス料別
435	○	税関
436		請求書

No.	記号	日本語
437		税金
438		税込み
439		税込価格
440	○	精算
441	○	精算機
442	○	精算所
443		成人
444		成人料金
445		清掃中
446		税抜き
447		セイフティボックス
448		正門
449		セール
450		石鹸
451		節水
452		設定温度
453		節電
454		説明書
455		セルフサービス
456	○	船舶
457		洗面所
458		送迎バス
459	○	相談窓口
460		ソース
461		その他
462		ソフトドリンク
463		大
464		大学
465		大学生
466		大使館
467		大浴場
468		タオル
469	○	多機能トイレ
470	○	タクシー
471	○	タクシーのりば
472	○	ダストボックス
473	○	立入禁止

No.	記号	日本語
474		ダブルルーム
475		食べ放題
476		食べ物ではありません
477	○	男子
478	○	男子トイレ
479		男女兼用
480	○	男性
481	○	男性専用
482	○	男性用
483		団体
484		暖房
485		チェックアウト
486	○	チェックイン
487		地下1階
488		地下鉄
489		チケット
490		チケット売り場
491		地図
492		チップ
493		チップ不要
494		茶
495		中
496	○	注意
497		注意事項
498		中央口（入口）
499		中央口（出口）
500		中学生
501		中学校
502	○	駐車禁止
503	○	駐車場
504		駐車料金
505		昼食
506		厨房
507		注文
508		駐輪禁止
509		朝食

No.	記号	日本語
510		朝食付き
511		聴導犬
512		調味料
513		直進
514		追加料金
515		ツインルーム
516		通行止め
517		通訳
518		つま楊枝
519		冷たい
520		釣銭
521	○	手洗い
522	○	手洗所
523	○	Tバーリフト
524		庭園
525		低温注意
526		定価
527		定休日
528		テイクアウト
529		停止
530		定食
531		テーマパーク
532		出口
533		手数料
534	○	鉄道
535	○	鉄道駅
536	○	テニスコート
537	○	手荷物預かり所
538	○	手荷物一時預かり所
539	○	手荷物受取所
540	○	手荷物検査
541	○	手荷物宅配
542		寺
543	○	電子機器使用禁止
544		展示室
545		展示物
546	○	電車

No.	記号	日本語
547	○	天井に注意
548	○	転倒注意
549	○	店舗
550	○	展望地
551	○	転落注意
552	○	電話
553	○	電話番号
554		問い合わせ
555	○	トイレ
556		トイレトペーパー
557		唐辛子
558		当日券
559	○	到着
560		投入口
561		動物園
562		道路地図
563		図書館
564		図書室
565		閉じる
566		土足厳禁
567	○	徒歩客は降りる
568		止まる
569		土曜日
570		ドライヤー
571		トラベラーズ チェック
572		取扱説明書
573		取り消し
574		鶏肉
575		トレーニングルーム
576		ドレッシング
577		内線
578		夏
579		名前
580		生ビール
581		2階
582		西

No.	記号	日本語
583		西口（入口）
584		西口（出口）
585		日曜日
586		日本酒
587		日本茶
588		日本庭園
589	○	荷物検査
590		入園料
591		入館無料
592	○	入国手続
593		入室禁止
594		入場券
595		入場料
596	○	乳幼児用設備
597	○	二列並び
598		猫
599		値引き
600		上り（上へ）
601		上り（電車）
602	○	上り段差注意
603		登る
604		飲み放題
605		飲物
606	○	飲めない
607	○	飲めません
608		乗換え
609	○	乗り継ぎ
610		ノンアルコール
611	○	バー
612		バイキング
613		灰皿
614		配送料
615		配達
616	○	売店
617	○	博物館
618		箸
619	○	走るな

No.	記号	日本語
620	○	バス
621	○	バスターミナル
622	○	バス停
623	○	バスのりば
624		パスポート
625		発車時刻
626		発売中
627		花
628		歯ブラシ
629		払戻し
630		春
631		パン
632		半額
633		晩ご飯
634		パンフレット
635		ビール
636		東
637		東口（入口）
638		東口（出口）
639		引渡し所
640		引く
641	○	美術館
642	○	非常階段
643	○	非常口
644	○	非常電話
645		非常はしご
646		非常ベル
647	○	非常ボタン
648		左
649		左側通行
650	○	左側にお立ちください
651		左へ曲がる
652		避難経路
653	○	避難所
654		避難通路
655		避難はしご

No.	記号	日本語
656		ビュッフェ
657	○	美容
658	○	病院
659	○	美容室
660		開く
661		昼ご飯
662		ピン
663	○	ファックス
664	○	プール
665	○	フェリー
666		豚肉
667		不燃ごみ
668		不燃物
669		冬
670		プラスチック
671	○	フラッシュ撮影禁止
672		プレゼント
673		触れてください
674	○	風呂場
675	○	フロント
676		ヘアリキッド
677		閉館時間
678		閉館中
679		平日
680		閉店
681		別館
682		ベット
683		ベット可
684	○	ベット不可
685		ベットボトル
686	○	ベット持ち込み禁止
687		別料金
688	○	ベビーカー使用禁止
689	○	ヘリコプター
690	○	ヘリポート
691		変圧器
692		ペンキ塗りたて

No.	記号	日本語
693		返却口
694		返却レバー
695		保育園
696	○	保育室
697	○	ポイ捨て禁止
698		防犯カメラ作動中
699		防犯ベル
700		ボディソープ
701	○	ホテル
702		本館
703		本日休業
704		前売券
705		前払い
706	○	待合室
707	○	待ち合わせ場所
708		まっすぐ
709		窓口
710		満室
711		満車
712		満席
713	○	ミーティングポイント
714		右
715		右側通行
716	○	右側にお立ちください
717		右へ曲がる
718		水
719	○	水飲み場
720	○	店
721	○	港
722		南
723		南口（入口）
724		南口（出口）
725		見本
756		土産
727	○	みやげ物売り場
728		無料

No.	記号	日本語
729	○	メールアドレス
730		メニュー
731		免税
732		免税店
733		免税品
734		麺類
735		盲導犬
736		盲導犬可
737		燃えないゴミ
738		燃えるゴミ
739		モーニングコール
740		木曜日
741		持ち帰り
742		持ち出し禁止
743	○	野球場
744	○	薬店
745	○	薬局
746		湯
747	○	遊泳禁止
748		遊園地
749		有効期限
750		夕ご飯
751		夕食
752		夕食付き
753		優先席
754	○	郵便
755		郵便切手
756		郵便局
757		郵便ポスト
758		有料
759	○	有料駐車場
760	○	有料トイレ
761		行き先
762		行き止まり
763		指挟まれ注意
764		ようこそ
765		楊枝

No.	記号	日本語
766		洋式
767		洋室
768		洋食
769		幼稚園
770		要予約
771	○	浴室
772		呼出し
773		予約
774		予約席
775	○	四列並び
776		ライス
777	○	ラウンジ
778	○	陸上競技場
779	○	リサイクル
780	○	リサイクル品 回収施設
781	○	理髪室
782	○	理容
783	○	両替
784		両替お断り
785	○	両替所
786		料金
787		料金表
788		領事館
789		領収書
790	○	旅館
791		旅行会社
792		旅行代理店
793		リンス
794		ルームサービス
795		冷蔵庫
796		冷房
797	○	歴史的建造物
798		レクリエーション ルーム
799	○	レストラン
800	○	レンタカー
801	○	レンタカーショップ

No.	記号	日本語
802		連絡先
803	○	ローブウェイ
804		録音禁止
805		路線図
806		ロッカー
807		露天風呂
808		ロビー
809		ワイン
810		和式
811		和室
812		和食
813		忘れ物
814	○	忘れ物取扱所
815		割り込み禁止
816		割箸
817		割引
818		割引券
819		割増し
820		われもの
821		われもの注意

ローマ字変換表

あ	A	I YI	U WU	E	お O
か	KA	き KI	く KU	け KE	こ KO
さ	SA	し SI SHI	す SU	せ SE	そ SO
た	TA	ち TI CHI	つ TU TSU	て TE	と TO
な	NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
は	HA	ひ HI	ふ FU	へ HE	ほ HO
ま	MA	み MI	む MU	め ME	も MO
や	YA	い YI I	ゆ YU	いえ YE	よ YO
ら	RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO
わ	WA		う WU U		を WO
ん	ん N+(Y以外の子音) (例) N+N→ん N+P→んP				
が	GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
ざ	ZA	じ ZI JI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
だ	DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
ば	BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
ぱ	PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO
きゃ	KYA	き KYI	きゅ KYU	きえ KYE	きよ KYO
しゃ	SHA	し SYI SHI	しゅ SYU SHU	しえ SYE SHE	しよ SYO SHO
ちゃ	CHA	ち TYI CHI	ちゅ TYU CHU	ちえ TYE CHE	ちよ TYO CHO CYO
てや	THA	て THI	てゅ THU	てえ THE	てよ THO
にや	NYA	に NYI	にゅ NYU	にえ NYE	によ NYO
ひや	HYA	ひ HYI	ひゅ HYU	ひえ HYE	ひよ HYO
みや	MYA	み MYI	みゅ MYU	みえ MYE	みよ MYO

りや	RYA	り RYI	りゅ RYU	りえ RYE	りよ RYO
ぎや	GYA	ぎ GYI	ぎゅ GYU	ぎえ GYE	ぎよ GYO
じゃ	JYA	じ ZYI JA JYA	じゅ ZJU JU JYU	じえ ZYE JE JYE	じよ ZYO JO JYO
ぢや	DYA	ぢ DYI	ぢゅ DYU	ぢえ DYE	ぢよ DYO
びや	BYA	び BYI	びゅ BYU	びえ BYE	びよ BYO
ぴや	PYA	ぴ PYI	ぴゅ PYU	ぴえ PYE	ぴよ PYO
つあ	TSA	つ TSI		つえ TSE	つお TSO
でや	DHA	で DHI	でゅ DHU	でえ DHE	でよ DHO
ふあ	FA	ふ FYI		ふえ FYE	ふお FO
ふや	FYA	ふ FYI FI	ふゅ FYU	ふえ FYE FE	ふよ FYO
うあ	VA	う VI	うゅ VU	うえ VE	うお VO
あ	LA XA	い LI XI LYI XYI	う LU XU	え LE XE LYE XYE	お LO XO
か	LKA XKA			け LKE XKE	
つ	つ LTU XTU 同一の子音+子音=つ+子音 (N以外有効)				
や	LYA XYA		ゆ LYU XYU		よ LYO XYO
わ	LWA XWA				

●おもな仕様

■入力

入力装置	JIS 配列準拠キーボード式 (63 鍵) 文字ボタン 39、機能ボタン 24
入力状態	ローマ字入力、かなめくり入力、ABC 入力 小文字入力、小文字ロック (ABC 入力時のみ)、記号入力、外字入力、 コピー機能 (30 文字まで)、コード変換入力 (区点コード・JIS コード・ シフト JIS コード)、部首読み入力、部首画数入力、ABC 半角入力 (QR コード時のみ)
漢字変換方式	ATOK for テブラ (予測入力、学習機能付き連文節変換) 搭載語句数 約 137,000 語 (追加可能)

■表示

表示装置	ドットマトリクス FSTN 液晶パネル (バックライト付き)
文字表示	256dot × 80dot (15chr × 5line)
表示濃度	-5 ~ 0 ~ +5 (11 段階)
インジケータ	27 個
LED	3 個

■記憶

文章メモリー	約 500 文字
内蔵ファイル	可変長データ式 (あて名・名前と共用) 約 20,000 文字 ※以下を含む ビジネスフォームファイル 約 5,000 文字 カットラベルフォームファイル 約 5,000 文字
辞書登録	最大 50 件
外字登録	ビットマップフルライン自動拡大登録 フルライン (16・24・32・40・48 ドット) × 10 文字
地紋データ登録	文字地紋 1 件 創作地紋 4 件
あて名登録	最大 100 件
名前登録	最大 40 件
印刷履歴	最大 10 件

■フォント(定型外国語の中国語、韓国語、QRコード入力時の半角文字を除く)

内蔵文字数	全 8,050 文字 漢字 JIS 第 1 水準 2,965 文字 漢字 JIS 第 2 水準 3,390 文字 漢字 その他 132 文字 ひらがな・カタカナ・英数字・記号・その他 1,563 文字
-------	--

内蔵フォント	アウトラインフォント
	ゴシック体 : 漢字書体・かな書体・英数書体
	太型ゴシック体 : 漢字書体・かな書体・英数書体
	丸ゴシック体 : 漢字書体・かな書体・英数書体
	太型丸ゴシック体 : 漢字書体・かな書体・英数書体
	明朝体 : 漢字書体・かな書体・英数書体
	太型明朝体 : 漢字書体・かな書体・英数書体
	てがき体 : 漢字書体・かな書体・英数書体
	細字てがき体 : 漢字書体・かな書体・英数書体
	行書体 : 漢字書体・かな書体・英数書体
	太型行書体 : 漢字書体・かな書体・英数書体
	波ゴ体 : 漢字書体・かな書体・英数書体
	えれん体 : かな書体
	太型えれん体 : かな書体
	ハッピー体 : かな書体
	太型ハッピー体 : かな書体
	サンセリフ HV 体 : 英数書体
	太型サンセリフ HV 体 : 英数書体
	スクリプト BR 体 : 英数書体
	太型スクリプト BR 体 : 英数書体
	サンセリフ ST 体 : 英数書体
	太型サンセリフ ST 体 : 英数書体
	スクリプト PL 体 : 英数書体
	太型スクリプト PL 体 : 英数書体

■印刷

印刷方式	熱転写 PRO 印刷方式
印刷濃度	-3 ~ 0 ~ +3 (7 段階)
ヘッド構成	サーマルヘッド (384dot、360dpi)
テープ幅検出	P テープ規格検出孔対応
テープカートリッジ	「テプラ」PRO テープカートリッジ 4・6・9・12・18・24・36mm 幅、 カットラベル
カッター	ハーフカット機能付きオートカッター
トリマー	センサーつき自動カド丸仕上げ (半径 3mm)
転写テープ検出	対応
カットラベル検出	対応

■印刷機能

文字構成

13 段階（拡大印刷を含むと 30 段階）

F 字	24 × 24dot	（ 5 ポイント相当）
P 字	32 × 32dot	（ 6 ポイント相当）
S' 字	40 × 40dot	（ 8 ポイント相当）
S 字	48 × 48dot	（ 10 ポイント相当）
M 字	64 × 64dot	（ 13 ポイント相当）
L' 字	80 × 80dot	（ 16 ポイント相当）
L 字	96 × 96dot	（ 19 ポイント相当）
G 字	128 × 128dot	（ 26 ポイント相当）
U' 字	160 × 160dot	（ 32 ポイント相当）
U 字	192 × 192dot	（ 38 ポイント相当）
H 字	256 × 256dot	（ 51 ポイント相当）
K' 字	320 × 320dot	（ 64 ポイント相当）
K 字	360 × 360dot	（ 72 ポイント相当）

※テープ幅によって印刷できない文字サイズがあります。

デザインフォーム

136 種（テンプレート式）

ビジネスフォーム

11 種

あて名印刷

約 10,000 文字（最大 100 件） カスタマバーコード印刷機能付

名前印刷

約 1,120 文字（最大 40 件）

特殊印刷

連続、拡大、鏡文字、リぼん連続

連番機能

加算一方向（繰り返し回数指定可）、1 桁連番、2 桁連番、1 桁丸付連番、2 桁丸付連番

バーコード

QR コード、JAN-13、JAN-8、UPC-A、UPC-E、NW-7、ITF、CODE39（8 種）

定型外国語

日本語・英語・中国語（簡体字）・韓国語の定型文 821 種

■電源、その他

主電源

AC100V（同梱 AC アダプタ AS1527J 使用のこと）

補助バッテリー

アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単 3 形 × 6 本）

電源スイッチ

ボタン式

パワーオフ

操作終了後、約 5 分で電源を自動的にオフする
（外字作成・修正中、創作地紋作成・修正中、テープが終了して印刷再開可能な状態、AC アダプタ使用時のパソコンリンク中を除く）

PC 接続

USB ケーブルにて接続

寸法・重量

約 195W × 238D × 91H（mm）

約 1,190g（電池、テープカートリッジを除く）

同梱品

試用 PRO テープカートリッジ

ヘッド・クリーニングテープ（SR36C）

AC アダプタ（AS1527J）

転写スティック

取扱説明書

保証書

別売品

PRO テープカートリッジ
ヘッド・クリーニングテープ (SR36C)
トリマー (RT36W)
リボンキット (SRR10)
お名前タグメーカー (SRT10)
スナップボタン (SRTB1)
システムトランク (SR9BTA)
システムバッグ (SR8B)
システムケース (SR9H)
テープカートリッジケース (SR4TH)

■使用条件

動作環境

温度： 5～35℃ 湿度：30～80% (非結露)

保存環境

温度：-10～55℃ 湿度： 5～80% (非結露)

索引

記号

QR (QR コードマーク)	177
☒☒ (印刷不可行頭マーク)	24、57
← ↑ ↓ → (カーソルボタン)	23
? _ ? (記号外枠)	87
①② (空白行頭マーク)	24、57
罫 (罫入り記号)	86
合 (合成マーク)	46
1 2 (実質行頭マーク)	24、57
┘ (全角スペース)	43
㊦㊧㊨㊩ (定型外国語マーク)	150
(バーコードマーク)	176
┘ (半角スペース)	43
◀ (フルメモリーマーク)	24
▶ (文字モード指定マーク)	24、71
1 ² N ² N ² N ² (連番マーク)	172、174

英数字

1 桁丸付 (連続番号)	171、172
1 桁 (連続番号)	171、172
2 行表示	199
2 桁数字 (記号)	67、207
2 桁丸付 (連続番号)	171、172
2 桁 (連続番号)	171、172
2 倍印刷	179、182
3 行表示	199
3 倍印刷	179、182
4 倍印刷	179、182
5 行表示	199
A4 ファイル (定長印刷)	77、89
ABC 入力	42
ABC (半角) 入力	177
AC アダプタ	11、26
AC アダプタ差込み口	20
ATOK 変換画面	25、35
ATOK 予測入力画面	25、34
B5 ファイル (定長印刷)	77、89
CD・DVD ケース (定長印刷)	77、89
CODE39 (バーコード)	171、175
FD・MO (定長印刷)	77、89
ITF (バーコード)	171、175
JAN-8 (バーコード)	171、175
JAN-13 (バーコード)	171、175
NW-7 (バーコード)	171、175
罫	23
ON/OFF ランプ	20

PC ラベルソフト [SPC10]	210、216
QR コード (バーコード)	171、177
QR コードマーク (罫)	177
RT36W (トリマー)	12
SMA3 (シンプルラベルソフト)	210
SPC10 (PC ラベルソフト)	210、216
SR4TH (テープカートリッジケース)	12
SR8B (システムバッグ)	12
SR9BTA (システムトランク)	12
SR9H (システムケース)	12
SR36C (ヘッド・クリーニングテープ)	12
SRR10 (りぼんキット)	12
SRT10 (お名前タグメーカー)	12
SRTB1 (スナップボタン)	12
UPC-A (バーコード)	171、175
UPC-E (バーコード)	171、175
USB ケーブル (パソコン接続)	210、216
USB コネクタ (パソコン接続)	20

あ

あ (ア)	23
アイロン転写テープ	209
アイロンラベル	209
あて名	95、104
印刷	108
グループ名修正	109
修正	106
消去	107
登録	105
複写	106
後挿え (割付け)	76、85
網かけ (囲み・網)	73、158
網濃度 (囲み・網)	73、158
網濃度 (地紋印刷)	77、91
誤り訂正レベル (QR コード)	171、177
アルカリ乾電池	26、192、201
淡文字 (飾り字)	72、78、157
アンインストール	217
アプリケーション	217
プリンタドライバ	217
イメージ表示	25
イラスト	45、207、244
印刷	22
印刷	48
印刷イメージ	24、47、192、199
印刷再開	181
～メニュー～覧	208

印刷情報	24	鏡文字印刷	179、184
印刷設定	190、193	学習初期化	192、200
印刷速度	190、195	拡大印刷	179、182
印刷濃度	190、195	確定文字	24
印刷履歴	22、169、170	影文字（飾り字）	72、78、157
印刷履歴メニュー一覧	169	囲み・網（文字モード）	69、73、79、191
消去	170	飾り字（文字モード）	69、72、78、191
呼出	169	カスタマバーコード（あて名）	110
インジケータ	24	下線（囲み・網）	73、158
インストール	210	カタカナ	38
アプリケーション	210	カッター	193
プリンタドライバ	210	カットラベル	151
インデックス（縦）（ビジネスフォーム）	136、139	カットラベル位置（印刷設定）	190、196
インデックス（横）（ビジネスフォーム）	136、139	カットラベルフォーム	151
上カバー	20	～編集メニュー一覧	157
上カバーボタン	20	～メニュー一覧	152
上書き呼出（ファイル）	99	角囲み網（囲み・網）	73、158
英字	42	角囲み（囲み・網）	73、158
英数書体（書体）	72	カド丸	61
エラーメッセージ	220	角丸（カットラベル）	156
大柄（創作地紋）	77、93	角丸（縦）（カットラベルフォーム）	154
オートトリマー	20、61、62	角丸（横）（カットラベルフォーム）	153
～のお手入れ	62	かな書体（書体）	72
オート・パワーオフ	32	かなめくり入力	37
多め（余白）	77、94	画面設定	199
送りカット（テープ送り）	32、208	仮確定文字	24
送り長指定（テープ送り）	186、208	仮確定文字（ATOK 変換画面）	35
お名前（デザインフォーム）	126、134	環境設定	190、192、199
お名前タグメーカー（SRT10）	12	漢字	34、41
オフィス（デザインフォーム）	125、127	漢字検索	187、188、189
おまかせフォーマット（文字サイズ）	74、83、162	漢字検索メニュー一覧	187
お店（デザインフォーム）	126、130	漢字書体（書体）	72
終わり？（編集）	70、73、76、77	漢字変換表	232
音楽テープ（定長印刷）	77、89	 漢字変換表	23

か

カーソル	24、54、69	記号	44、207、240
～の位置（編集）	69	～一覧表	240
カーソルボタン 	23	～メニュー一覧	207
改行	57	記号外枠（外枠・表組）	87
外字	95、118	ギフトシール	195、209
参照作成	124	行	57
修正	121	鏡像	184
消去	123	強調（斜体・強調）	72、78、157
新規作成	120	行頭マーク（   …  、   … 	24、57
複写	122	極少（余白）	77、94
呼出	122、207	均等（文字サイズ）	65、74、82
外字呼出（記号）	207	均等割（割付け）	76、85
改段落	23、59	空白	43
ガイド表示	25	空白行頭マーク（  	24、57
		区点コード	188、232
		クリーニングテープ	12、228

繰り返し回数 (連続番号).....	171、172
グループ.....	96
グループ名修正.....	102
グレー文字ラベル.....	209
黒塗り (外字).....	119
罫入力記号 (罫).....	86
ケーブル (ビジネスフォーム).....	137、140
建設 (デザインフォーム).....	126、132
工場 (デザインフォーム).....	126、132
合成 (記号).....	46、207
合成記号.....	46
合成マーク (合).....	46
コード入力 (漢字検索).....	187、188
小柄 (創作地紋).....	77、91
固定フック.....	20
	22
コピー.....	56
細かく (伸・縮).....	73、79、158
小文字ロック.....	23、42
さ	
サイズ (文字サイズ).....	65、74、82、191
	23
削除.....	55
辞書.....	95、115
修正.....	116
消去.....	117
登録.....	115
システムケース (SR9H).....	12
システムトランク (SR9BTA).....	12
システムバッグ (SR8B).....	12
施設 (デザインフォーム).....	125、128
下並び (伸・縮).....	73、79、158
実質行頭マーク (1 2).....	24、57
指定範囲 (編集).....	71
自動 (英数書体).....	72
自動多め (余白).....	77、94
自動カット.....	190、193
自動 (かな書体).....	72
自動少なめ (余白).....	77、94
自動 (文字サイズ).....	74
	23
地紋印刷 (文章書式).....	69、77、91、191
斜強調 (斜体・強調).....	72、78、157
斜体・強調 (文字モード).....	69、72、78、191
斜体 (斜体・強調).....	72、78、157
充電式ニッケル水素電池.....	26、192、201
自由のび ² (文字サイズ).....	74、84
仕様.....	255
上質紙ラベル.....	209
正体 (斜体・強調).....	72、78、157
初期化.....	202
初期設定値.....	197
初期値 (連続番号).....	171、172
	23
書体.....	64
書体 (文字モード).....	69、72、81、191
白抜影 (飾り字).....	72、78、157
白塗り (外字).....	119
白文字 (飾り字).....	72、78、157
伸・縮 (文字モード).....	69、73、79、191
シンプルラベルソフト [SMA3].....	210
少なめ (余白).....	77、94
スナップボタン (SRTB1).....	12
スペース.....	43
設定.....	22
～メニュー一覧.....	190
狭い (文字間).....	73、80、158
背見出し A4 (ビジネスフォーム).....	136、139
背見出し B5 (ビジネスフォーム).....	136、139
全角スペース (□).....	43
全消去.....	23、56
全体の幅 (バーコード).....	171、175
	23
全文消去 (全消去).....	23、56
創作地紋 (地紋印刷).....	77、91、93
操作パネル.....	22
促音.....	39
	23
外枠 (カットラベルフォーム).....	160、163、245
外枠 (外枠・表組).....	75、86
外枠・表組 (段落スタイル).....	69、75、86、191
た	
耐熱ラベル.....	209
ダイレクトキー.....	64、65、66、68
ダウンロード.....	210
楕円 (カットラベル).....	155
楕円 (縦) (カットラベルフォーム).....	152
楕円 (横) (カットラベルフォーム).....	152
濁音.....	39
たて書き (縦・横).....	66、75、88
縦型よこ書 (縦・横).....	75、88
縦型よこ書 (ビジネスフォーム).....	138、142
	23
縦・横.....	66
縦・横 (段落スタイル).....	69、75、88、191
段落.....	59
段落スタイル.....	69、74
～メニュー一覧.....	74

小さく (伸・縮).....	73、79、158
チェックデジット (バーコード).....	171、175
蓄光ラベル.....	209
縮める (伸・縮).....	73、79、158
つめ ²	90
定型外国語.....	148
～一覧表.....	246
～メニュー一覧.....	148
～を使う.....	149
～を編集する.....	150
ディスプレイ.....	20、24
ディスプレイ濃度.....	199
訂正線 (囲み・網).....	73、158
定長印刷 (文章書式).....	69、77、89、191
定ピッチ (ビジネスフォーム).....	137、141
テープ送り.....	22、32、208
～メニュー一覧.....	208
テープカートリッジ	
～をセットする.....	29
～を使いわせる.....	209
テープカートリッジケース (SR4TH).....	12
テープカートリッジセット部.....	20
テープ確認窓.....	20
テープ通路.....	20
テープ取出し口.....	20
テープ幅.....	57、83
テキスト画面.....	24
デザインフォーム.....	125
～見本.....	127
～メニュー一覧.....	125
デモ印刷.....	204
電源	
～を入れる.....	31
～を切る.....	51
転写スティック.....	11、168
転写テープ.....	168、209
電池.....	26
電池カバー.....	21
電池ケース.....	21
電池種類.....	26、192、201
点描画 (外字).....	119
点滅文字.....	24
同梱品.....	11
	22
特殊印刷.....	22、179
～メニュー一覧.....	179
トリマー (RT36W).....	12、61
トリマーガイド.....	20
トリマーカバー.....	21、62
トリマー差込み口.....	20

トリマーテーブル.....	20
---------------	----

な

中挿え (割付け).....	76、85
中並び (伸・縮).....	73、79、158
なし (囲み・網).....	73、158
名前.....	95、112
印刷.....	113
グループ名修正.....	113
修正.....	113
消去.....	113
登録.....	112
ニッケル水素電池.....	26、192、201
	23
入力文字一覧表.....	230
熱収縮チューブ.....	209
値札 (込) (ビジネスフォーム).....	138、142
値札 (抜/込) (ビジネスフォーム).....	138、142
伸ばす (伸・縮).....	73、79、158

は

バーコード.....	22、171、175
バーコードマーク ().....	176
ハーフカット.....	190、193
ハーフカットランプ.....	20、193
パソコンリンク状態.....	216
パソコンリンクランプ.....	20
バックライト.....	192、200
貼付け.....	22、56
範囲は? (編集).....	73、76、158
半角.....	177
半角スペース (□).....	43
半濁音.....	39
反転 (カットラベルフォーム).....	160、164
ビジネスフォーム.....	136、139
～見本.....	139
～メニュー一覧.....	136
備品管理票 (ビジネスフォーム).....	137、140
病院 (デザインフォーム).....	126、133
描画エリア (外字).....	119
表組み (カットラベルフォーム).....	160、163、245
表組み (外枠・表組).....	75、86
表示切換.....	192、199
表示濃度.....	192、199
ひらがな.....	38
広い (文字間).....	73、80、158
	22
ファイル.....	22、95、96
印刷.....	103
グループ名修正.....	102

消去	100
登録	97
複写	101
～メニュー一覧	95
呼出	99
ファイル (カットラベルフォーム)	152、165
ファイル (ビジネスフォーム)	145
	22
フォーム	
デザインフォームメニュー一覧	125
ビジネスフォームメニュー一覧	136
フォーム見本	
デザインフォーム	127
ビジネスフォーム	139
複数ラベル (ビジネスフォーム)	138、142
部首画数 (漢字検索)	187、189
部首読み (漢字検索)	187、189
ふつう (飾り字)	72、78、157
ふつう (伸・縮)	73、79、158
ふつう (文字間)	73、80、158
ふつう (余白)	77、94
	22
復活	55
フラッグ (縦横) (ビジネスフォーム)	137、141
フラッグ (縦) (ビジネスフォーム)	137、141
フラッグ (横) (ビジネスフォーム)	137、141
ふりがな (名前)	114
プリンタドライバ	
アンインストール	217
インストール	210
フルメモリーマーク (◀)	24
プレビュー	22、47
プロポーショナル (文字間)	73、80
文章	
～を消去する	56
～をファイルする	97
文章書式	69
メニュー一覧	77
文節切り換え	23
文節変更	23
平滑化 (外字)	122、207
ヘッド・クリーニングテープ (SR36C)	11、12、228
別売品	12
	23
変換	41
変換候補一覧 (ATOK 変換画面)	35
変換候補数 (ATOK 変換画面)	35
変換候補番号 (ATOK 変換画面)	35
変換対象 (ATOK 変換画面)	35
	23
編集	69
編集 (記号)	44、86、207
編集設定	190、191、197
編集続行? (編集)	71、73、76、77、158
	23
補助辞書	36
細・太の比率 (バーコード)	171、175
保存値	197
ボタンナビ	25
ま	
枚数指定 (連続印刷)	179
前挿え (割付け)	76、85
マグネットテープ	209
マスキングテープ [mt] ラベル	209
丸囲み網 (囲み・網)	73、158
丸囲み (囲み・網)	73、158
丸型 (カットラベル)	155
丸型 (カットラベルフォーム)	152
密着 (文字間)	73、80、158
見本	
デザインフォーム	127
ビジネスフォーム	139
無変換	23、38
メニュー	25
メニュー一覧	206
記号	207
設定	190
段落スタイル	74
定型外国語	148
テープ送り	208
デザインフォーム	125
特殊印刷	179
ビジネスフォーム	136
ファイル	95
文章書式	77
編集	72
文字モード	72
連番・バーコード	171
メニュー階層	25
メニュー画面	25
文字	
～をコピーする	56
～を削除する	55
～を消去する	56
～を挿入する	55
～を入力する	54
～を貼り付ける	56
～をもとに戻す (復活)	55
文字間 (文字モード)	69、73、80、191

23
文字サイズ65
文字サイズ (カットラベルフォーム)161
文字サイズ (段落スタイル)	...69、74、82、191、197
文字地紋 (地紋印刷)77、91、92
文字変換 / 漢字検索23
文字ボタン23
文字モード69
～メニュー一覧72
文字モード指定マーク (▶)24、71

や

拗音39
用途 (QR コード)171、177
よこ書き (縦・横)66、75、88
横型たて書 (ビジネスフォーム)138、143
予測候補数34
予測候補番号34
予測入力40
予測入力候補一覧34
余白69
余白 (文章書式)69、77、94、191

ら

らく ² (文字サイズ)74、82
リセット (印刷設定)190、196
リセット (編集設定)191、198
りぼん209
りぼんキット (SRR10)12
りぼん連続179、185
連結呼出 (ファイル)99
連続印刷179、180
連続番号171、172
連番22、171、172
連番・バーコード22、171
～メニュー一覧171
連番マーク (①②③④)172、174
ローマ字入力37、38
ローマ字変換表254
ロングテープ209

わ

割付け (段落スタイル)69、76、85、197
--------------	-------------------

●アフターサービスについて

■保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめの上、販売店よりお受け取りください。保証書と裏面の保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本機およびご使用中の AC アダプタ・テープカートリッジなど一式と保証書をお買い上げ販売店、または「テブラ」取扱店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。商品をお買い上げ販売店、または「テブラ」取扱店までお持ちください。

なお、修理・検査をおこなうと、登録されているファイル・外字・入力した文章のデータや学習内容などは消去されます。また、修理のとき一部代替部品を使わせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

フリーダイヤル（全国共通）

ナットクのパートナー

お客様相談室 ☎ 0120-79-8107

FAX からの場合 0120-79-8102

携帯電話からの場合 0570-06-4759

※ 通話料お客様負担

受付時間：平日（月曜日～金曜日） 午前9時～午後5時30分

■最新情報については

「テブラ」に関する最新の情報は、当社のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.kingjim.co.jp/>

■お客様登録のお願い

このたびはキングジム製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。お客様登録をしていただきますと、製品・サービスに関する情報提供やお問い合わせの受付など、キングジムが提供するサポート・サービスを受けることができます。

お客様の個人情報の取り扱いについて

お客様からいただいた個人情報は、以下の目的で使用し、厳正な管理をいたします。

サービスやサポートのご提供・商品のご案内・統計情報としての利用・製品の改善等

なお、当社の個人情報の取り扱いの詳細につきましては、下記の当社ホームページをご覧ください。

お客様登録はこちらから ▶ <http://kingjim.jp/user/>

「テブラ」PRO SR970 取扱説明書

2018年 4月 第3版

株式会社キングジム

〒101-0031 東京都千代田区東神田2丁目10番18号

SR970

取扱説明書



・お問い合わせ

フリーダイヤル(全国共通) ネットクのパートナー
お客様相談室 ☎ 0120-79-8107

受付時間: 平日(月曜日～金曜日)午前9時～午後5時30分

ホームページアドレス <http://www.kingjim.co.jp/>